

平成26年

県の施策に関する県民意識調査結果報告書

【目次】

調査の概要・調査結果の概要	1
広域圏別・男女別・年代別調査結果	11
調査項目一覧	12
統計表	119
調査票	131

平成26年5月

岩手県政策地域部

はじめに～本書をお読み頂くにあたって～

1 県民意識調査について

岩手県では、「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定し、東日本大震災津波からの復旧・復興への取り組みを進めるとともに、これと軌を一にしながら、“私たちが実現していきたい岩手の未来”を描いた「いわて県民計画」に掲げる「希望郷いわて」の実現に向けて、計画を推進しています。

県では、「いわて県民計画」の政策に関連する項目について、県民の皆様がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか等を定期的に把握するため、平成12年度から「県民意識調査」を実施しており、今回(平成26年調査)が12回目の調査となります。

2 今回の調査の特徴

今回の調査では、「いわて県民計画」の7つの政策に関連する項目の満足度、重要度等の把握を目的とし、その調査項目数は、52項目となっています。

3 調査対象数の配分方法

本調査の調査対象者の抽出については、広域振興圏での調査結果の利用を考慮し、次のような方法によって行いました。

- ・ 広域振興圏における調査結果に一定の精度を確保するため、東日本大震災津波の影響や管内人口の多寡を考慮し、全県の調査数5,000について、県央及び県南に300、沿岸に800、県北に600の計2,000を定数配分として割り振り、残り3,000を4広域振興圏の管内人口比で比例配分しています。
- ・ 市町村別の調査対象数については、各広域振興圏に割り振られた調査対象数を、管内の市町村人口によって比例配分しています。

このように、調査対象(サンプル)は実際の地域別の人口構成比のとおりには割り振られていないことから、集計については、実際の市町村別の人口構成比を反映した結果となる集計方法を取っています。詳しくは、「4 集計方法」を参照してください。

4 集計方法

前述の「3 調査対象数の配分方法」とおり、広域振興圏での調査結果の利用を考慮し、調査対象数を地域別の人口構成比で割り振っていないことから、単純に集計された県全体等の調査結果は、本県の広域振興圏の人口構成比を反映していないものになります。

したがって、集計については、実際の回答数に広域振興圏(市町村)別の人口構成比を考慮することによって、県全体の調査結果を実勢に近づける集計(母集団拡大集計)を行っています。

これを具体的に説明すると、市町村別の回答数(選択肢ごと)に、「平成25年岩手県人口移動報告年報による市町村別20歳以上人口÷市町村別の標本数(有効回答数)」で求められるウェイトを乗じて集計するものです。(したがって、集計結果の分母は20歳以上人口に一致します。)

5 その他

- ・ 各設問集計結果のグラフには、「わからない」「不明」の比率数値は表示していません。
- ・ 四捨五入の関係で合計と内訳の計とが一致しない場合があります。

**調査の概要
調査結果の概要**

平成26年県の施策に関する県民意識調査結果(概要)

■調査の概要■

1 調査の目的

「いわて県民計画」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内に居住する20歳以上の男女
- (2) 調査対象者数 5,000人
- (3) 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法 設問票によるアンケート調査（郵送法）
- (5) 調査時期 平成26年1～2月
- (6) 調査項目
 - ア 生活全般の満足度
 - イ 「いわて県民計画」の7つの政策に関連する46項目に係る重要度、満足度について
 - ウ 「いわて県民計画」の進め方等についての意見（「5年後の岩手」と「求める豊かさ」）
- (7) 有効回収率 71.0%（3,548人／5,000人）
- (8) 回答者の属性

【男女別】	回答者数	割合
男性	1,502	(42.3)
女性	1,980	(55.8)
不明	66	(1.9)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	999	(28.2)
県南広域振興圏	1,077	(30.3)
沿岸広域振興圏	858	(24.2)
県北広域振興圏	614	(17.3)

【年齢別】	回答者数	割合
20～29歳	228	(6.4)
30～39歳	394	(11.1)
40～49歳	507	(14.3)
50～59歳	738	(20.8)
60～69歳	735	(20.7)
70歳以上	886	(25.0)
不明	60	(1.7)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	295	(8.3)
家族従業者	163	(4.6)
会社・団体役員	406	(11.4)
常用雇用者	755	(21.3)
臨時雇用者	428	(12.1)
学生	40	(1.1)
専業主婦(主夫)	499	(14.1)
無職	824	(23.2)
その他	63	(1.8)
不明	75	(2.1)

()内は%

3 用語の解説

重要度(平均)：「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

満足度(平均)：「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

ニーズ度：重要度(平均)－満足度(平均)

4 その他

本調査結果は、下記の調査統計課ホームページからダウンロードできます。

<http://www3.pref.iwate.jp/webdb/view/outside/s14Tokei/top.html>

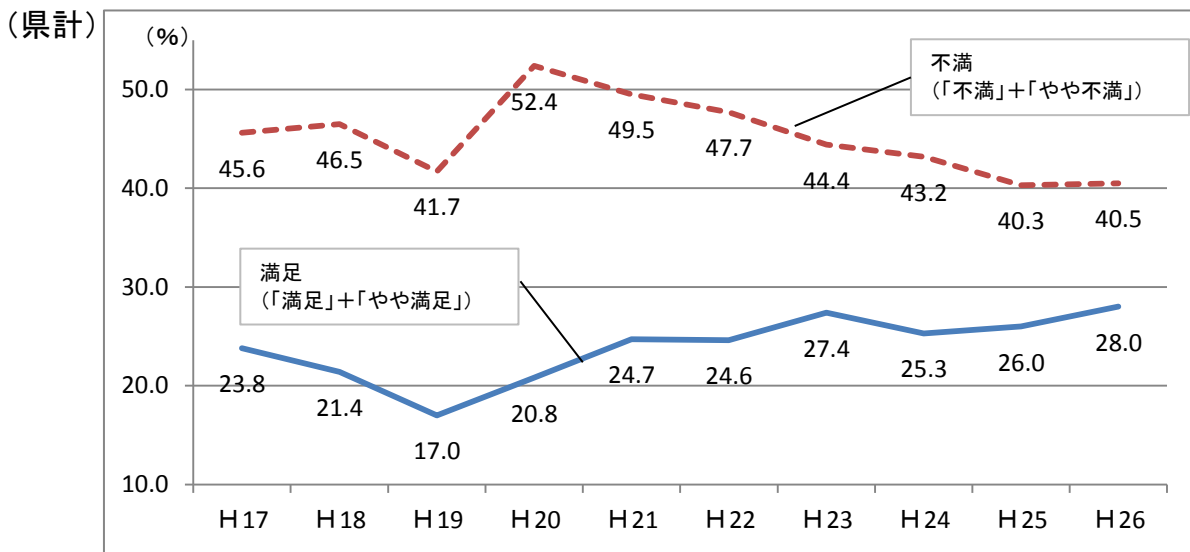


■調査結果の概要■

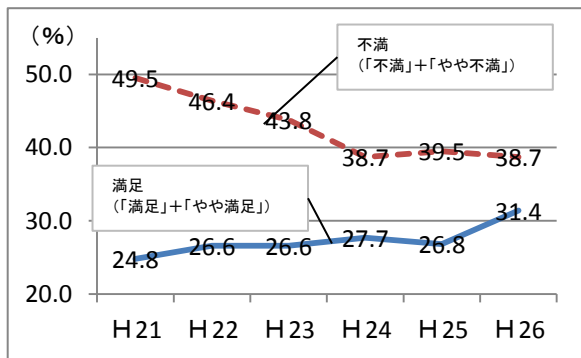
問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

前回と比べて満足割合は上昇

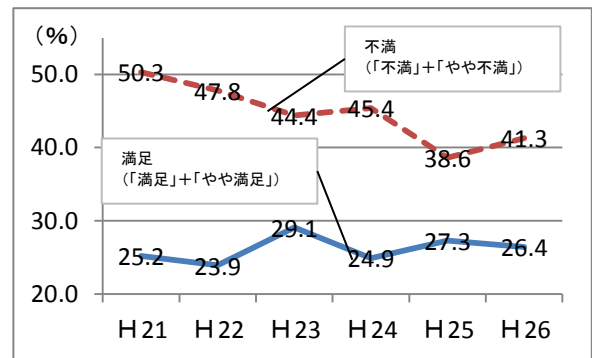
- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が28.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合40.5%を下回っている。
また、平成25年調査と比べると、満足(「満足」+「やや満足」)の割合は26.0%から2.0ポイント上昇し、不満(「不満」+「やや不満」)の割合は40.3%から0.2ポイント上昇している。
- 広域振興圏別にみると、県央、沿岸及び県北で満足(「満足」+「やや満足」)の割合が上昇し、県南で不満(「不満」+「やや不満」)の割合が増加している。



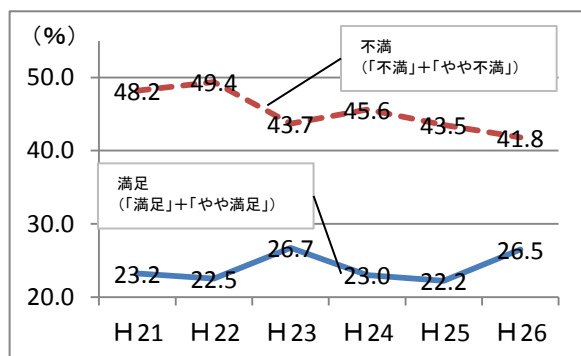
(県央広域振興圏)



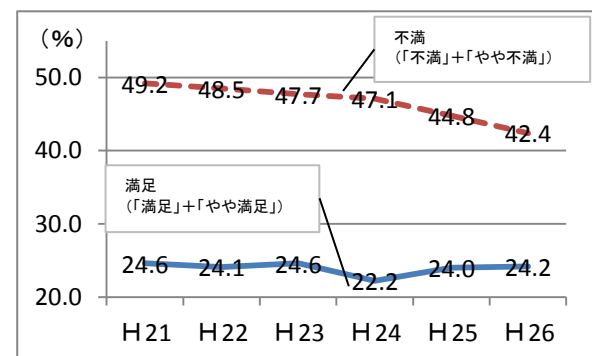
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



問2 あなたの暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要と考えますか。

あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

【重要度】

- 重要度の高い項目は、「適切な医療体制」、「高齢者や障がい者に安心な地域づくり」、「交通事故の少ない社会づくり」となっている。
- 一方、「海外での県産品の販路拡大」、「外国人も暮らしやすい地域社会」、「地域や学校での文化芸術活動」などの項目の重要度が低くなっている。

重要度が高い項目

順位	(参考) 25年 順位	7つの 政策	番号	項 目
1	1	③	14	適切な医療体制
2	3	③	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり
3	2	④	20	交通事故の少ない社会づくり
4	5	④	19	犯罪への不安の少ない社会づくり
5	4	⑦	42	災害に強く安心して暮らせる県土

重要度が低い項目

順位	(参考) 25年 順位	7つの 政策	番号	項 目
46	46	①	7	海外での県産品の販路拡大
45	45	⑤	36	外国人も暮らしやすい地域社会
44	43	⑤	35	地域や学校での文化芸術活動
43	42	④	24	市民活動へ参加しやすい社会
42	38	⑦	46	通信ネットワークの活用

※項目は設問文を要約して記載している。(以下、同様)

【満足度】

- 満足度の高い項目は、「ごみ減量やリサイクルの定着」、「地域や学校での文化芸術活動」、「県出身スポーツ選手の活動」となっている。
- 一方、「安定した就職環境」、「農林水産業の担い手確保」、「商店街のにぎわい」に関する項目の満足度が低くなっている。

満足度が高い項目

順位	(参考) 25年 順位	7つの 政策	番号	項 目
1	1	⑥	39	ごみ減量やリサイクルの定着
2	2	⑤	35	地域や学校での文化芸術活動
3	5	⑤	37	県出身スポーツ選手の活躍
4	3	④	19	犯罪への不安の少ない社会づくり
5	4	⑦	46	通信ネットワークの活用

満足度が低い項目

順位	(参考) 25年 順位	7つの 政策	番号	項 目
46	46	①	8	安定した就職環境
45	44	②	9	農林水産業の担い手確保
44	45	①	5	商店街のにぎわい
43	42	①	2	次世代を担う産業人材育成
42	43	①	1	県内経済の活性化

【ニーズ度】

- ニーズ度(重要度－満足度)が高い項目は、「安定した就職環境」、「高齢者や障がい者に安心な地域づくり」、「災害に強く安心して暮らせる県土」となっている。
- 一方、「地域や学校での文化芸術活動」、「県出身スポーツ選手の活躍」、「通信ネットワークの活用」などのニーズ度が低くなっている。

ニーズ度が高い項目

順位	(参考) 25年 順位	7つの 政策	番号	項 目
1	1	①	8	安定した就職環境
2	2	③	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり
3	3	⑦	42	災害に強く安心して暮らせる県土
4	6	②	9	農林水産業の担い手確保
5	4	③	16	安心な子育て環境整備

ニーズ度が低い項目

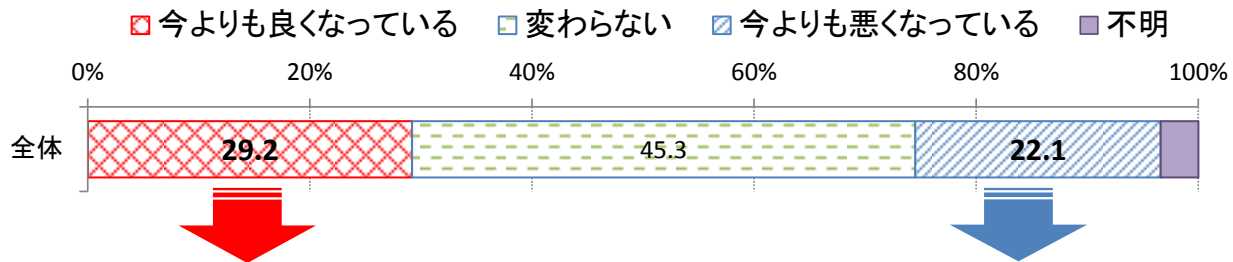
順位	(参考) 25年 順位	7つの 政策	番号	項 目
46	46	⑤	35	地域や学校での文化芸術活動
45	45	⑤	37	県出身スポーツ選手の活躍
44	42	⑦	46	通信ネットワークの活用
43	43	④	24	市民活動へ参加しやすい社会
42	44	⑤	36	外国人も暮らしやすい地域社会

7つの政策

- ①: 産業・雇用～「産業創造県いわて」の実現～
- ②: 農林水産業～「食と緑の創造県いわて」の実現～
- ③: 医療・子育て・福祉～「共に生きるいわて」の実現～
- ④: 安全・安心～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～
- ⑤: 教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～
- ⑥: 環境～「環境王国いわて」の実現～
- ⑦: 社会資本・公共交通・情報基盤～「いわてを支える基盤」の実現～

問3-1 あなたは概ね5年後の岩手県がどのようになっていると考えますか。
また、そのように考えた理由は何ですか。(3つまで)

- 概ね5年後の岩手県が今よりも良くなっていると考える人は29.2%となっており、その理由としては、「地域活力の維持・向上が図られている」の割合が最も多く、次いで「十分な医療・福祉サービスが受けられる」、「安全・安心な生活が確保されている」などの割合が高くなっている。
- 一方、概ね5年後の岩手県が今よりも悪くなっていると考える人は22.1%となっており、その理由としては、「個人や企業の所得が減少している」の割合が最も多く、次いで「地域活力が低下している」、「雇用環境が悪化している」などの割合が高くなっている。



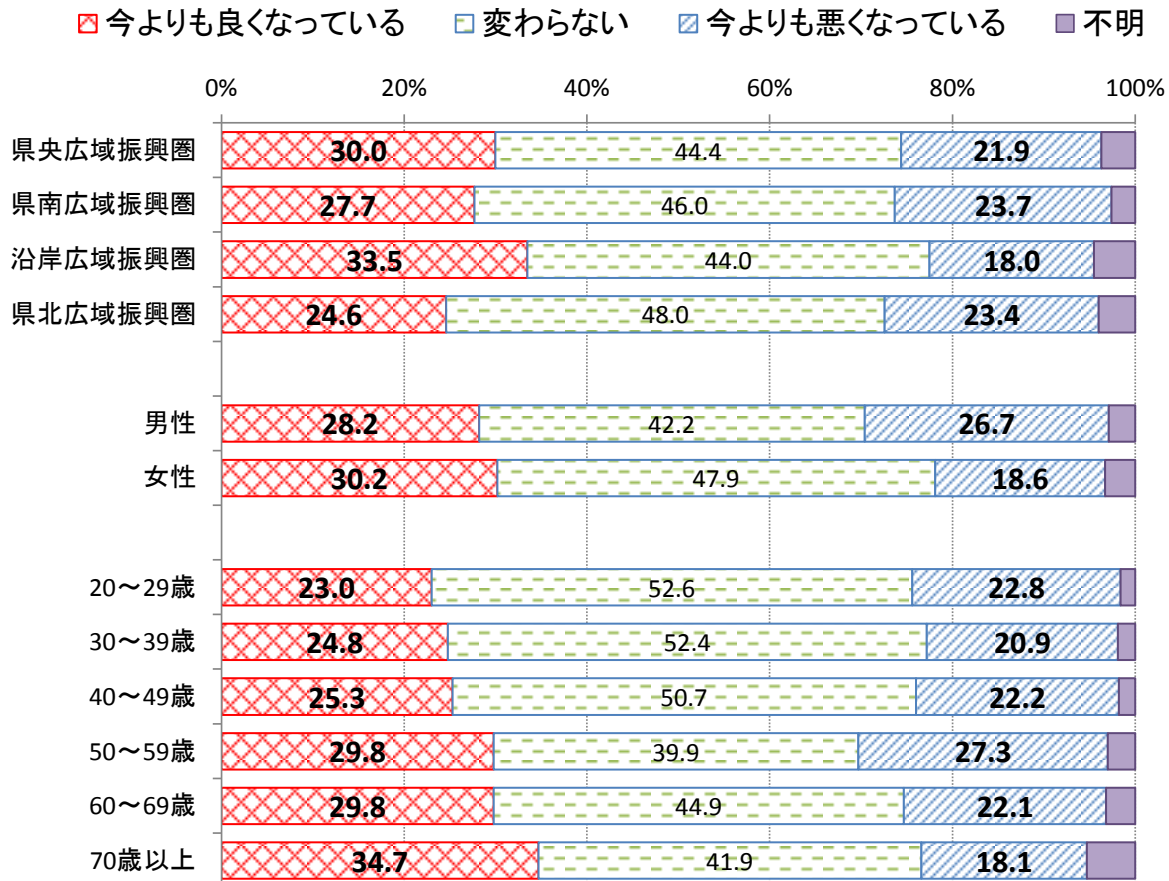
【良くなっていると考える理由(上位3項目)】

内容	割合
地域活力の維持・向上が図られている	42.6%
十分な医療・福祉サービスが受けられる	34.5%
安全・安心な生活が確保されている	34.1%

【悪くなっていると考える理由(上位3項目)】

内容	割合
個人や企業の所得が減少している	56.9%
地域活力が低下している	49.6%
雇用環境が悪化している	43.6%

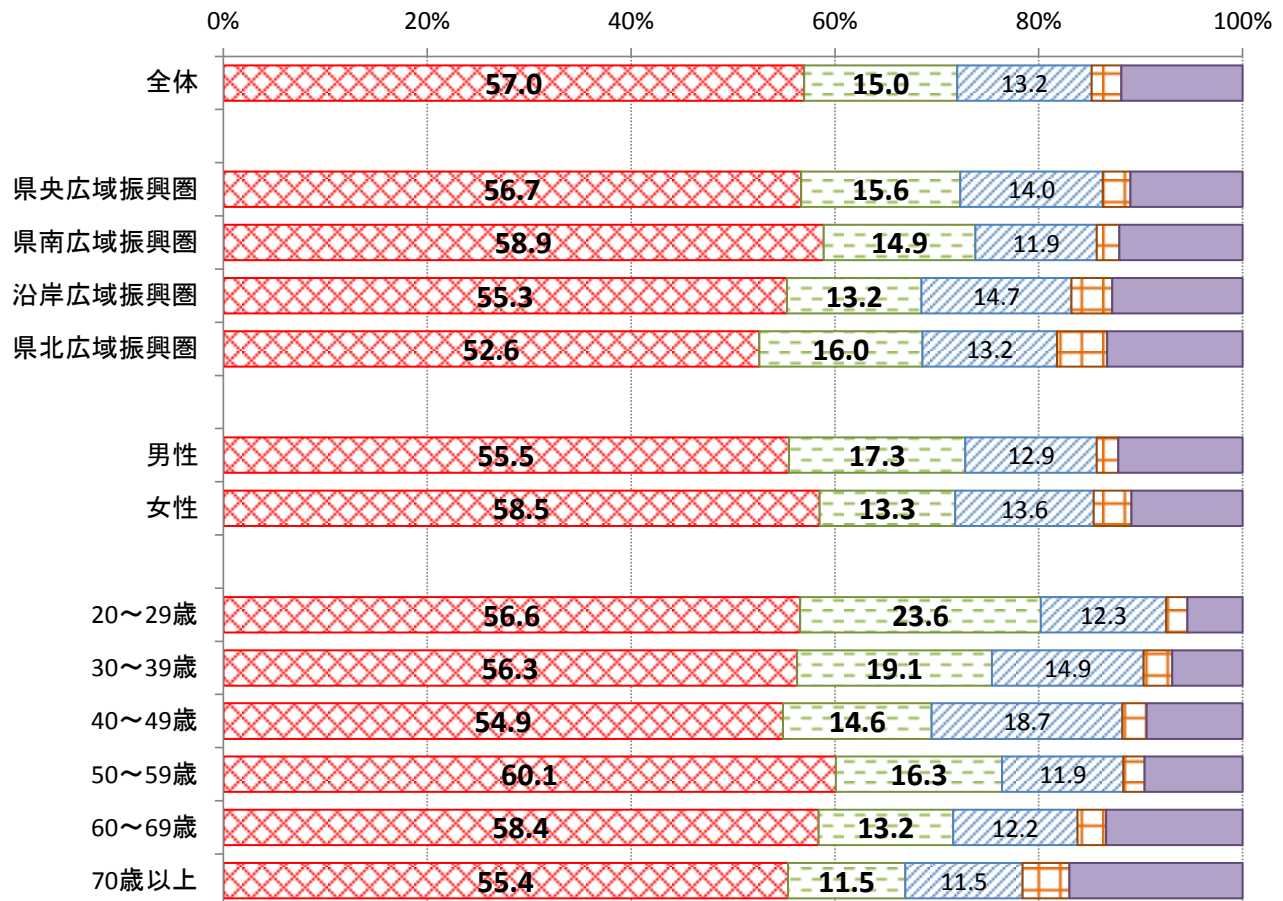
(参考) 広域振興圏別・男女別・年代別集計



問3-2 あなたは今後の生活において、物の豊かさと心の豊かさに関して、どちらに重きをおきたいですか。

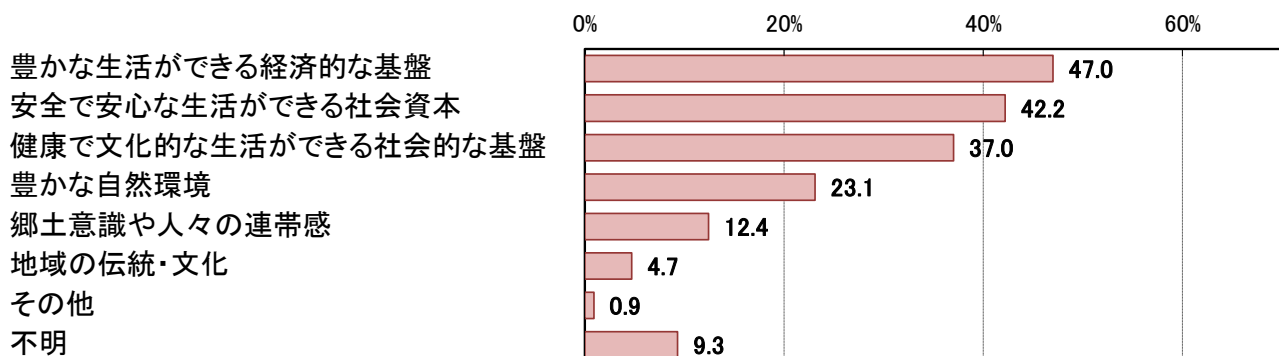
○ 今後の生活において、「心の豊かさやゆとりのある生活をする事」に重きをおきたいと考える人は57.0%となっている一方、「物質的な面で生活を豊かにすること」に重きをおきたいと考えている人は15.0%となっている。

- ☑ 心の豊かさやゆとりある生活をする事
- ☑ 物質的な面で生活を豊かにすること
- ☑ どちらともいえない
- ☑ わからない
- 不明



問3-3 あなたは次の世代に何を残したいですか。(2つまで)

○ 次の世代に残したいものとしては、「豊かな生活ができる経済的な基盤」の割合が最も多く、次いで「安全で安心な生活ができる社会資本」、「健康で文化的な生活ができる社会的な基盤」などの割合が高くなっている。



(参考)問2の各調査項目一覧(満足度、重要度、ニーズ度得点)

7つの政策	No.	項目	重要度	満足度	ニーズ度
①産業・雇用～「産業創造県いわて」の実現～	1	県内経済の活性化	4.142	2.458	1.685
	2	次世代を担う産業人材育成	4.269	2.422	1.847
	3	地域資源を活用した製品開発・販売	4.089	2.748	1.341
	4	魅力ある観光地づくり	4.055	2.711	1.344
	5	商店街のにぎわい	4.208	2.254	1.954
	6	中小企業の経営力の向上	4.247	2.491	1.756
	7	海外での県産品の販路拡大	3.588	2.702	0.886
	8	安定した就職環境	4.623	2.037	2.586
②農林水産業～「食と緑の創造県いわて」の実現～	9	農林水産業の担い手確保	4.253	2.240	2.013
	10	ニーズにあった農林水産物の産地形成	4.108	2.618	1.490
	11	農林水産物のブランド確立	4.176	2.753	1.423
	12	活力ある農山漁村の形成	3.993	2.610	1.383
	13	環境に配慮した農林水産業の経営	4.294	2.593	1.700
③医療・子育て・福祉～「共に生きるいわて」の実現～	14	適切な医療体制	4.819	2.940	1.878
	15	健康に関する相談・指導	4.446	3.126	1.320
	16	安心な子育て環境整備	4.653	2.677	1.976
	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり	4.696	2.572	2.124
④安全・安心～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～	18	充実した地域防災	4.423	3.124	1.300
	19	犯罪への不安の少ない社会づくり	4.681	3.259	1.421
	20	交通事故の少ない社会づくり	4.695	3.089	1.607
	21	消費者トラブルへの適切な相談や支援	4.472	2.955	1.518
	22	購入する食品の安全性に不安を感じない社会	4.626	3.027	1.599
	23	移住や来訪による地域活力向上	4.355	2.807	1.548
	24	市民活動へ参加しやすい社会	3.965	3.144	0.821
	25	地域全体での青少年の健全育成	4.233	3.026	1.207
	26	個性と能力を発揮できる社会の実現	4.146	2.829	1.316
⑤教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～	27	学校と地域との協力	4.397	3.069	1.328
	28	子どもの学力向上に向けた教育	4.410	2.987	1.422
	29	人間性豊かな子どもの育成	4.629	2.968	1.662
	30	子どもの体力向上	4.472	3.179	1.293
	31	全ての子どもが学べる環境	4.463	2.969	1.493
	32	自分に適した内容や方法で学べる環境	4.225	2.923	1.303
	33	大学の地域社会貢献	4.189	2.988	1.201
	34	郷土愛の向上に向けた取組	4.007	3.112	0.894
	35	地域や学校での文化芸術活動	3.956	3.276	0.680
	36	外国人も暮らしやすい地域社会	3.779	2.927	0.852
	37	県出身スポーツ選手の活躍	3.992	3.265	0.727
⑥環境～「環境王国いわて」の実現～	38	地域での温暖化防止の取組	4.455	2.837	1.618
	39	ごみ減量やリサイクルの定着	4.495	3.433	1.062
	40	自然環境を大切に生活	4.568	3.186	1.382
⑦社会資本・公共交通・情報基盤～「いわてを支える基盤」の実現～	41	交通や物流の拠点に通じる道路整備	4.384	3.136	1.247
	42	災害に強く安心して暮らせる県土	4.661	2.648	2.013
	43	生活基盤整備が進んだ生活環境	4.493	2.617	1.876
	44	社会資本の維持管理	4.354	2.779	1.576
	45	公共交通機関の維持・確保	4.453	2.735	1.719
	46	通信ネットワークの活用	3.970	3.189	0.781
平均			4.318	2.857	1.460

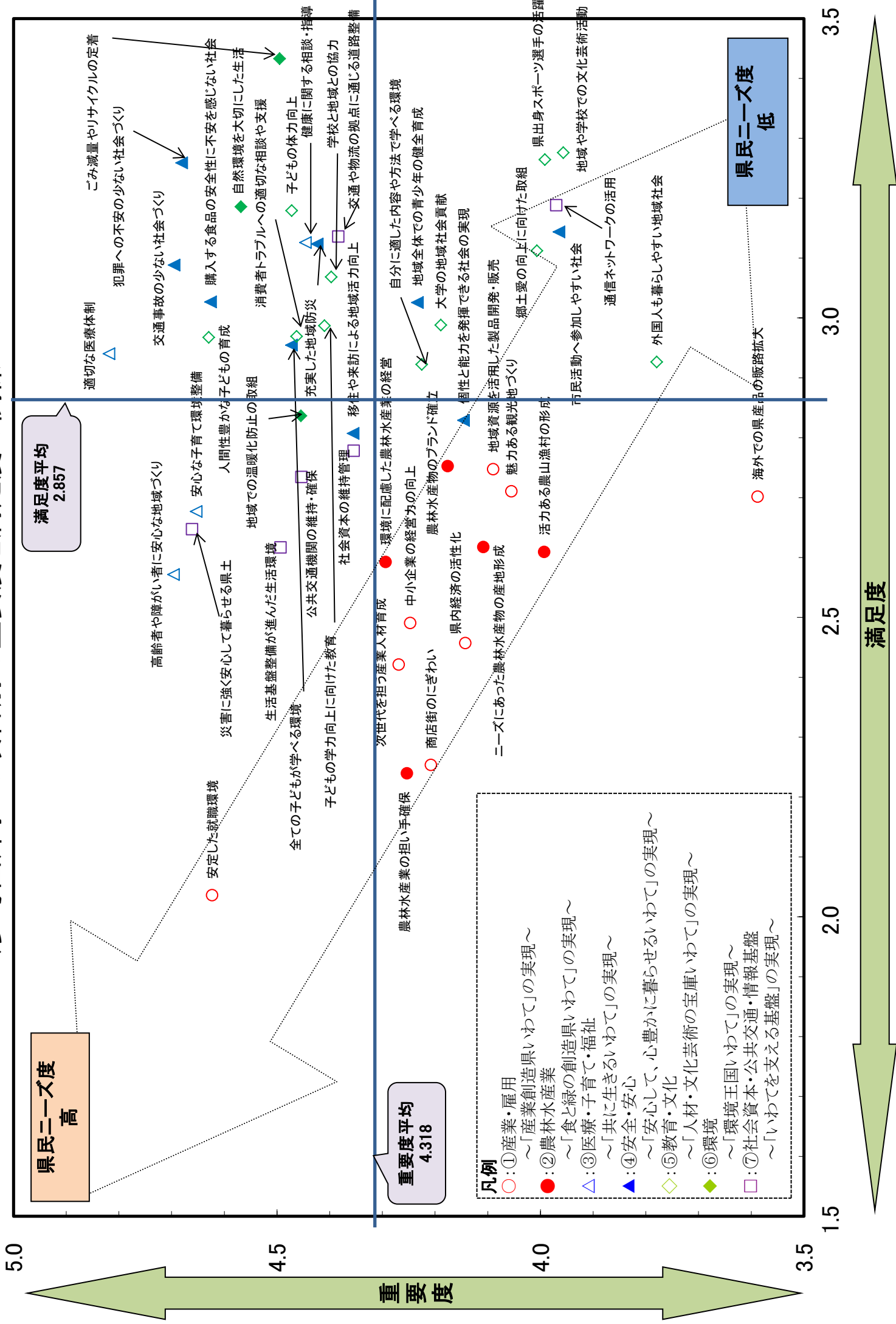
〔用語の説明〕

重要度(平均) : 「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

満足度(平均) : 「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

ニーズ度 : 重要度(平均)－満足度(平均)
(重要度が高く、住民の満足度が低い状態を(行政)ニーズが高いと読む)

(参考図)問2の項目別の重要度と満足度の関係



(参考)問2の各調査項目のニーズ度の高い順

No.	項目名	ニーズ度(=重要度-満足度)				(参考) 上段:重要度 下段:満足度			
		0	1	2	3	1	2	3	4
8	安定した就職環境				2.586		2.037		4.623
17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり				2.124		2.572		4.696
42	災害に強く安心して暮らせる県土				2.013		2.648		4.661
9	農林水産業の担い手確保				2.013		2.240		4.253
16	安心な子育て環境整備				1.976		2.677		4.653
5	商店街のにぎわい				1.954		2.254		4.208
14	適切な医療体制				1.878		2.940		4.819
43	生活基盤整備が進んだ生活環境				1.876		2.617		4.493
2	次世代を担う産業人材育成				1.847		2.422		4.269
6	中小企業の経営力の向上				1.756		2.491		4.247
45	公共交通機関の維持・確保				1.719		2.735		4.453
13	環境に配慮した農林水産業の経営				1.700		2.593		4.294
1	県内経済の活性化				1.685		2.458		4.142
29	人間性豊かな子どもの育成				1.662		2.968		4.629
38	地域での温暖化防止の取組				1.618		2.837		4.455
20	交通事故の少ない社会づくり				1.607		3.089		4.695
22	購入する食品の安全性に不安を感じない社会				1.599		3.027		4.626
44	社会資本の維持管理				1.576		2.779		4.354
23	移住や来訪による地域活力向上				1.548		2.807		4.355
21	消費者トラブルへの適切な相談や支援				1.518		2.955		4.472
31	全ての子どもが学べる環境				1.493		2.969		4.463
10	ニーズにあった農林水産物の産地形成				1.490		2.618		4.108
11	農林水産物のブランド確立				1.423		2.753		4.176
28	子どもの学力向上に向けた教育				1.422		2.987		4.410
19	犯罪への不安の少ない社会づくり				1.421		3.259		4.681
12	活力ある農山漁村の形成				1.383		2.610		3.993
40	自然環境を大切に生活				1.382		3.186		4.568
4	魅力ある観光地づくり				1.344		2.711		4.055
3	地域資源を活用した製品開発・販売				1.341		2.748		4.089
27	学校と地域との協力				1.328		3.069		4.397
15	健康に関する相談・指導				1.320		3.126		4.446
26	個性と能力を発揮できる社会の実現				1.316		2.829		4.146
32	自分に適した内容や方法で学べる環境				1.303		2.923		4.225
18	充実した地域防災				1.300		3.124		4.423
30	子どもの体力向上				1.293		3.179		4.472
41	交通や物流の拠点に通じる道路整備				1.247		3.136		4.384
25	地域全体での青少年の健全育成				1.207		3.026		4.233
33	大学の地域社会貢献				1.201		2.988		4.189
39	ごみ減量やりサイクルの定着				1.062		3.433		4.495
34	郷土愛の向上に向けた取組				0.894		3.112		4.007
7	海外での県産品の販路拡大				0.886		2.702		3.588
36	外国人も暮らしやすい地域社会				0.852		2.927		3.779
24	市民活動へ参加しやすい社会				0.821		3.144		3.965
46	通信ネットワークの活用				0.781		3.189		3.970
37	県出身スポーツ選手の活躍				0.727		3.265		3.992
35	地域や学校での文化芸術活動				0.680		3.276		3.956

居住地（広域振興圏）別
男女別
年代別
集計結果
（問1、問2、問3）

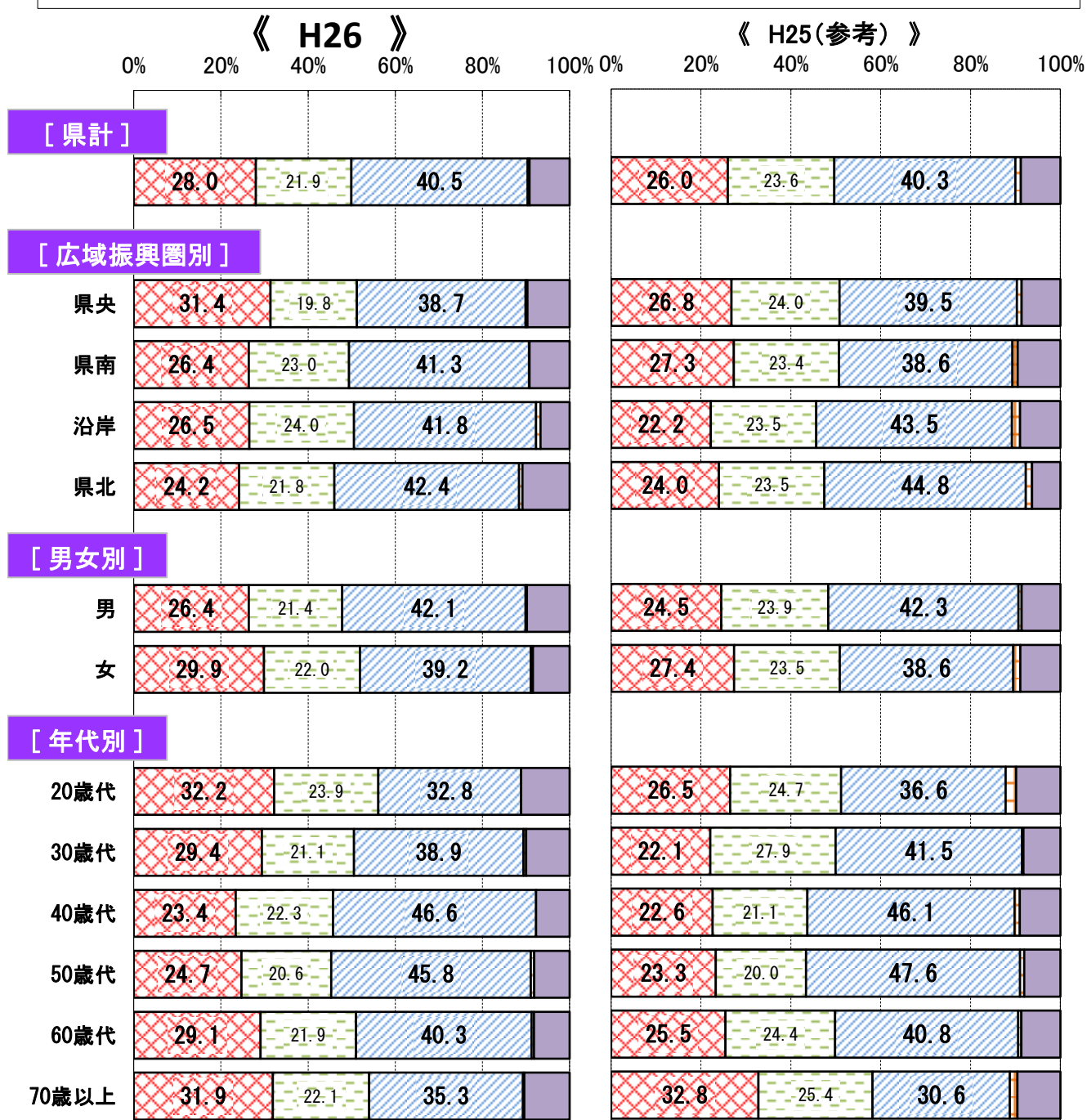
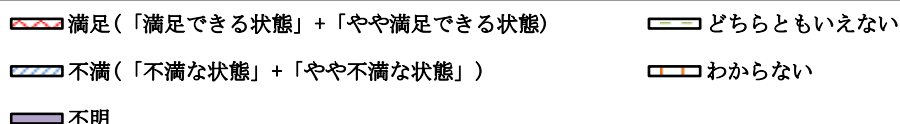
調査項目一覧

	頁
問1 今の生活全般について、どのように感じていますか。	13
問2 「あなたの重要度」と「あなたの満足度」についてお聞きします。	
①産業・雇用 ～「産業創造県いわて」の実現～	
問2-1 新しい工場や事業所ができ、県内経済が活性化していること。	16
問2-2 次の時代の地域の商業やサービス業、製造業などを担う人材が育っていること。	18
問2-3 地域の農林水産資源や技術を生かした加工食品や木製品が開発され、販売されていること。	20
問2-4 魅力ある観光地づくりに、地域で取り組まれていること。	22
問2-5 身近な商店街が、住民に利用され、にぎわっていること。	24
問2-6 中小企業が、人材や技術力、商品、サービスなどを強化して経営力の向上を図り、更に成長・発展していること。	26
問2-7 海外における県産品の販路の拡大が図られること。	28
問2-8 県内に職を求めの人が希望どおりに就職できること。	30
②農林水産業 ～「食と緑の創造県いわて」の実現～	
問2-9 地域の農林水産業の担い手が確保されていること。	32
問2-10 消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されること。	34
問2-11 本県農林水産物がブランドとして確立され、販路が拡大していること。	36
問2-12 都市との交流などにより活力ある農山漁村が形成されていること。	38
問2-13 地球温暖化防止や生態系の維持など環境に配慮した農林水産業が営まれていること。	40
③医療・子育て・福祉 ～「共に生きるいわて」の実現～	
問2-14 必要な医療を適切に受けられること。	42
問2-15 病気の予防や健康づくりを行うために、相談、指導を受けられること。	44
問2-16 安心して子どもを生み育てられ、子育てがしやすい環境であること。	46
問2-17 高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会であること。	48
④安全・安心 ～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～	
問2-18 地域の防災体制が、住民の協力により整っていること。	50
問2-19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。	52
問2-20 交通事故が少ない社会であること。	54
問2-21 悪質商法、架空請求、多重債務などの消費者トラブルについて、適切な相談や支援を受けられる社会であること。	56
問2-22 購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない社会であること。	58
問2-23 岩手に移り住む人や岩手を訪れる人が増え、地域に活力が生まれていること。	60
問2-24 だれもが市民活動に参加できる社会であること。	62
問2-25 地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。	64
問2-26 女性も男性も社会のあらゆる分野に等しく参画し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。	66
⑤教育・文化 ～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～	
問2-27 学校が、学力や体力の向上などの目標に向かって、家庭や地域と一緒に取り組んでいること。	68
問2-28 子どもたちの学力が向上する教育がされていること。	70
問2-29 子どもたちが、自分の良さを知り、人を思いやる心を持つなど、人間性豊かに育っていること。	72
問2-30 子どもたちが、スポーツや運動に取り組むことによって、体力の向上や心身の健康の保持が図られること。	74
問2-31 学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。	76
問2-32 学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境にあること。	78
問2-33 県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。	80
問2-34 郷土の歴史遺産や伝統文化に、誇りや愛着を持てるような取り組みがされていること。	82
問2-35 地域や学校などで文化芸術（芸術、祭り、行事など）の鑑賞や活動が活発に行われていること。	84
問2-36 外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい地域社会であること。	86
問2-37 スポーツの国際大会や国内外の各種大会において本県選手が活躍していること。	88
⑥環境 ～「環境王国いわて」の実現～	
問2-38 地球温暖化防止のため、環境にやさしい再生可能エネルギーの利用や省エネルギーなど二酸化炭素等の排出量削減の取り組みが各地域で活発に行われていること。	90
問2-39 ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル（資源ごみの分別など）が定着していること。	92
問2-40 大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動植物を大切にしながら生活していること。	94
⑦社会資本・公共交通・情報基盤 ～「いわてを支える基盤」の実現～	
問2-41 高速道路をはじめ、インターチェンジや新幹線駅、港湾、空港などの交通や物流の拠点に通じる道路が整備されていること。	96
問2-42 防災施設の整備等が進み、地震や津波、洪水、土砂災害による被害を受けにくい、安心して暮らせる県土であること。	98
問2-43 道路や下水道などの生活基盤の整備や歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化などが進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。	100
問2-44 道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。	102
問2-45 鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。	104
問2-46 携帯電話やインターネットなどの情報通信ネットワークが暮らしや仕事に生かされていること。	106
問3 [いわて県民計画]の推進に生かしていくために、お聞きします。	
問3-1 (1) あなたは概ね5年後の岩手県がどのようになっていると考えますか。	108
問3-1 (2) 「今よりも良くなっている」と考えた理由に近いものはどれですか。	110
問3-1 (3) 「今よりも悪くなっている」と考えた理由に近いものはどれですか。	112
問3-2 今後の生活において、物の豊かさや心の豊かさに関して、あなたのお考えに近いものはどれですか。	114
問3-3 あなたは次の世代に何を残したいですか。	115

問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

前回と比べて満足度の割合は若干上昇

- 広域振興圏別にみると、県央、沿岸及び県北で満足(「満足」+「やや満足」)の割合が上昇し、県南で不満(「不満」+「やや不満」)の割合が増加している。
- 男女別にみると、男性は満足(「満足」+「やや満足」)の割合が上昇しており、女性は満足(「満足」+「やや満足」)及び不満(「不満」+「やや不満」)の割合がともに増加している。
- 年代別にみると、満足(「満足」+「やや満足」)の割合は70歳以上を除く全ての年代で上昇しており、また、不満(「不満」+「やや不満」)の割合は40歳代及び70歳以上を除く全ての年代で減少している。



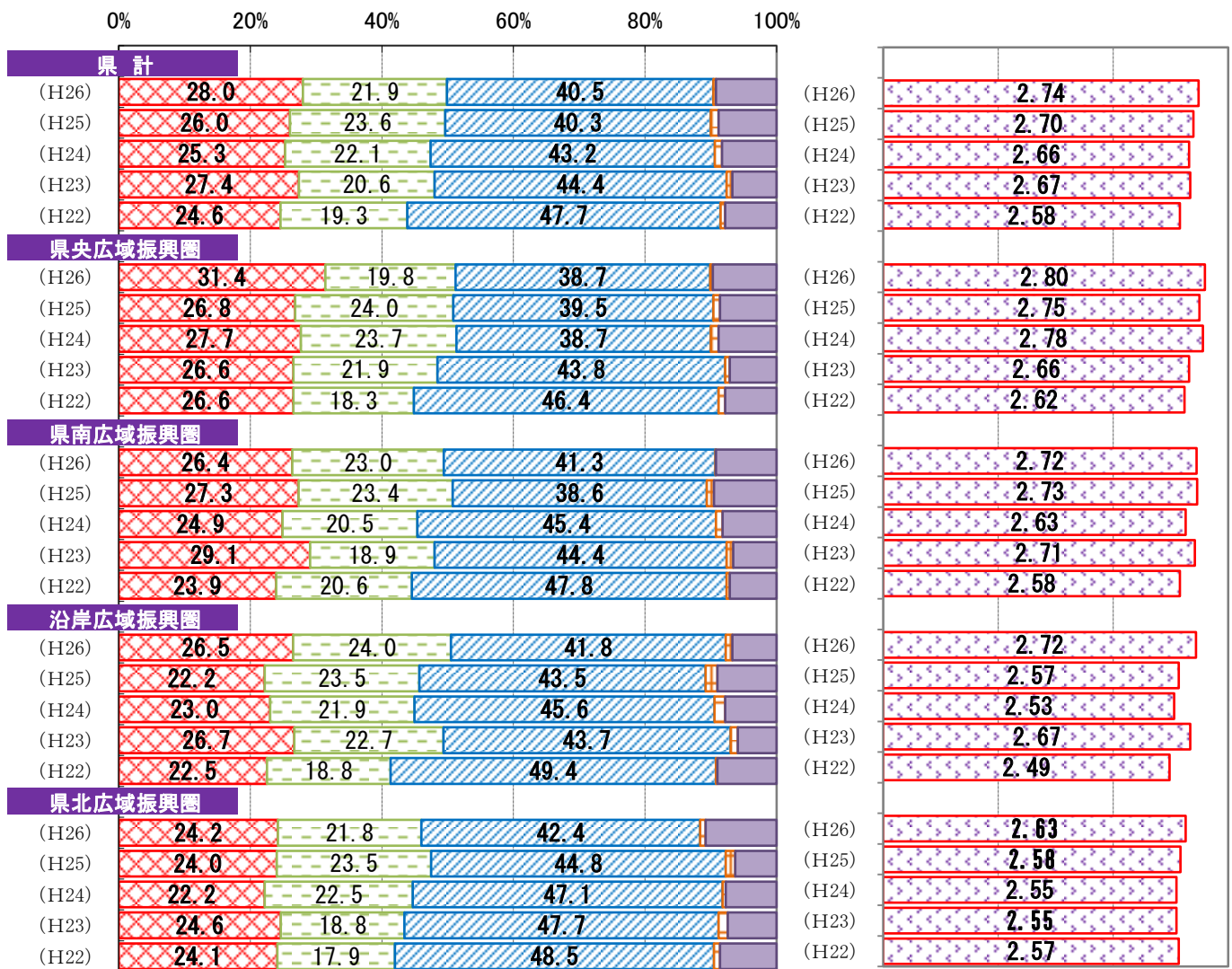
(広域振興圏別・男女別・年代別の回答内訳及び満足度平均(5カ年分))

<回答内訳>

- 満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
- どちらともいえない
- 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
- わからない
- 不明

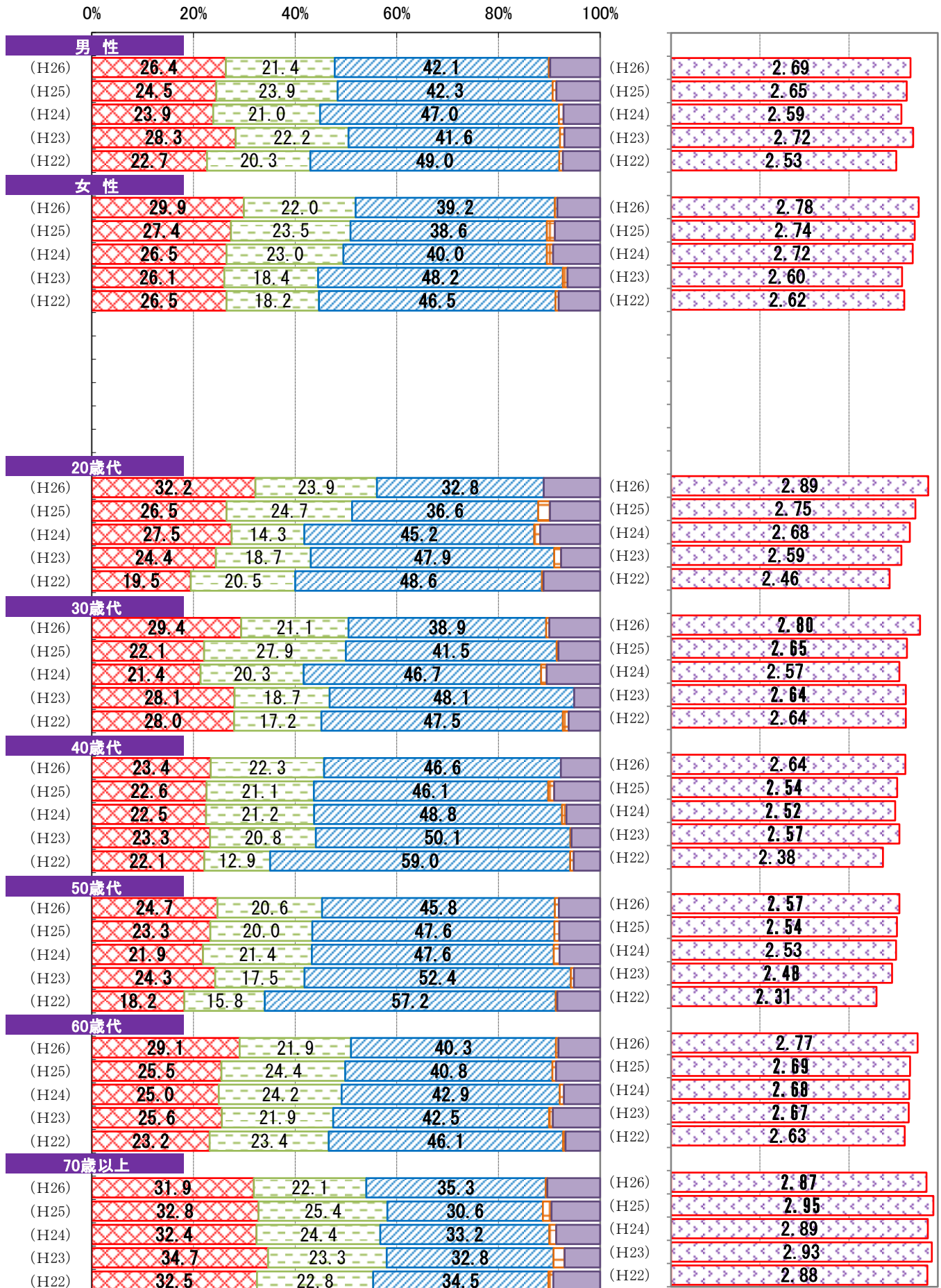
<満足度平均>

「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。



<回答内訳>

<満足度平均>

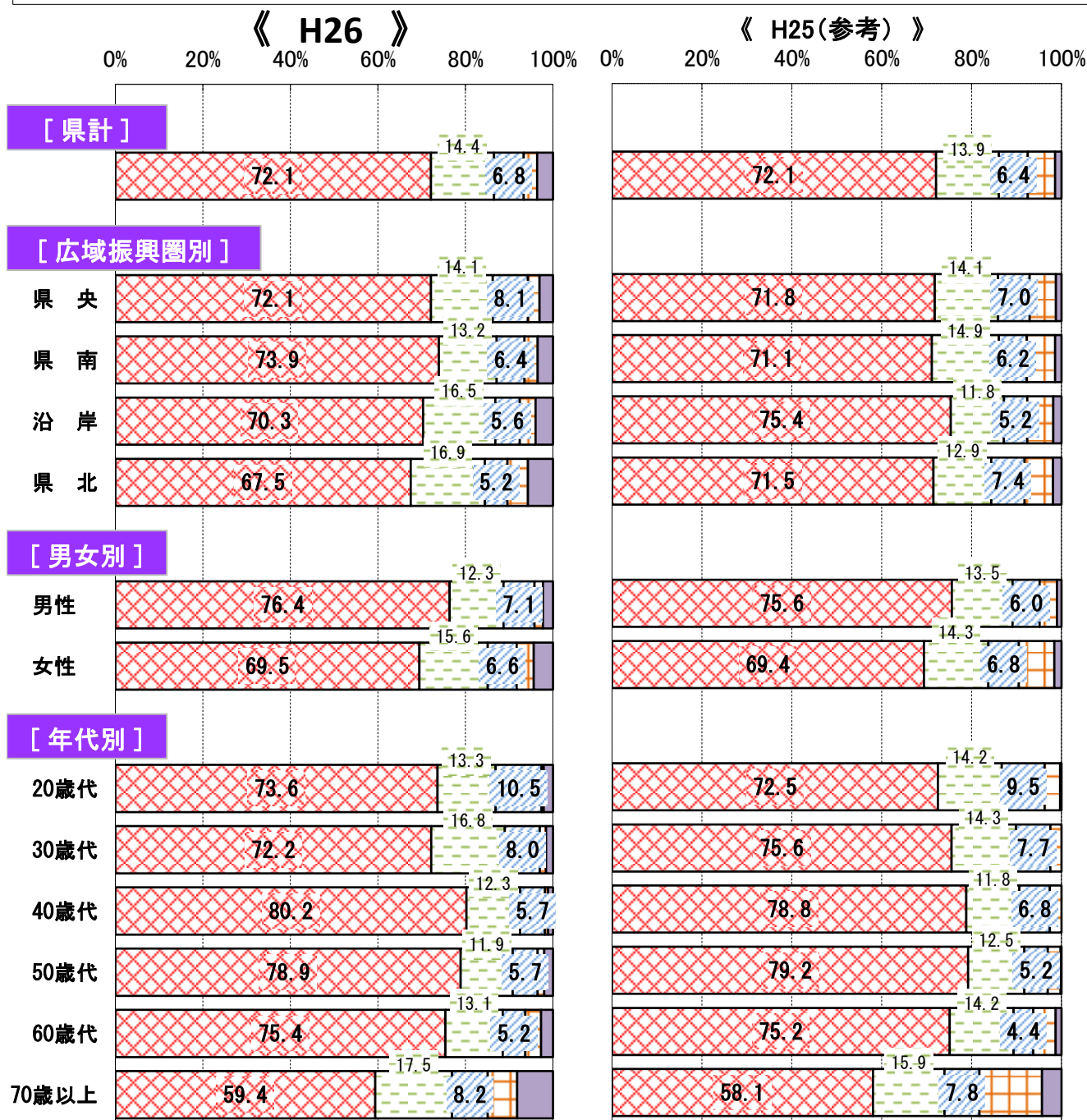
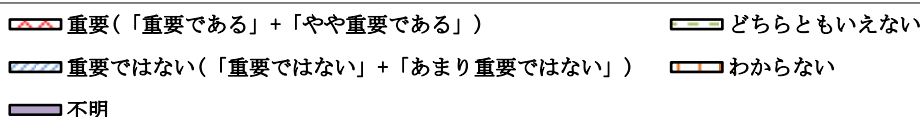


問2-1 新しい工場や事業所ができ、県内経済が活性化していること。

(1) 重要度について

重要が7割強(72.1%)

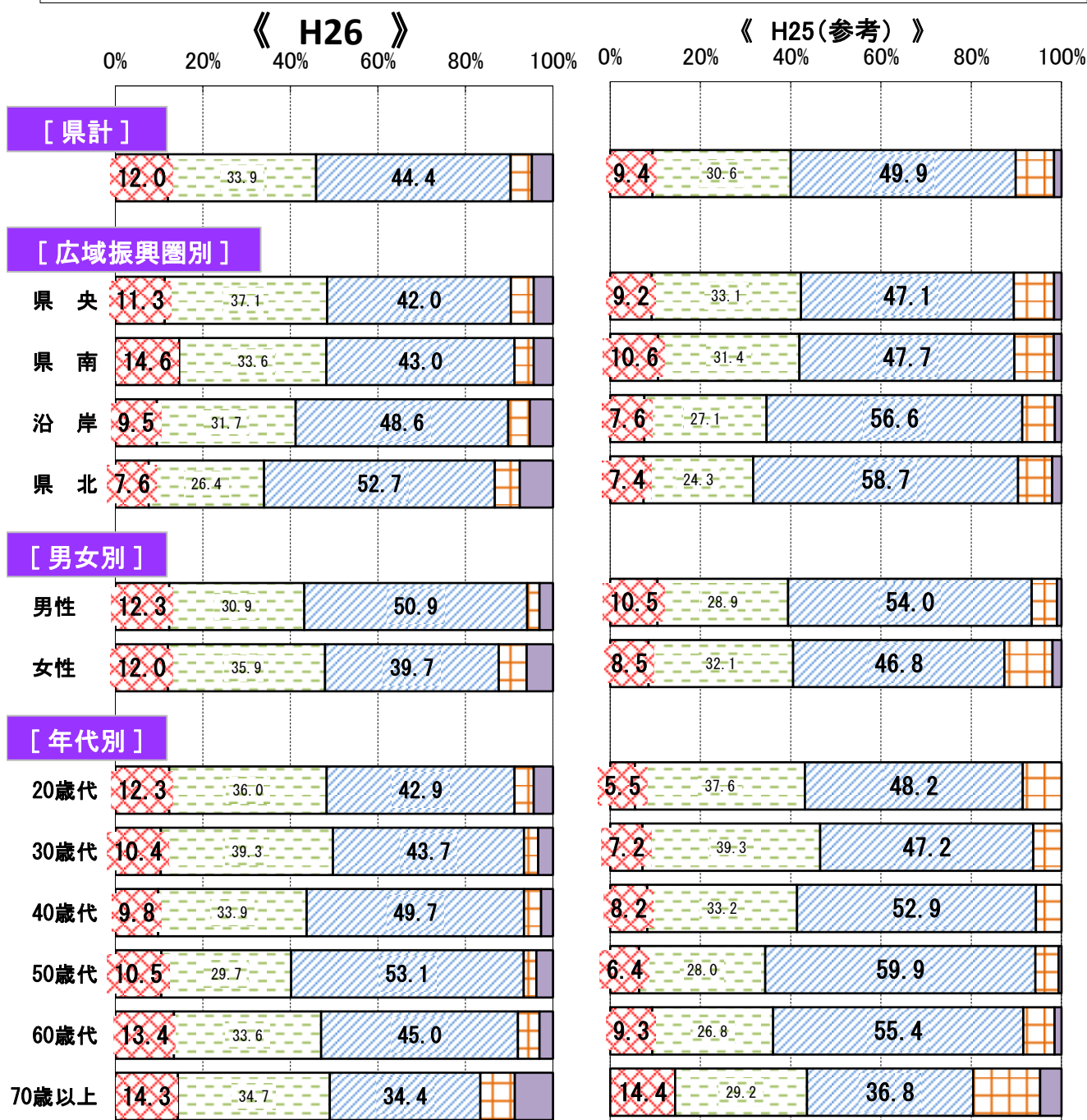
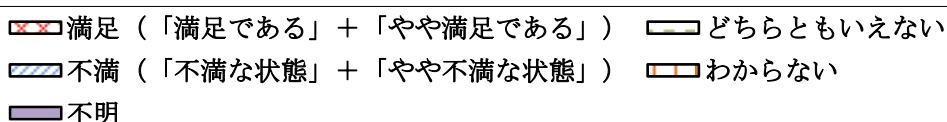
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が72.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が6.8%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県南の73.9%、最も低いのが県北の67.5%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が12.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合44.4%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(14.6%)、年代別では70歳以上(14.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

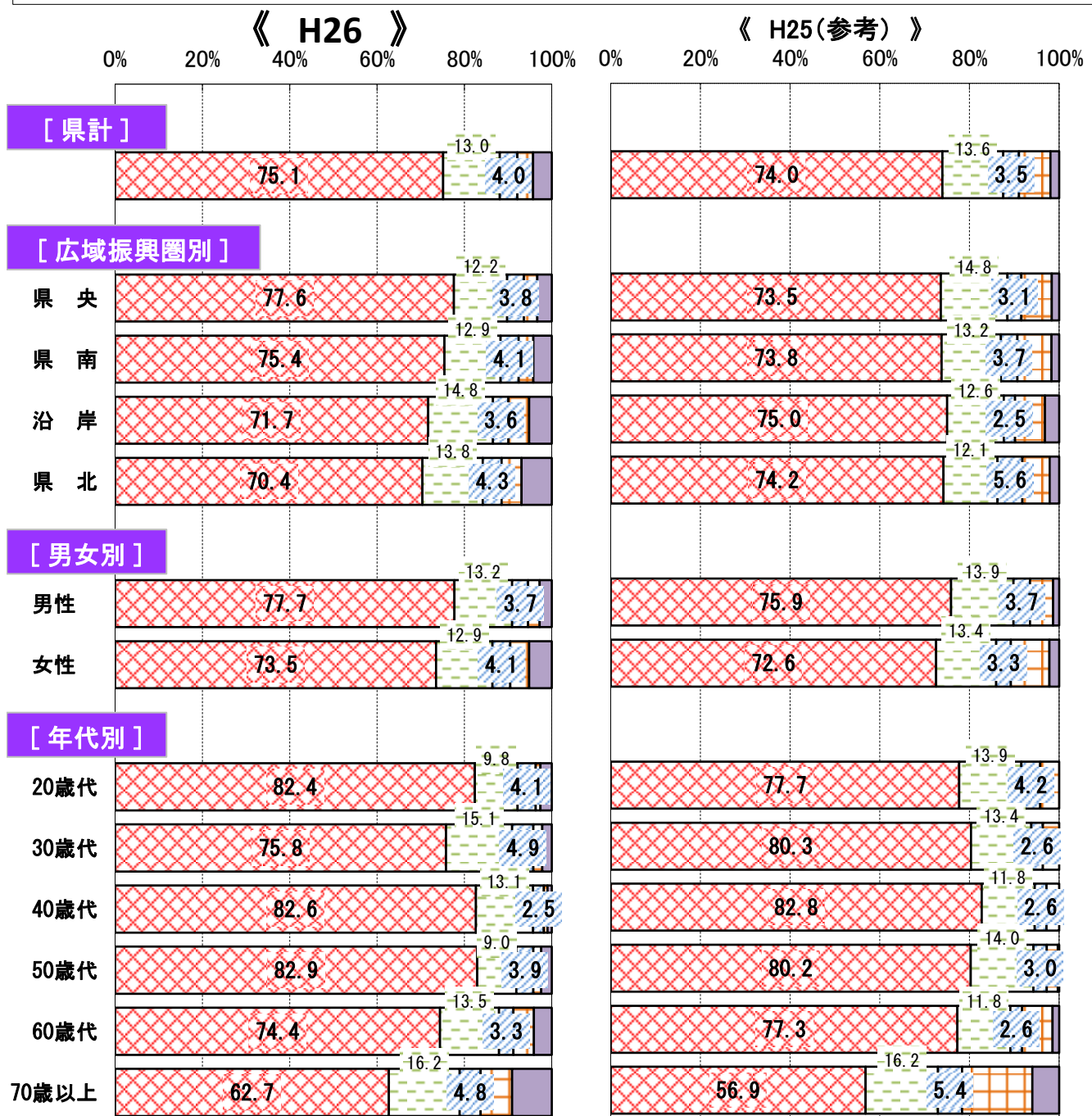
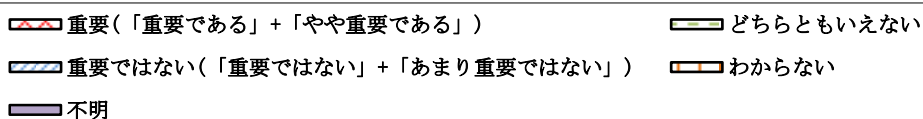


問2-2 次の時代の地域の商業やサービス業、製造業などを担う人材が育っていること。

(1) 重要度について

重要が約75% (75.1%)

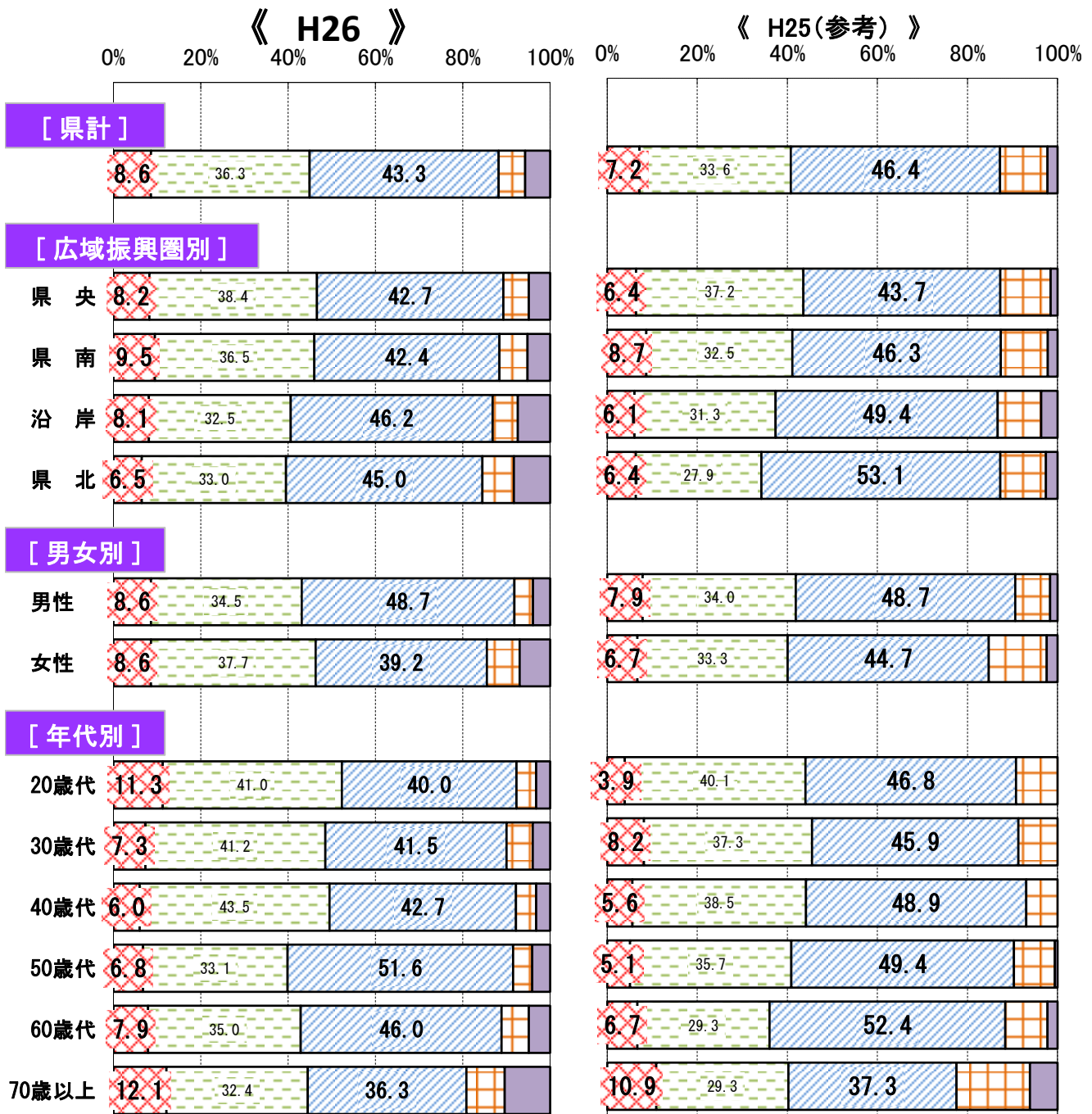
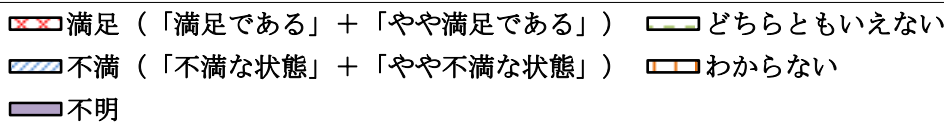
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が75.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が4.0%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の77.6%、最も低いのが県北の70.4%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が8.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合43.3%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(9.5%)、年代別では70歳以上(12.1%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

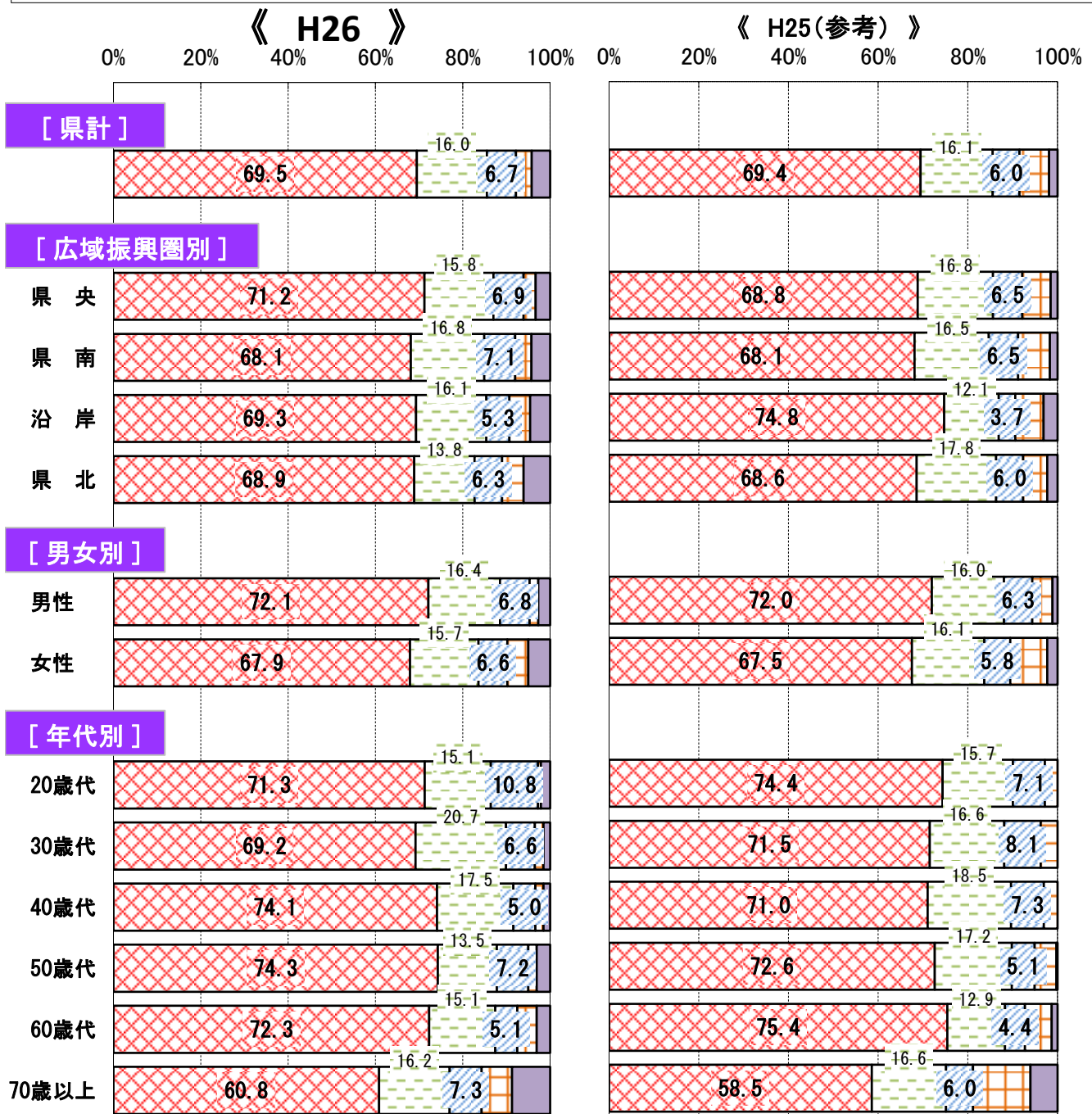
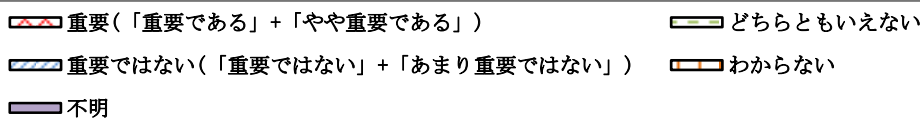


問2-3 地域の農林水産資源や技術を生かした加工食品や木製品が開発され、販売されていること。

(1) 重要度について

重要が約7割(69.5%)

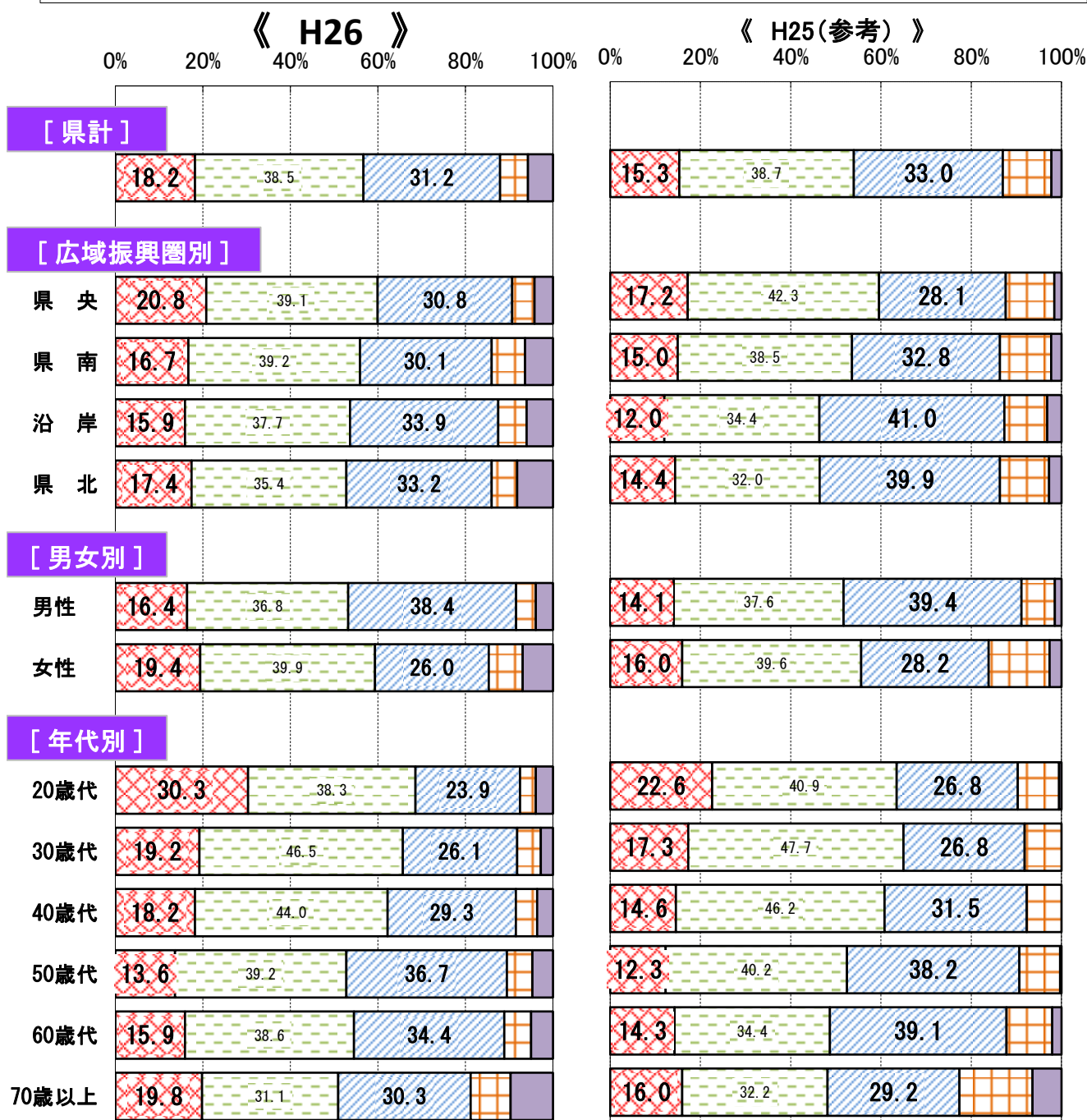
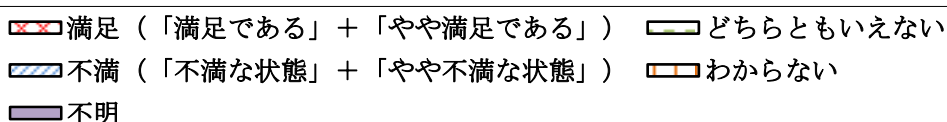
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が69.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が6.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の71.2%、最も低いのが県南の68.1%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が18.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合31.2%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(20.8%)、男女別では女性(19.4%)、年代別では20歳代(30.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

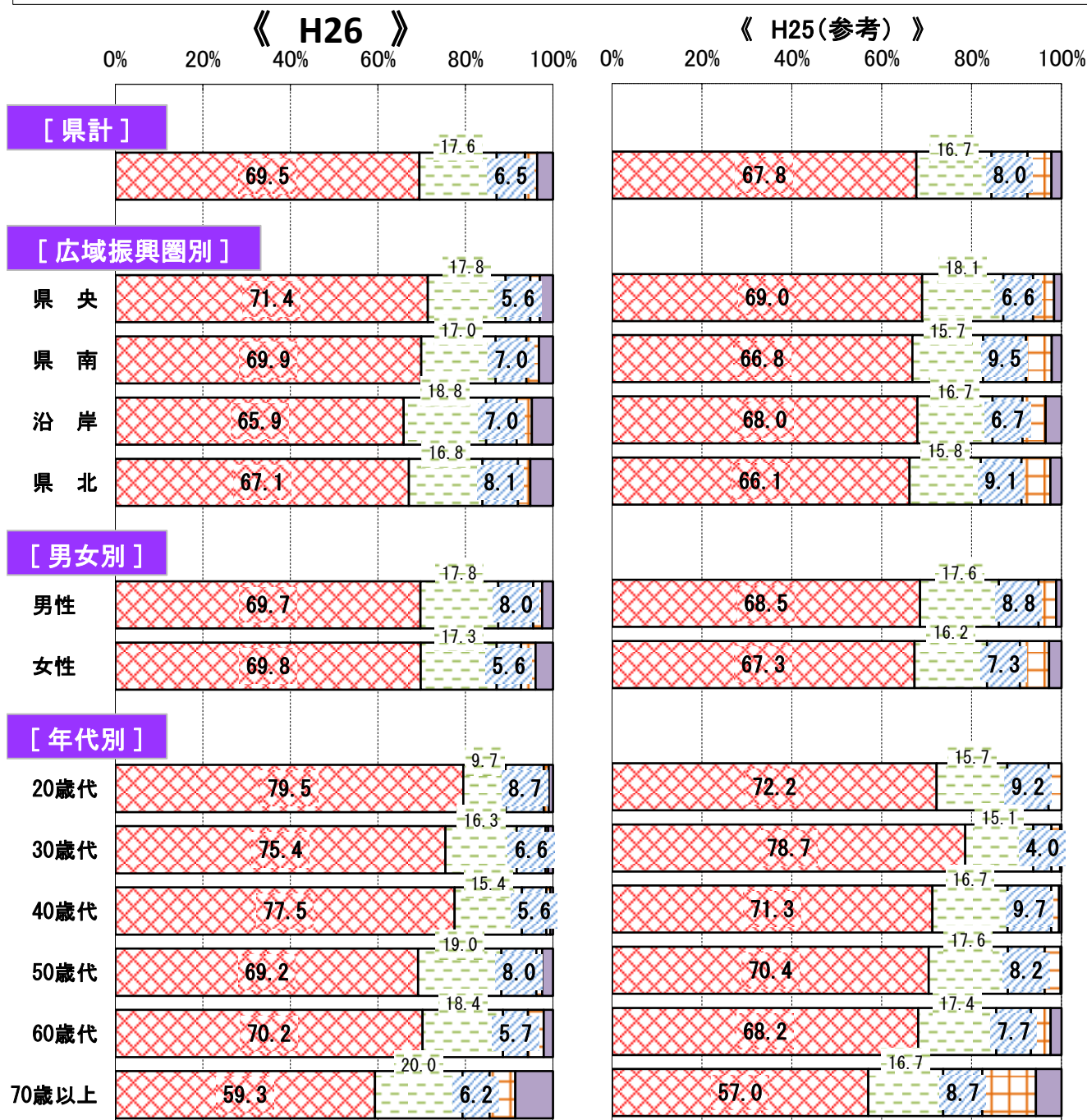
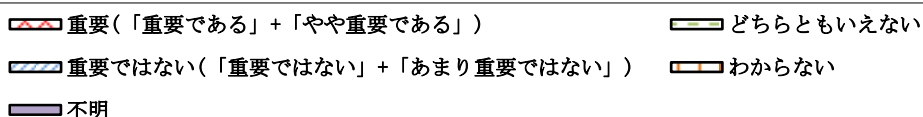


問2-4 魅力ある観光地づくりに、地域で取り組まれていること。

(1) 重要度について

重要が約7割(69.5%)

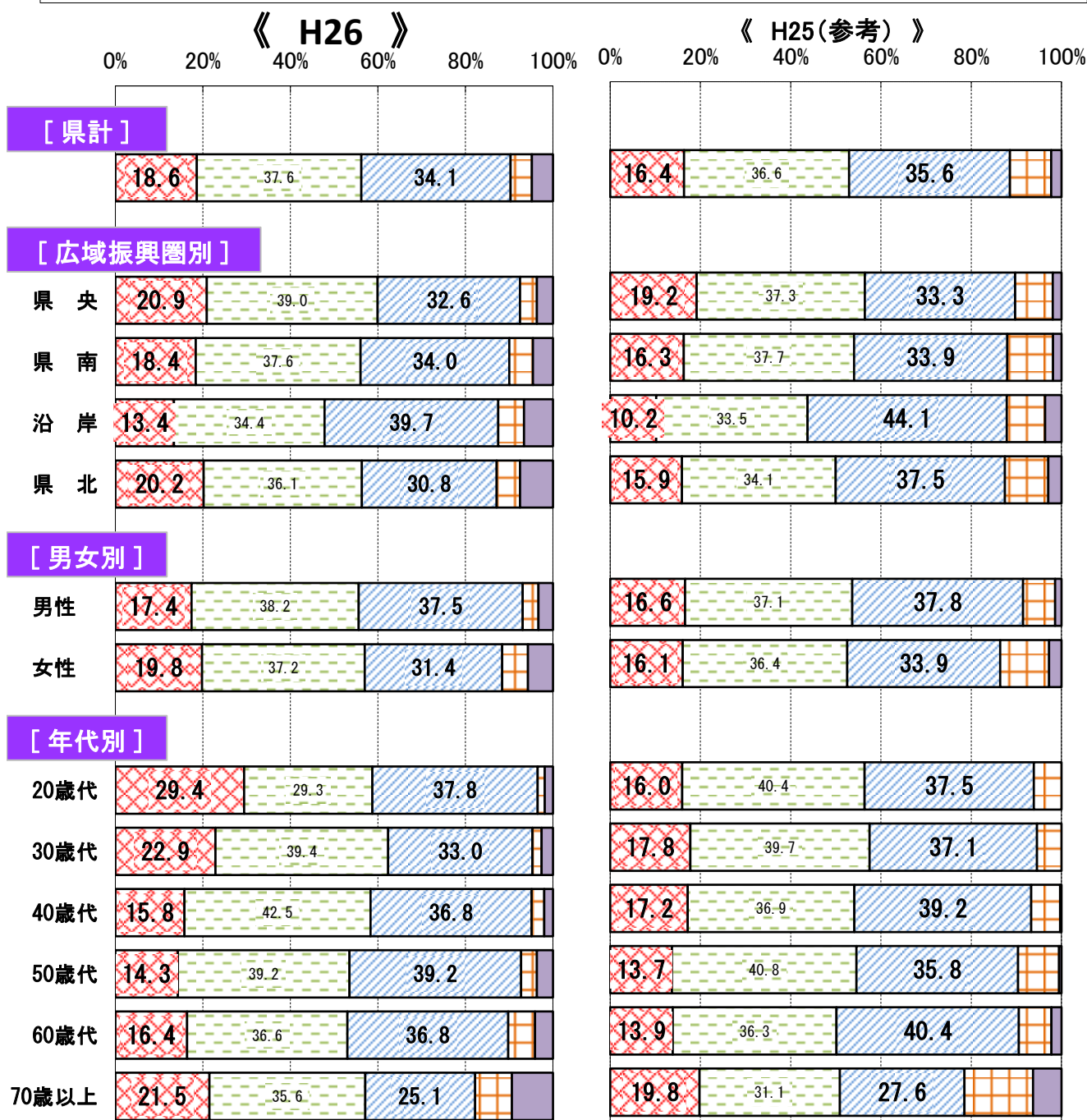
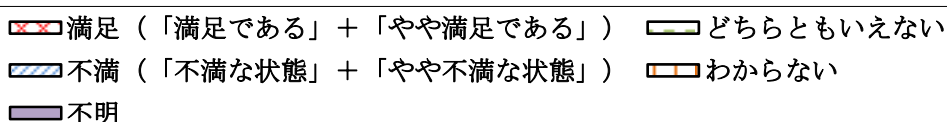
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が69.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が6.5%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の71.4%、最も低いのが沿岸の65.9%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が18.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合34.1%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(20.9%)、男女別では女性(19.8%)、年代別では20歳代(29.4%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

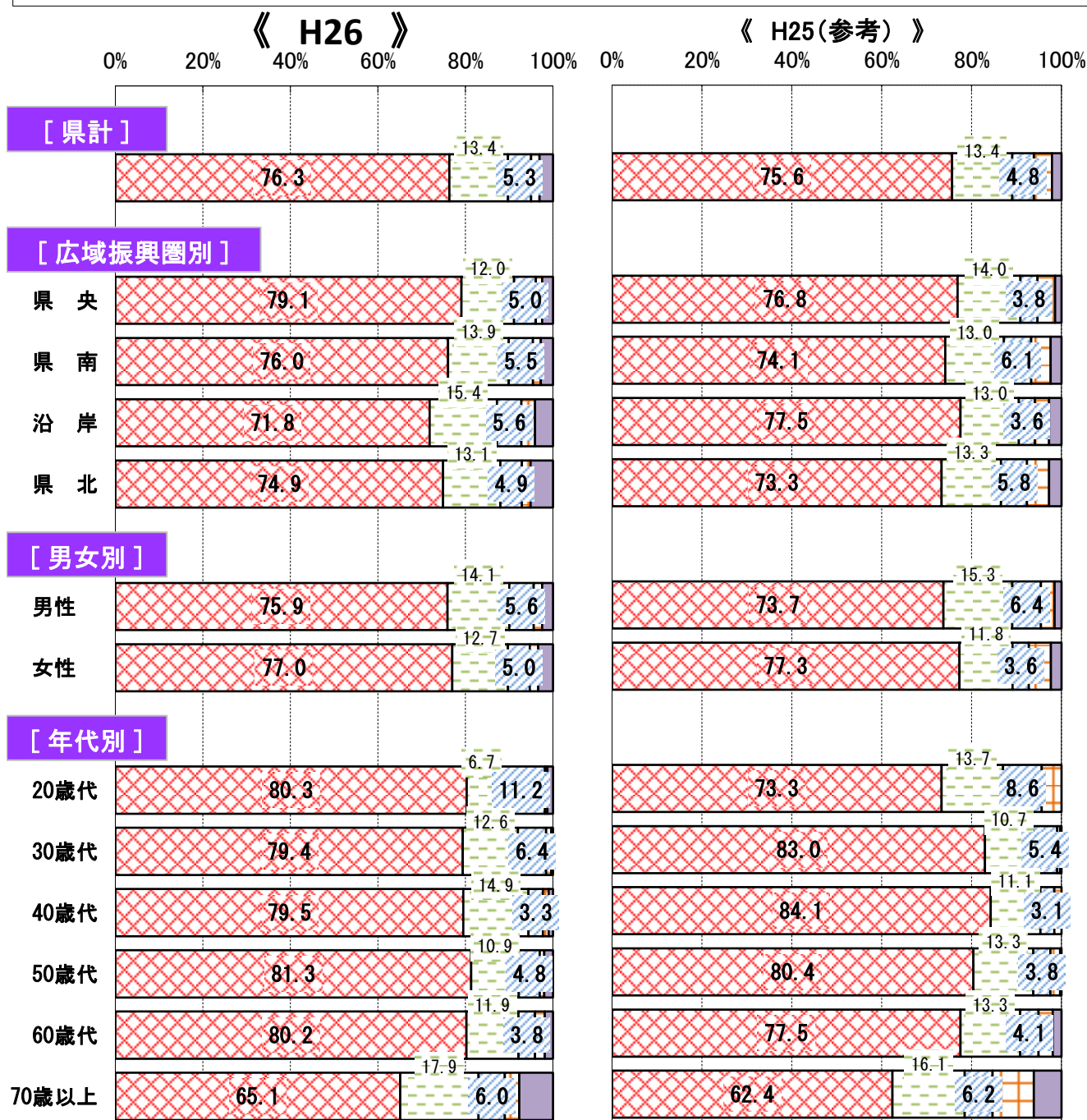
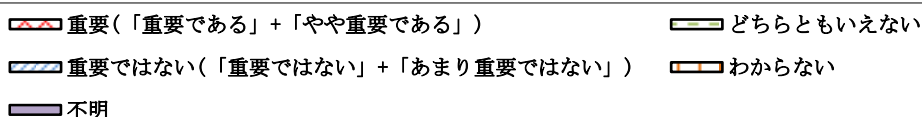


問2-5 身近な商店街が、住民に利用され、にぎわっていること。

(1) 重要度について

重要が8割弱(76.3%)

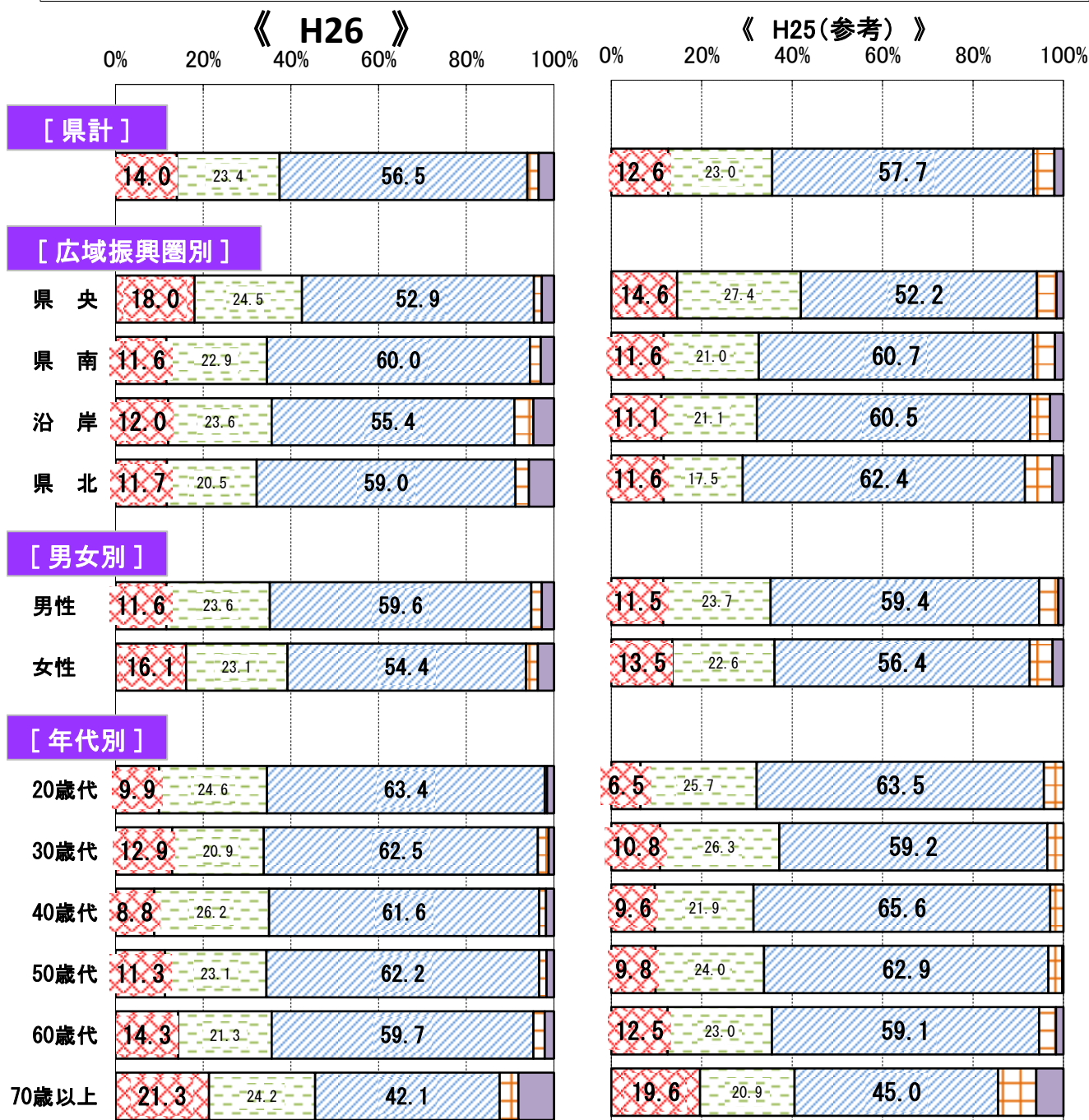
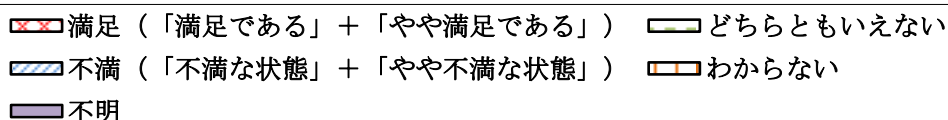
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が76.3%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が5.3%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の79.1%、最も低いのが沿岸の71.8%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が14.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合56.5%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(18.0%)、男女別では女性(16.1%)、年代別では70歳以上(21.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

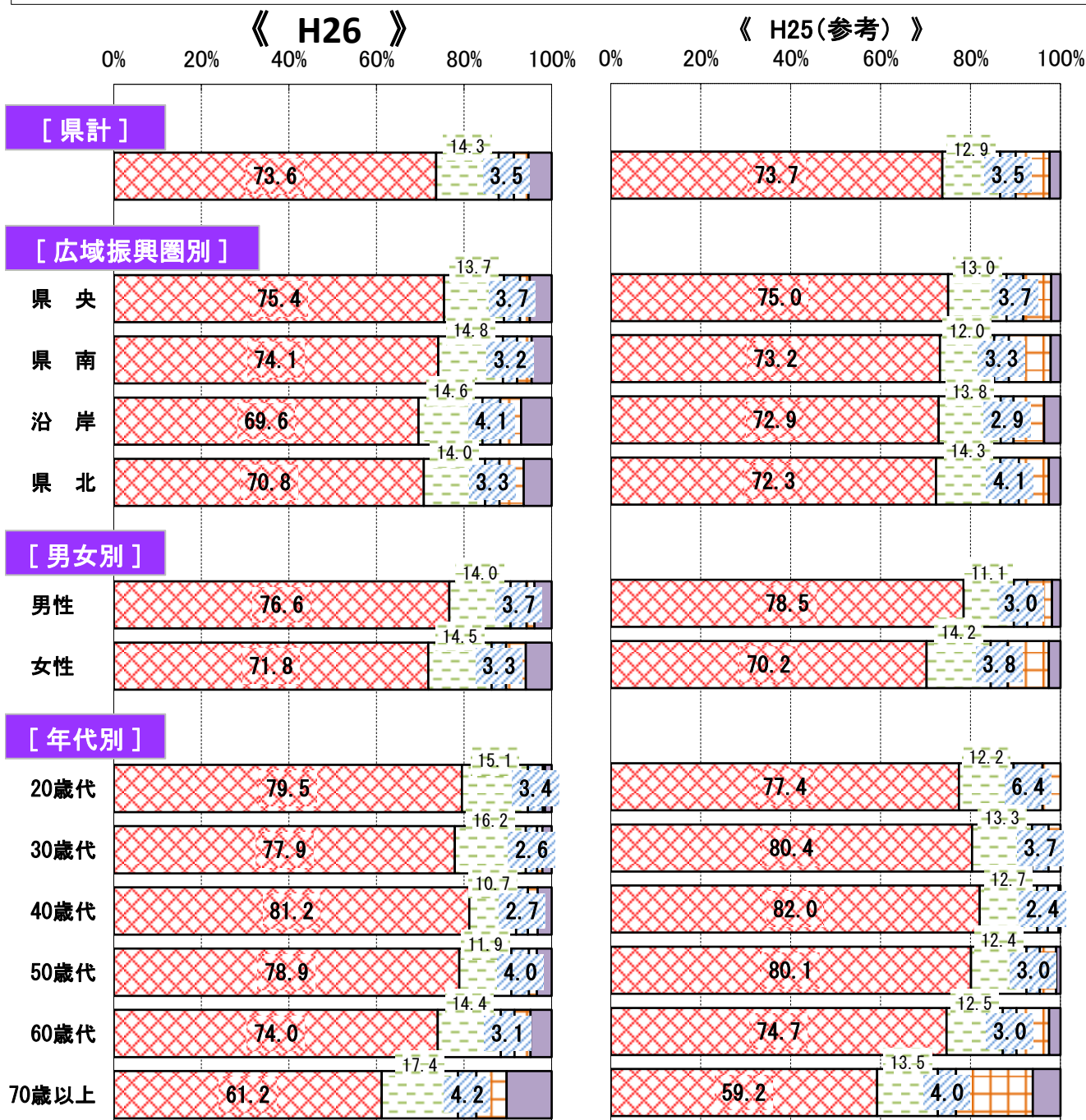
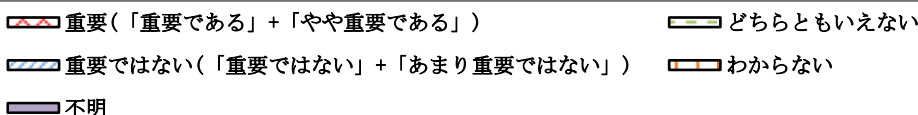


問2-6 中小企業が、人材や技術力、商品、サービスなどを強化して経営力の向上を図り、更に成長・発展していること。

(1) 重要度について

重要が7割強(73.6%)

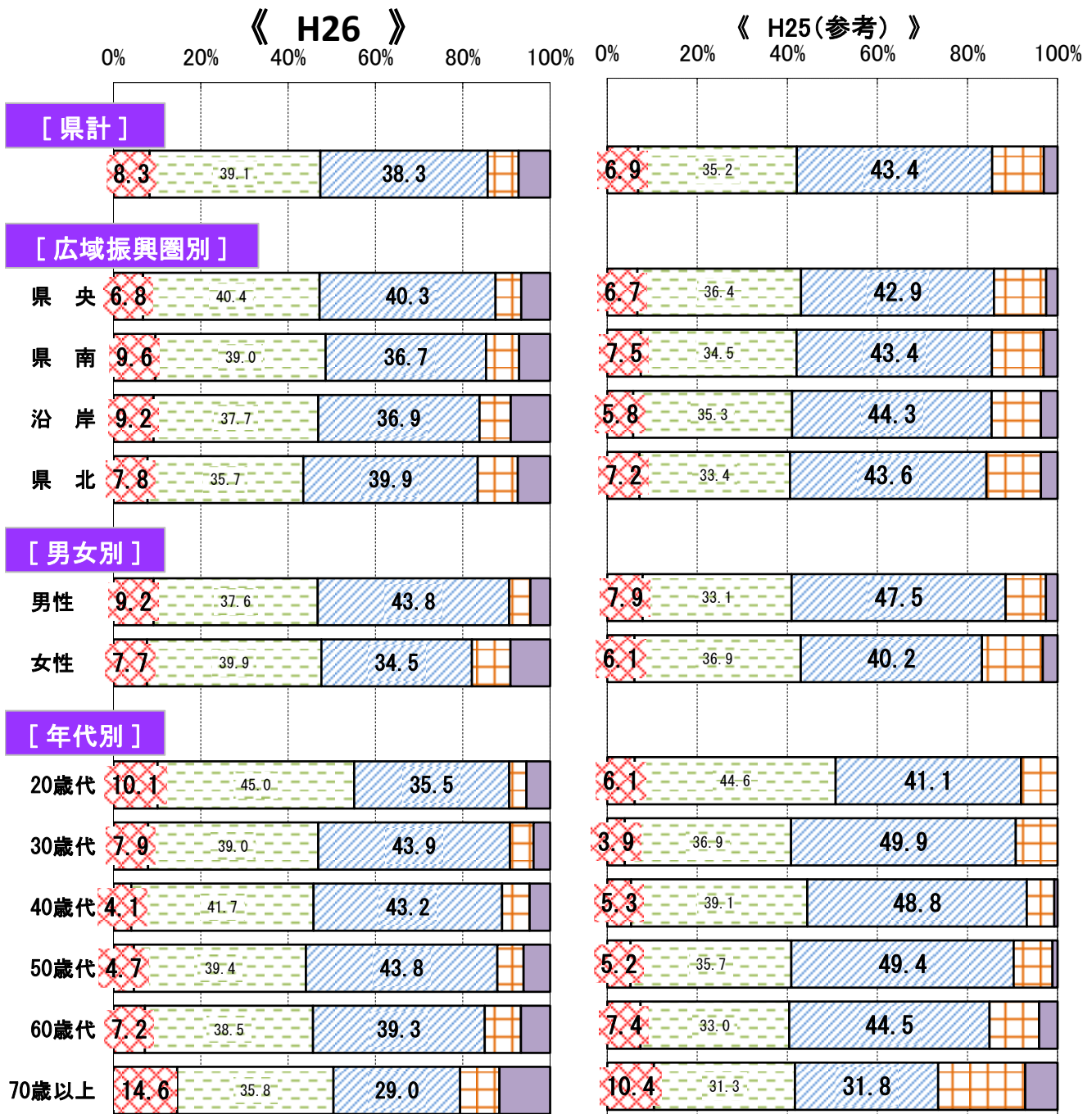
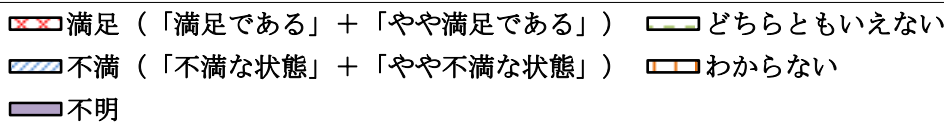
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が73.6%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.5%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の75.4%、最も低いのが沿岸の69.6%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が8.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合38.3%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(9.6%)、男女別では男性(9.2%)、年代別では70歳以上(14.6%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

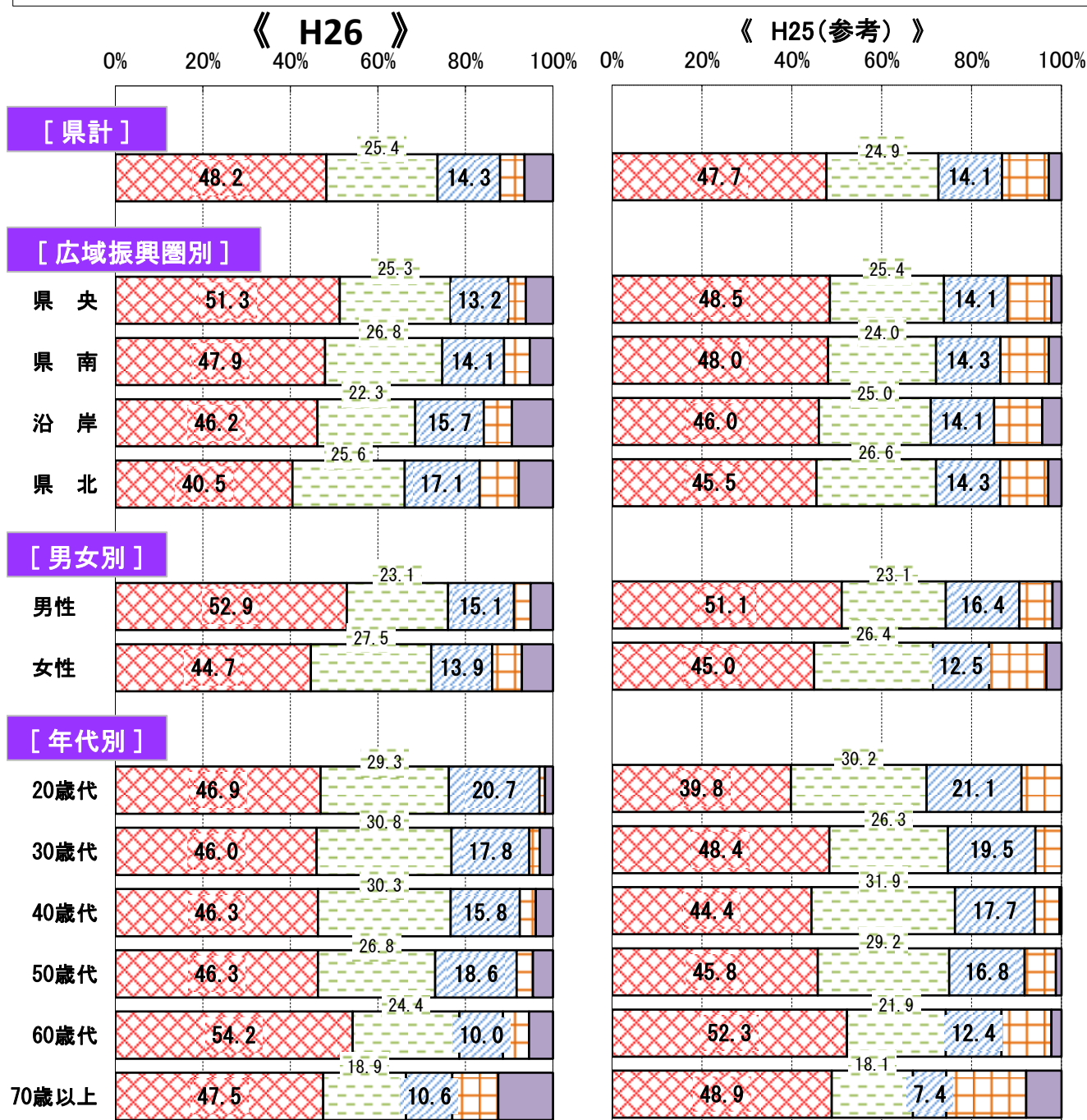
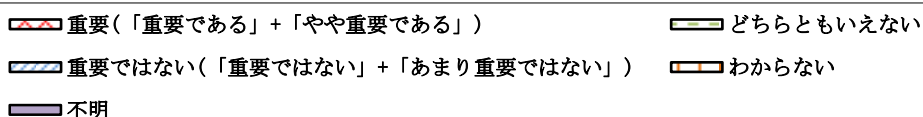


問2-7 海外における県産品の販路の拡大が図られること。

(1) 重要度について

重要が5割弱(48.2%)

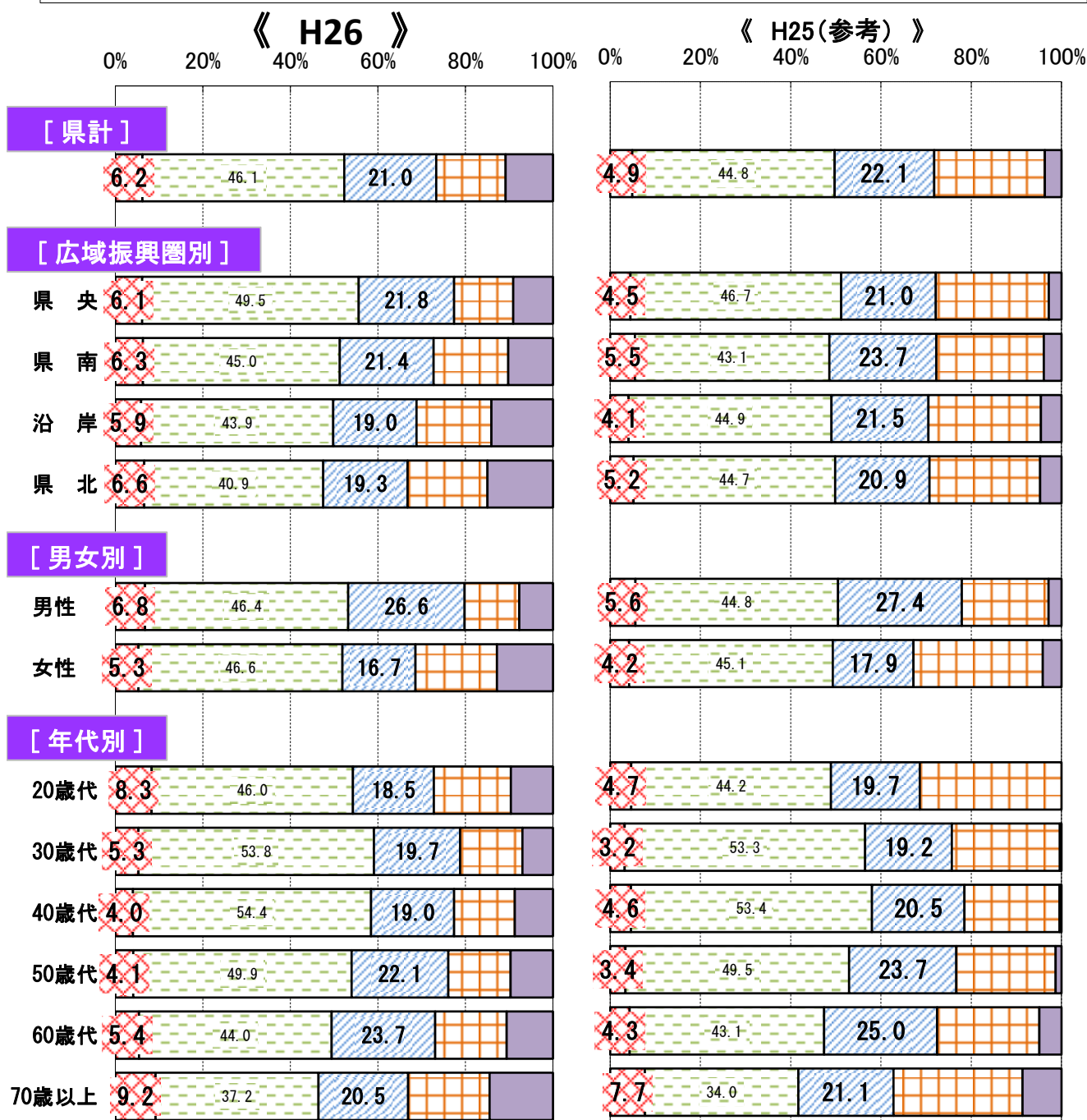
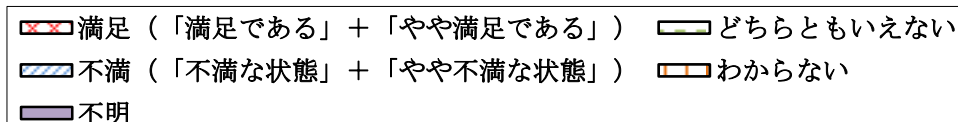
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が48.2%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が14.3%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の51.3%、最も低いのが県北の40.5%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が6.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合21.0%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(6.6%)、男女別では男性(6.8%)、年代別では70歳以上(9.2%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

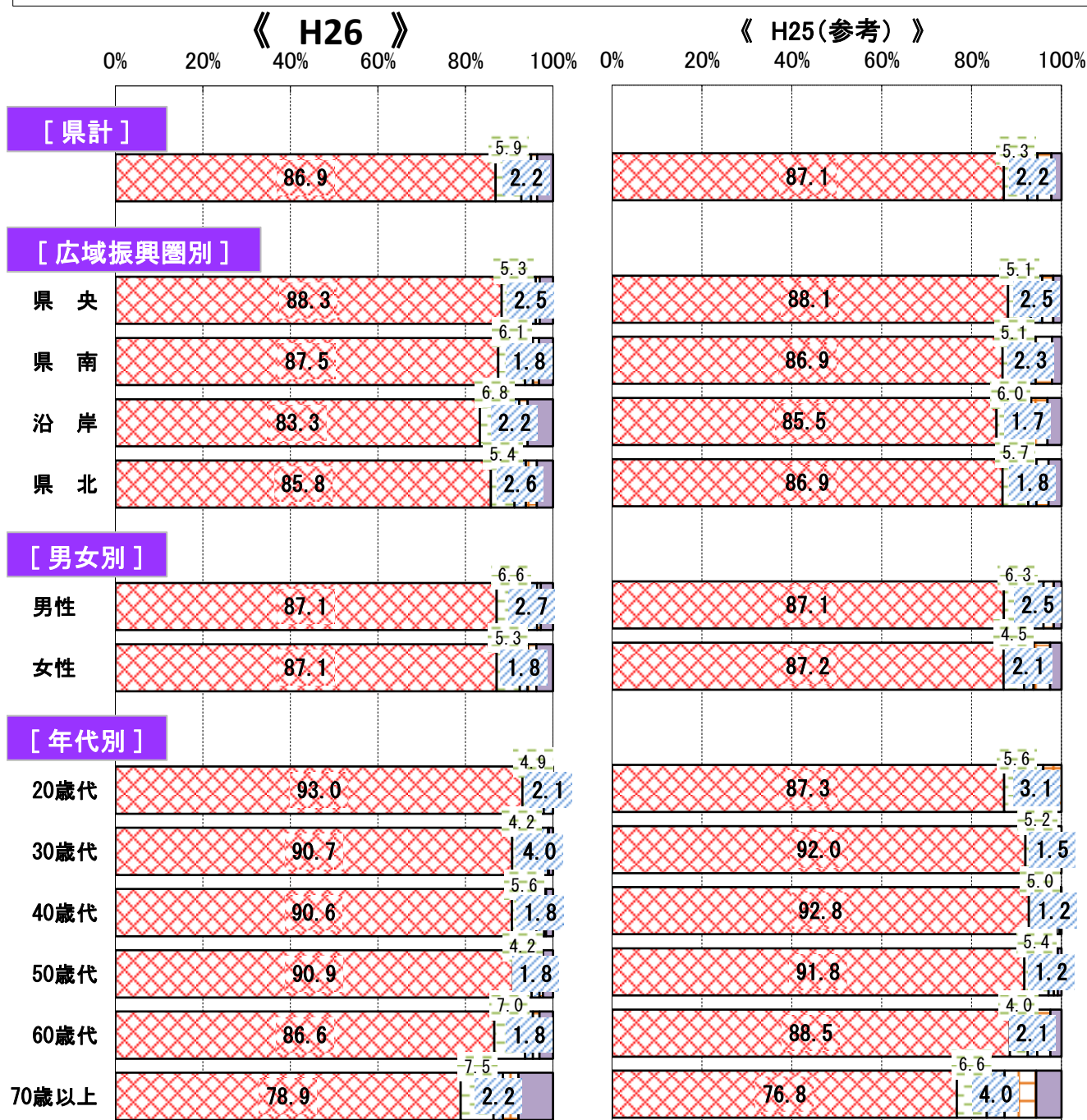
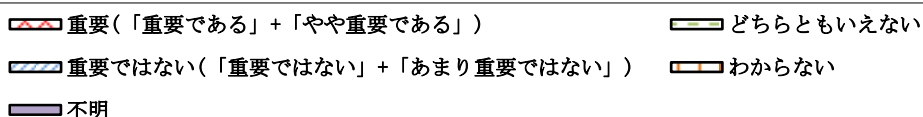


問2-8 県内に職を求める人が希望どおりに就職できること。

(1) 重要度について

重要が9割弱(86.9%)

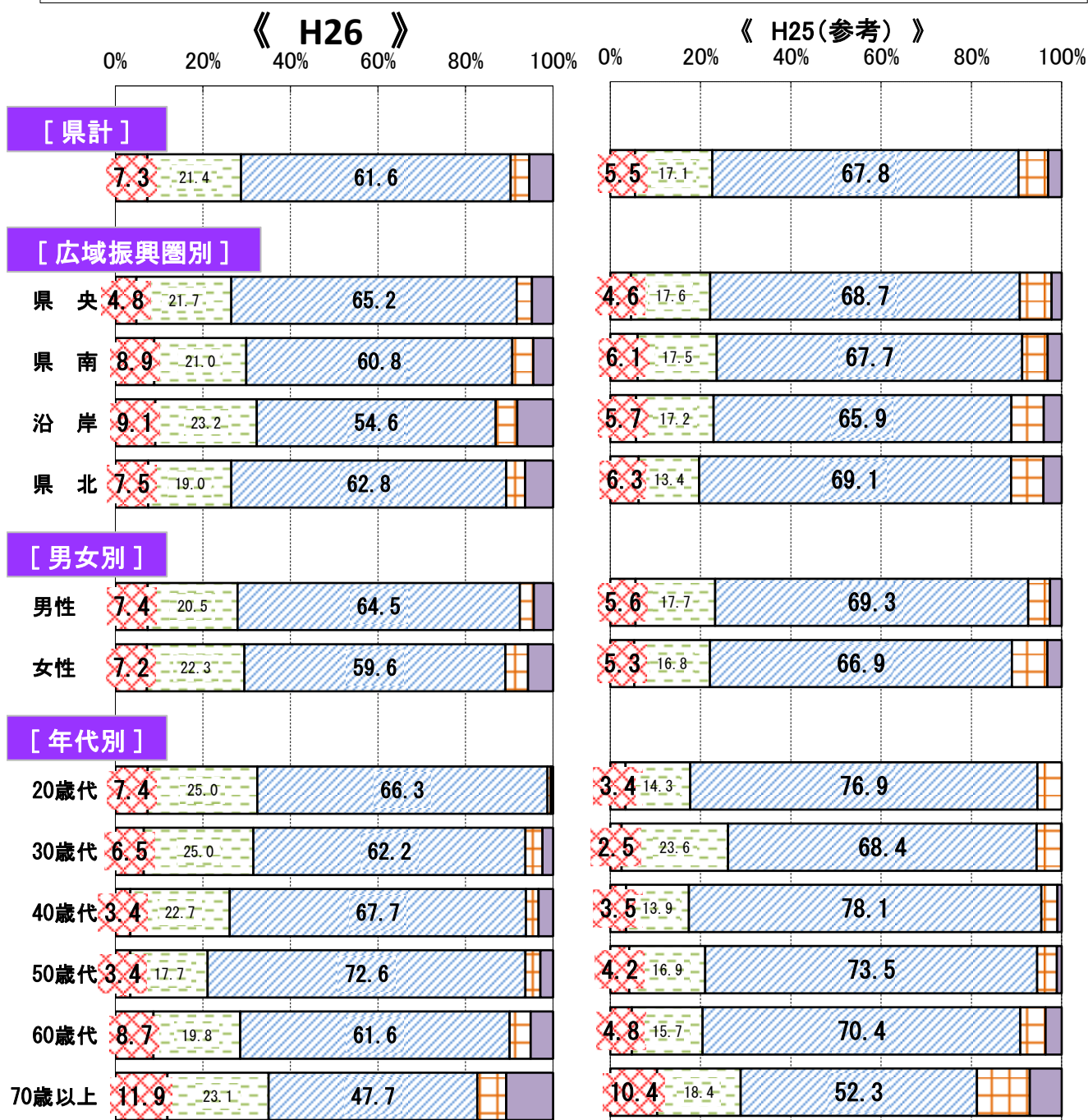
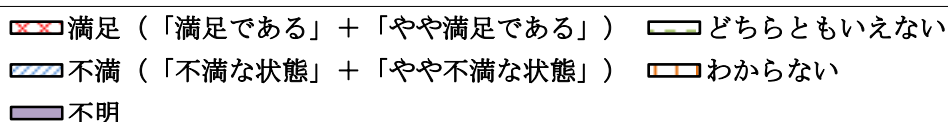
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が86.9%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.2%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の88.3%、最も低いのが沿岸の83.3%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が7.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合61.6%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では沿岸(9.1%)、年代別では70歳以上(11.9%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

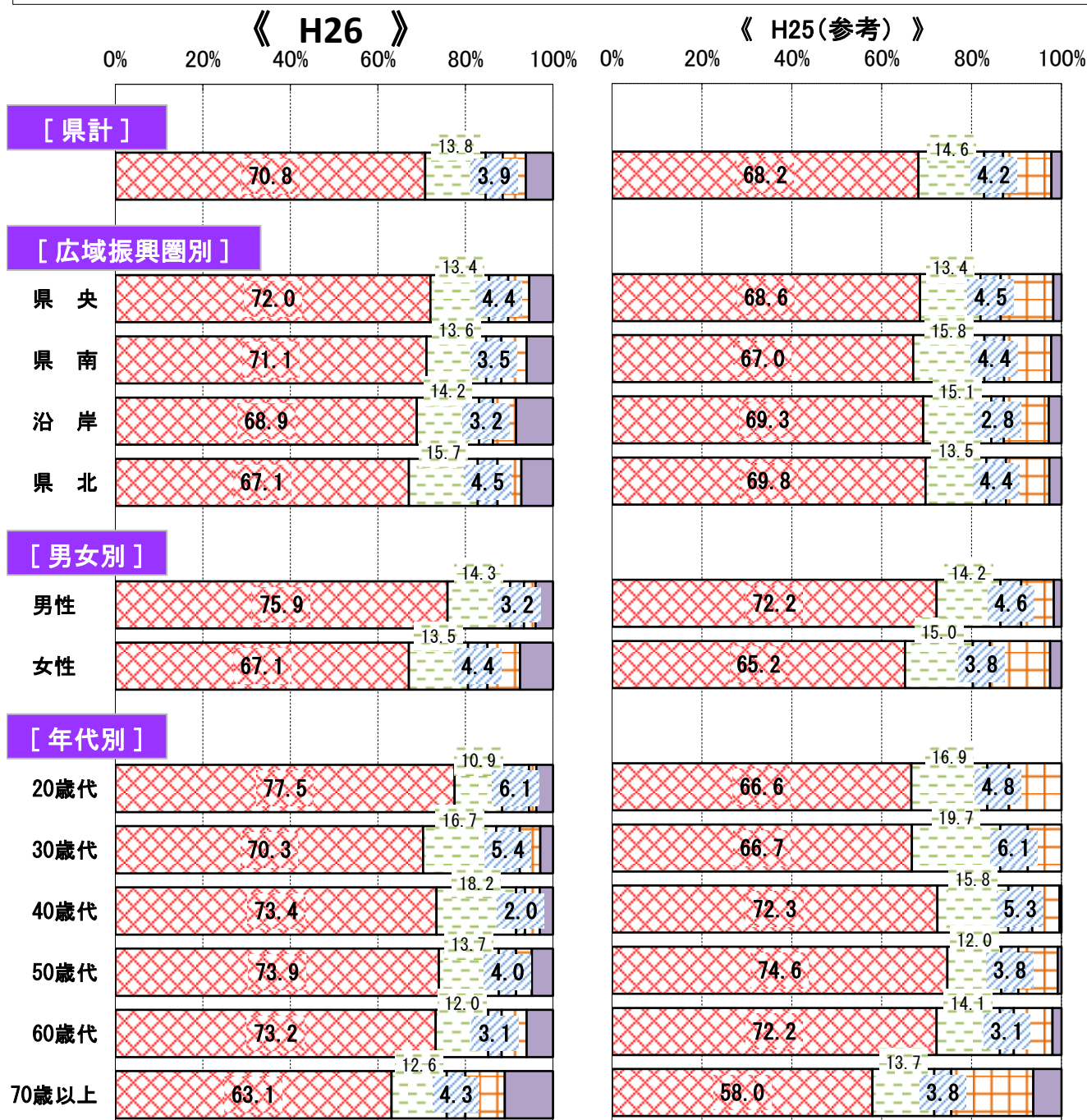
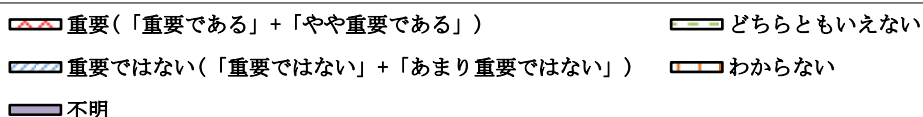


問2-9 地域の農林水産業の担い手が確保されていること。

(1) 重要度について

重要が7割強(70.8%)

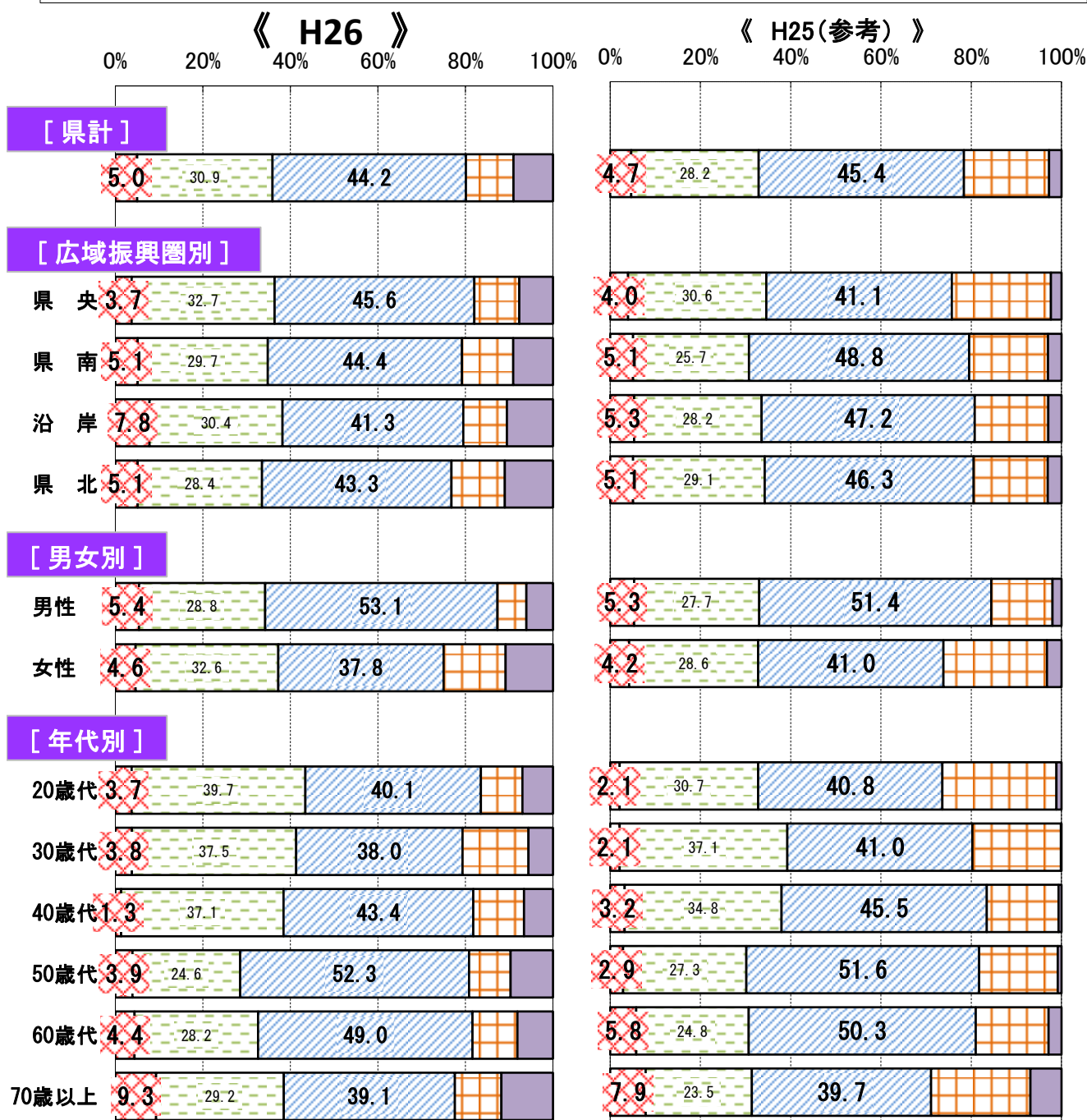
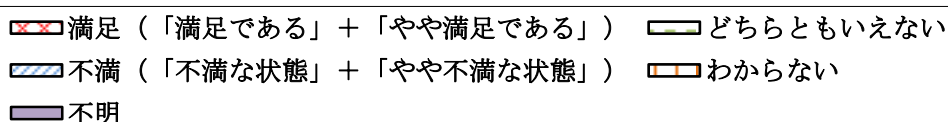
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が70.8%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.9%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の72.0%、最も低いのが県北の67.1%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が5.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合44.2%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では沿岸(7.8%)、男女別では男性(5.4%)、年代別では70歳以上(9.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

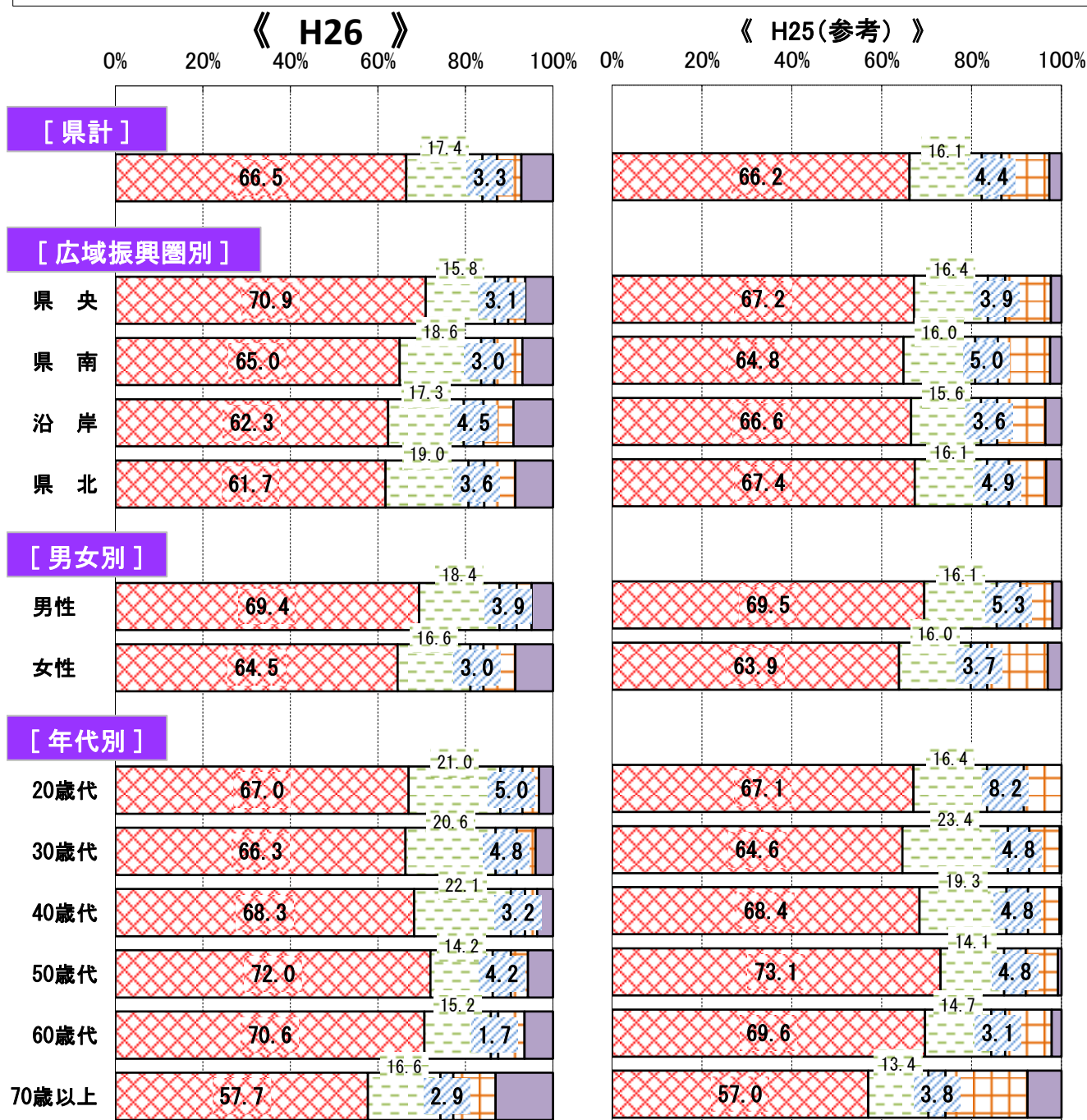
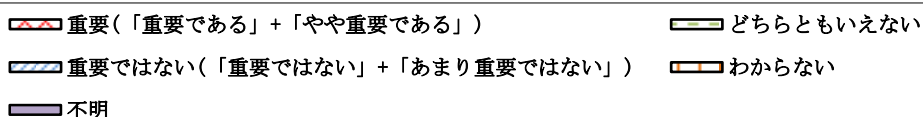


問2-10 消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されること。

(1) 重要度について

重要が7割弱(66.5%)

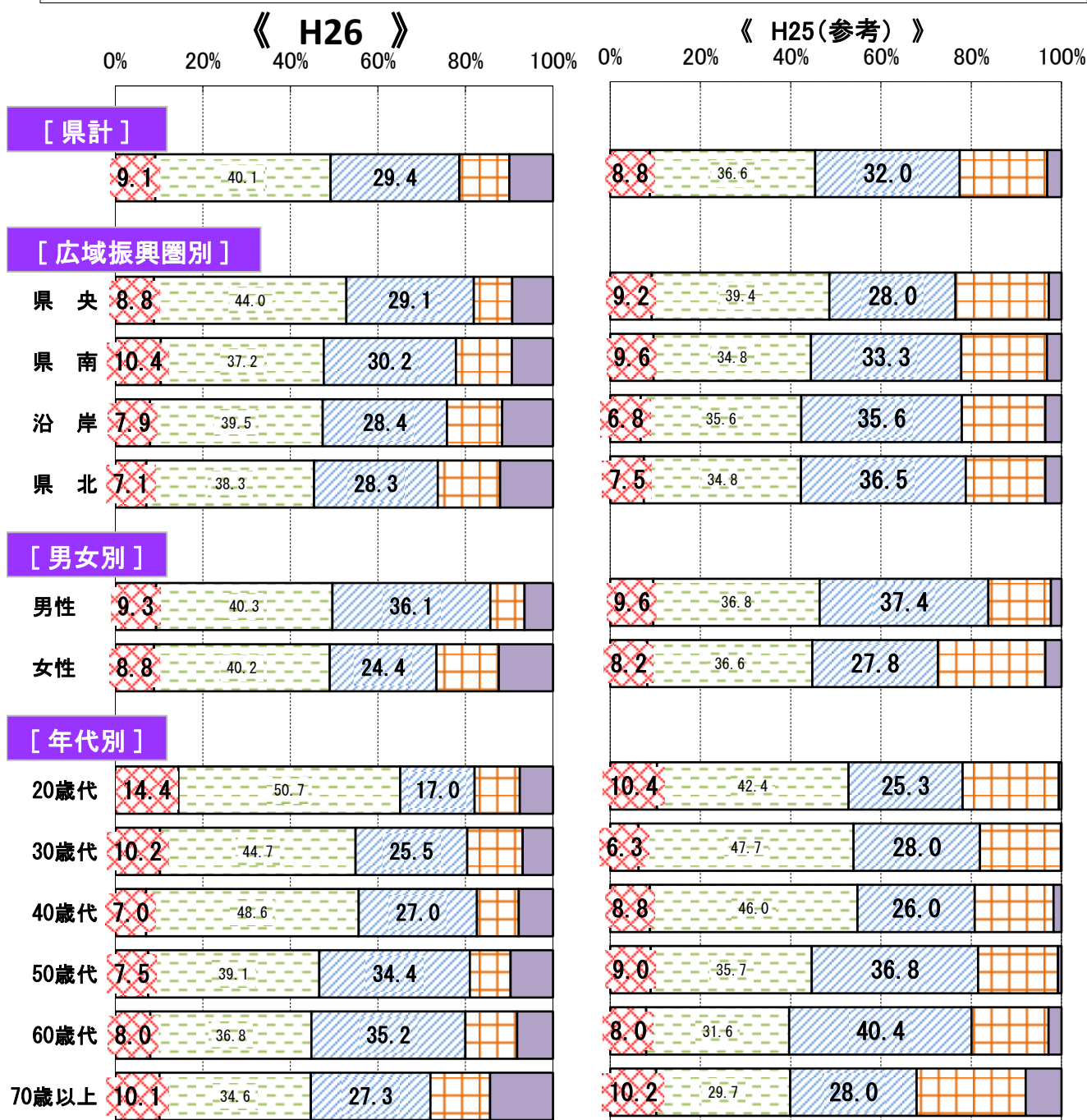
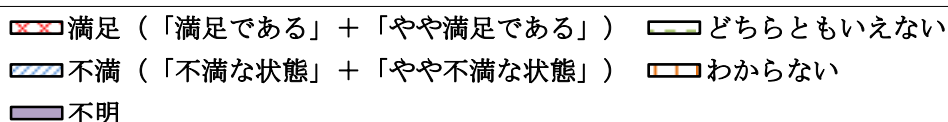
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が66.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.3%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の70.9%、最も低いのが県北の61.7%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が9.1%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合29.4%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(10.4%)、男女別では男性(9.3%)、年代別では20歳代(14.4%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

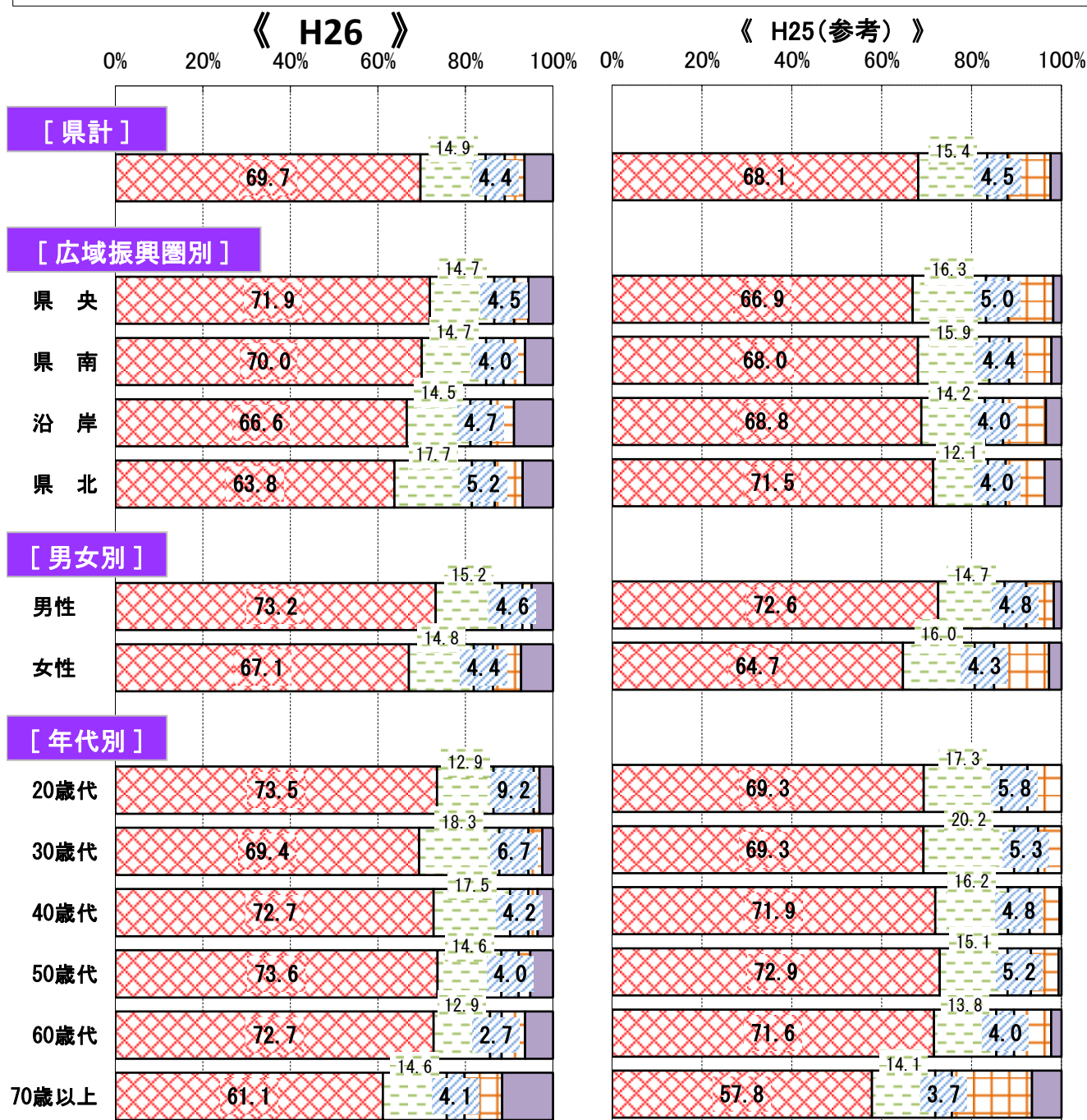
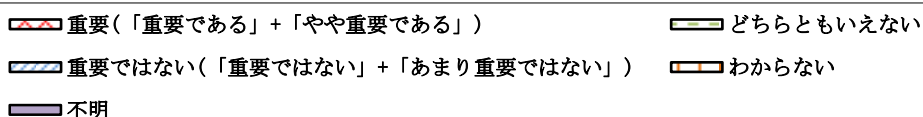


問2-11 本県農林水産物がブランドとして確立され、販路が拡大していること。

(1) 重要度について

重要が約7割(69.7%)

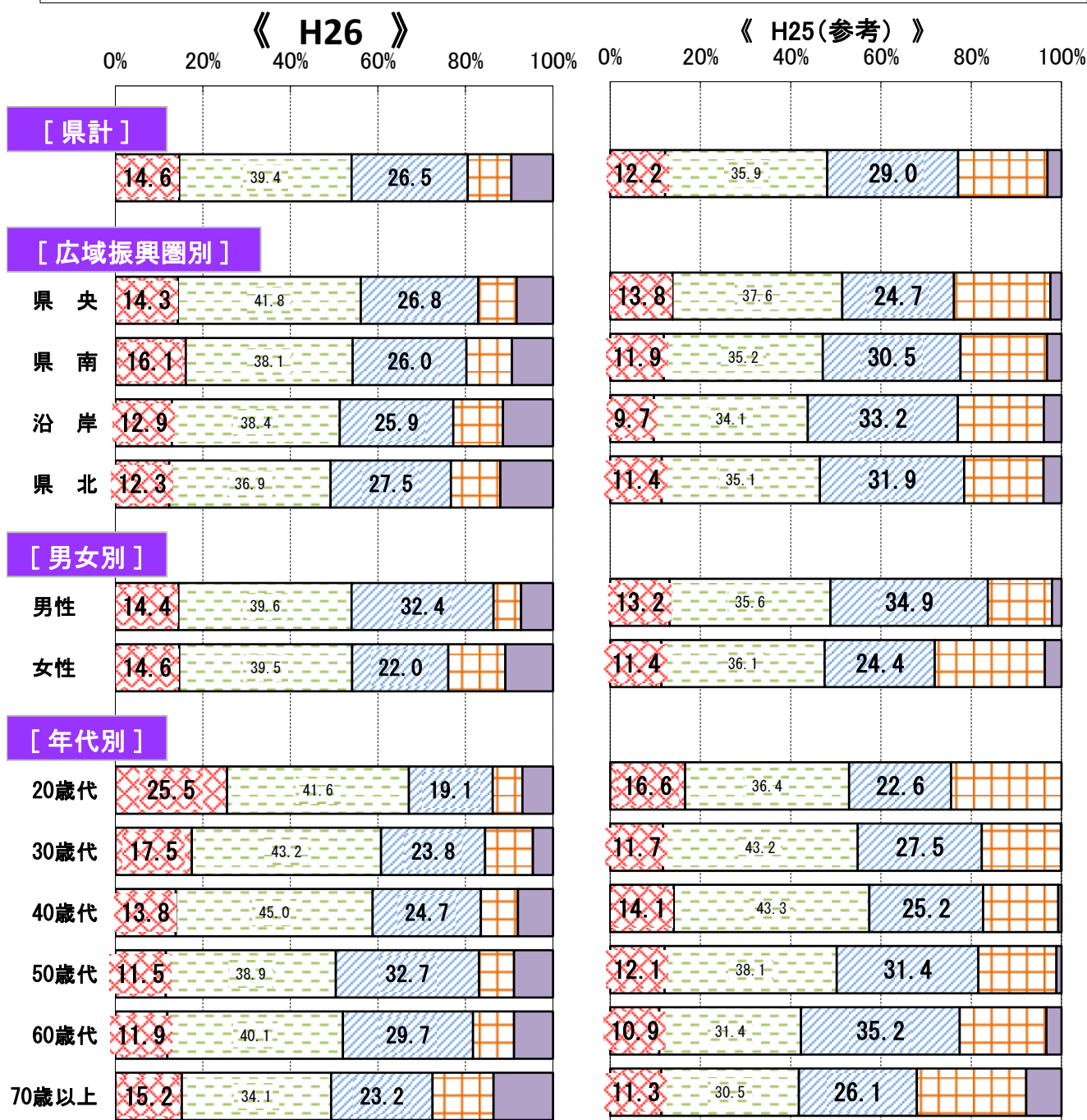
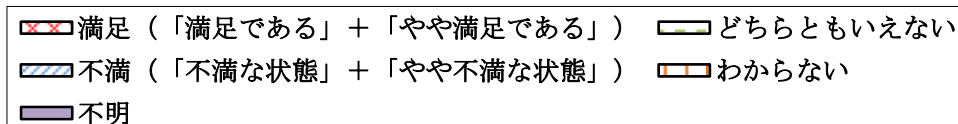
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が69.7%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が4.4%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の71.9%、最も低いのが県北の63.8%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が14.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合26.5%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(16.1%)、年代別では20歳代(25.5%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

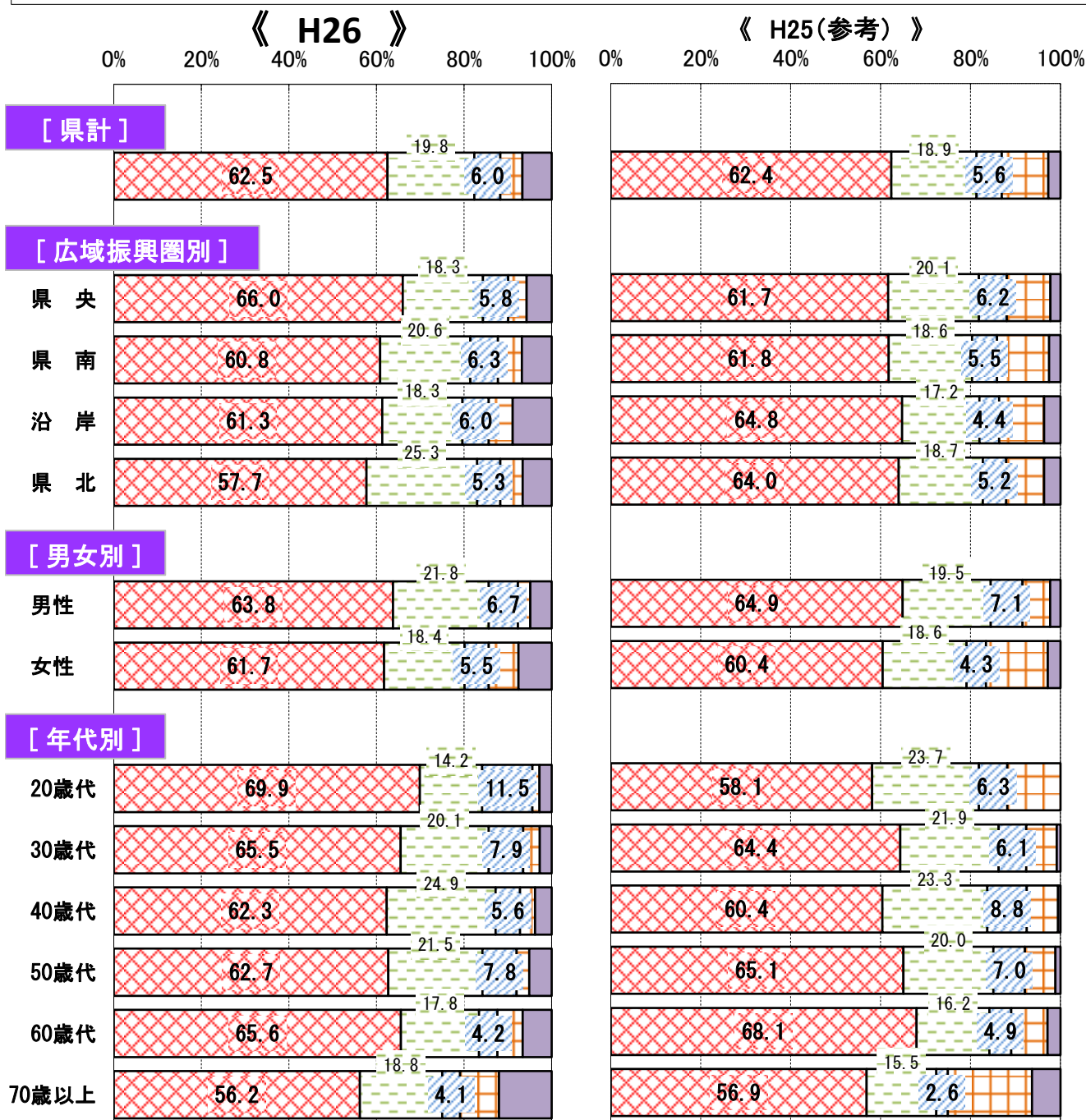
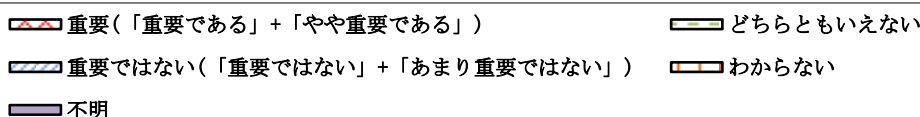


問2-12 都市との交流などにより活力ある農山漁村が形成されていること。

(1) 重要度について

重要が6割強(62.5%)

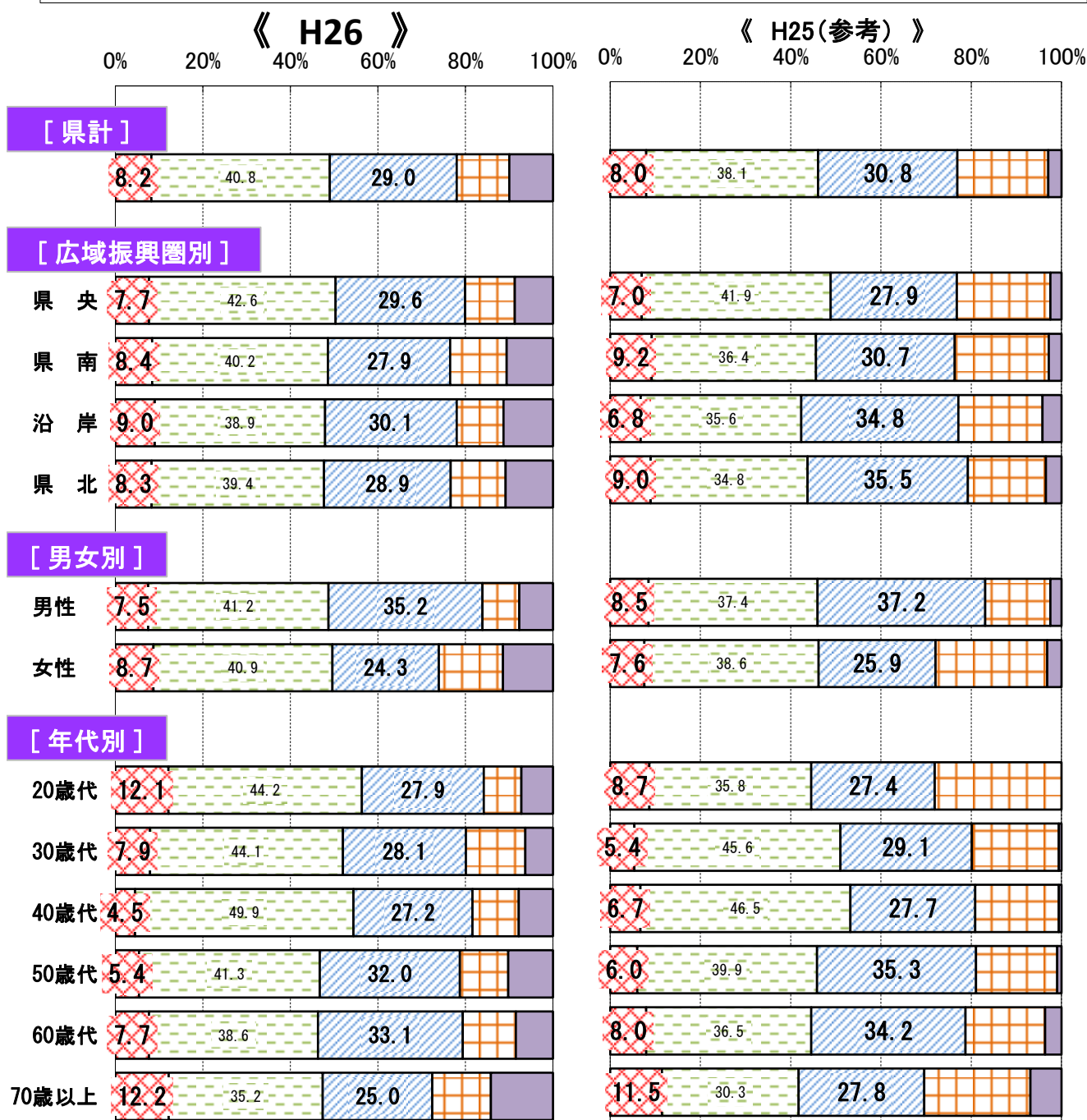
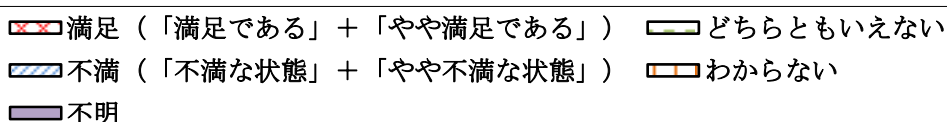
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が62.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が6.0%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の66.0%、最も低いのが県北の57.7%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が8.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合29.0%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では沿岸(9.0%)、男女別では女性(8.7%)、年代別では70歳以上(12.2%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

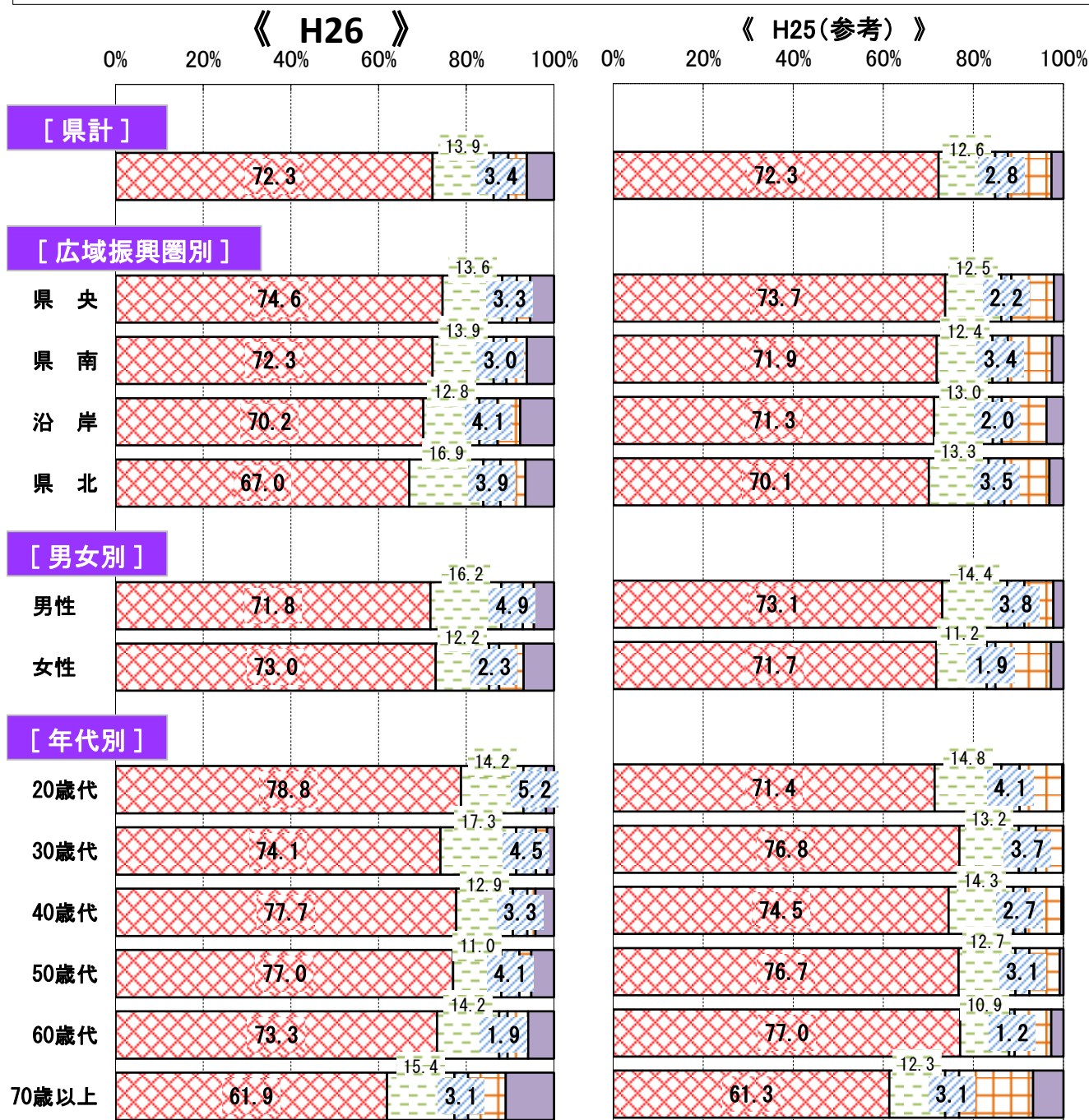
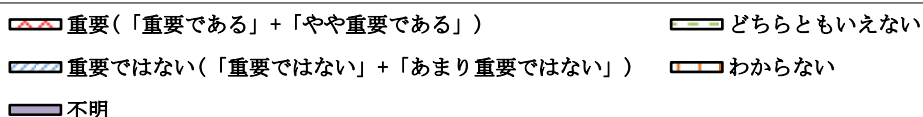


問2-13 地球温暖化防止や生態系の維持など環境に配慮した農林水産業が営まれていること。

(1) 重要度について

重要が7割強(72.3%)

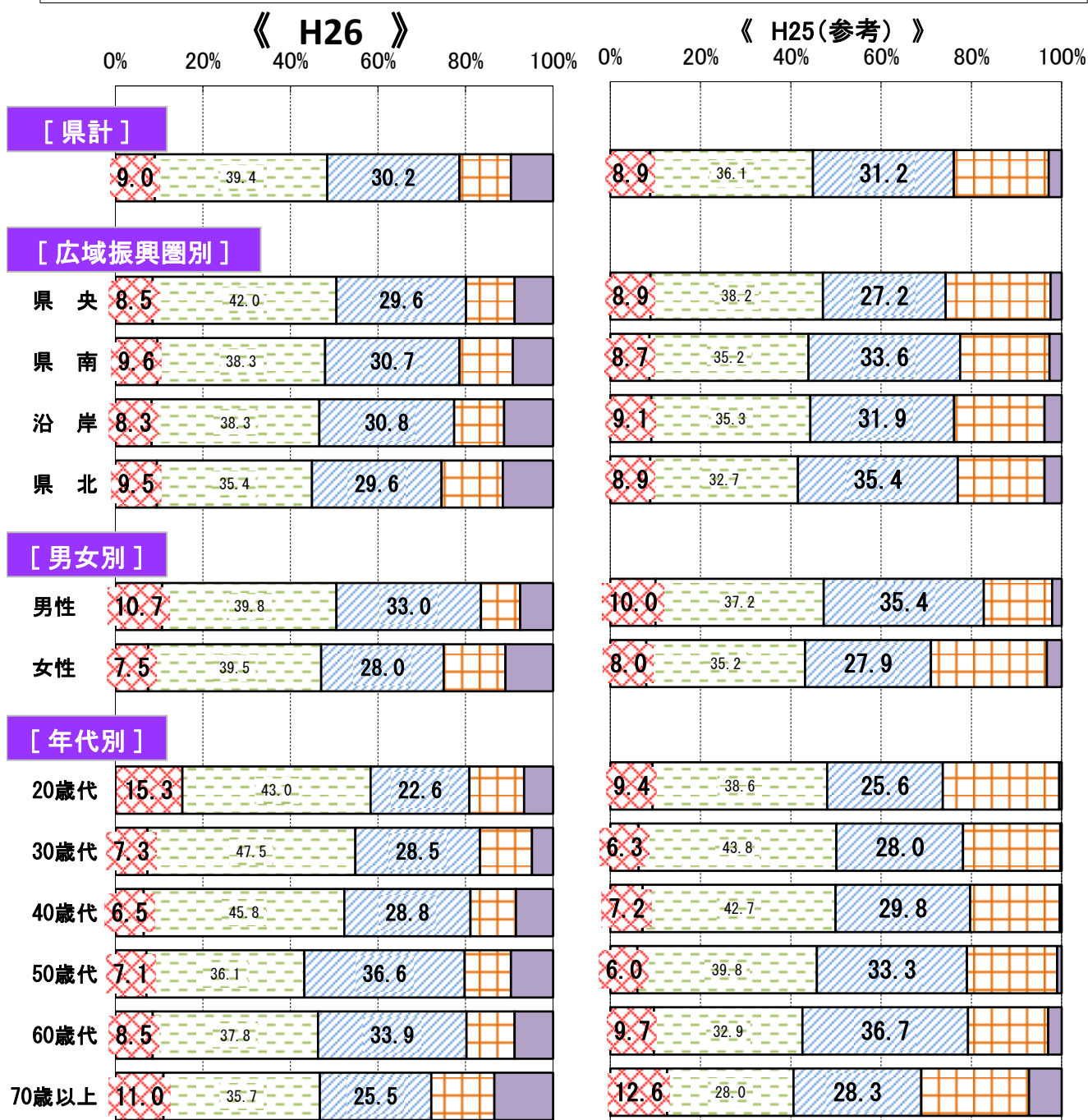
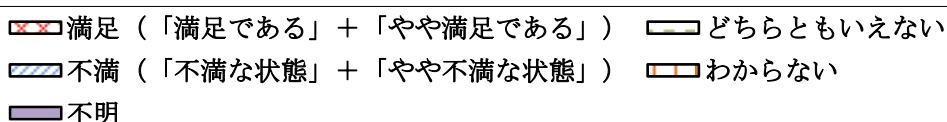
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が72.3%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.4%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の74.6%、最も低いのが県北の67.0%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が9.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合30.2%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(9.6%)、男女別では男性(10.7%)、年代別では20歳代(15.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

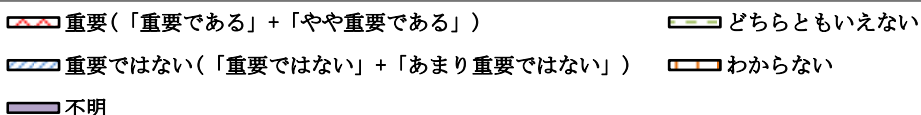


問2-14 必要な医療を適切に受けられること。

(1) 重要度について

重要が約95% (94.9%)

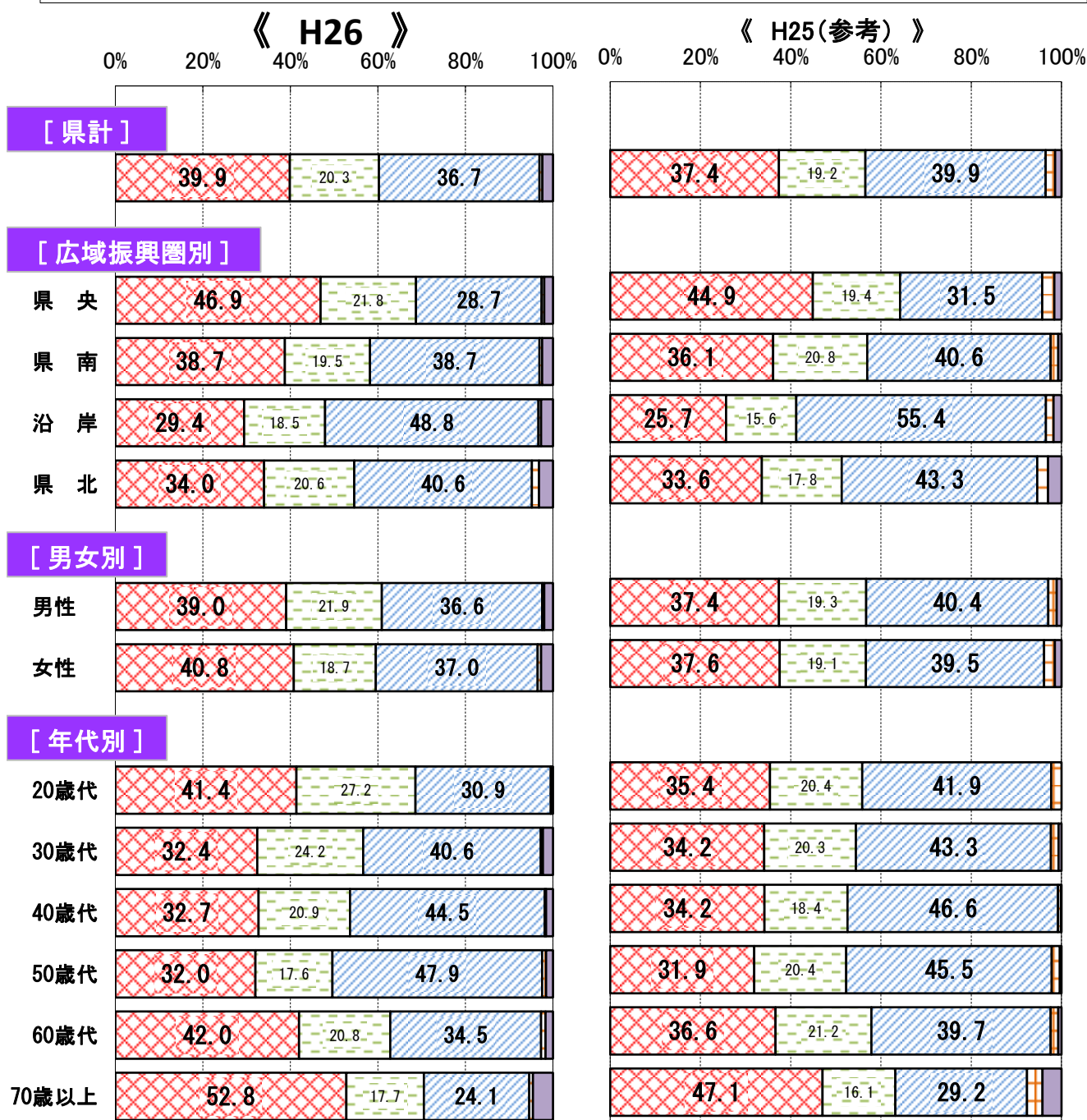
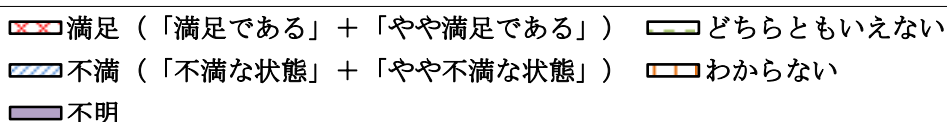
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が94.9%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が0.5%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の95.5%、最も低いのが県北の93.1%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を若干上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が39.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合36.7%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(46.9%)、男女別では女性(40.8%)、年代別では70歳以上(52.8%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

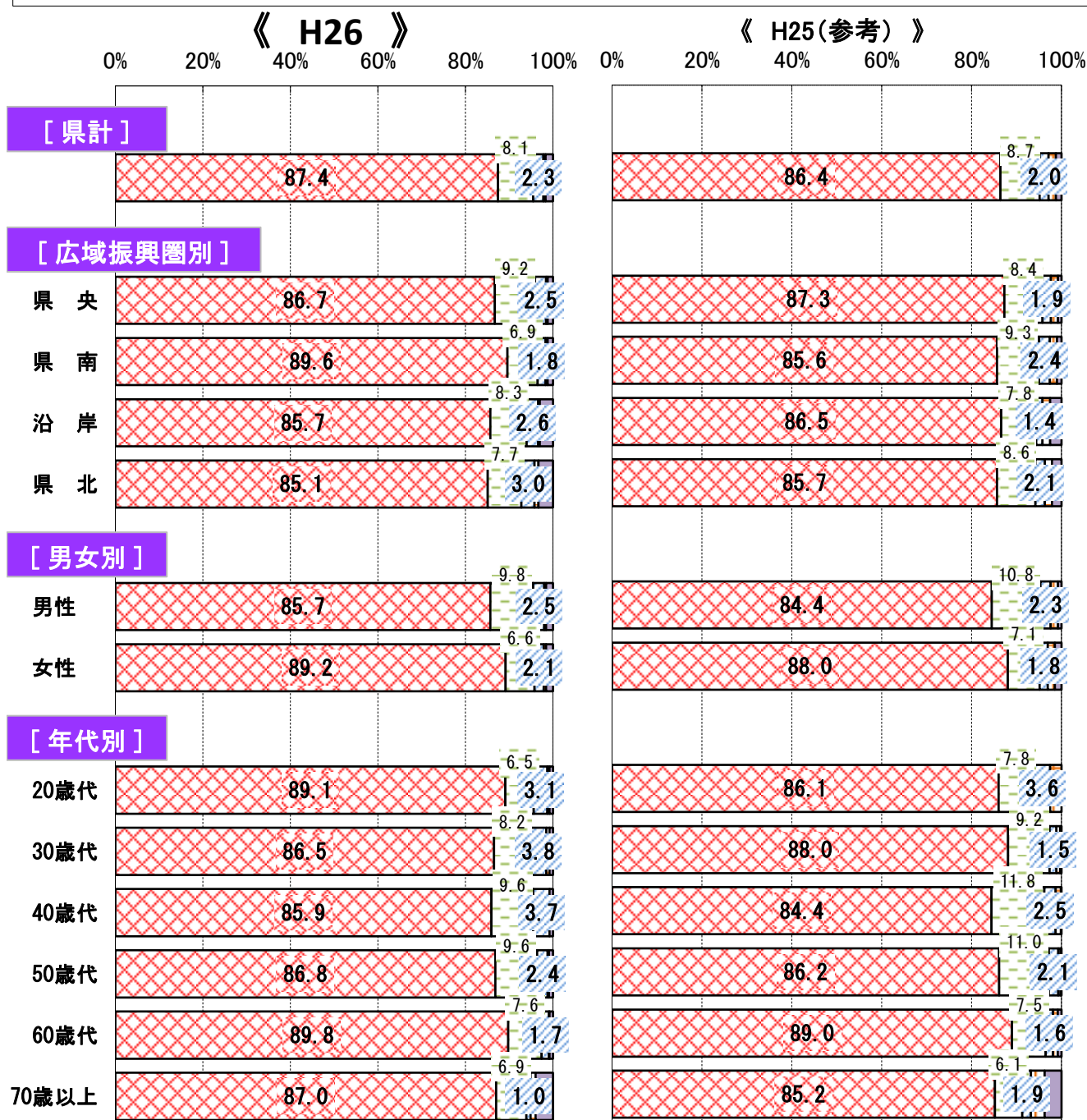
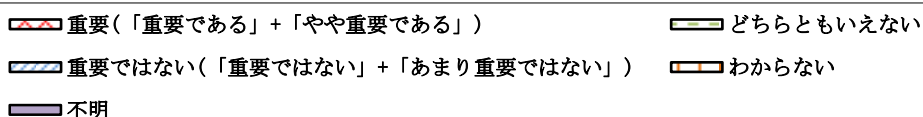


問2-15 病気の予防や健康づくりを行うために、相談、指導を受けられること。

(1) 重要度について

重要が9割弱(87.4%)

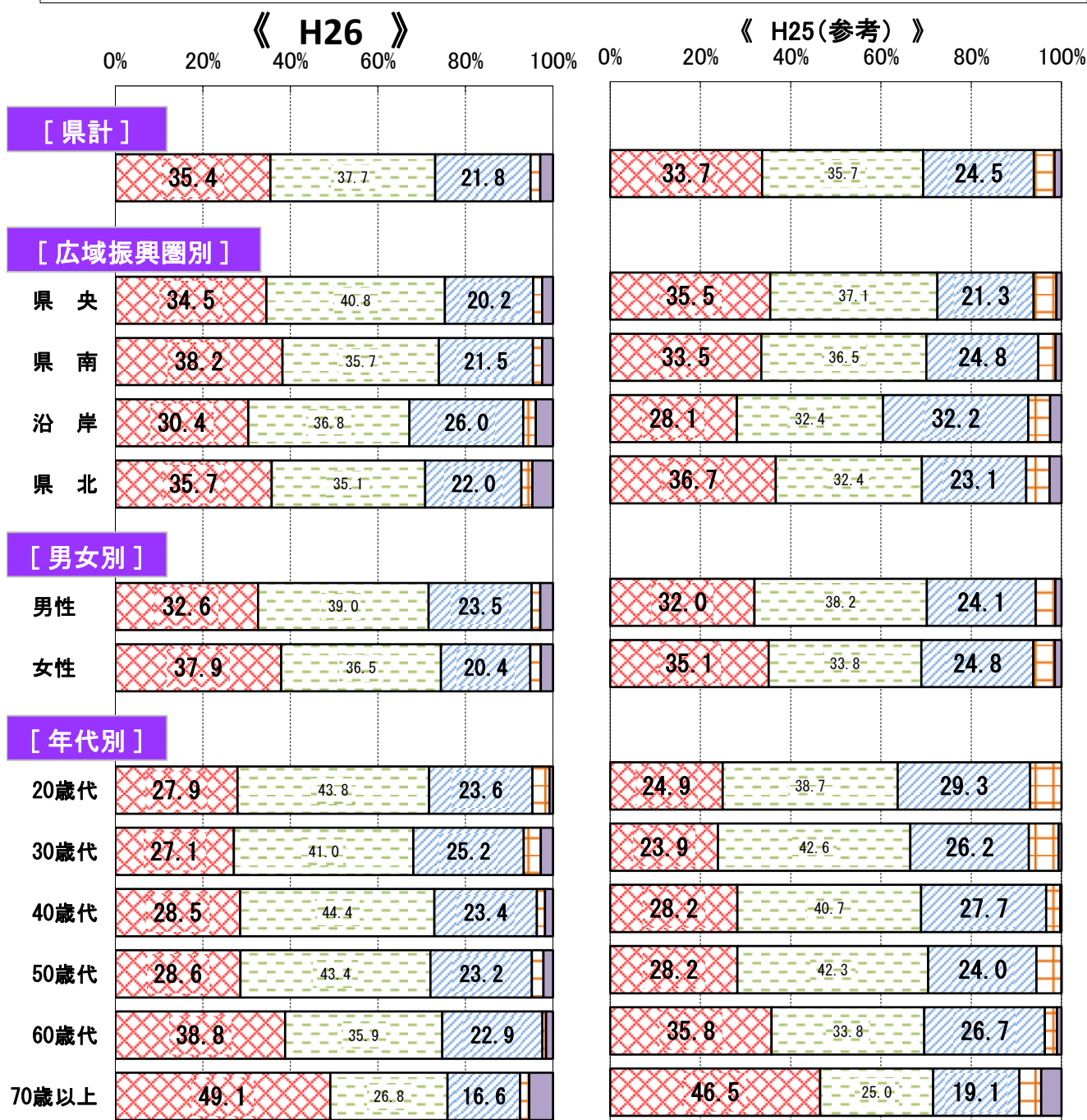
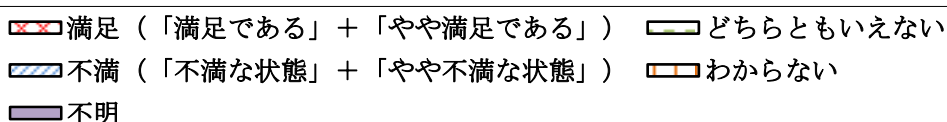
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が87.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.3%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県南の89.6%、最も低いのが県北の85.1%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が35.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合21.8%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(38.2%)、男女別では女性(37.9%)、年代別では70歳以上(49.1%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

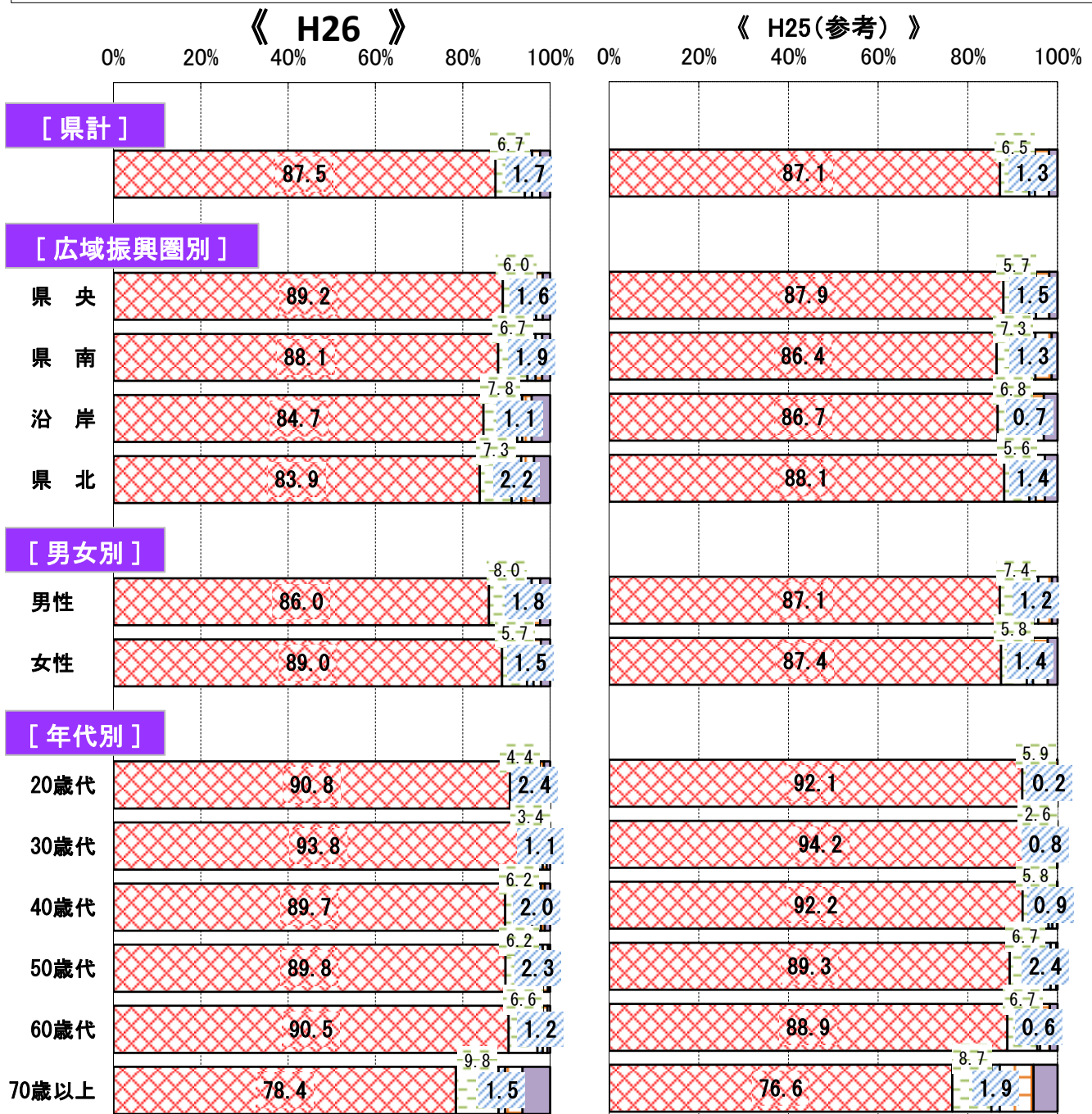
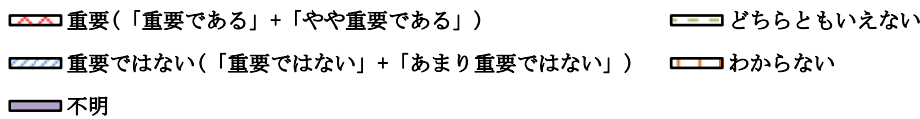


問2-16 安心して子どもを生み育てられ、子育てがしやすい環境であること。

(1) 重要度について

重要が9割弱(87.5%)

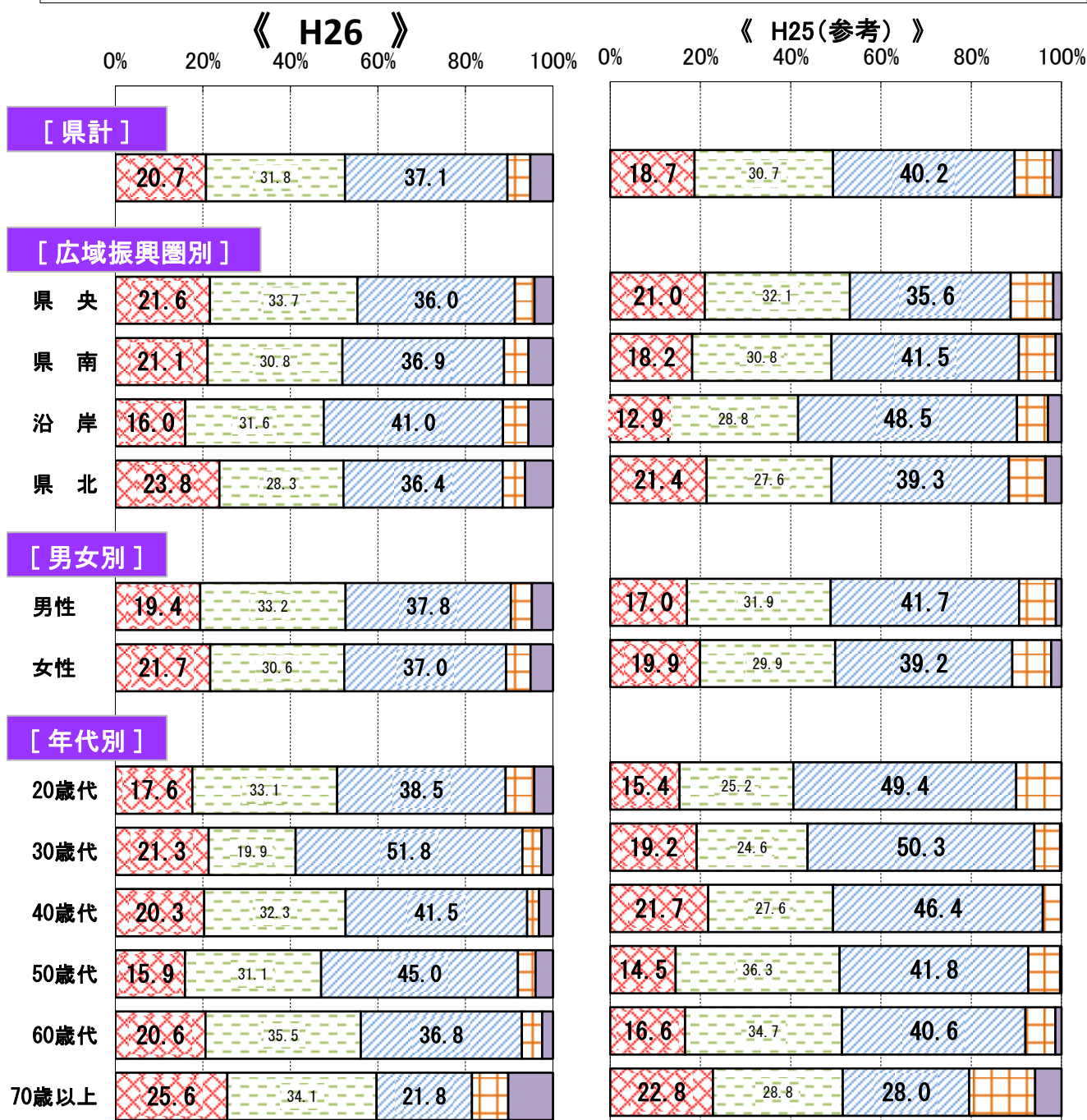
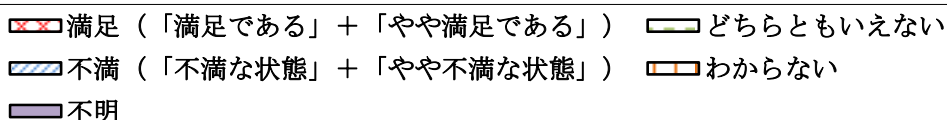
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が87.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の89.2%、最も低いのが県北の83.9%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が20.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合37.1%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(23.8%)、男女別では女性(21.7%)、年代別では70歳以上(25.6%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

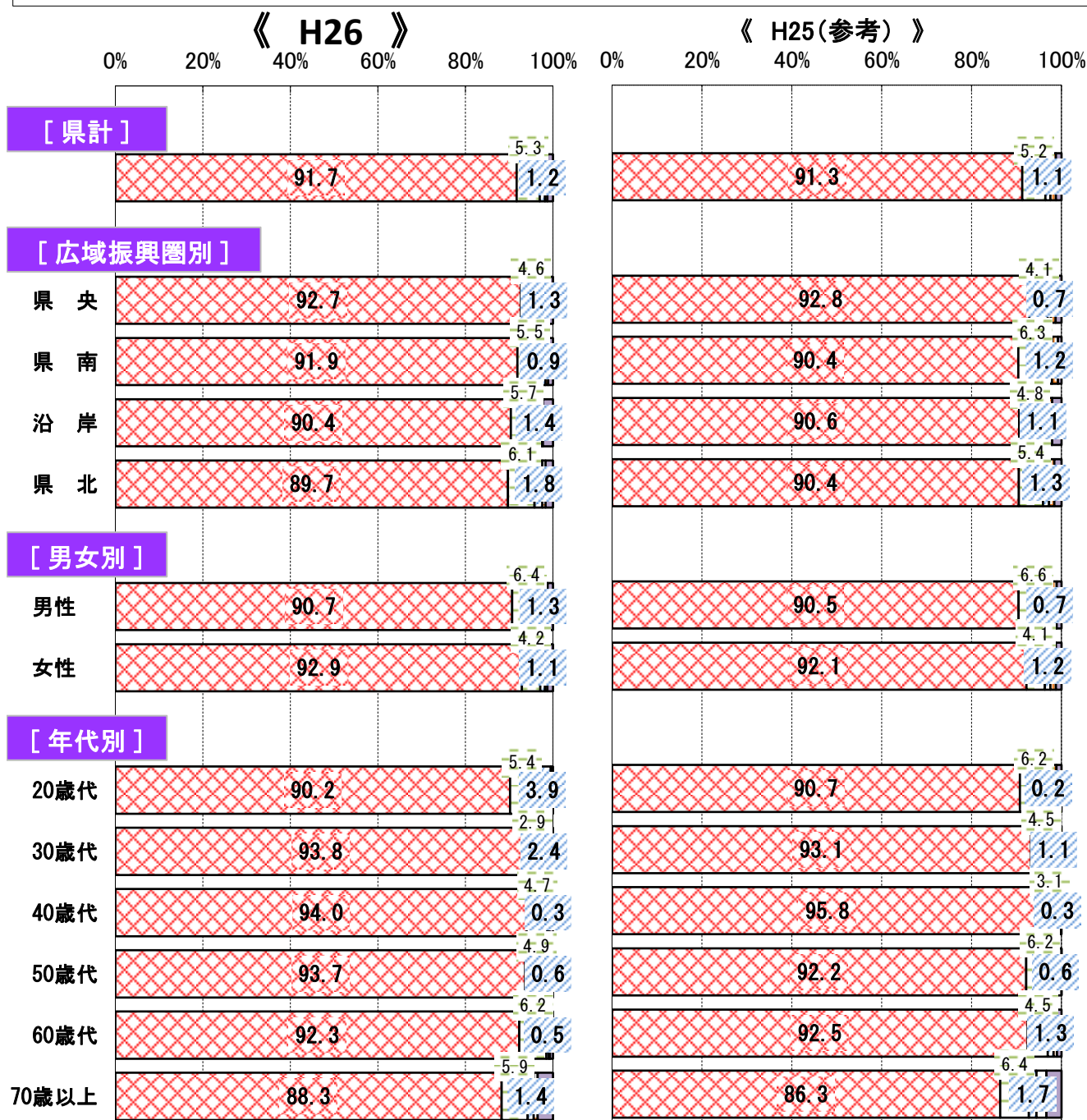
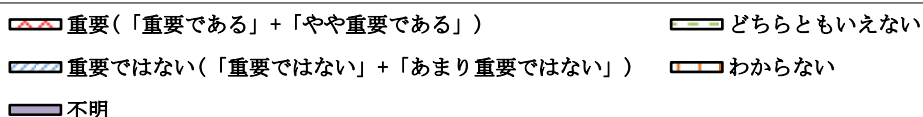


問2-17 高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会であること。

(1) 重要度について

重要が9割強(91.7%)

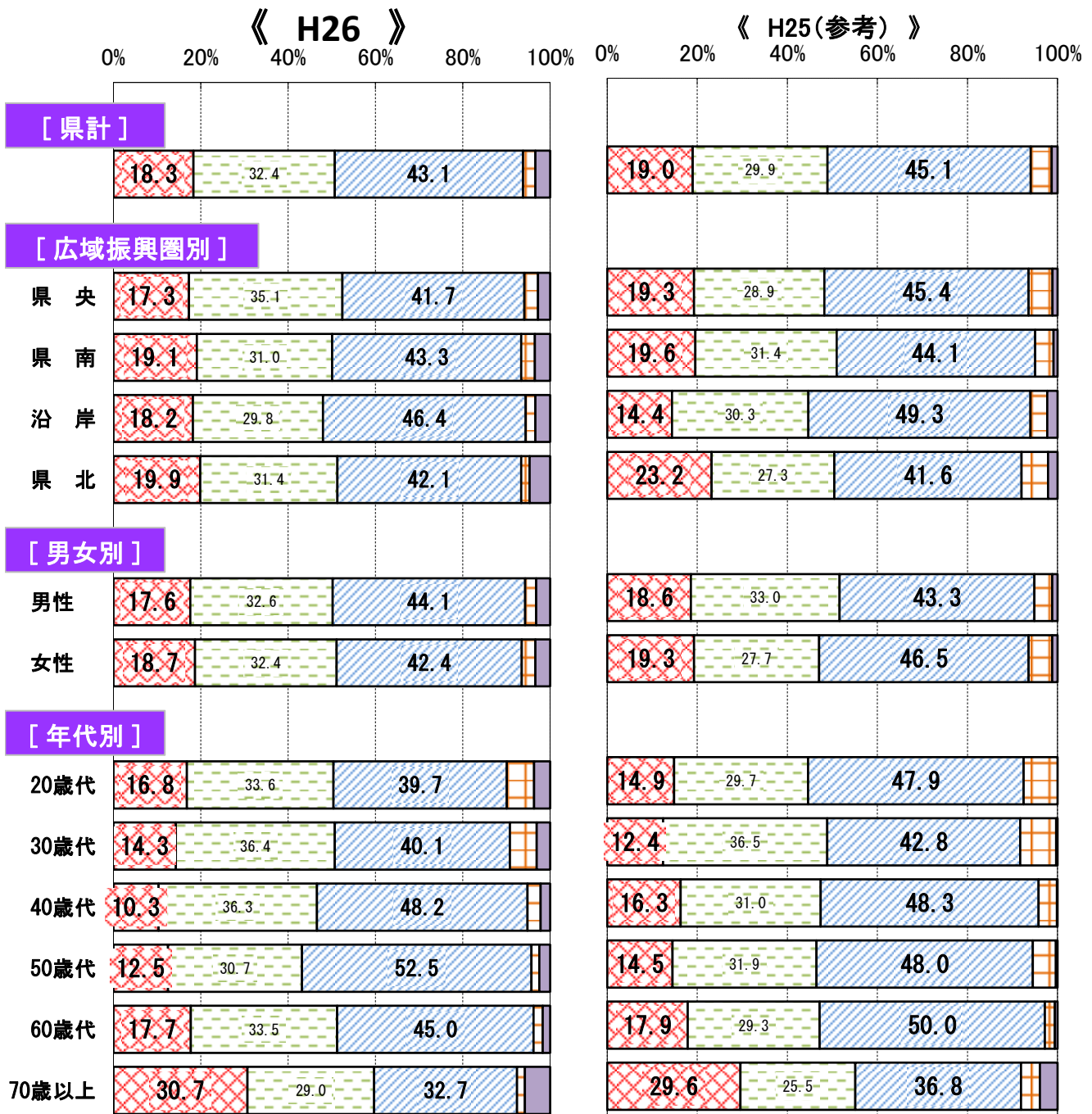
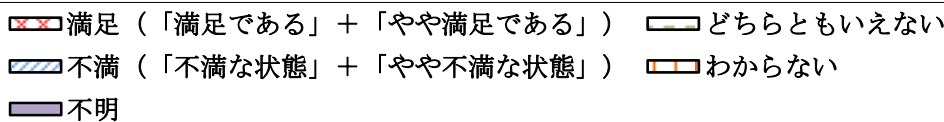
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が91.7%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.2%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の92.7%、最も低いのが県北の89.7%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が18.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合43.1%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(19.9%)、男女別では女性(18.7%)、年代別では70歳以上(30.7%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

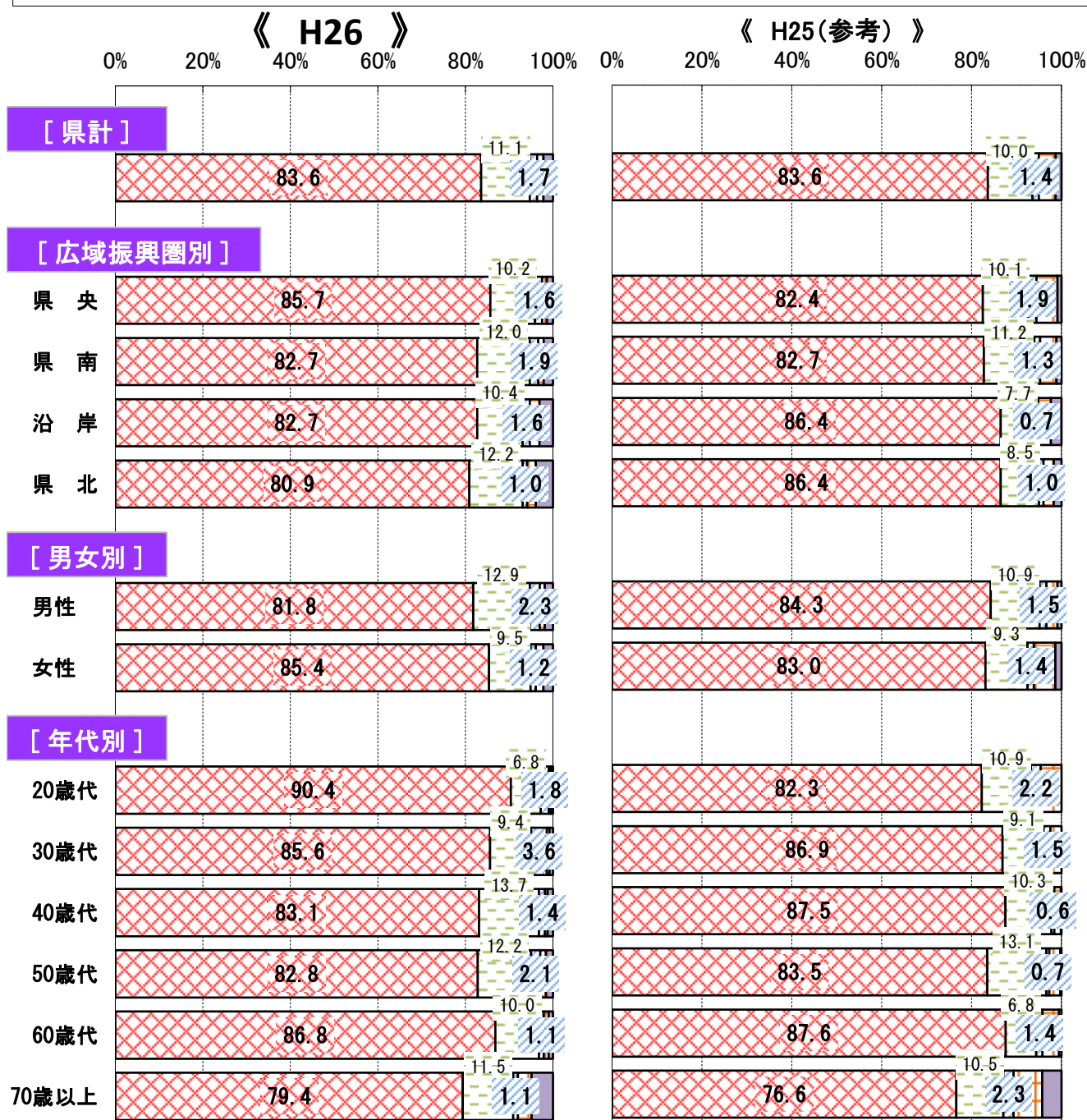
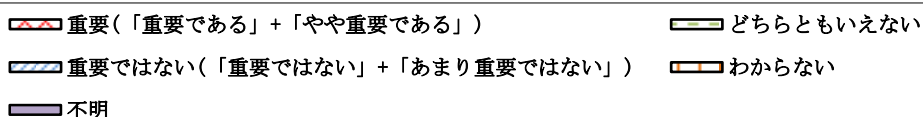


問2-18 地域の防災体制が、住民の協力により整っていること。

(1) 重要度について

重要が8割強(83.6%)

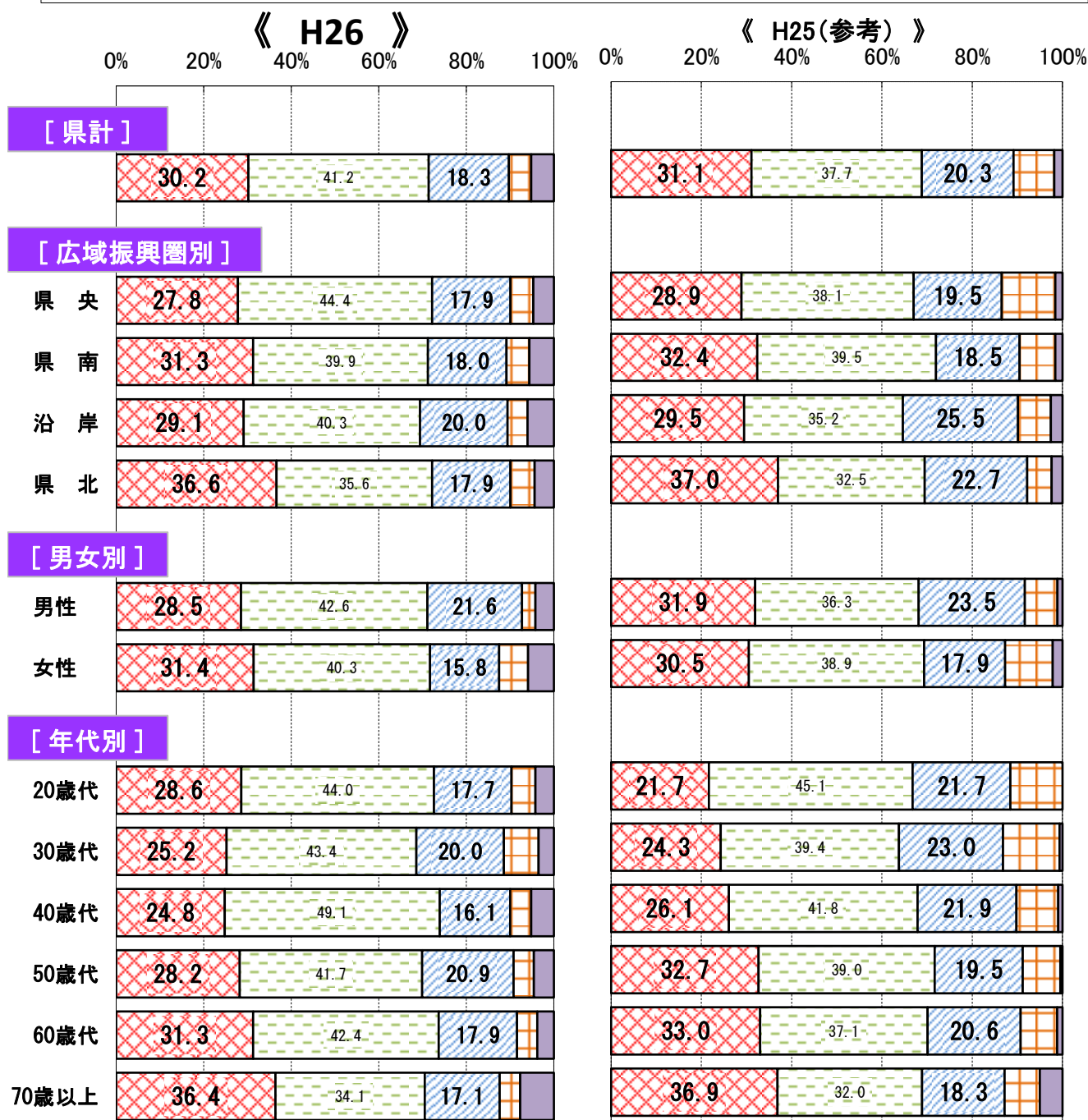
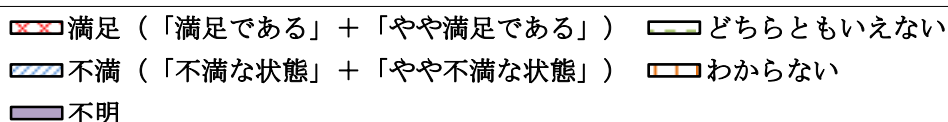
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が83.6%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の85.7%、最も低いのが県北の80.9%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が30.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合18.3%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(36.6%)、男女別では女性(31.4%)、年代別では70歳以上(36.4%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

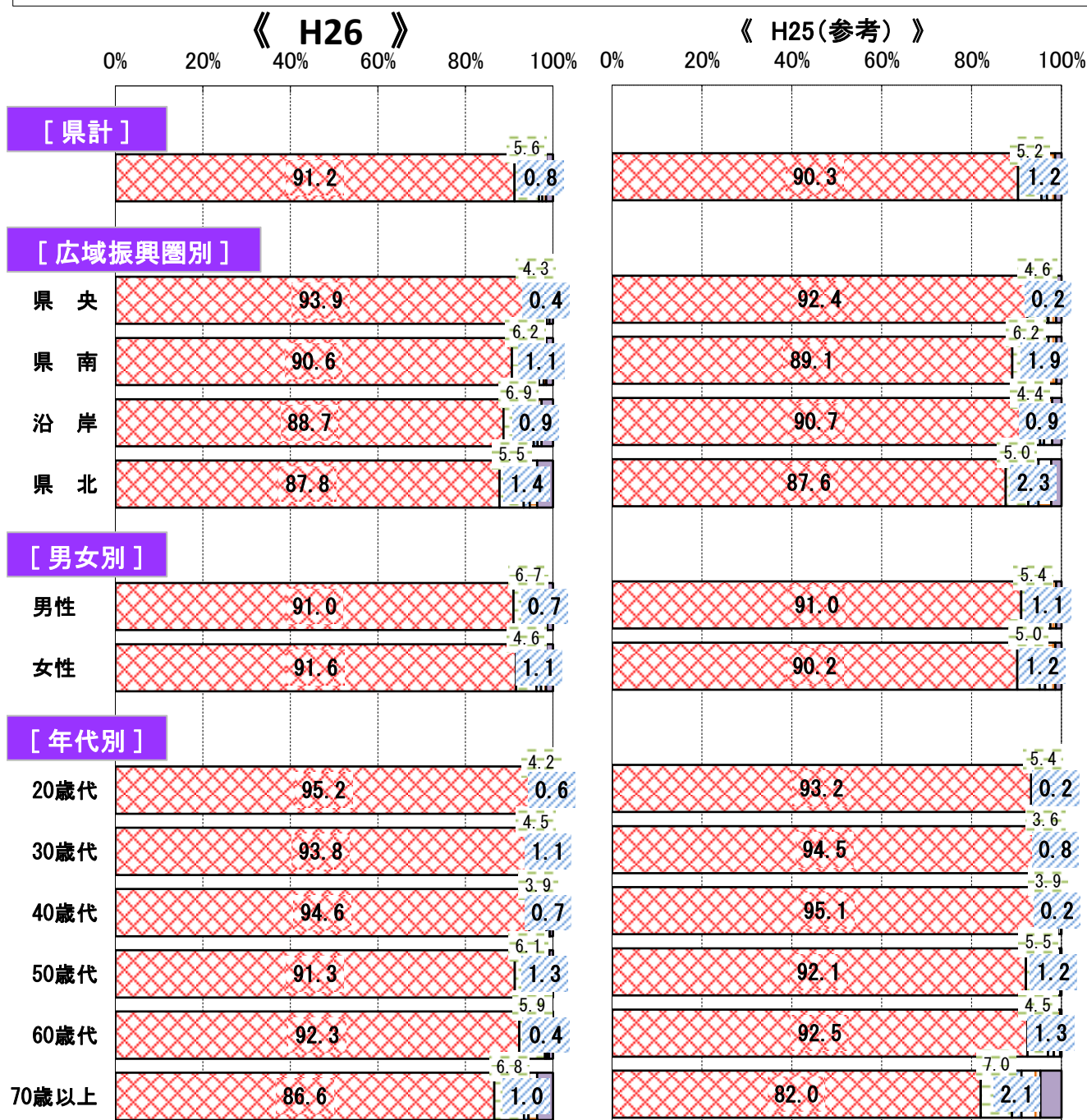
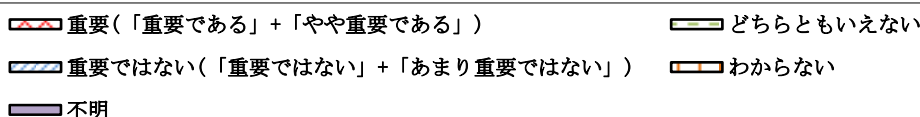


問2-19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。

(1) 重要度について

重要が9割強(91.2%)

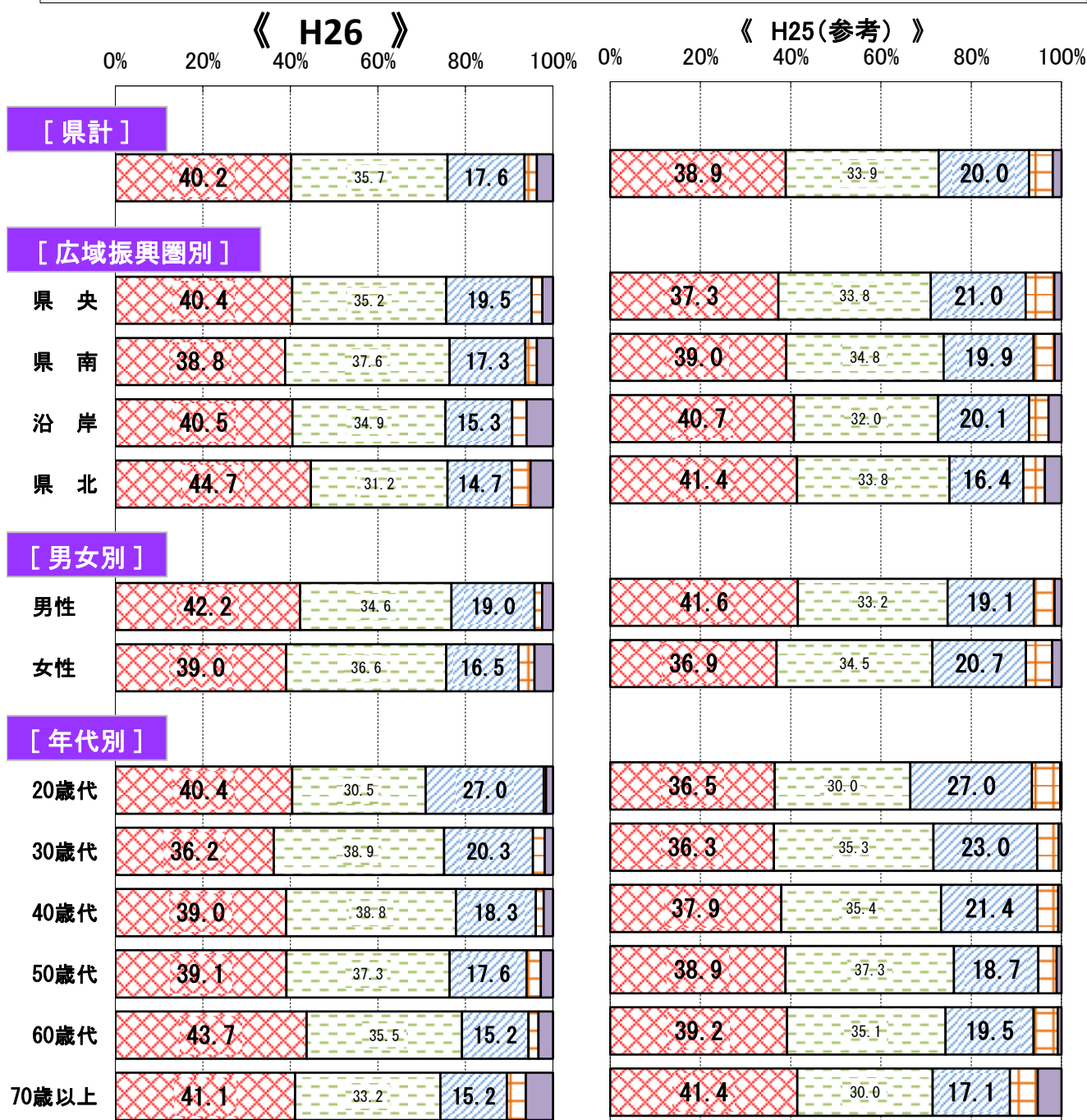
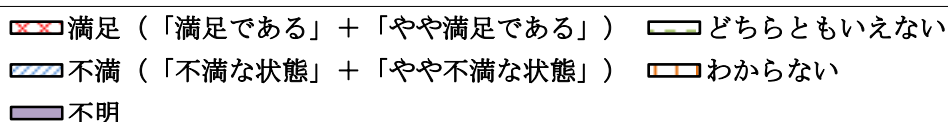
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が91.2%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が0.8%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の93.9%、最も低いのが県北の87.8%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が40.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合17.6%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(44.7%)、男女別では男性(42.2%)、年代別では60歳代(43.7%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

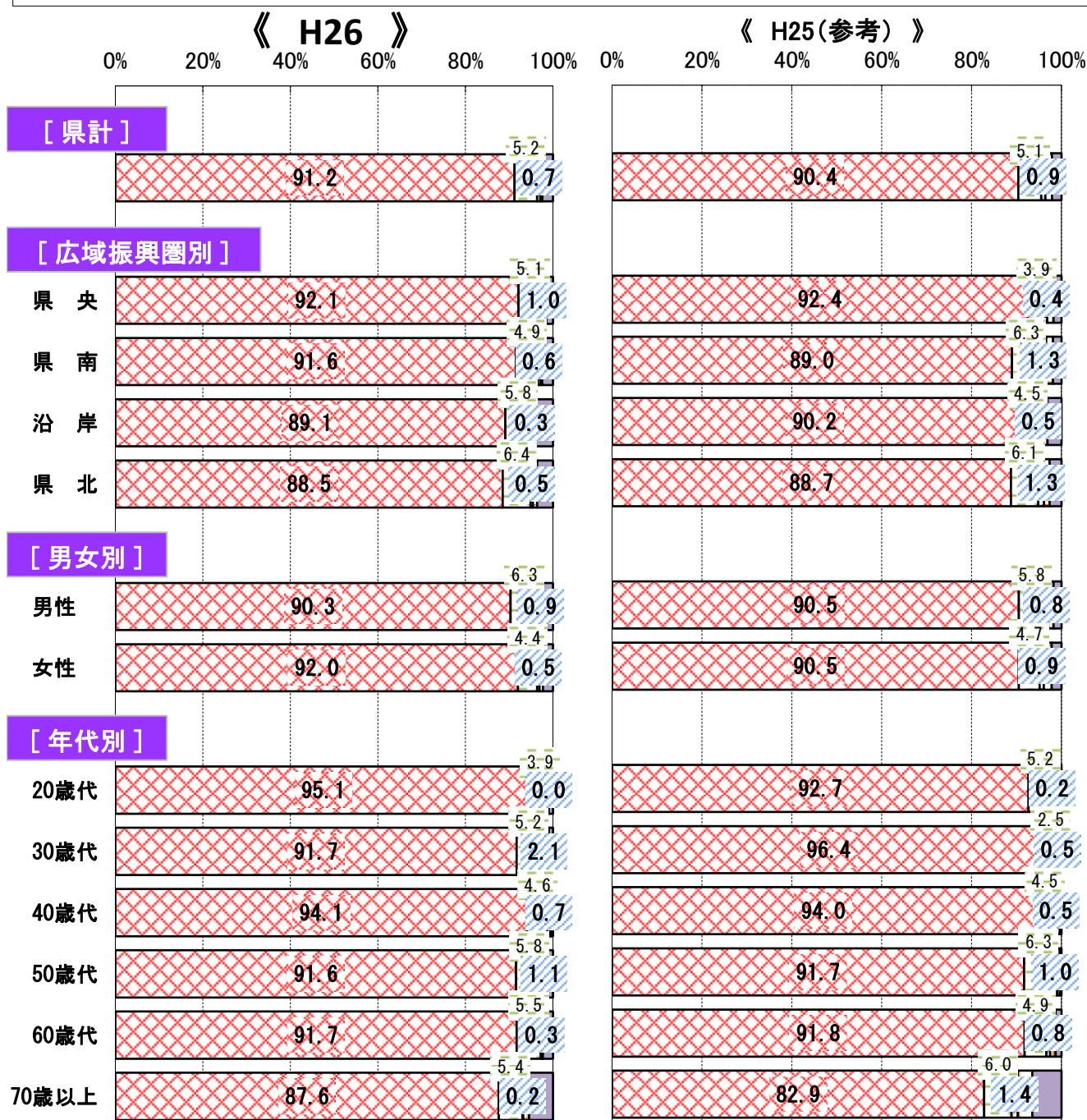
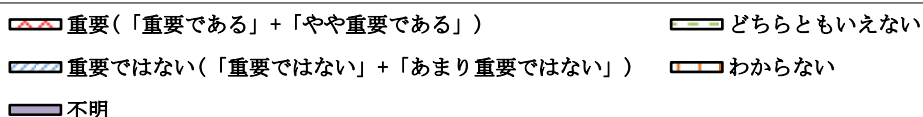


問2-20 交通事故が少ない社会であること。

(1) 重要度について

重要が9割強(91.2%)

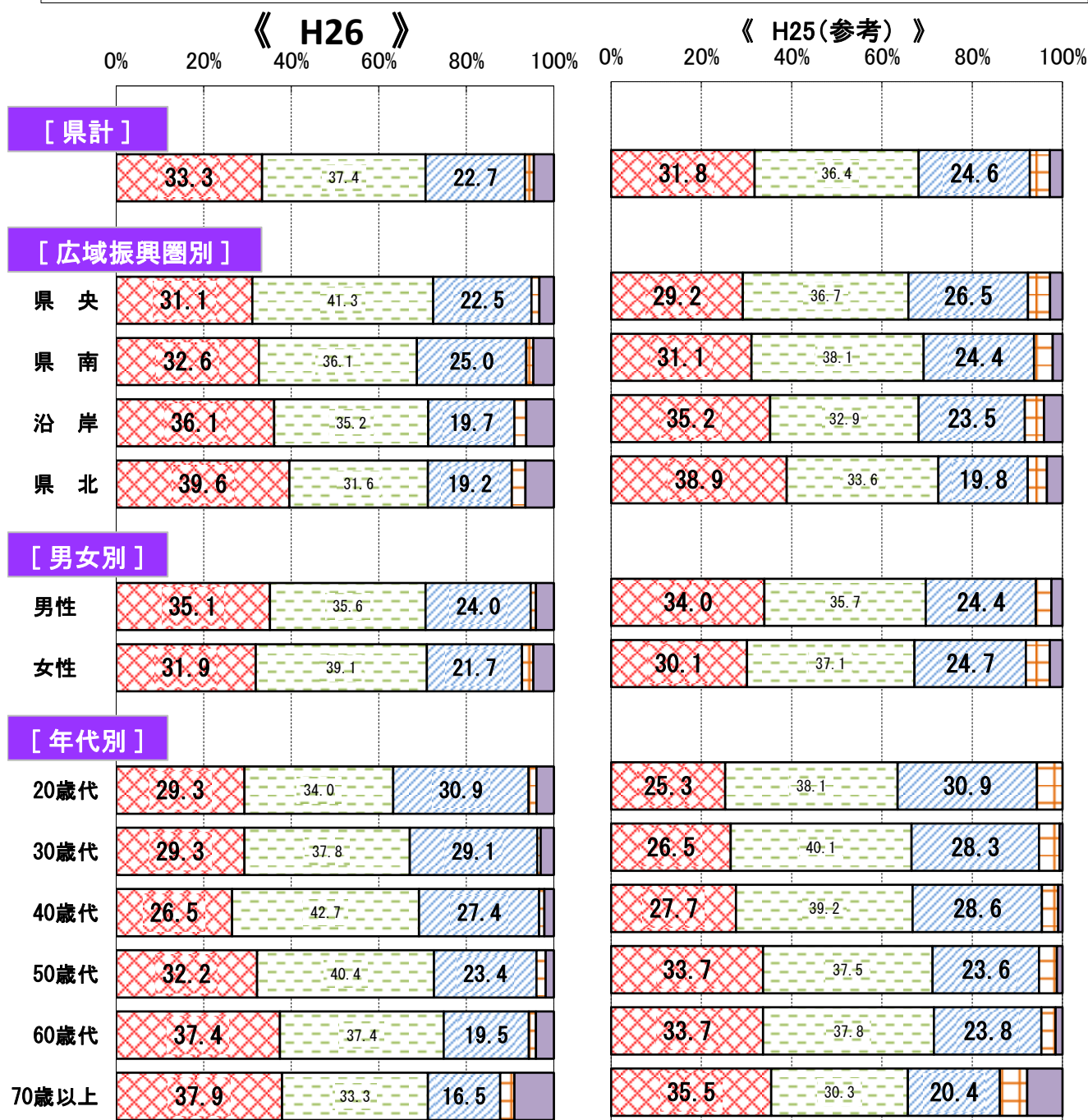
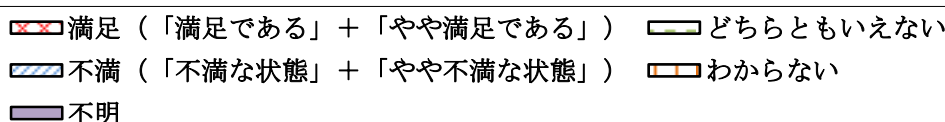
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が91.2%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が0.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の92.1%、最も低いのが県北の88.5%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が33.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合22.7%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(39.6%)、男女別では男性(35.1%)、年代別では70歳以上(37.9%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

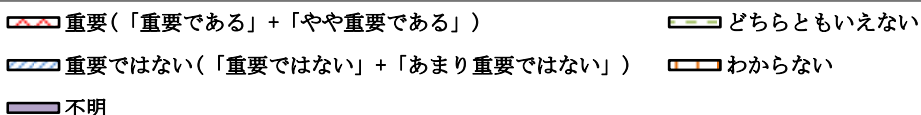


問2-21 悪質商法、架空請求、多重債務などの消費者トラブルについて、適切な相談や支援を受けられる社会であること。

(1) 重要度について

重要が9割弱(86.3%)

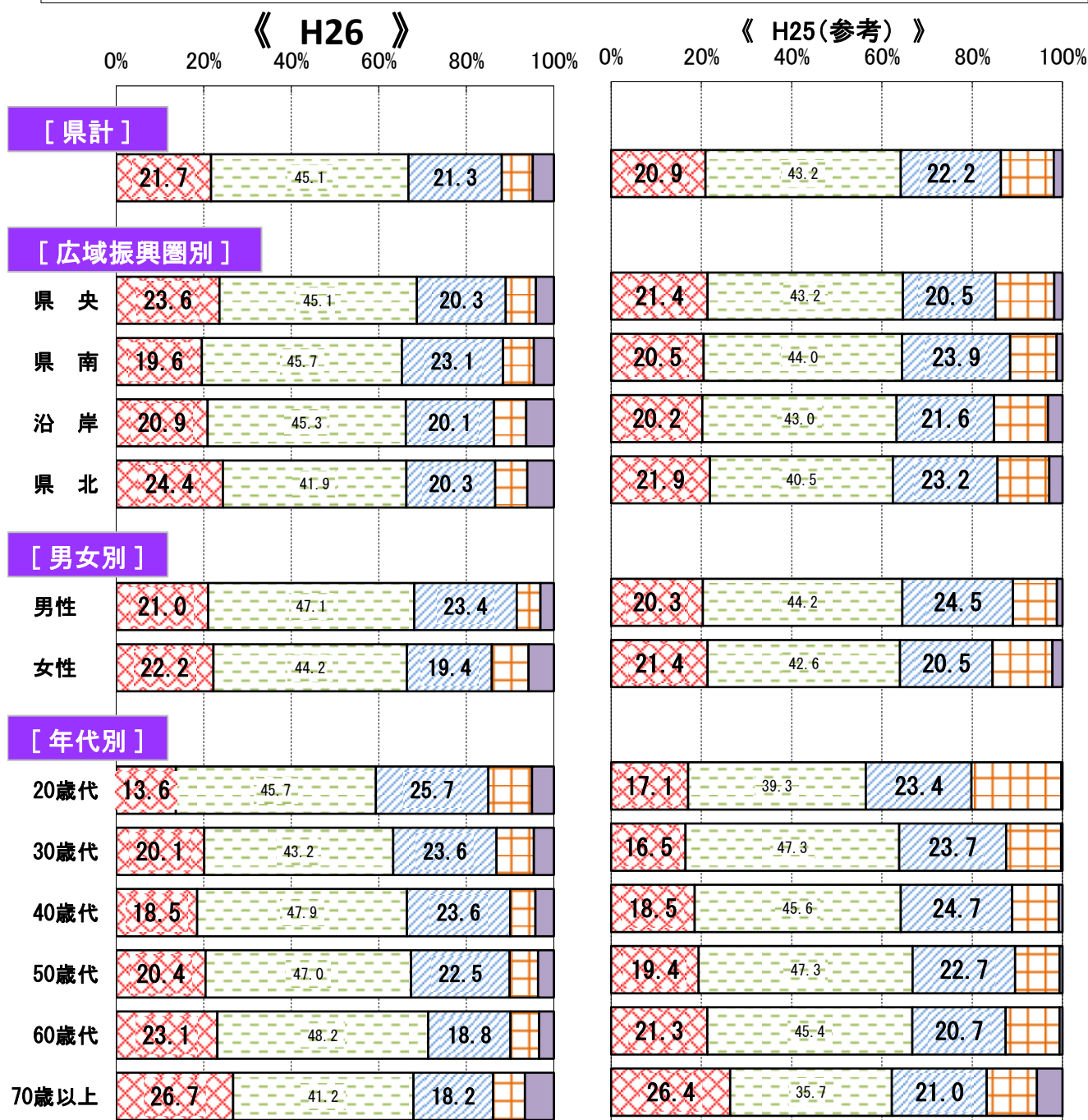
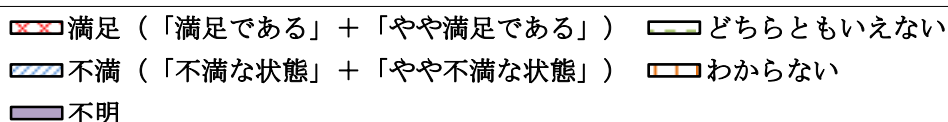
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が86.3%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.3%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の87.0%、最も低いのが沿岸の83.8%となっている。



(2) 満足度について

満足と不満にほとんど差はない

- 県計では、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が21.7%となっており、不満（「不満」+「やや不満」）の割合21.3%とほとんど差はない。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北（24.4%）、男女別では女性（22.2%）、年代別では70歳以上（26.7%）において満足（「満足」+「やや満足」）の割合が高くなっている。

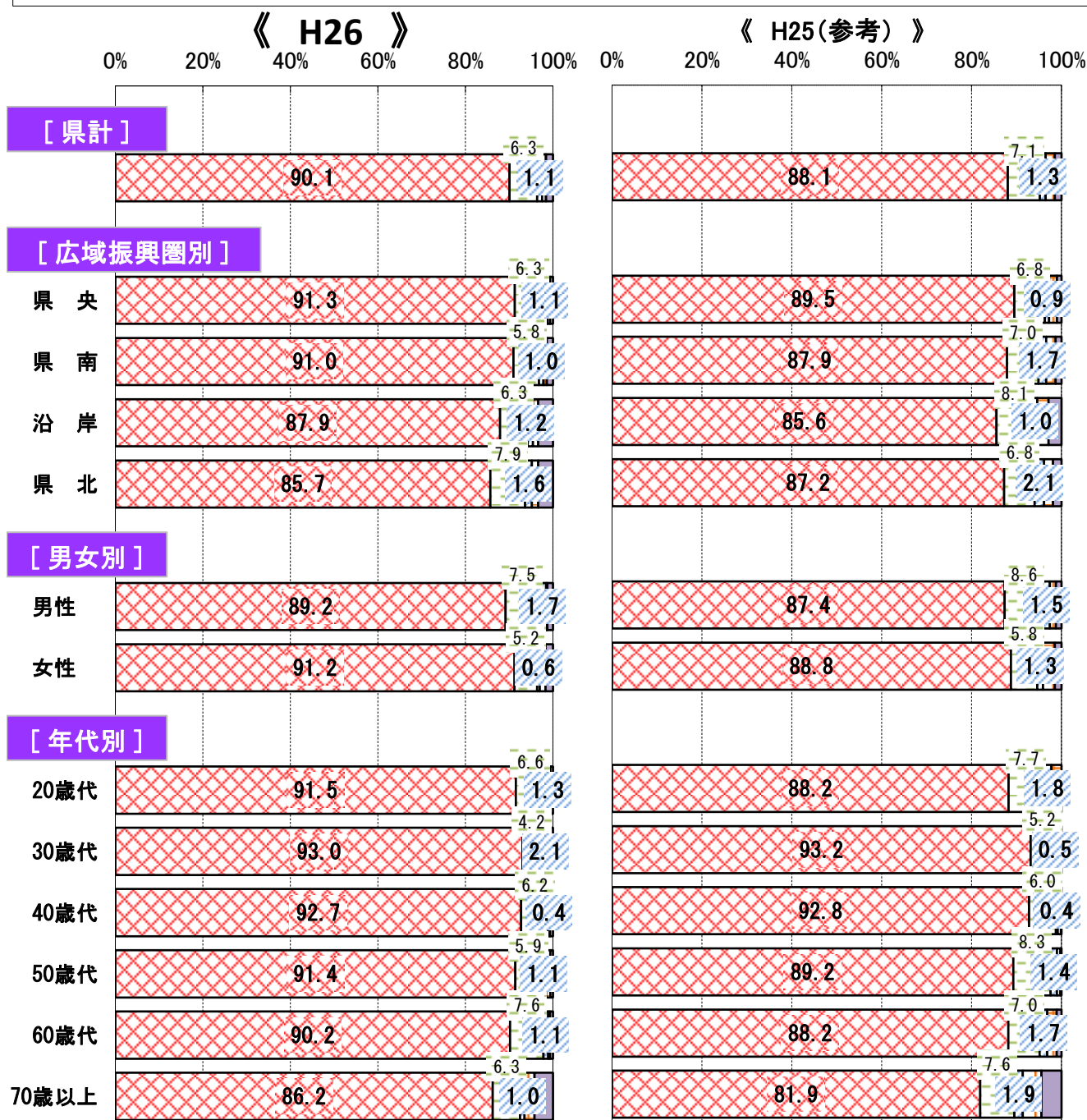
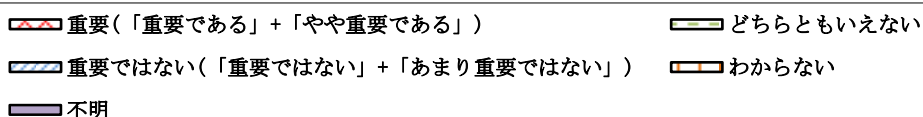


問2-22 購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない社会であること。

(1) 重要度について

重要が約9割(90.1%)

- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が90.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.1%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の91.3%、最も低いのが県北の85.7%となっている。

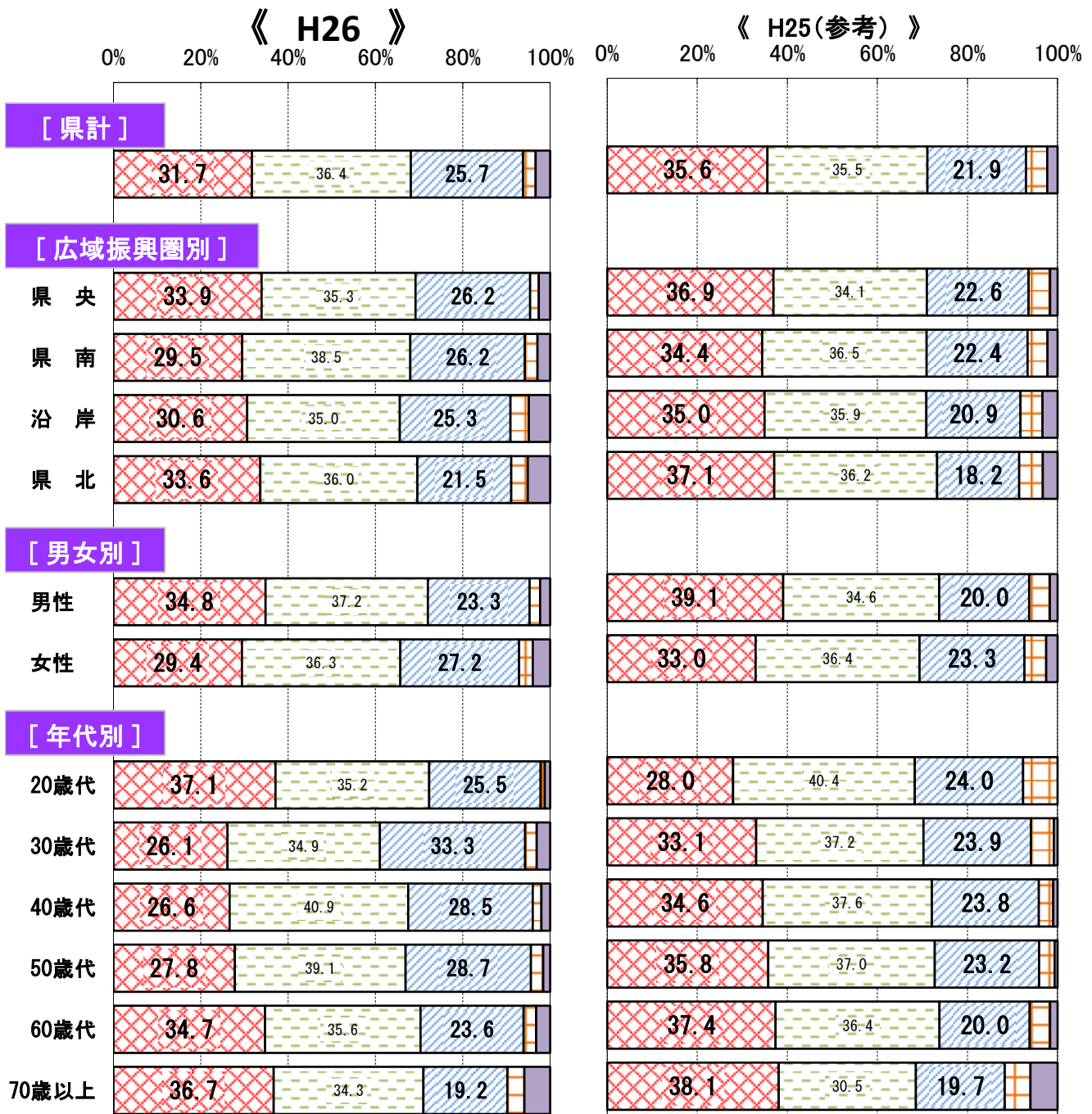


(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が31.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合25.7%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(33.9%)、男女別では男性(34.8%)、年代別では20歳代(37.1%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

満足(「満足である」+「やや満足である」)
 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 不明
 どちらともいえない
 わからない

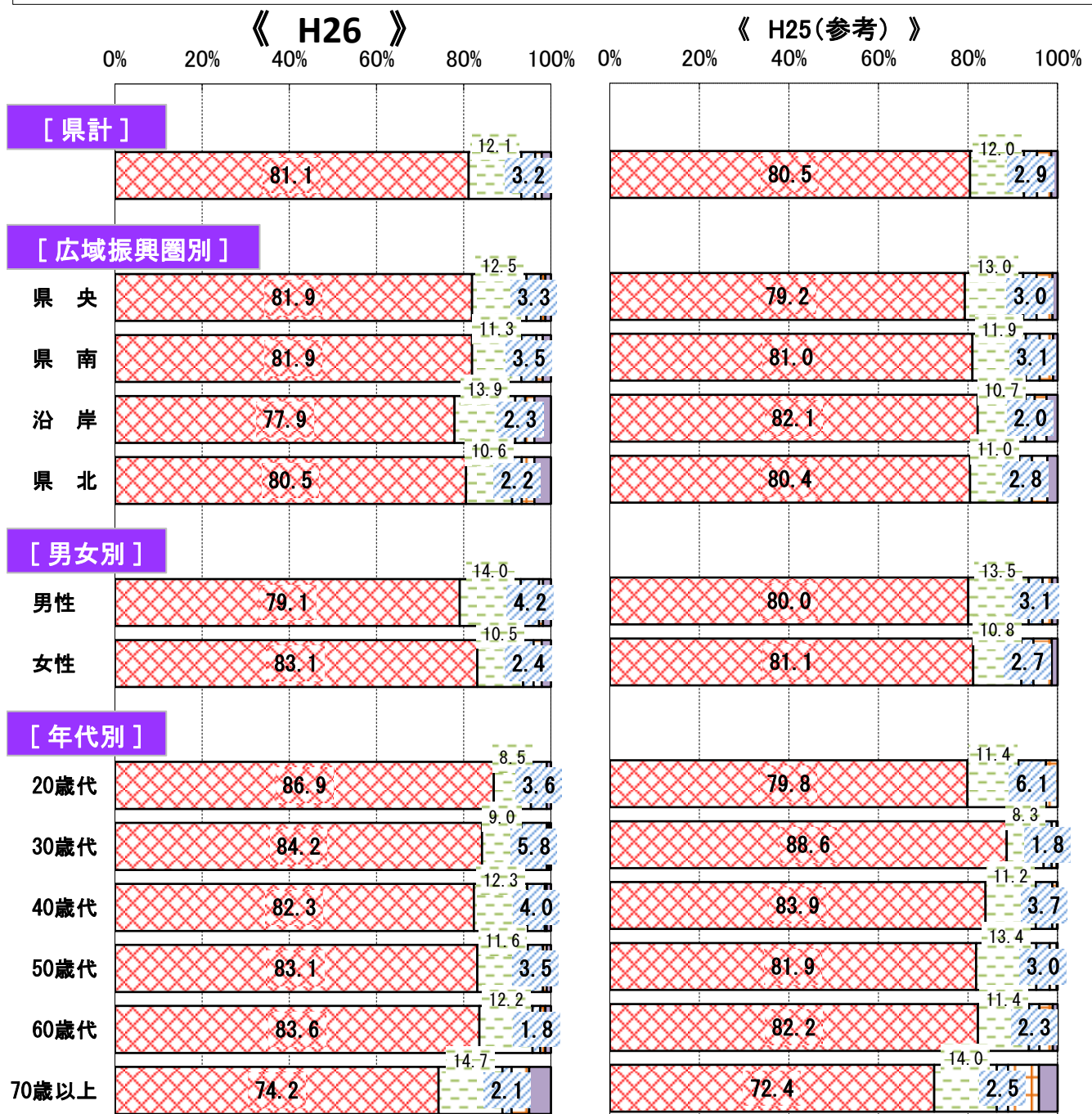
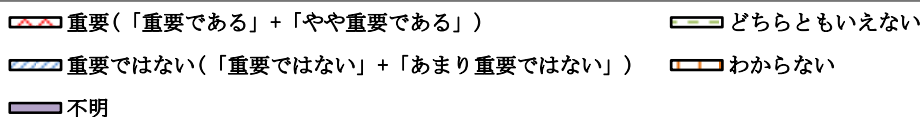


問2-23 岩手に移り住む人や岩手を訪れる人が増え、地域に活力が生まれていること。

(1) 重要度について

重要が8割強(81.1%)

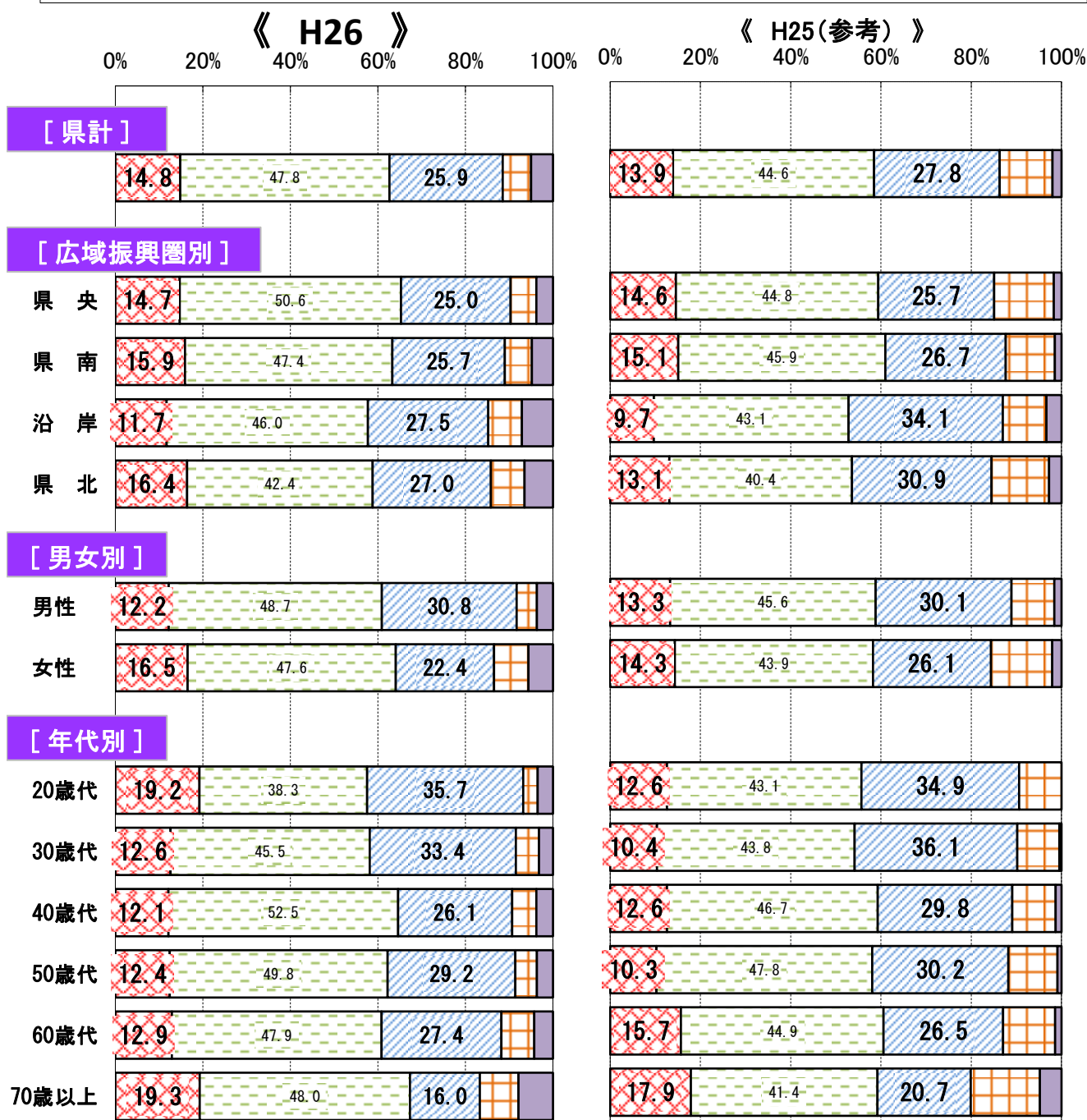
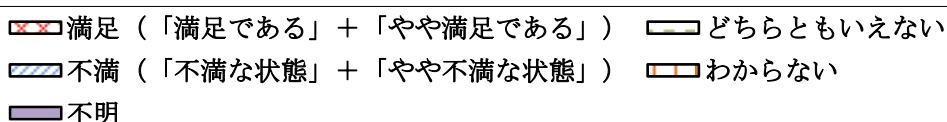
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が81.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.2%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央及び県南の81.9%、最も低いのが沿岸の77.9%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が14.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合25.9%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(16.4%)、男女別では女性(16.5%)、年代別では70歳以上(19.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

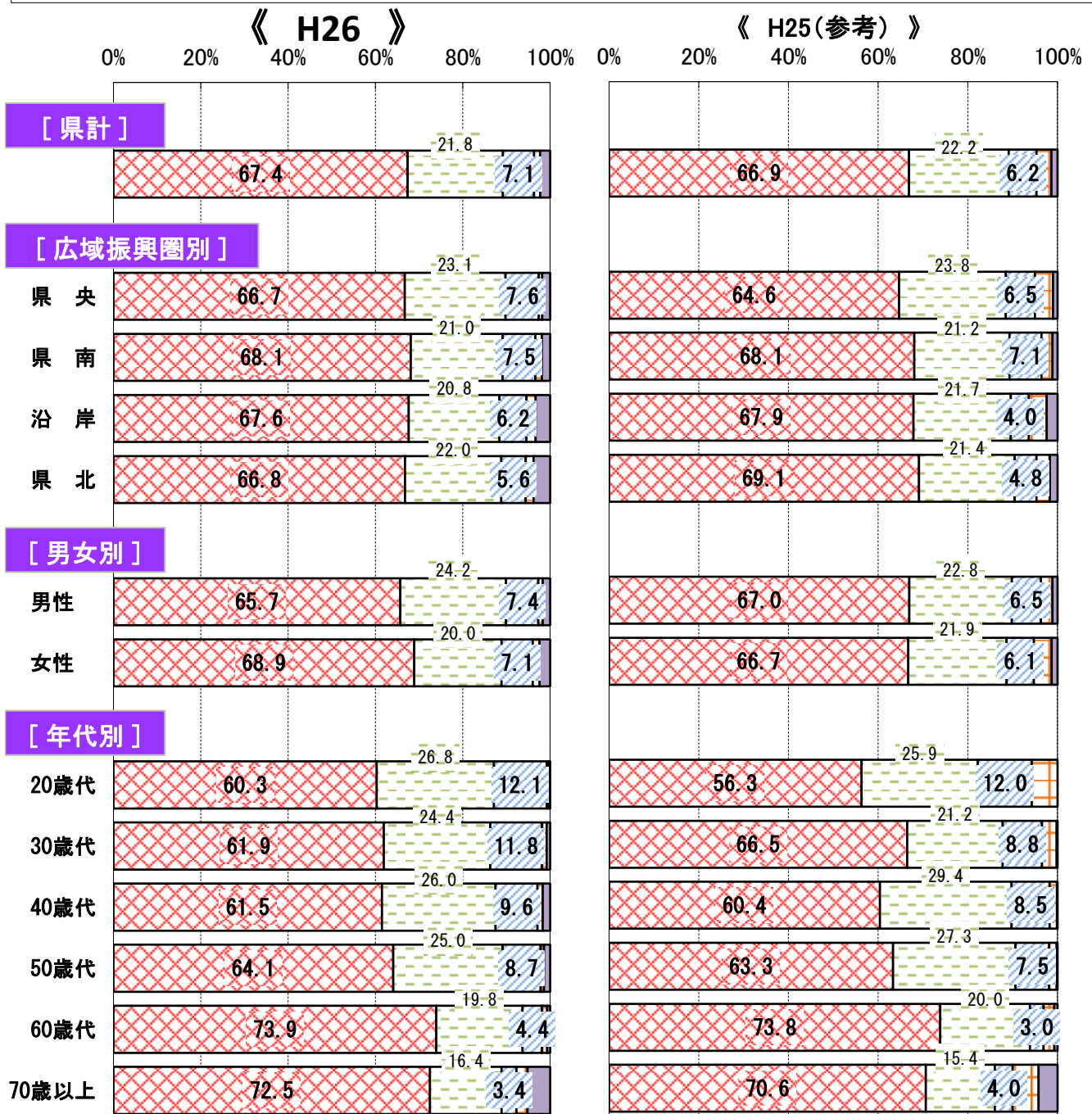
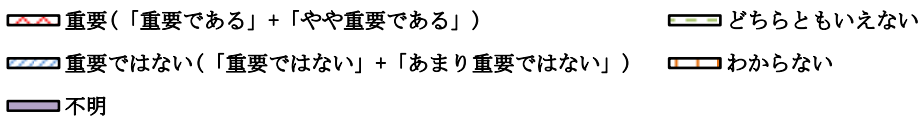


問2-24 だれもが市民活動に参加できる社会であること。

(1) 重要度について

重要が7割弱(67.4%)

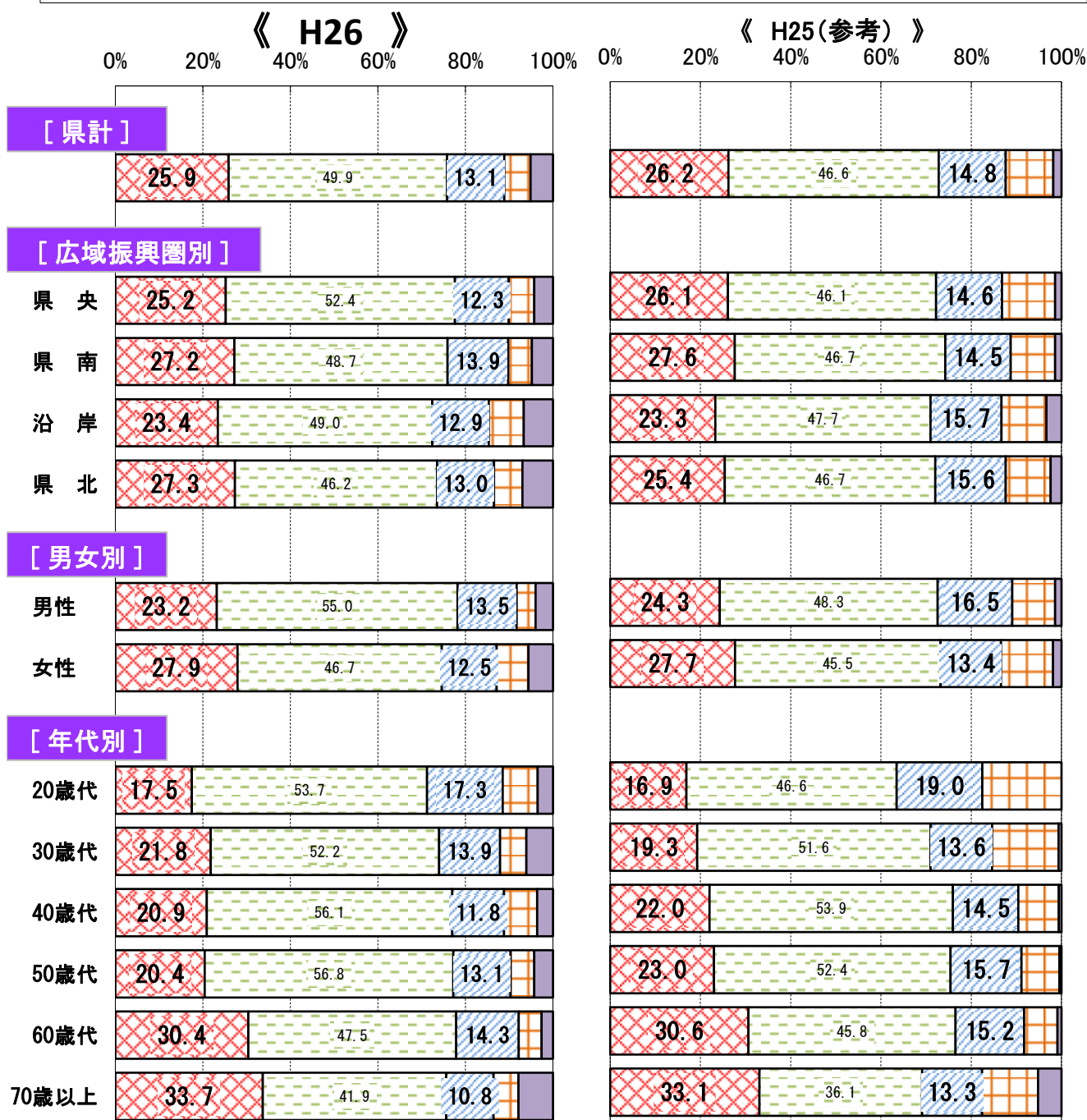
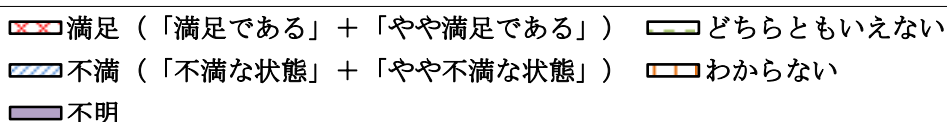
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が67.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が7.1%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県南の68.1%、最も低いのが県央の66.7%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が25.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合13.1%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(27.3%)、男女別では女性(27.9%)、年代別では70歳以上(33.7%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

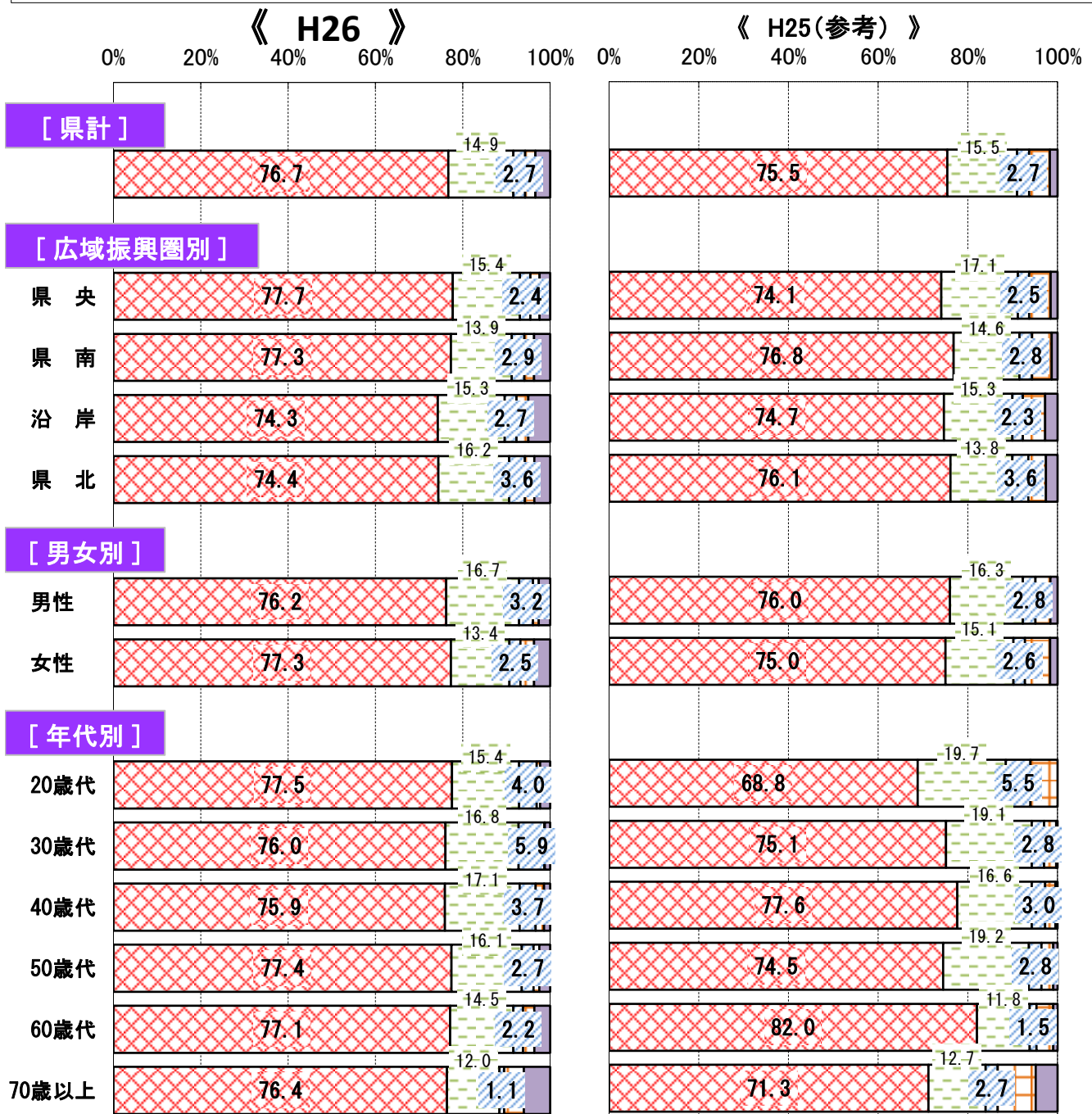
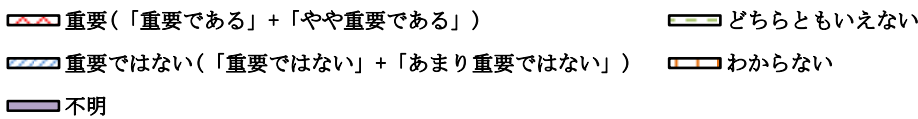


問2-25 地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。

(1) 重要度について

重要が8割弱(76.7%)

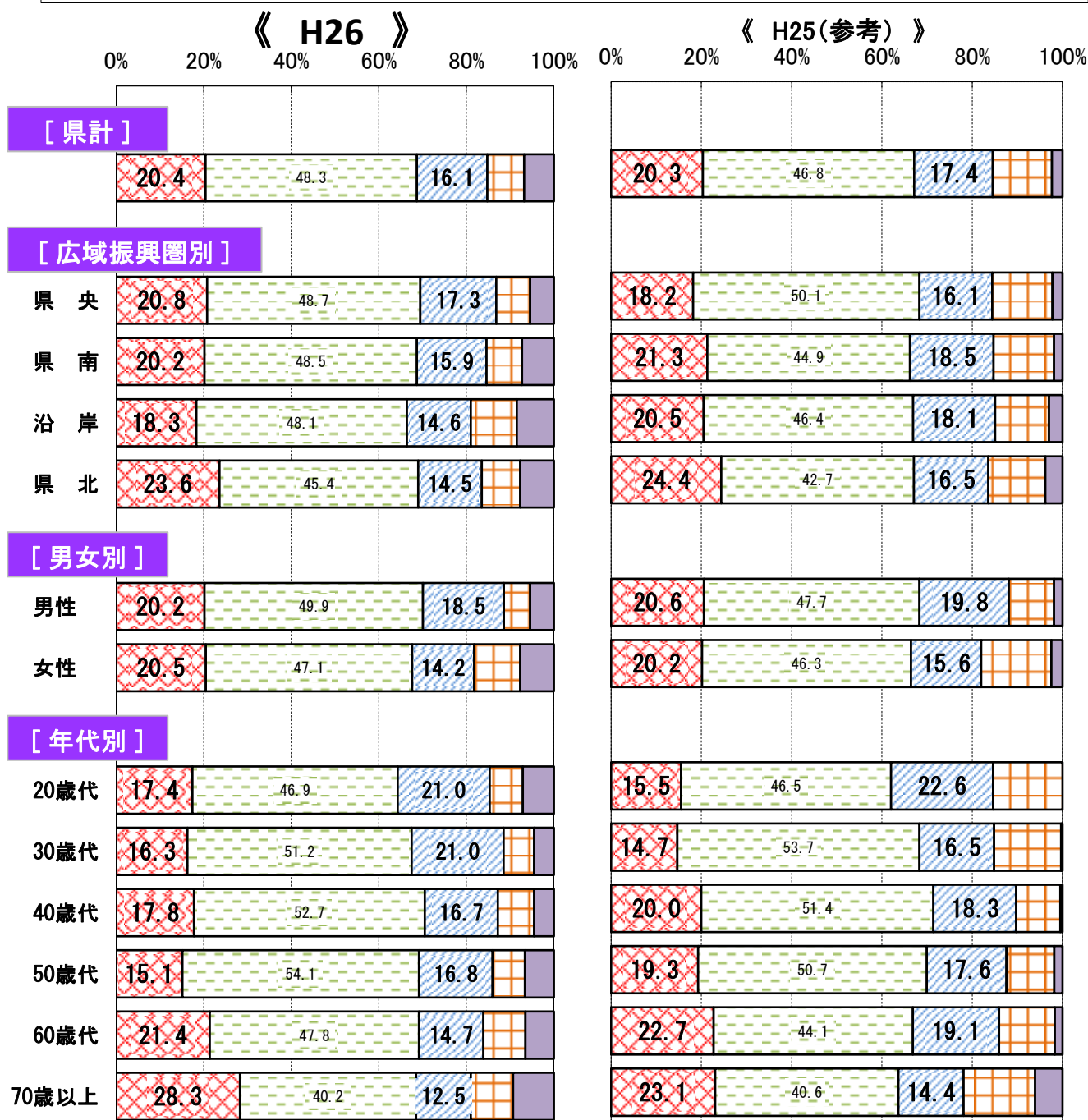
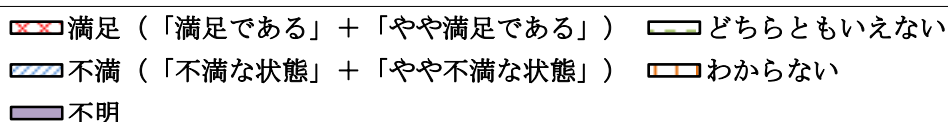
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が76.7%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の77.7%、最も低いのが沿岸の74.3%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が20.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合16.1%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(23.6%)、年代別では70歳以上(28.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

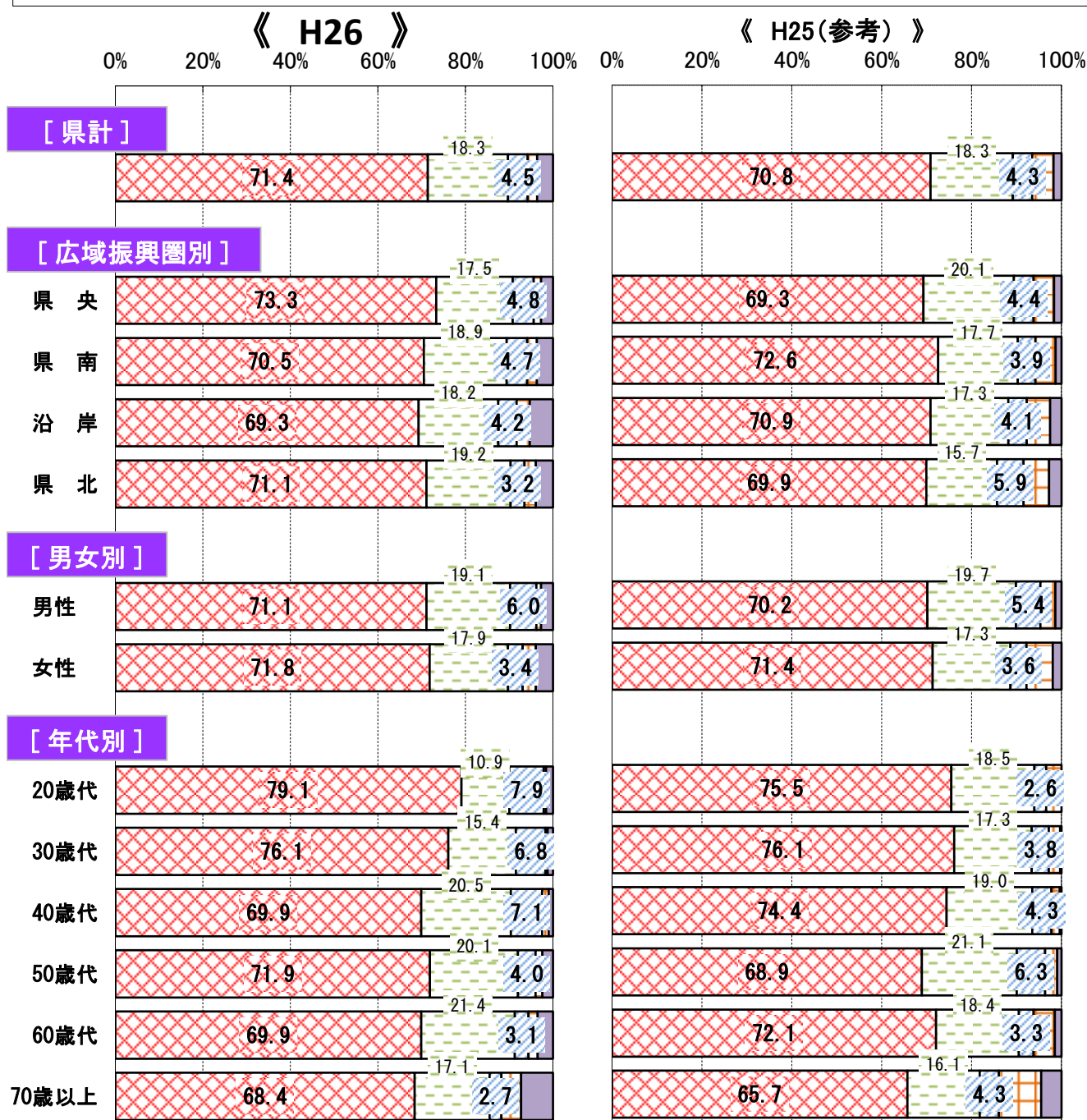
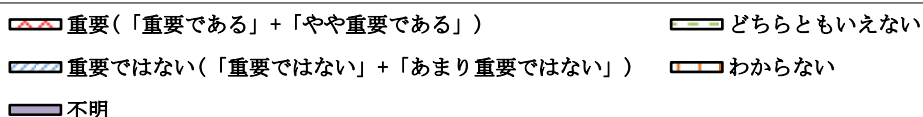


問2-26 女性も男性も社会のあらゆる分野に等しく参画し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。

(1) 重要度について

重要が7割強(71.4%)

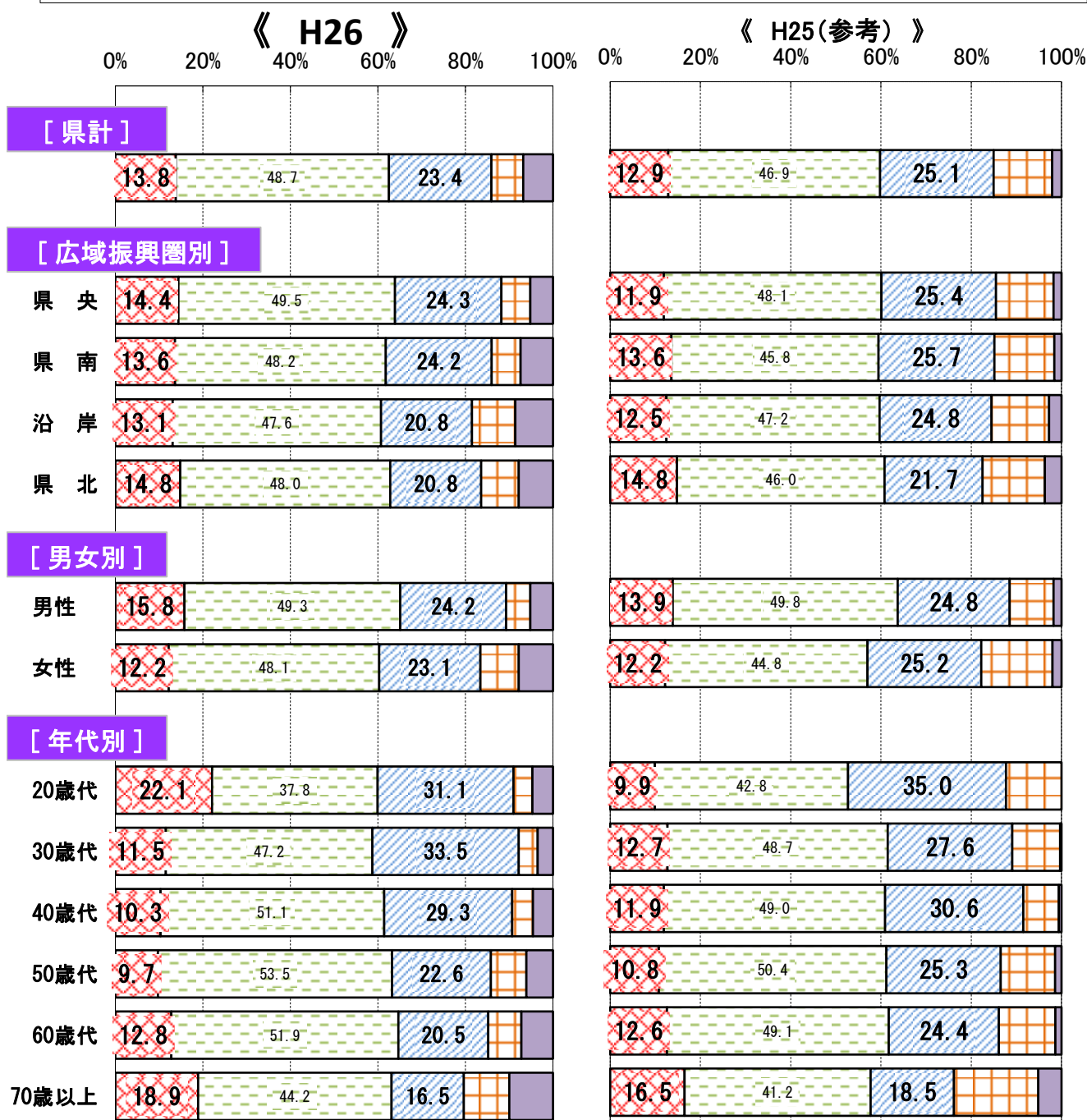
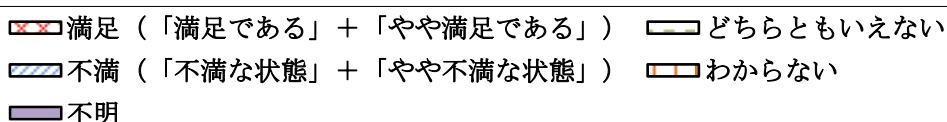
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が71.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が4.5%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の73.3%、最も低いのが沿岸の69.3%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が13.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合23.4%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(14.8%)、男女別では男性(15.8%)、年代別では20歳代(22.1%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

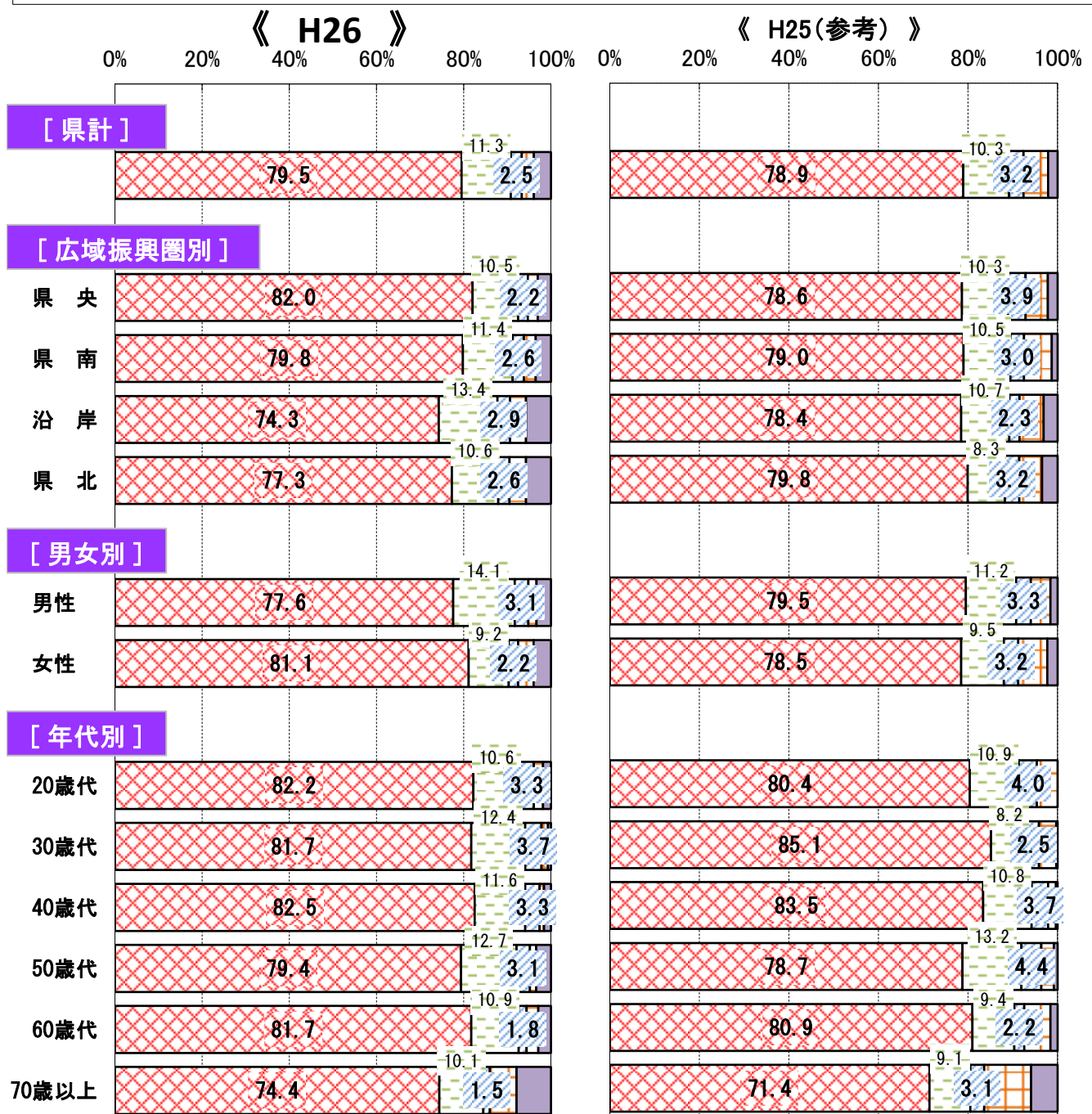
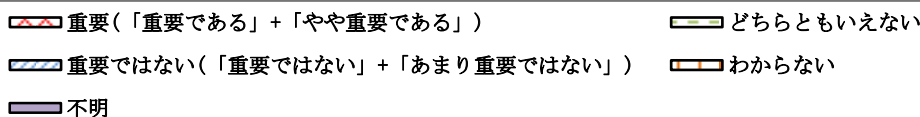


問2-27 学校が、学力や体力の向上などの目標に向かって、家庭や地域と一緒に取り組んでいること。

(1) 重要度について

重要が約8割(79.5%)

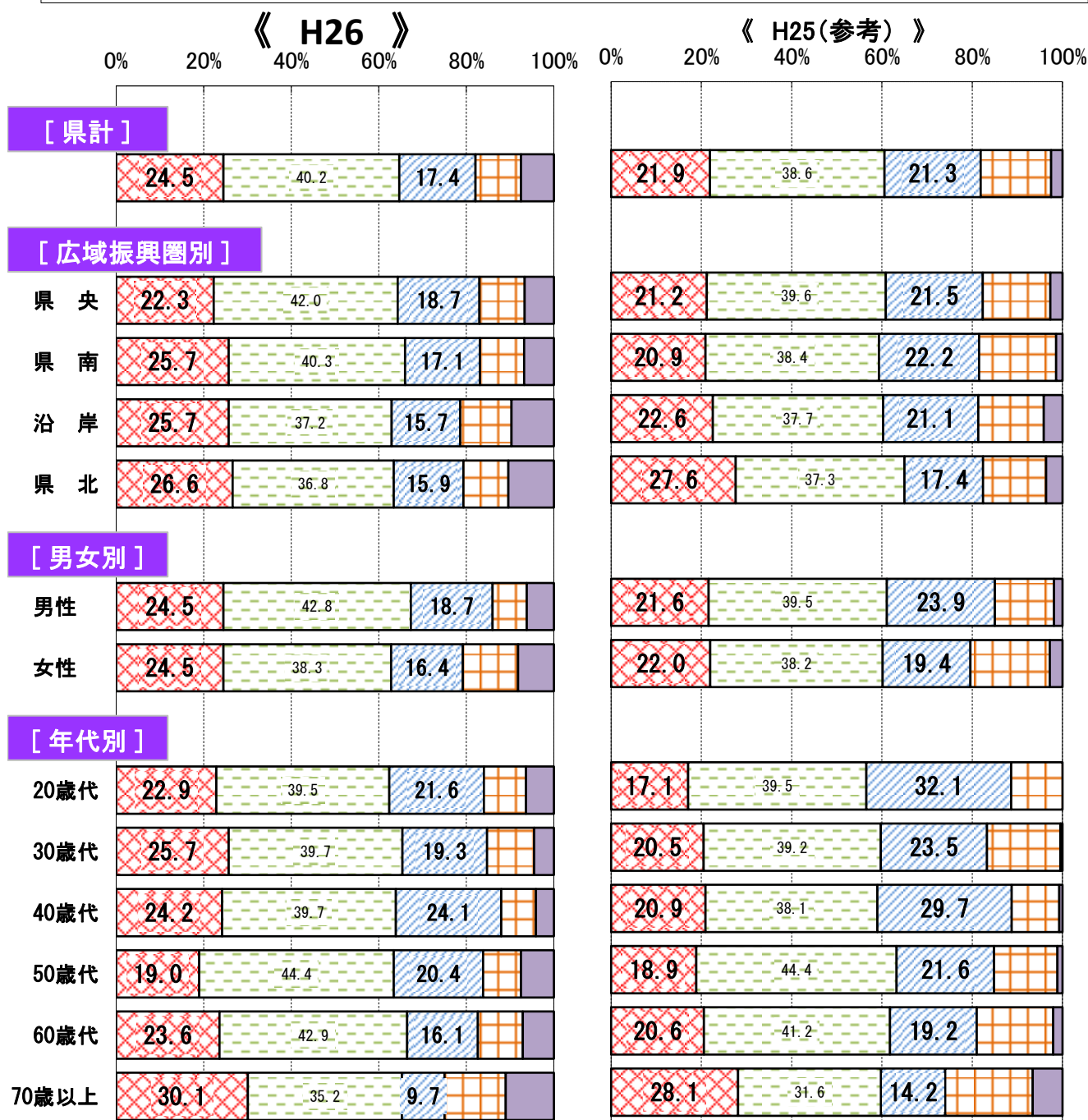
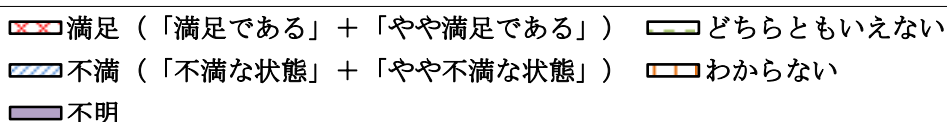
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が79.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.5%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の82.0%、最も低いのが沿岸の74.3%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が24.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合17.4%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(26.6%)、年代別では70歳以上(30.1%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

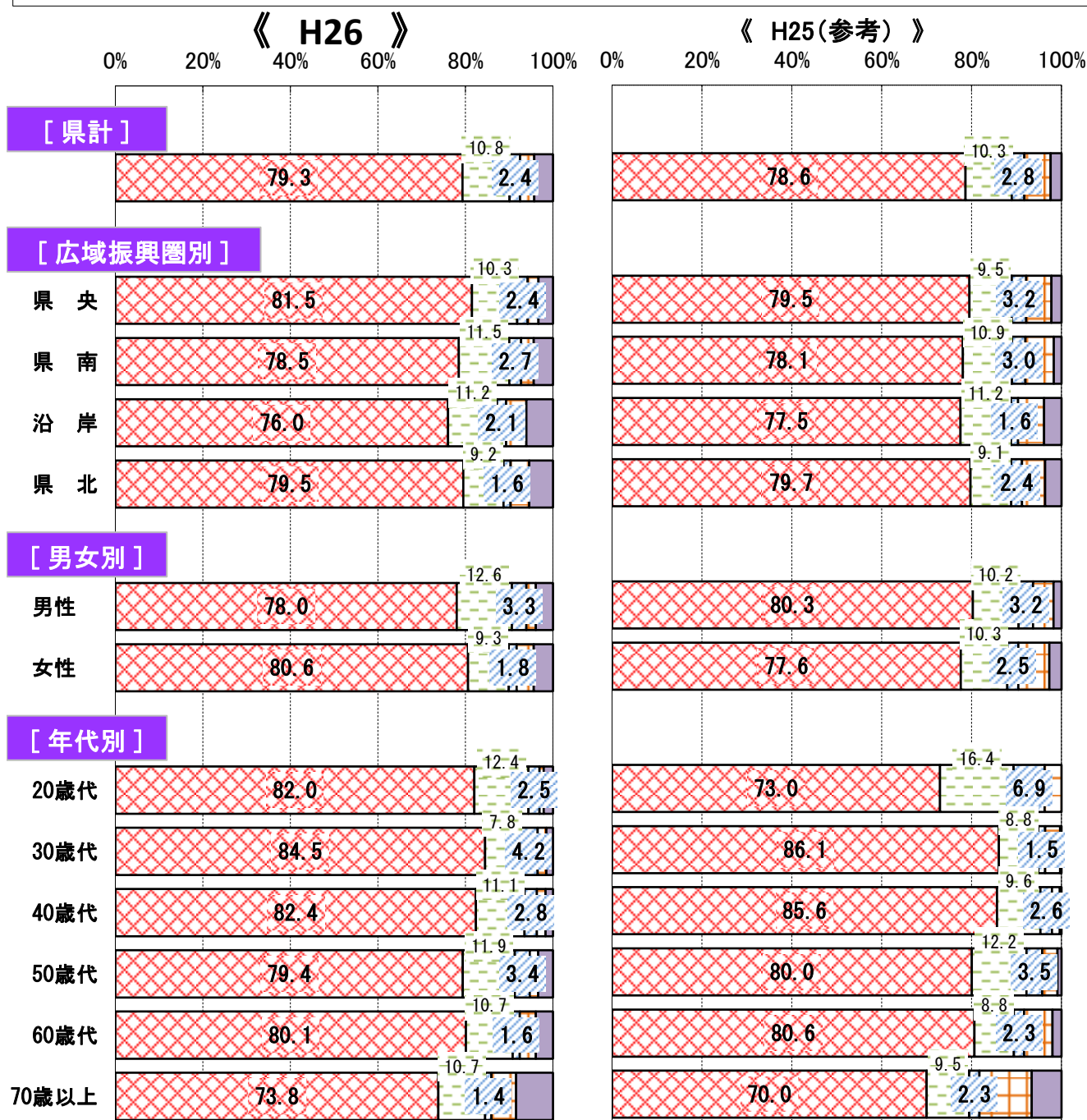
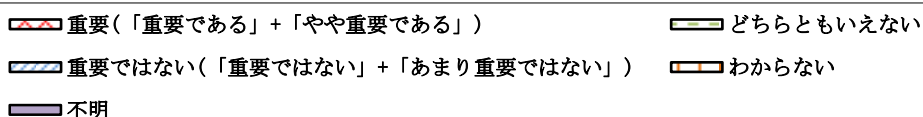


問2-28 子どもたちの学力が向上する教育がされていること。

(1) 重要度について

重要が8割弱(79.3%)

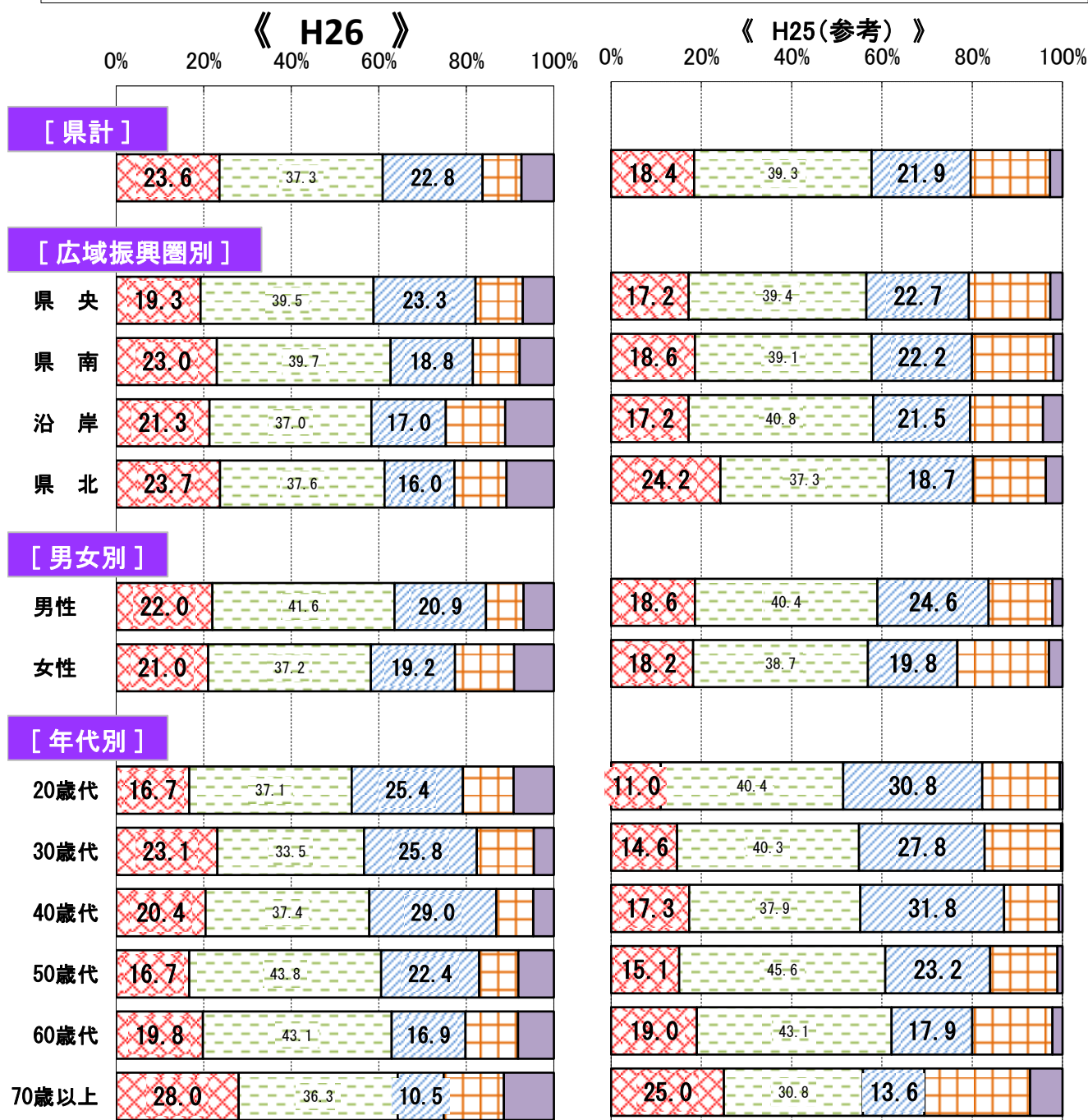
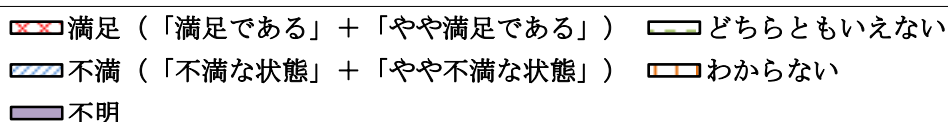
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が79.3%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.4%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の81.5%、最も低いのが沿岸の76.0%となっている。



(2) 満足度について

満足と不満にほとんど差はない

- 県計では、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が23.6%となっており、不満（「不満」+「やや不満」）の割合22.8%とほとんど差はない。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北（23.7%）、男女別では男性（22.0%）、年代別では70歳以上（28.0%）において満足（「満足」+「やや満足」）の割合が高くなっている。

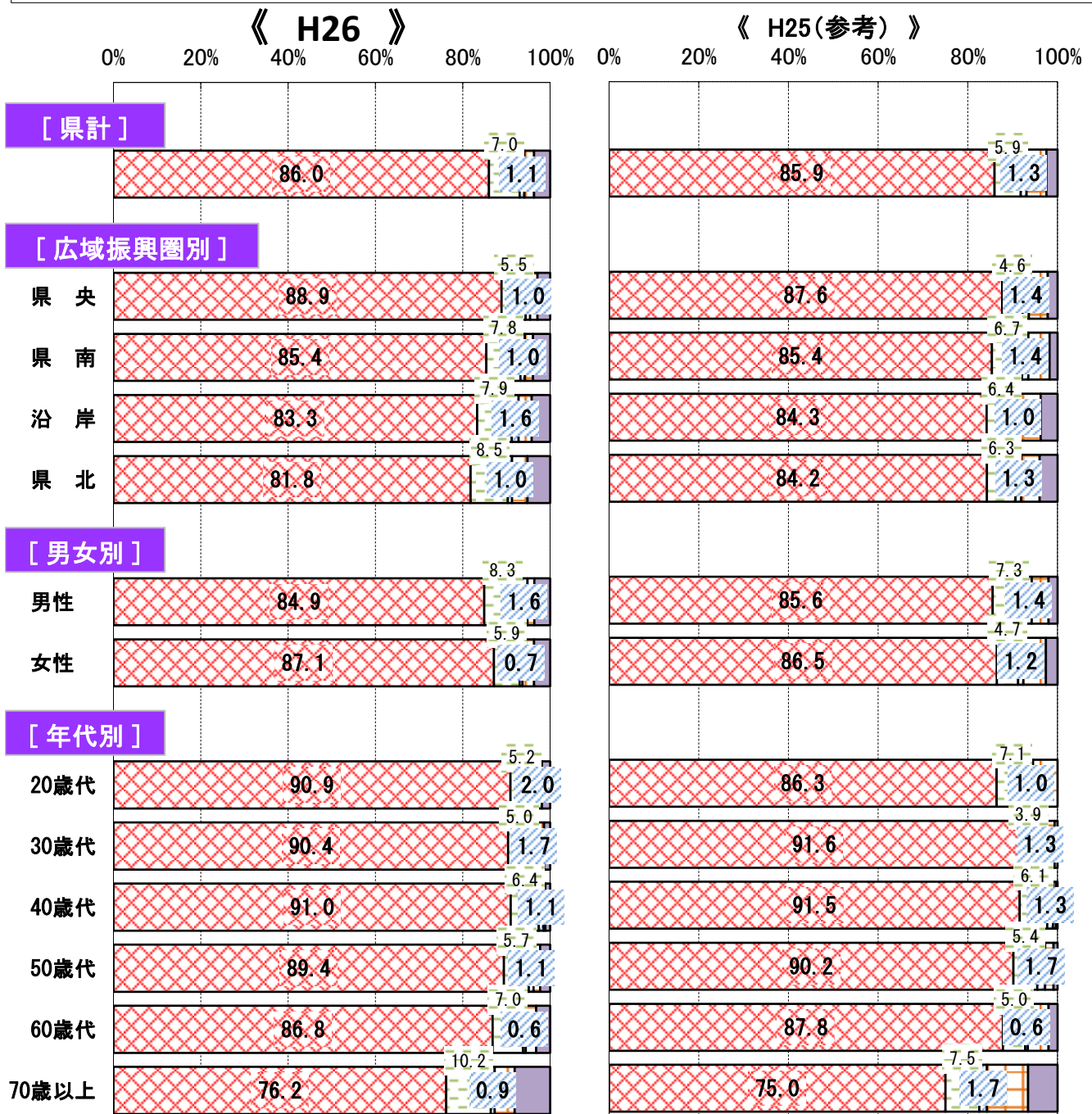
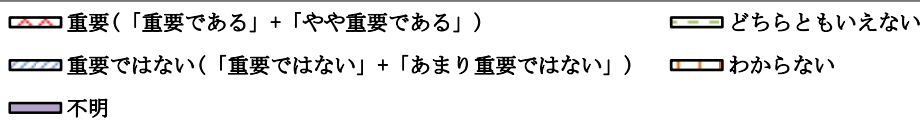


問2-29 子どもたちが、自分の良さを知り、人を思いやる心を持つなど、人間性豊かに育っていること。

(1) 重要度について

重要が約85% (86.0%)

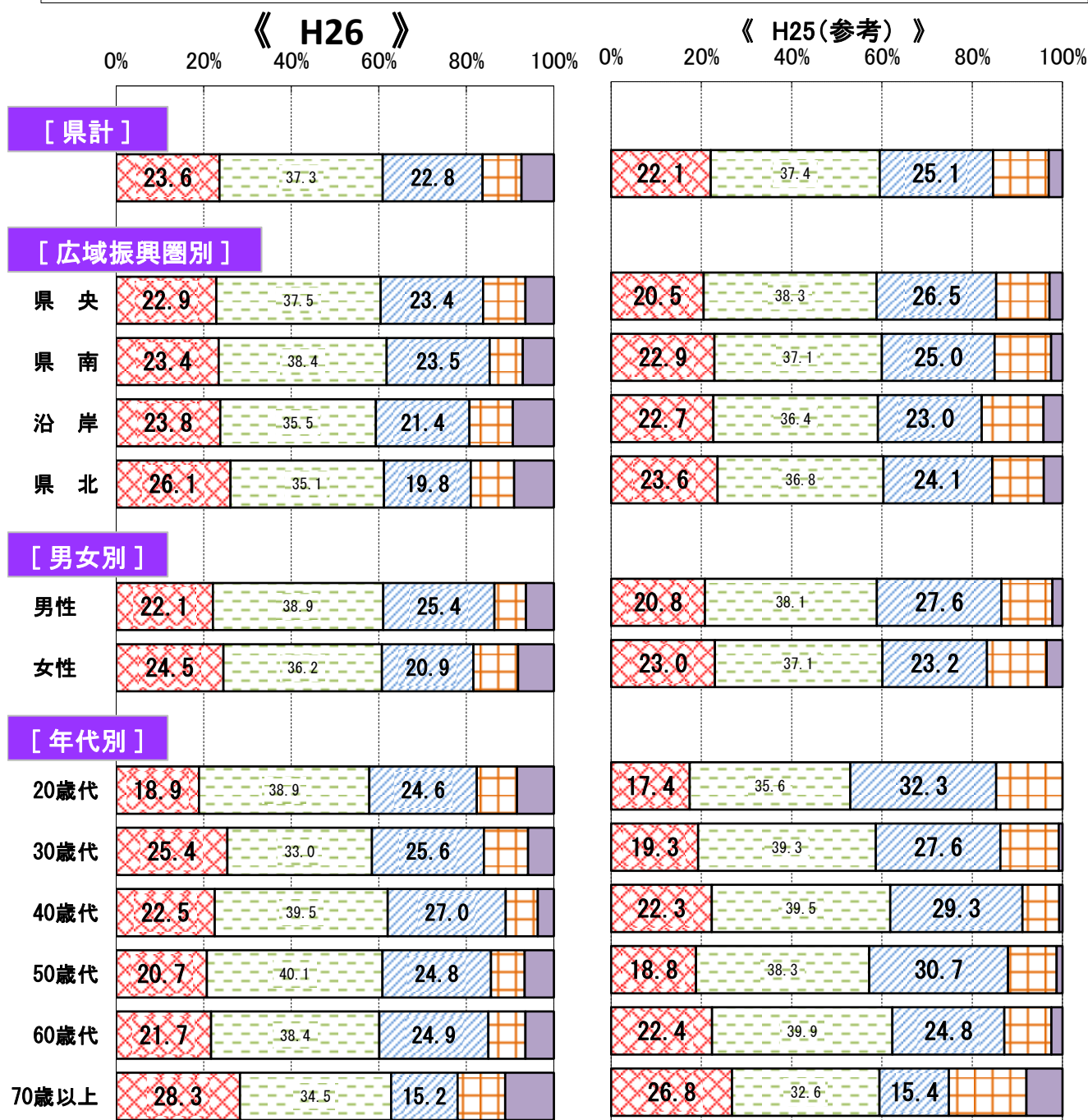
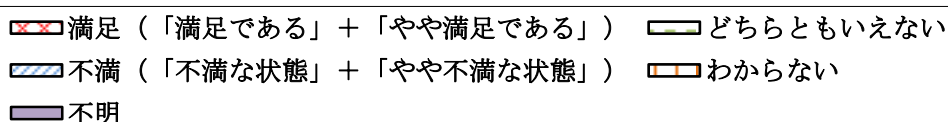
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が86.0%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.1%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の88.9%、最も低いのが県北の81.8%となっている。



(2) 満足度について

満足と不満にほとんど差はない

- 県計では、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が23.6%となっており、不満（「不満」+「やや不満」）の割合22.8%とほとんど差はない。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北（26.1%）、男女別では女性（24.5%）、年代別では70歳以上（28.3%）において満足（「満足」+「やや満足」）の割合が高くなっている。

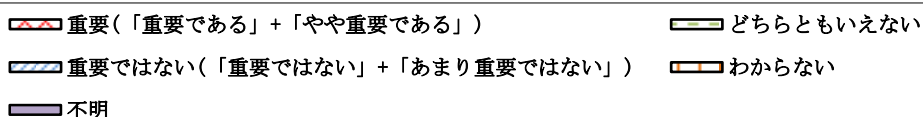


問2-30 子どもたちが、スポーツや運動に取り組むことによって、体力の向上や心身の健康の保持が図られること。

(1) 重要度について

重要が約85%(84.1%)

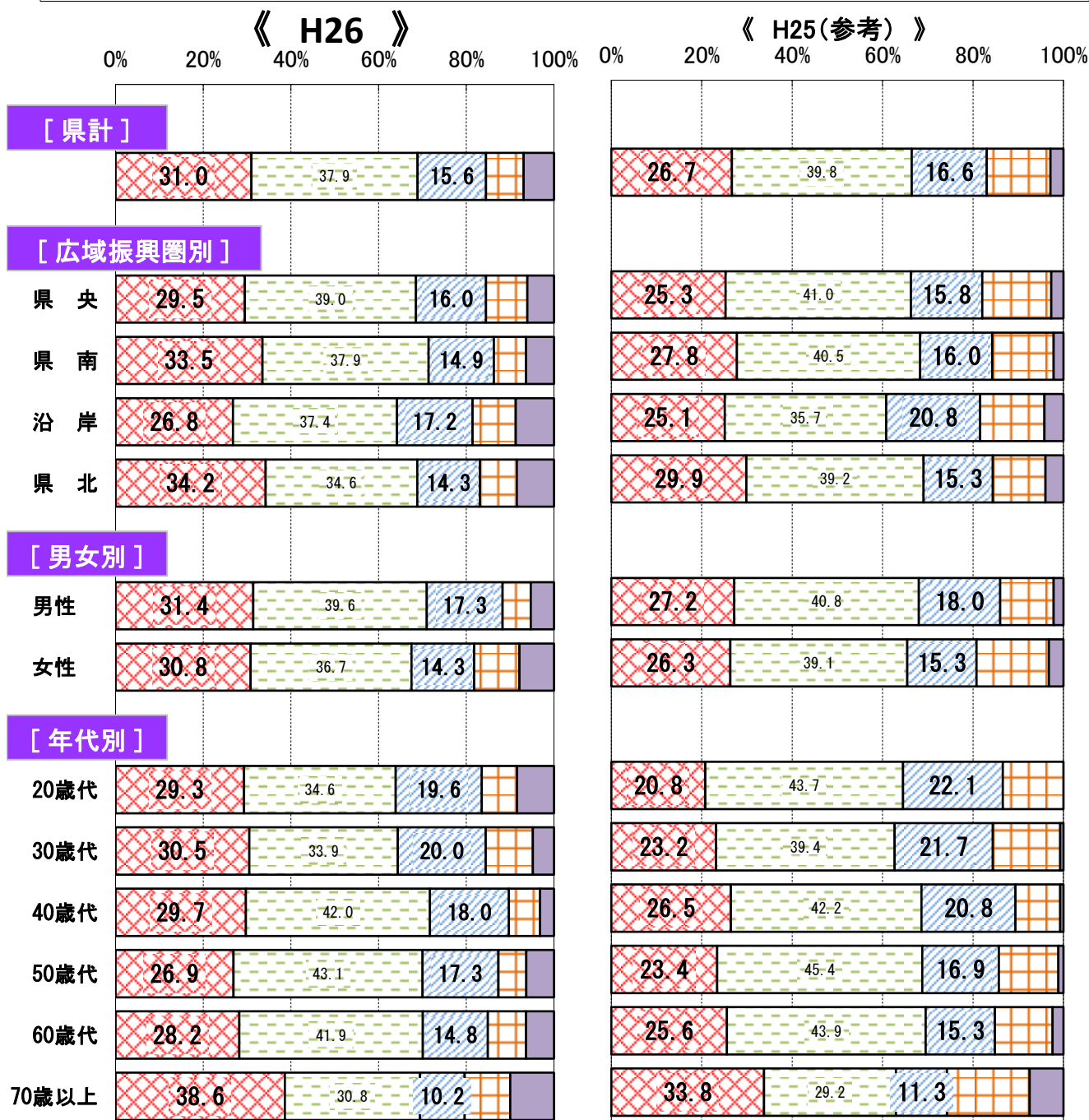
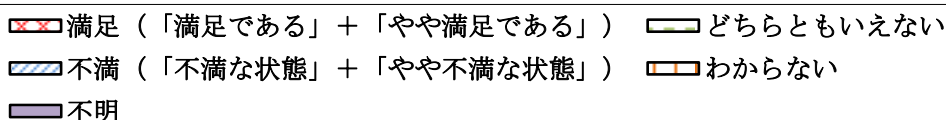
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が84.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.1%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の86.0%、最も低いのが沿岸の81.1%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が31.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合15.6%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(34.2%)、男女別では男性(31.4%)、年代別では70歳以上(38.6%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

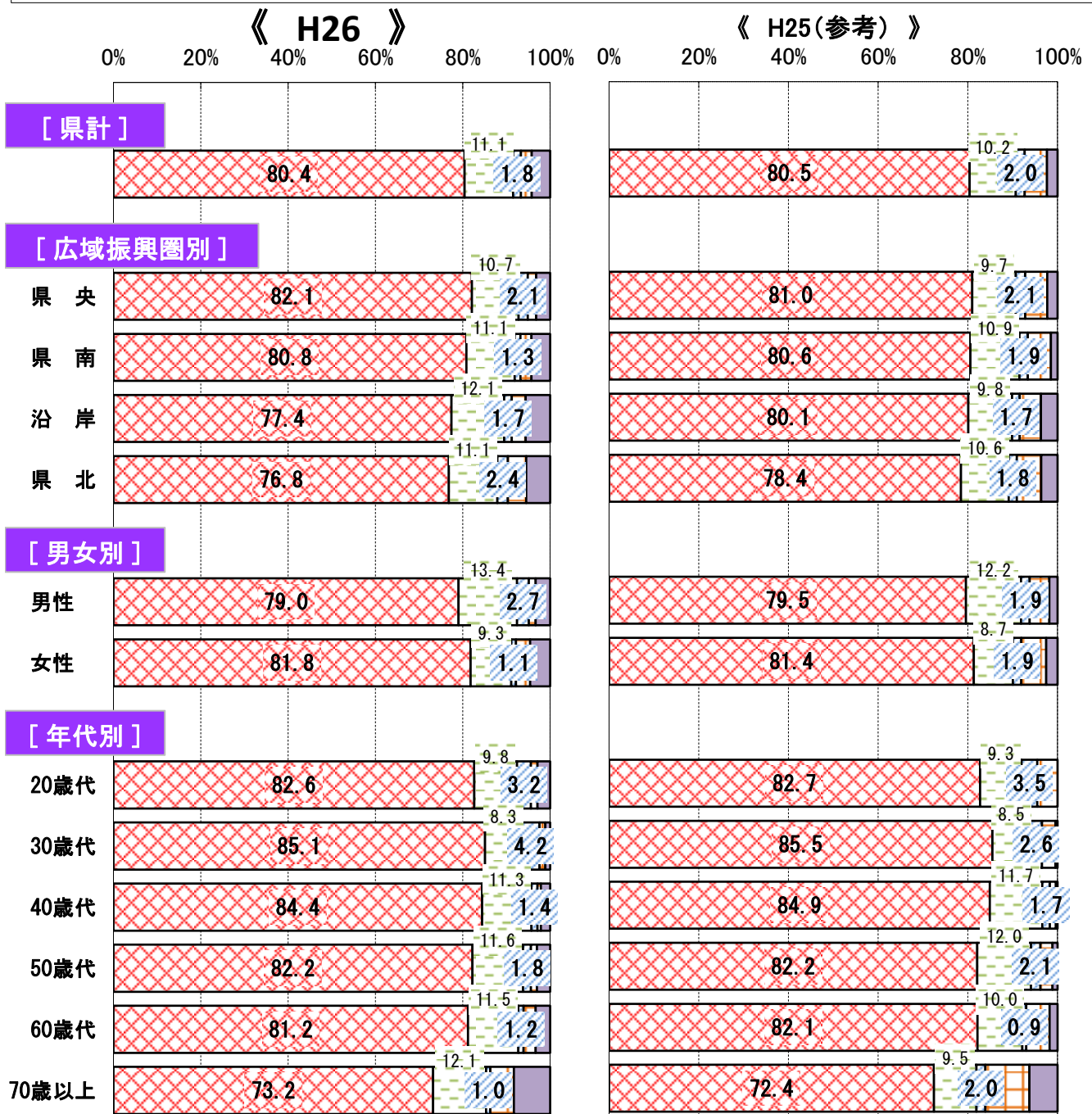
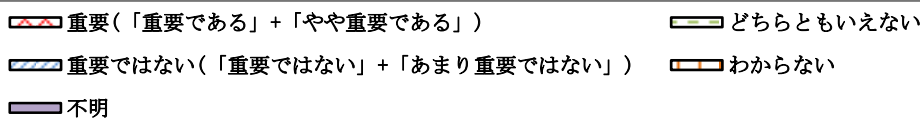


問2-31 学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。

(1) 重要度について

重要が約8割(80.4%)

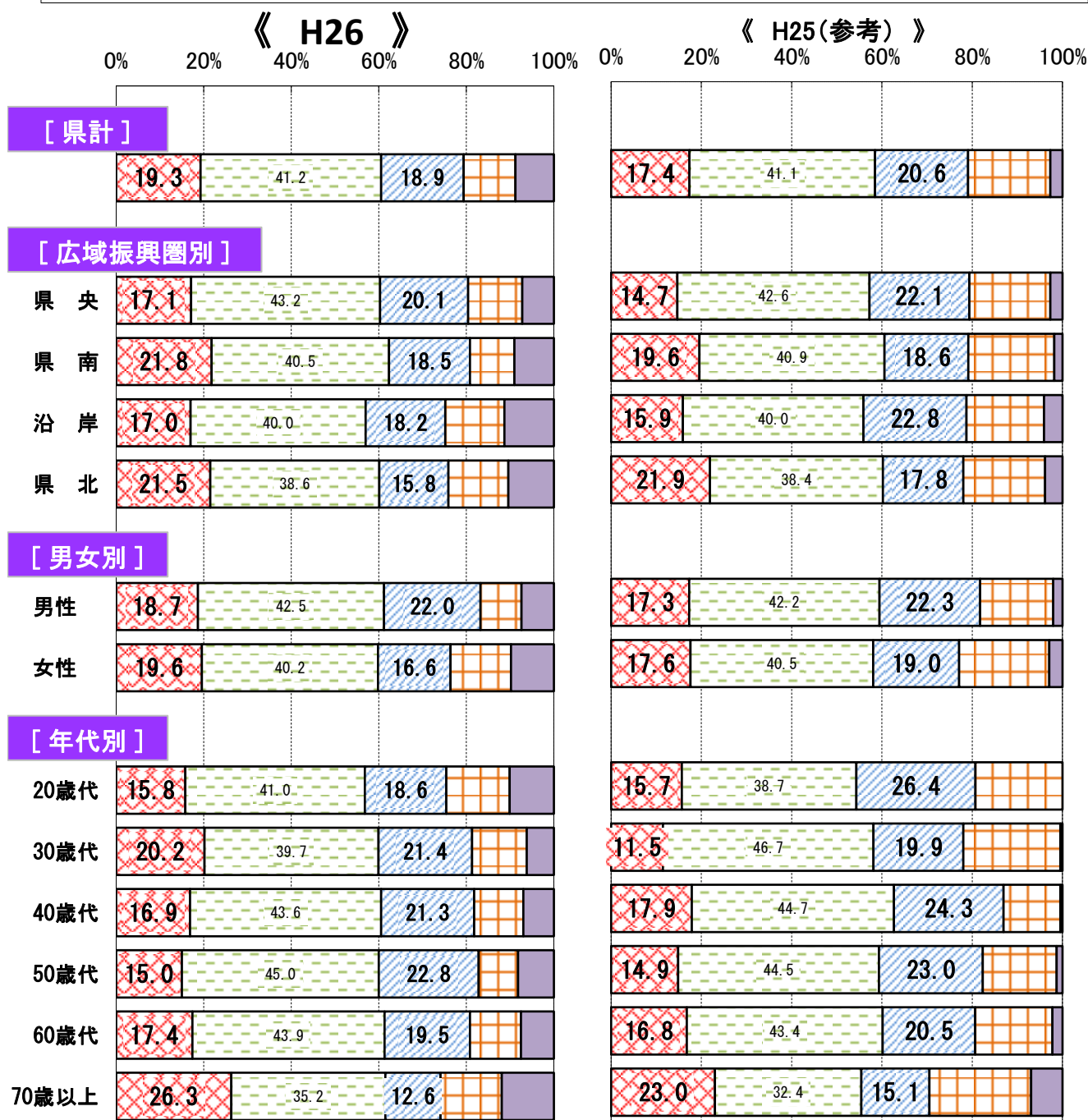
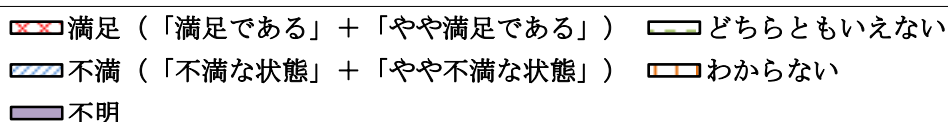
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が80.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.8%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の82.1%、最も低いのが県北の76.8%となっている。



(2) 満足度について

満足と不満にほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が19.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合18.9%とほとんど差はない。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(21.8%)、男女別では女性(19.6%)、年代別では70歳以上(26.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

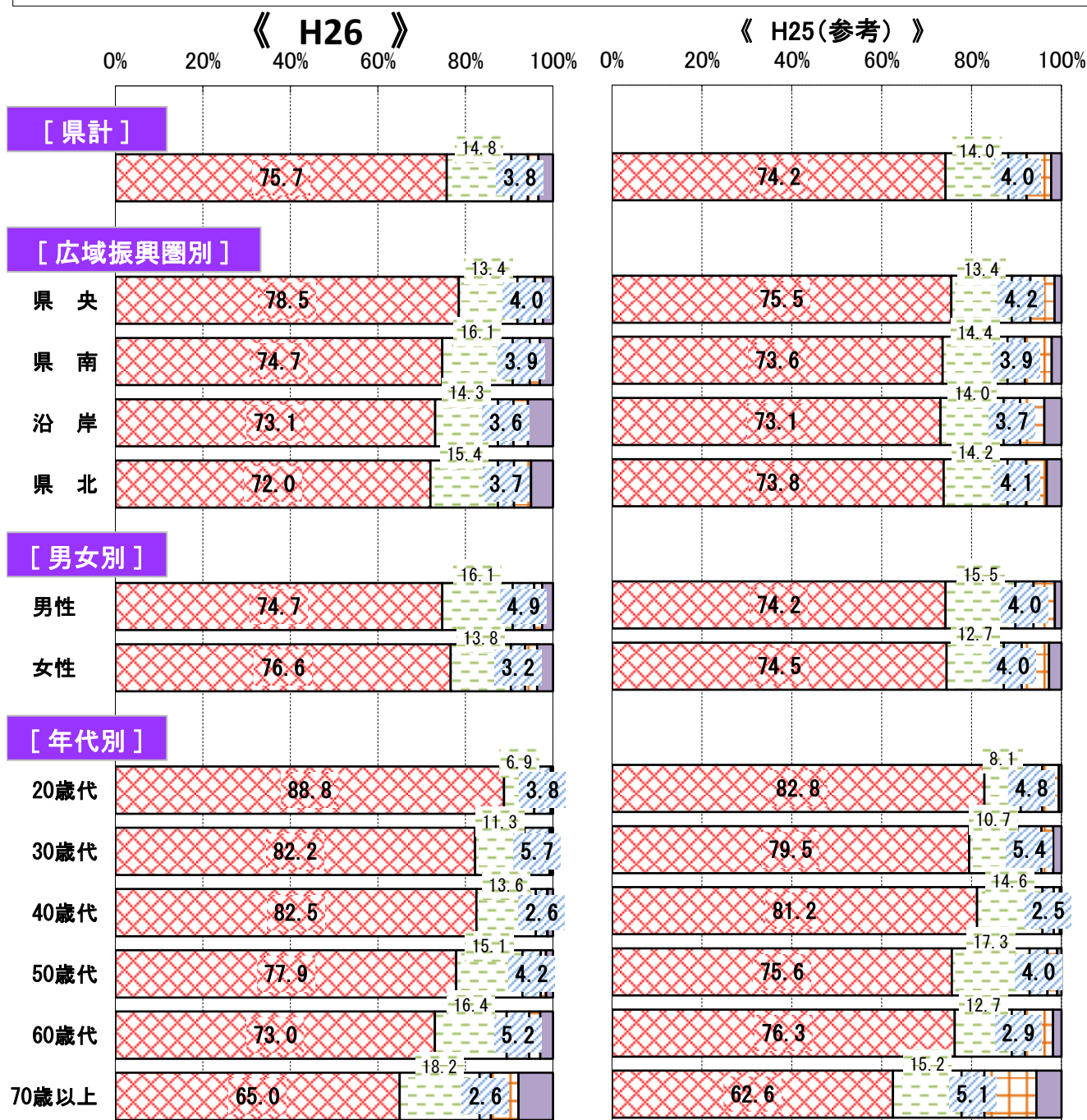
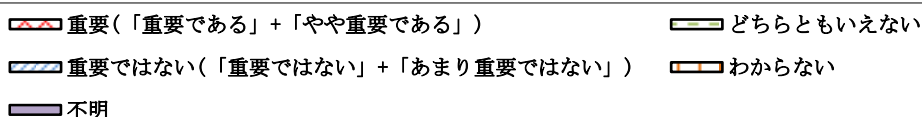


問2-32 学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境にあること。

(1) 重要度について

重要が約75% (75.7%)

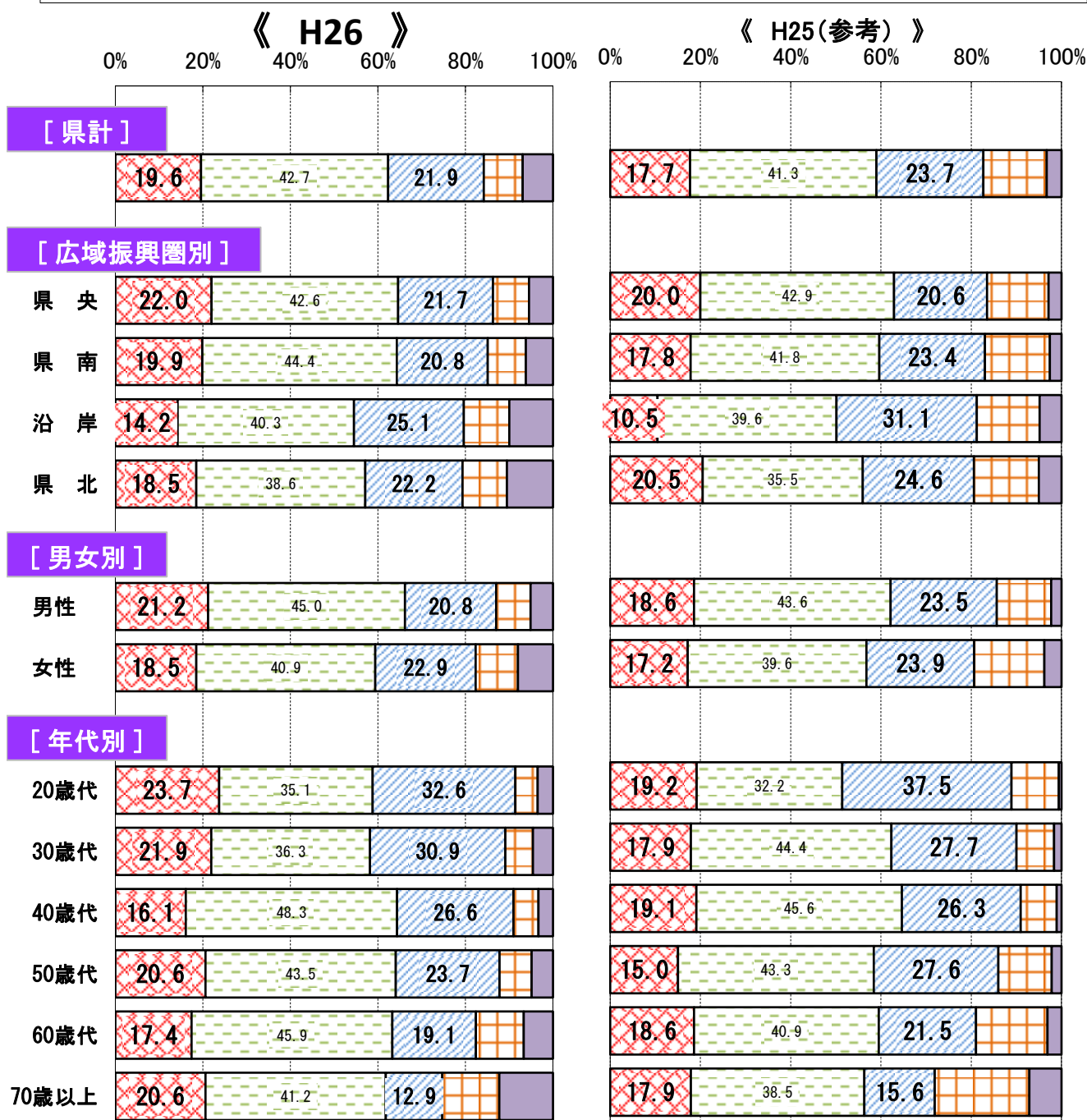
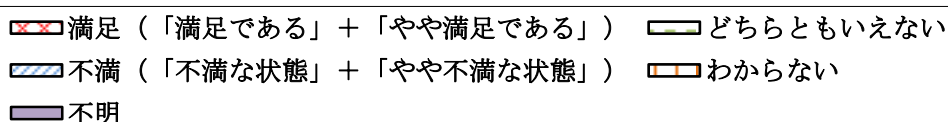
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が75.7%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.8%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の78.5%、最も低いのが県北の72.0%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を若干下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が19.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合21.9%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(22.0%)、男女別では男性(21.2%)、年代別では20歳代(23.7%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

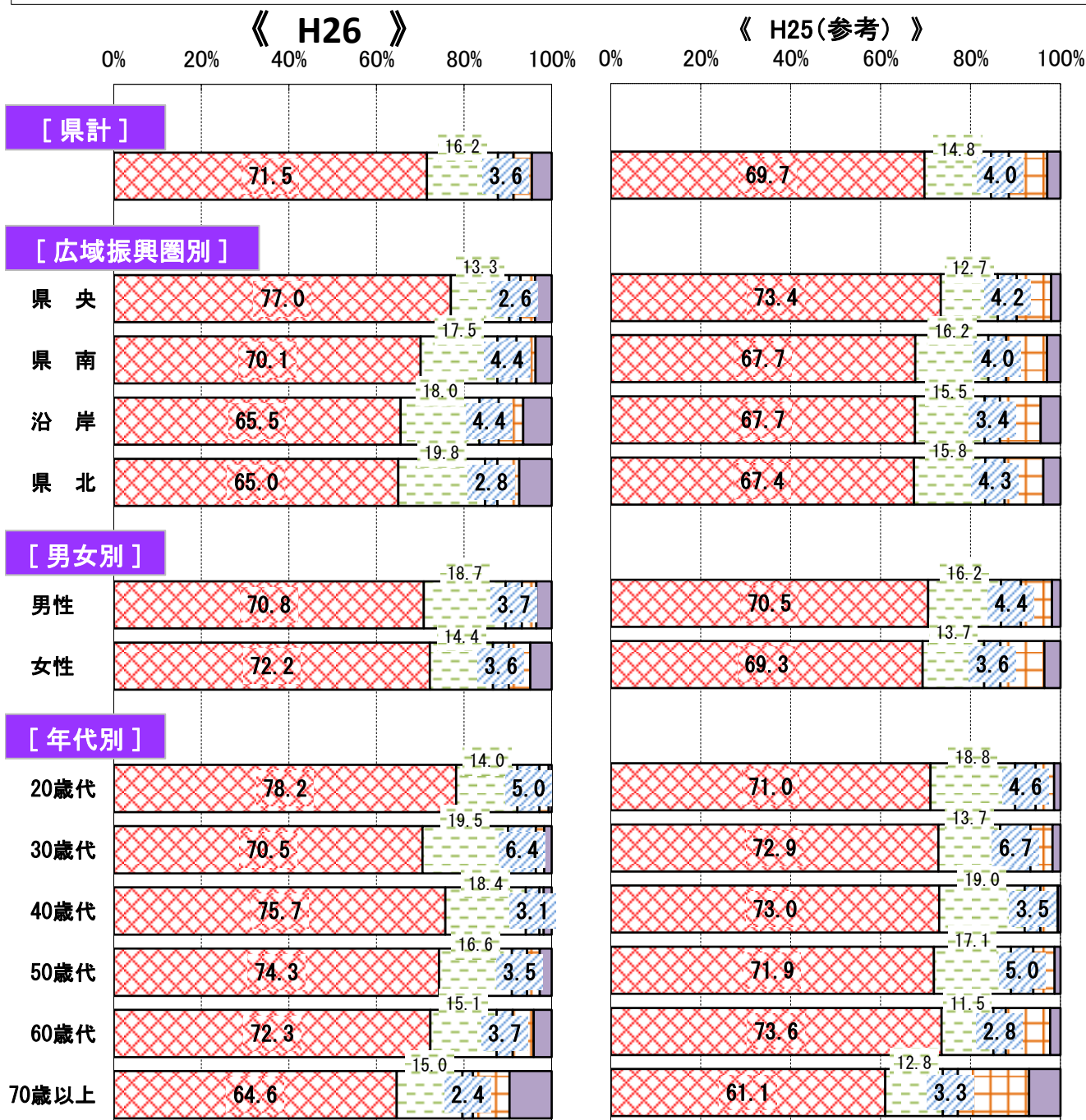
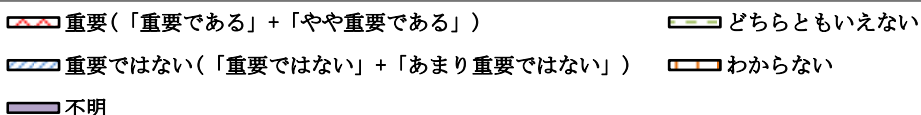


問2-33 県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。

(1) 重要度について

重要が7割強(71.5%)

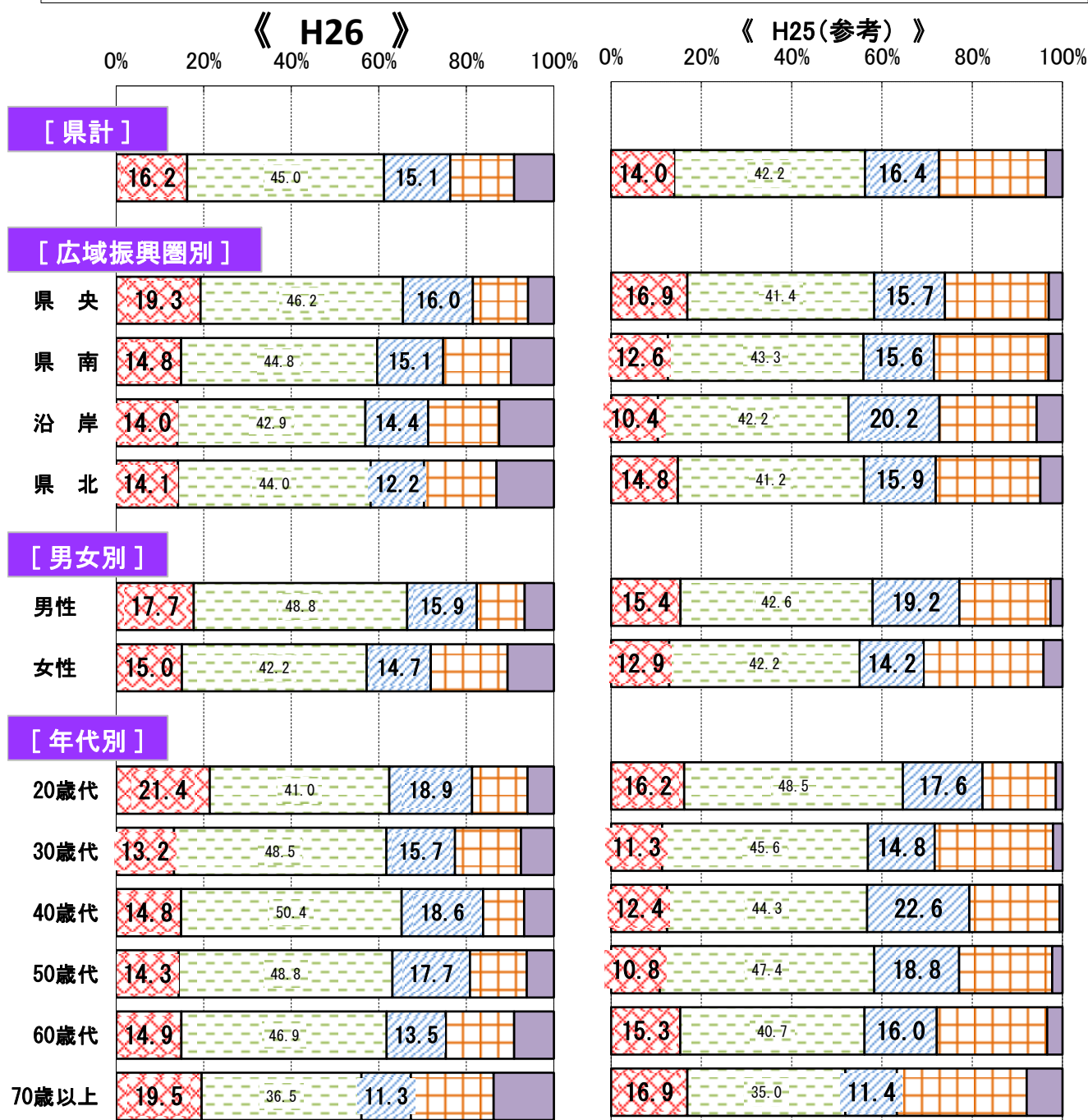
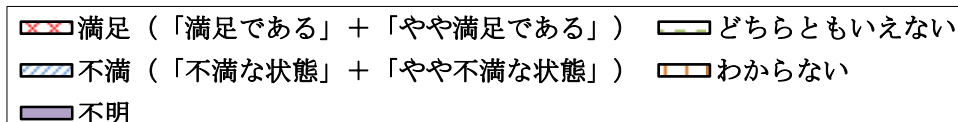
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が71.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.6%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の77.0%、最も低いのが県北の65.0%となっている。



(2) 満足度について

満足と不満にほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が16.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合15.1%とほとんど差はない。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(19.3%)、男女別では男性(17.7%)、年代別では20歳代(21.4%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

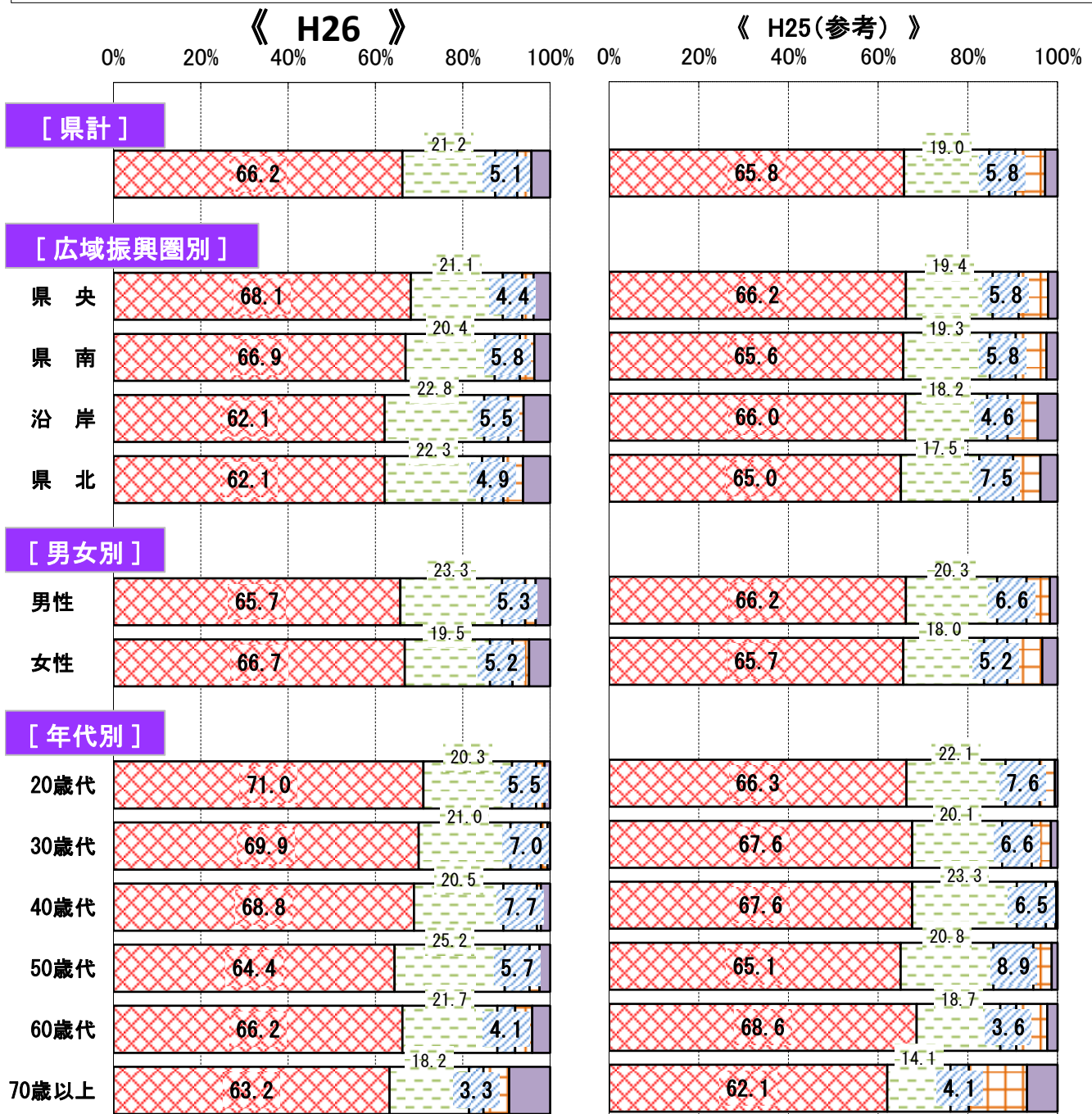
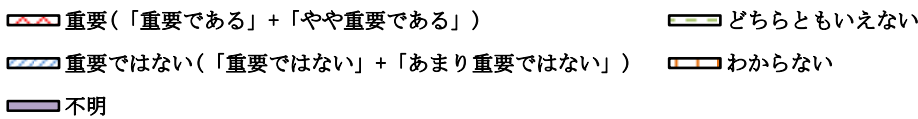


問2-34 郷土の歴史遺産や伝統文化に、誇りや愛着を持てるような取組みがされていること。

(1) 重要度について

重要が7割弱(66.2%)

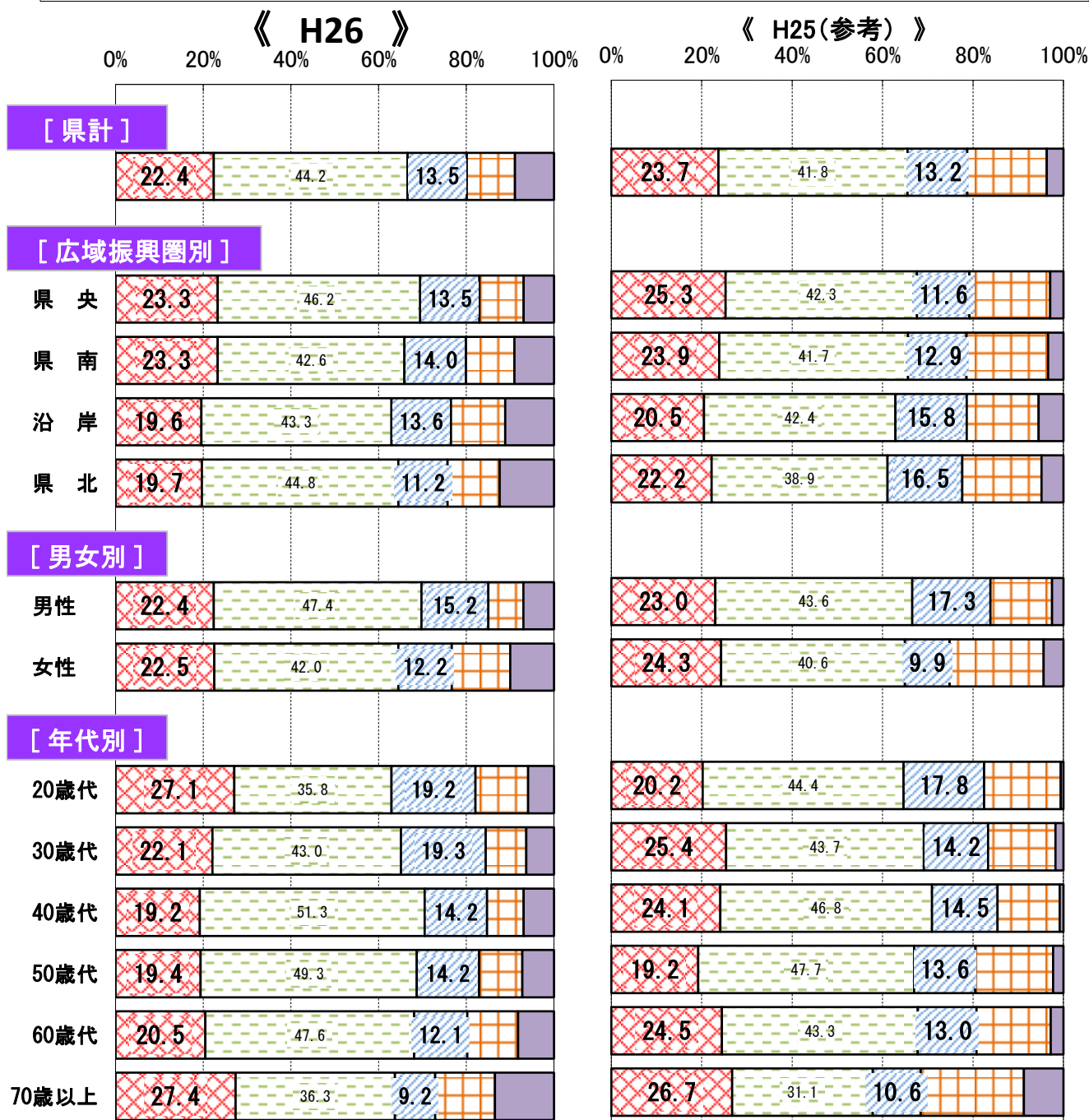
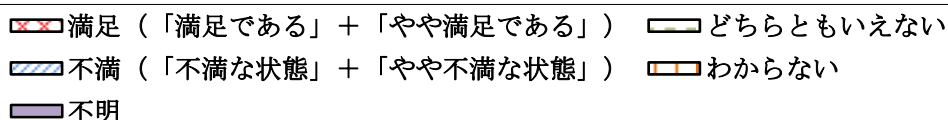
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が66.2%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が5.1%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の68.1%、最も低いのが沿岸及び県北の62.1%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が22.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合13.5%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央及び県南(23.3%)、年代別では70歳以上(27.4%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

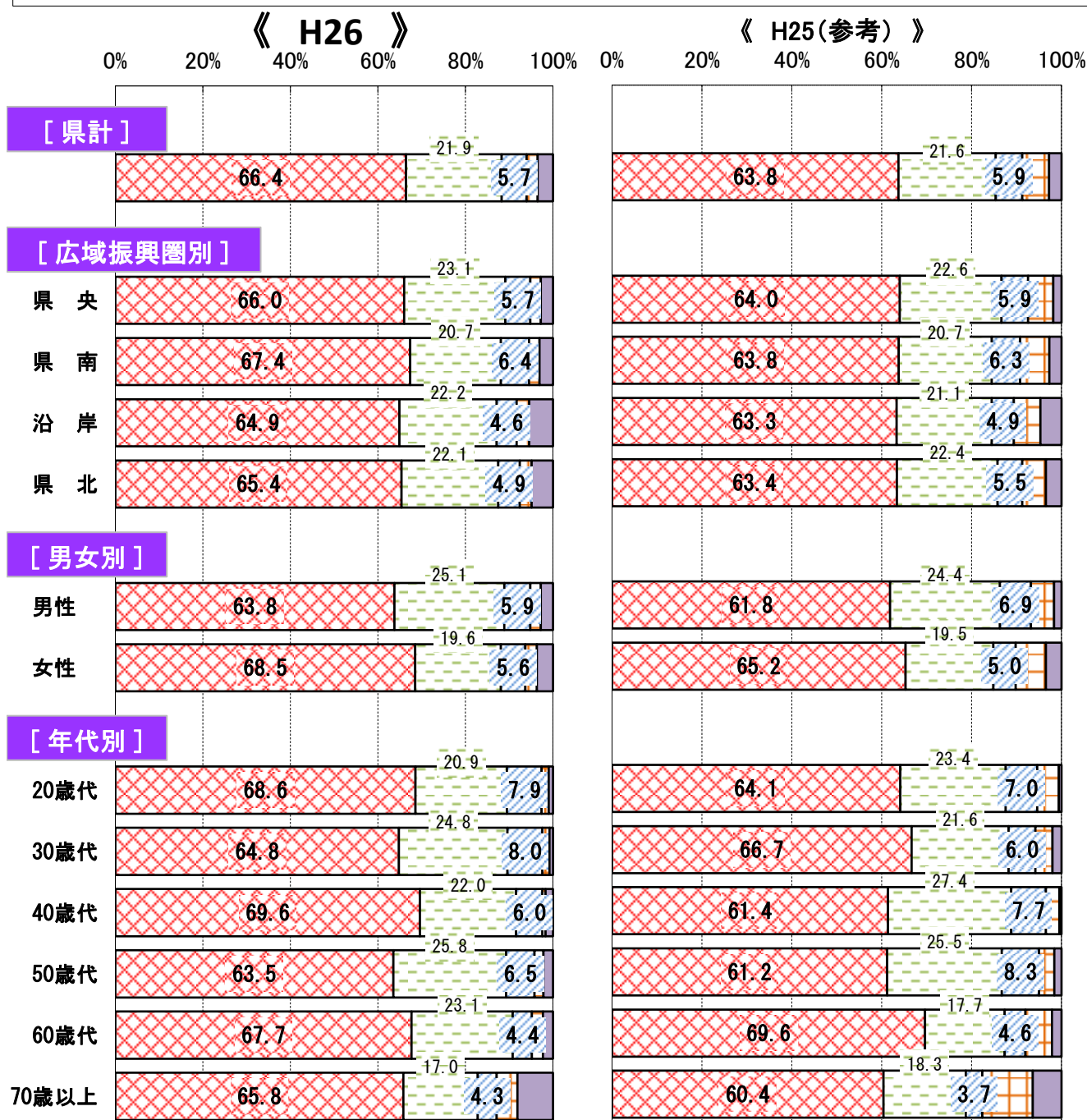
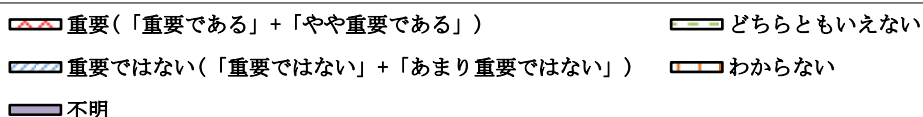


問2-35 地域や学校などで文化芸術(芸術、祭り、行事など)の鑑賞や活動が活発に行われていること。

(1) 重要度について

重要が7割弱(66.4%)

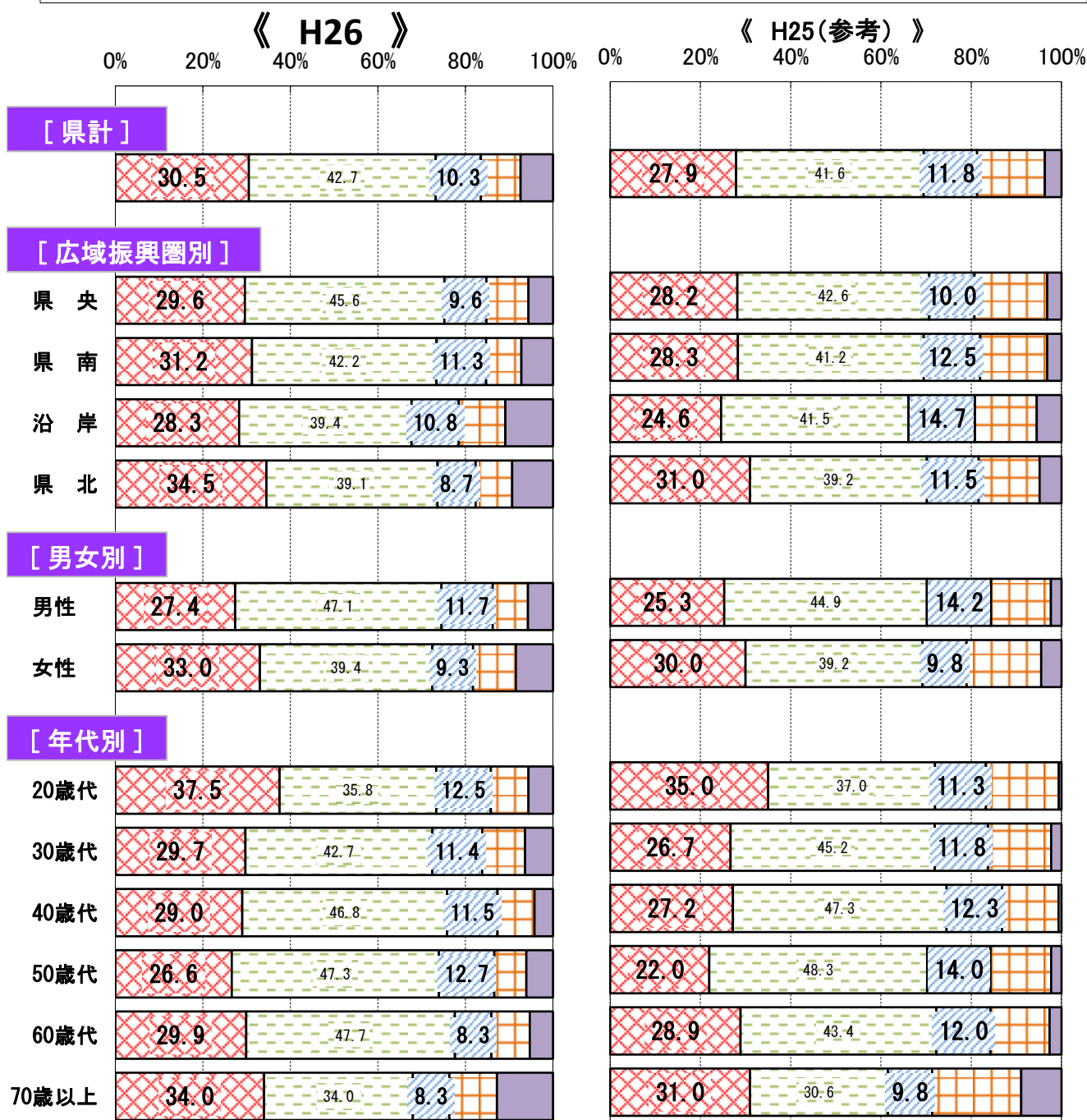
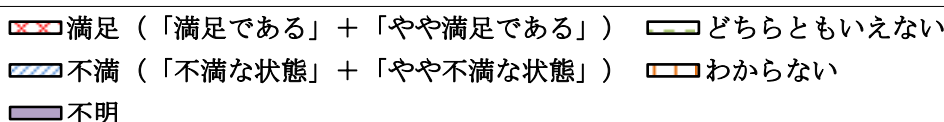
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が66.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が5.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県南の67.4%、最も低いのが沿岸の64.9%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が30.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合10.3%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(34.5%)、男女別では女性(33.0%)、年代別では20歳代(37.5%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

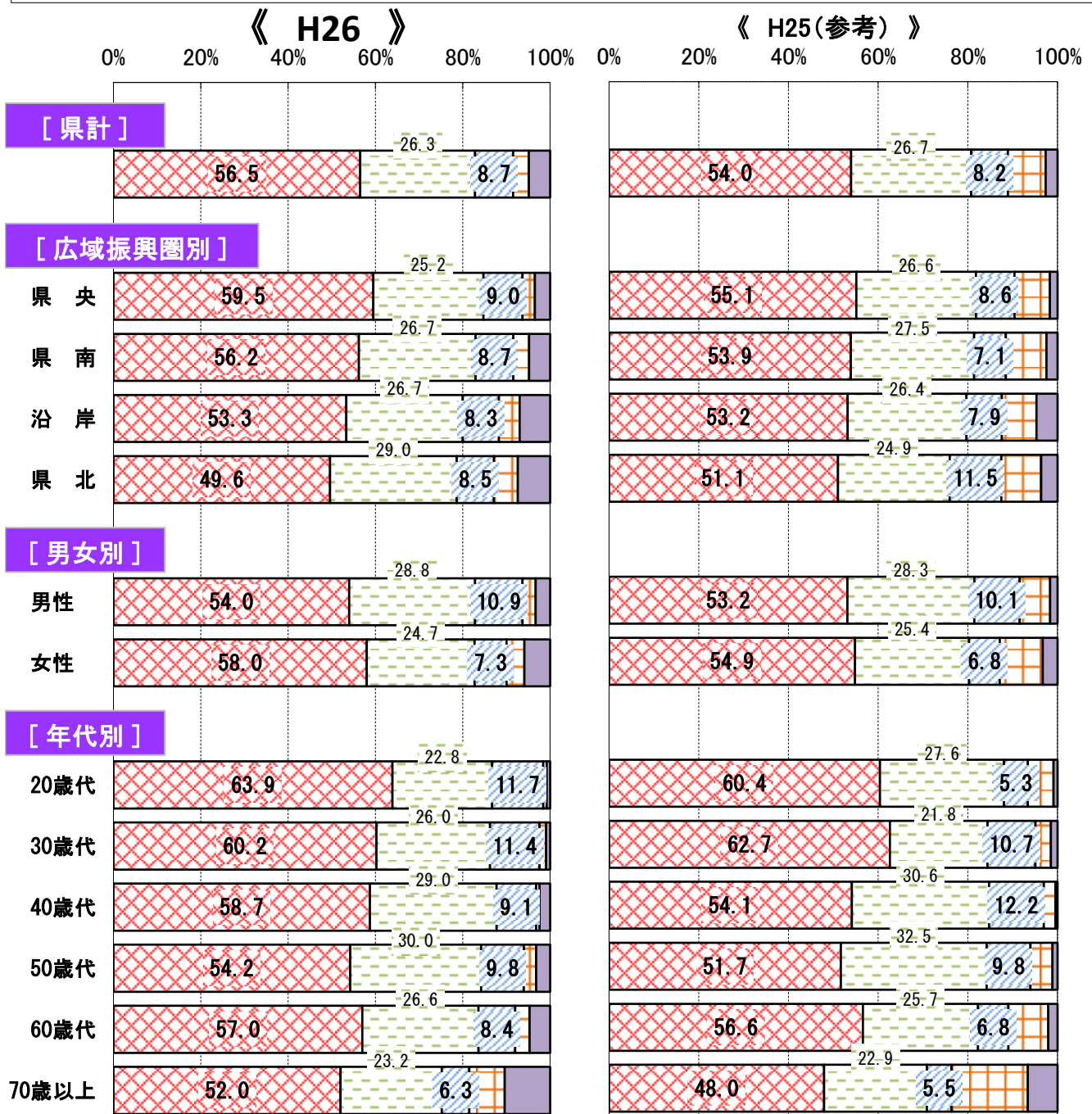
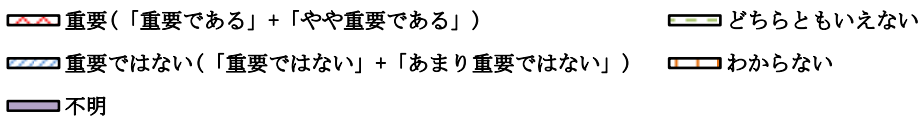


問2-36 外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい地域社会であること。

(1) 重要度について

重要が6割弱(56.5%)

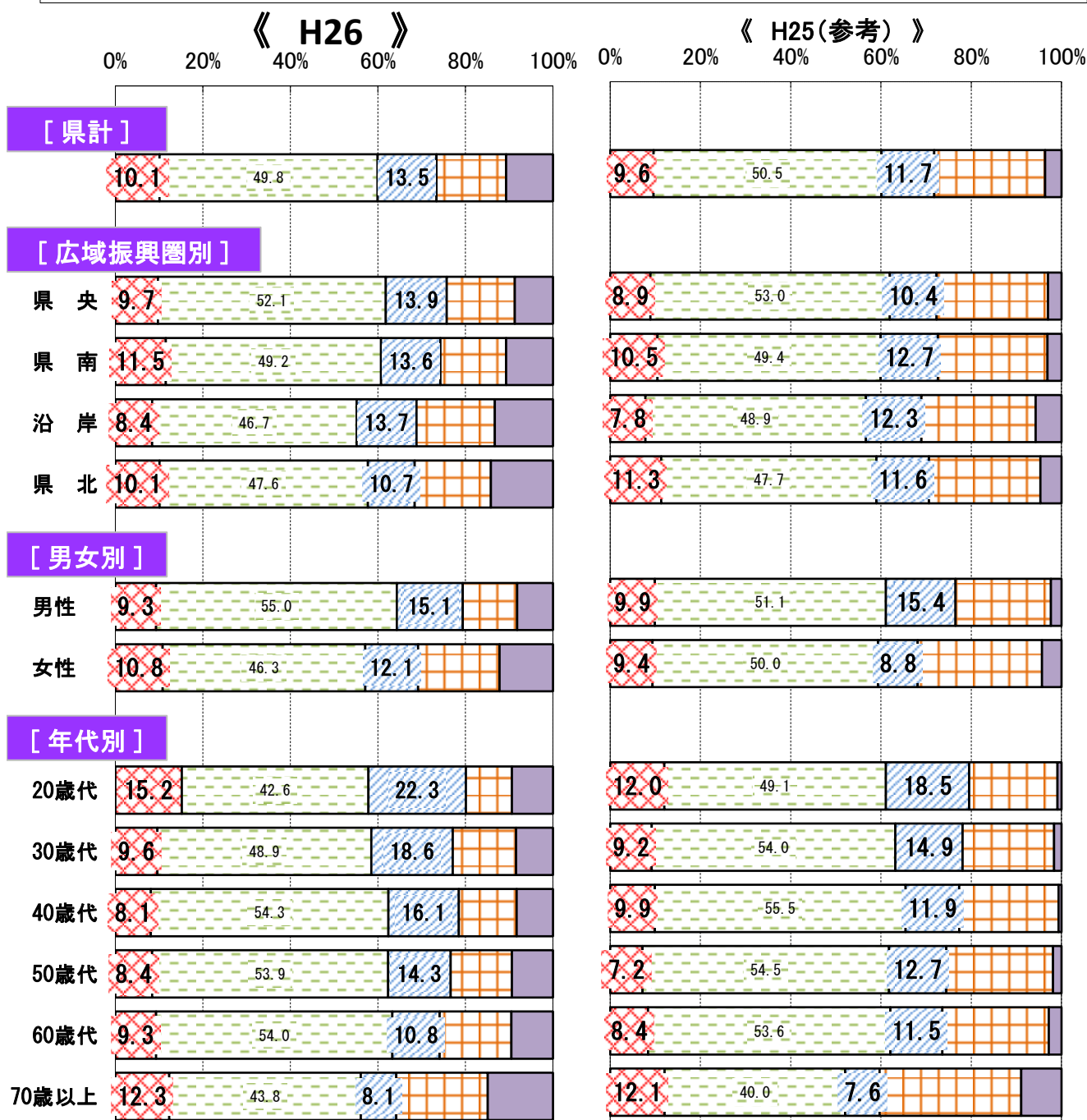
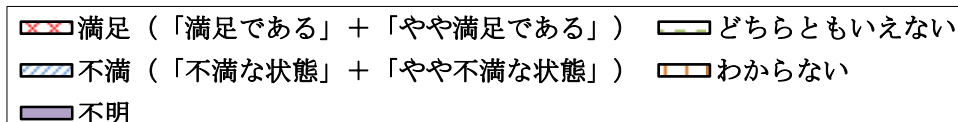
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が56.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が8.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の59.5%、最も低いのが県北の49.6%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を若干下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が10.1%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合13.5%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(11.5%)、男女別では女性(10.8%)、年代別では20歳代(15.2%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

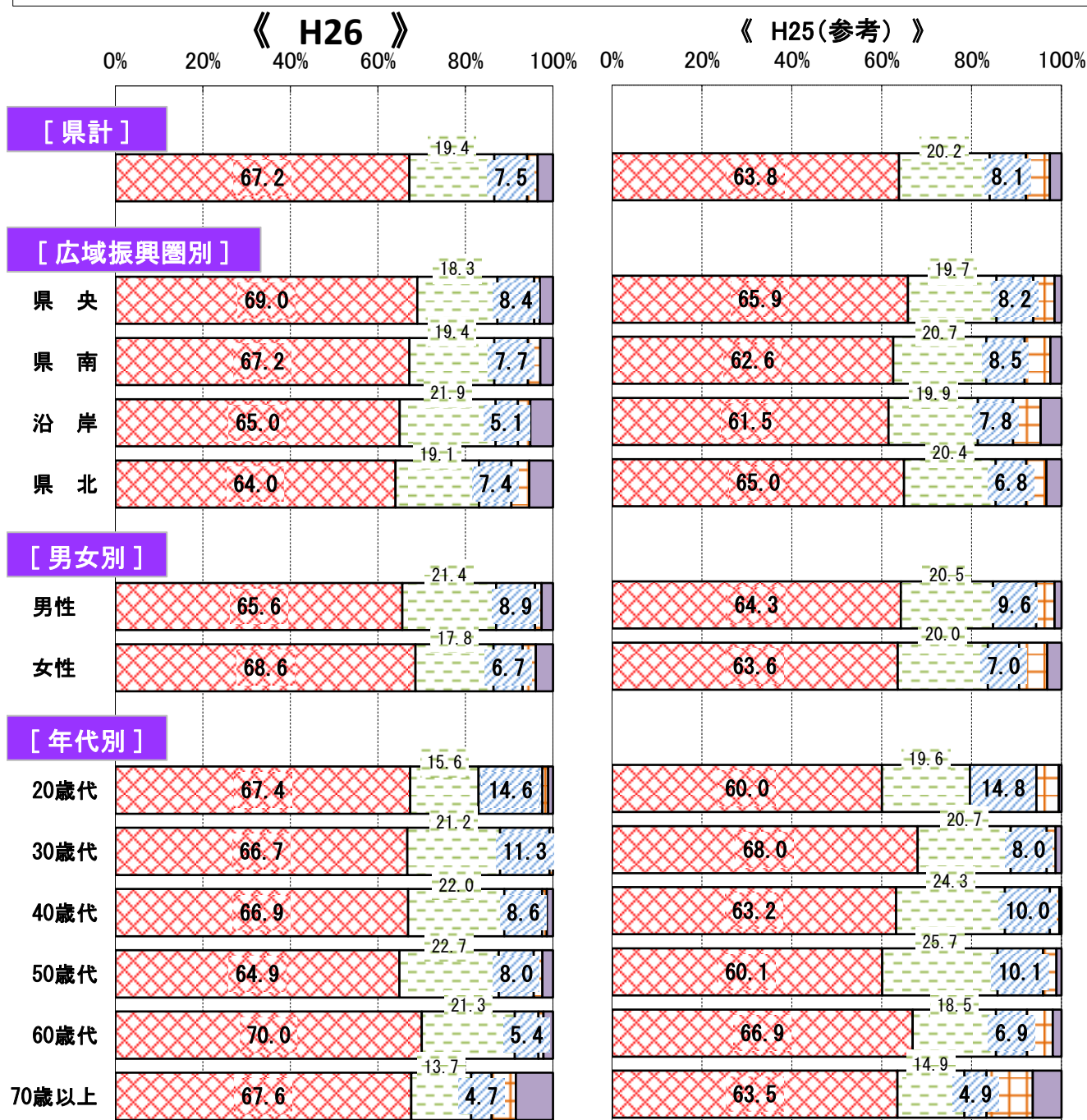
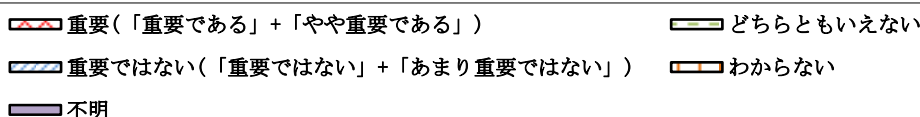


問2-37 スポーツの国際大会や国内外の各種大会において本県選手が活躍していること。

(1) 重要度について

重要が7割弱(67.2%)

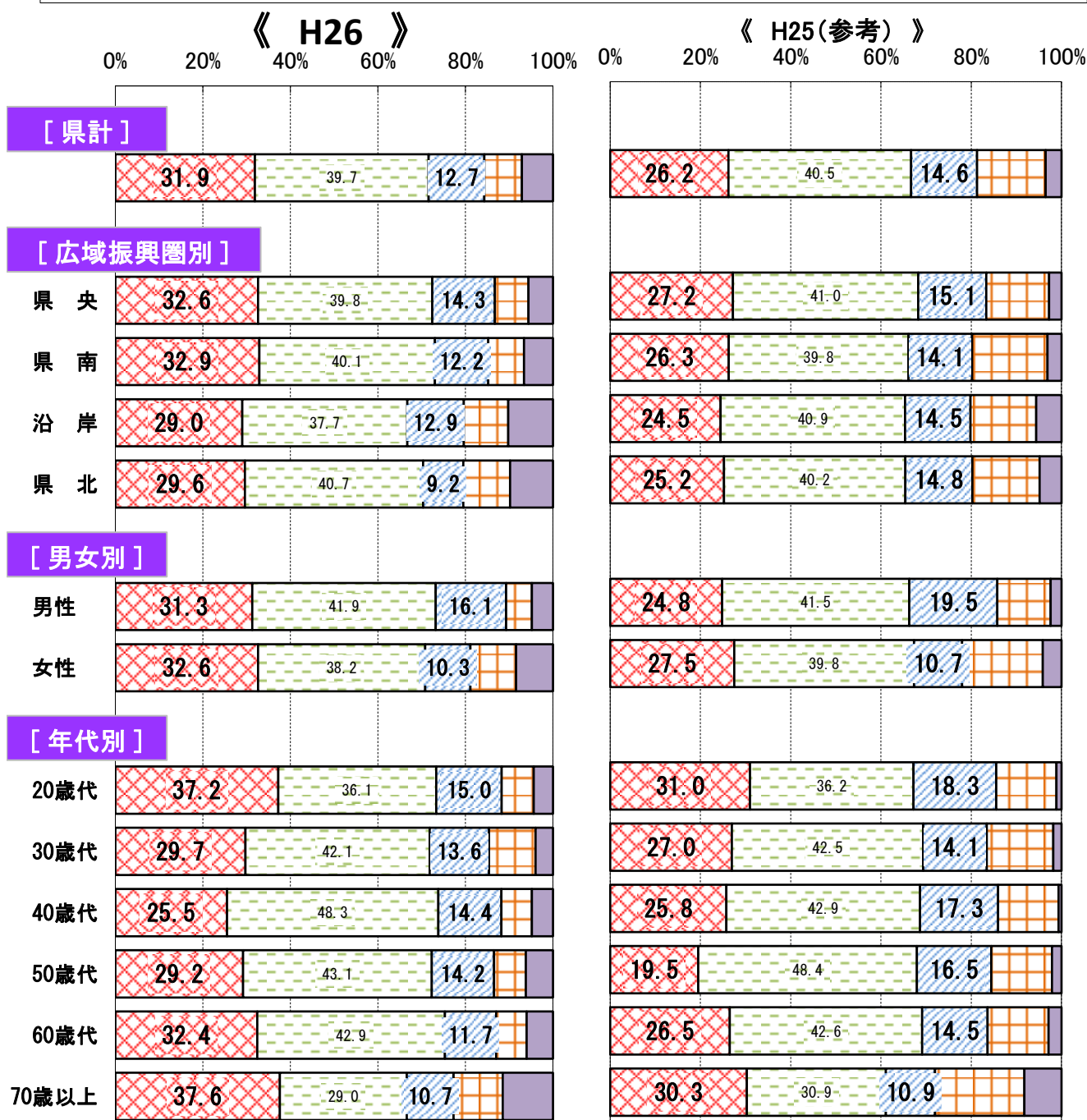
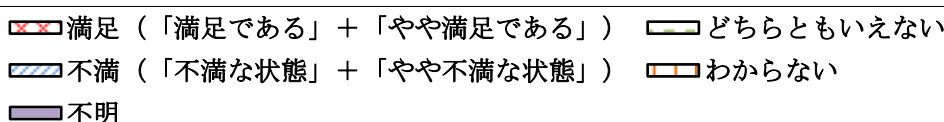
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が67.2%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が7.5%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の69.0%、最も低いのが県北の64.0%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が31.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合12.7%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(32.9%)、男女別では女性(32.6%)、年代別では70歳以上(37.6%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

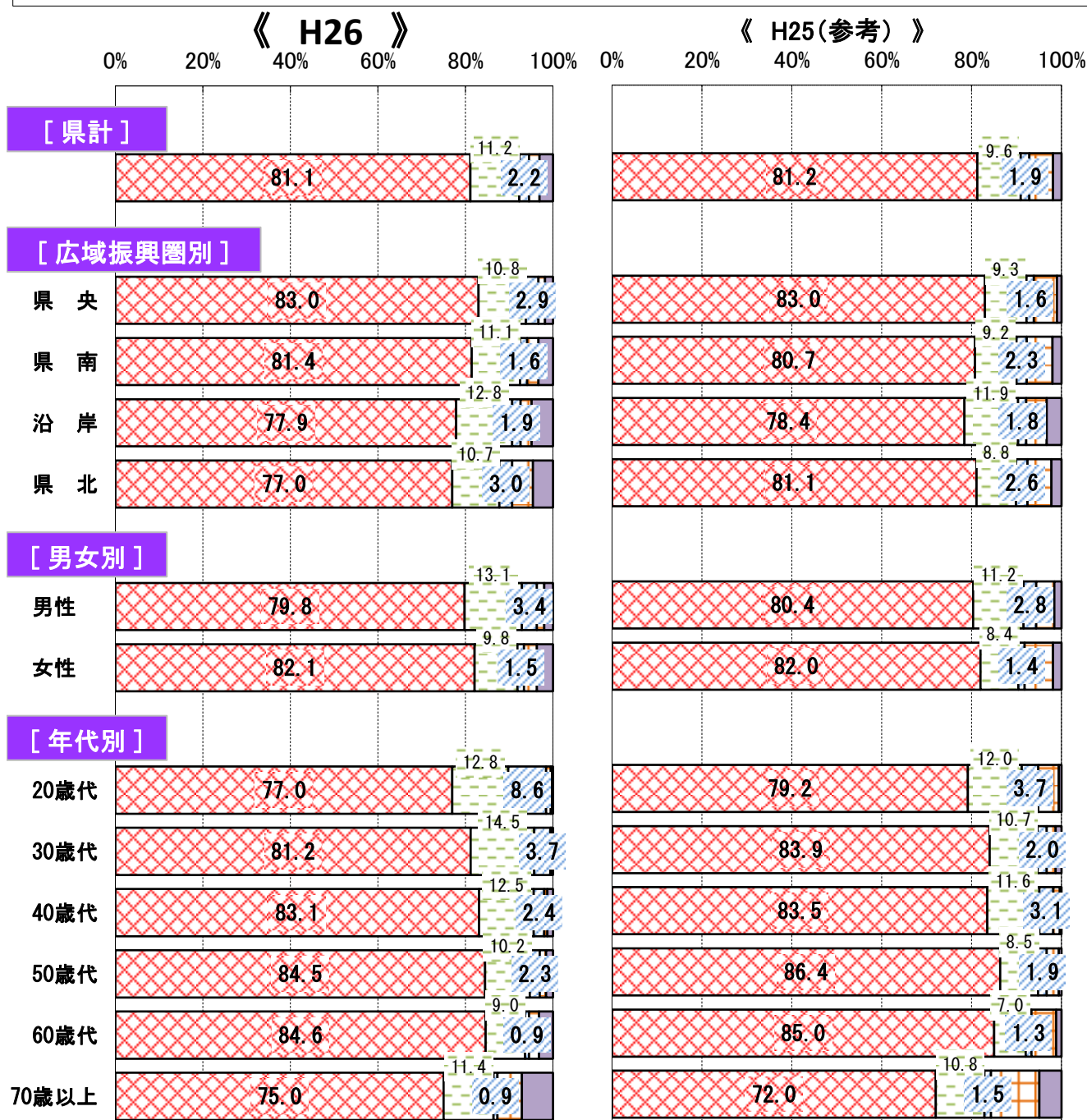
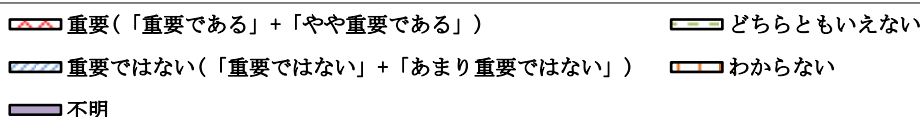


問2-38 地球温暖化防止のため、環境にやさしい再生可能エネルギーの利用や省エネルギーなど二酸化炭素等の排出量削減の取組みが各地域で活発に行われていること。

(1) 重要度について

重要が8割強(81.1%)

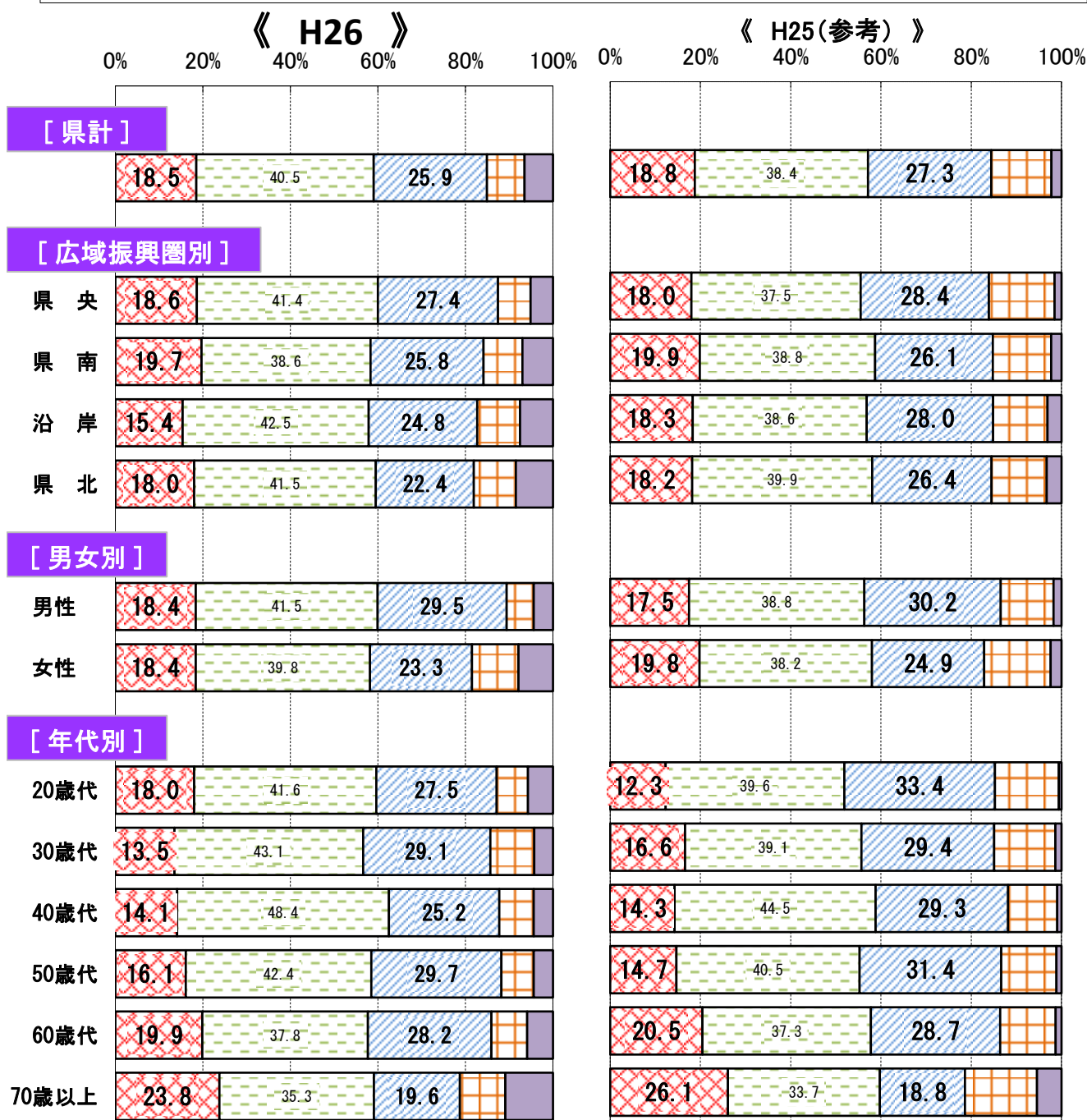
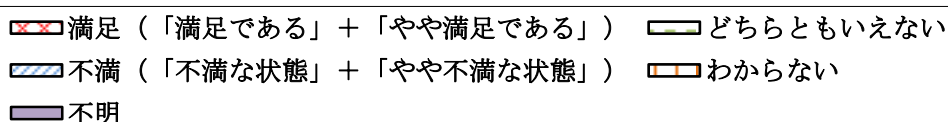
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が81.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.2%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の83.0%、最も低いのが県北の77.0%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が18.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合25.9%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(19.7%)、年代別では70歳以上(23.8%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

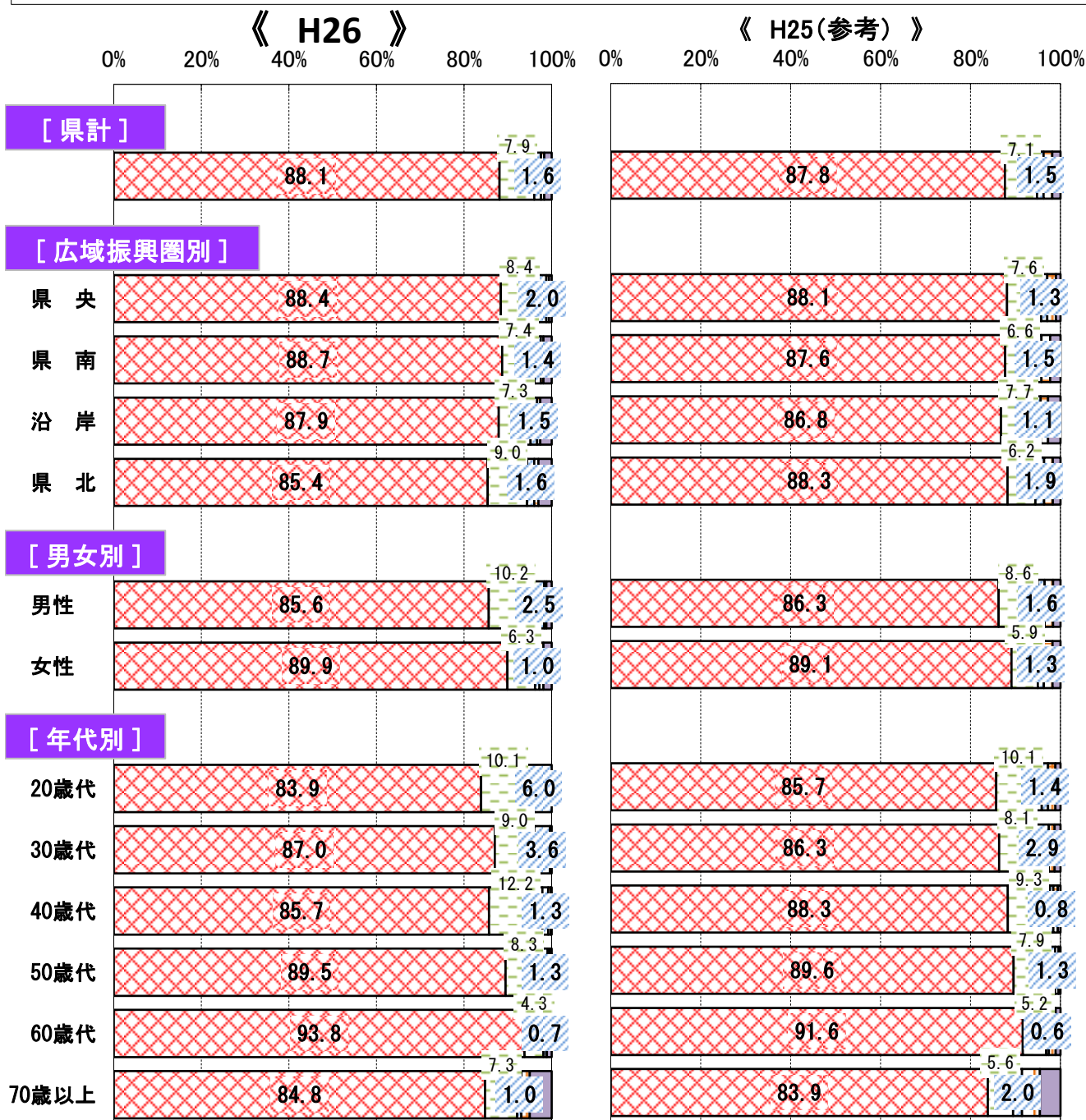
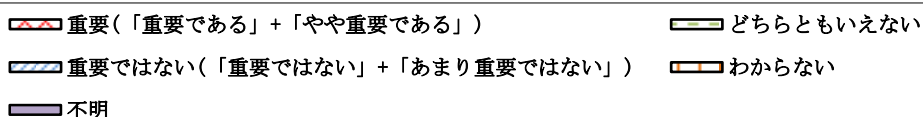


問2-39 ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル(資源ごみの分別など)が定着していること。

(1) 重要度について

重要が9割弱(88.1%)

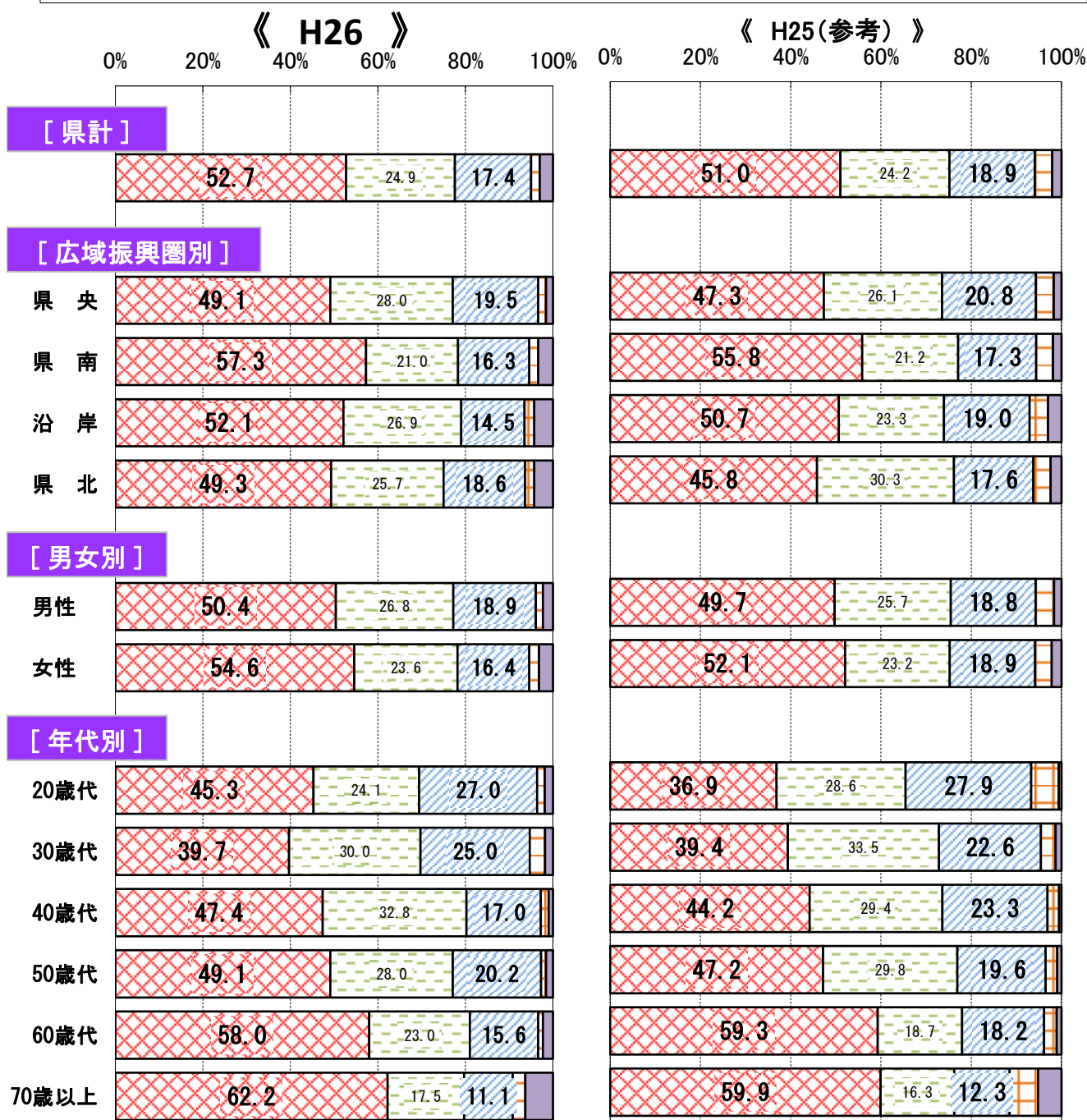
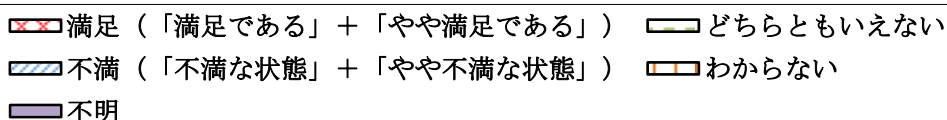
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が88.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.6%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県南の88.7%、最も低いのが県北の85.4%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が52.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合17.4%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(57.3%)、男女別では女性(54.6%)、年代別では70歳以上(62.2%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

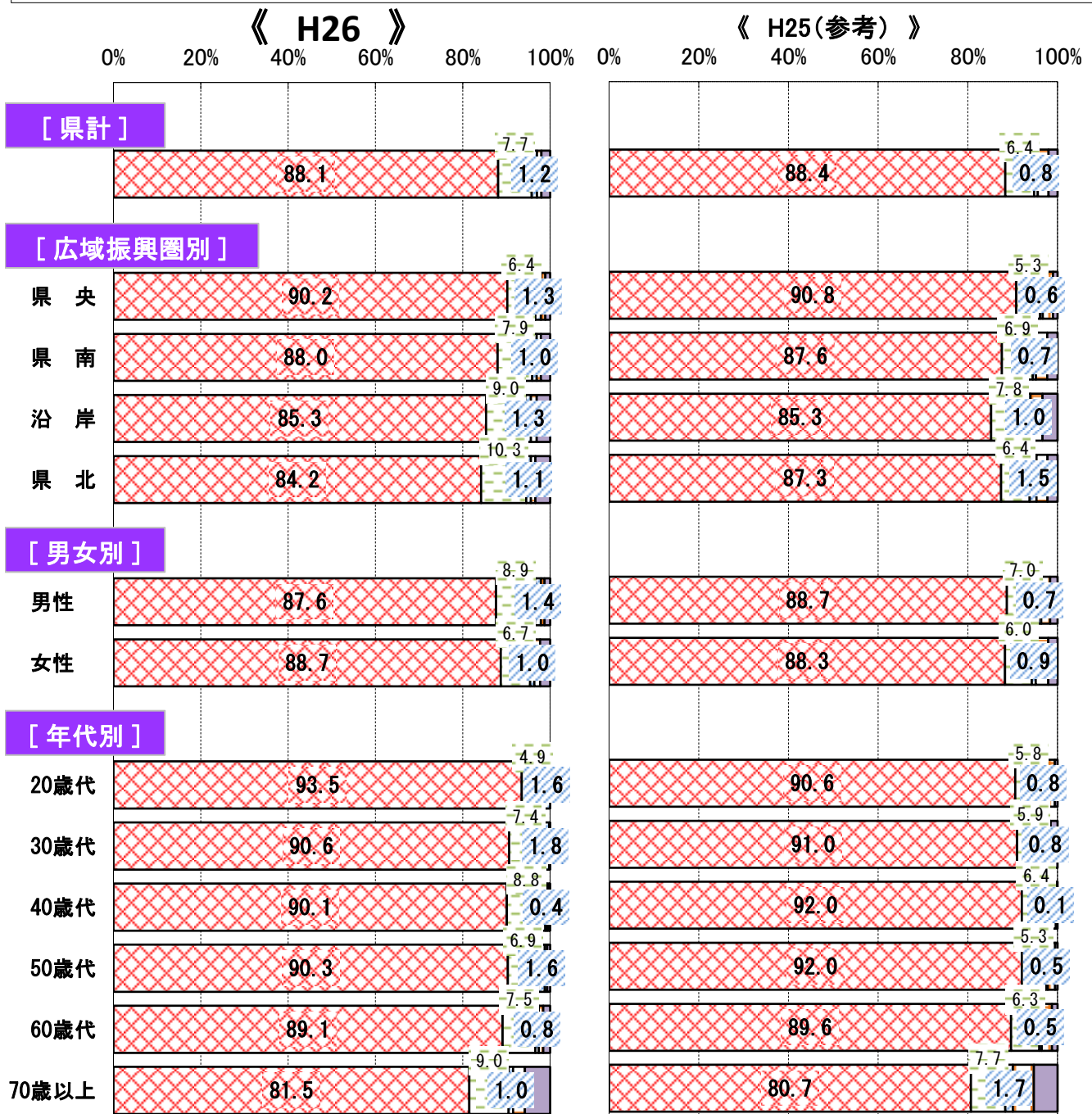
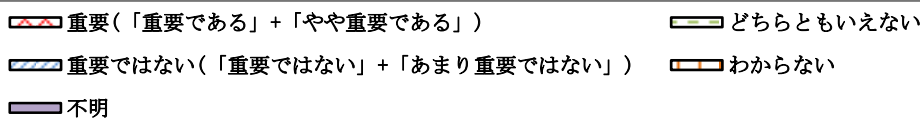


問2-40 大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動植物を大切にしながら生活していること。

(1) 重要度について

重要が9割弱(88.1%)

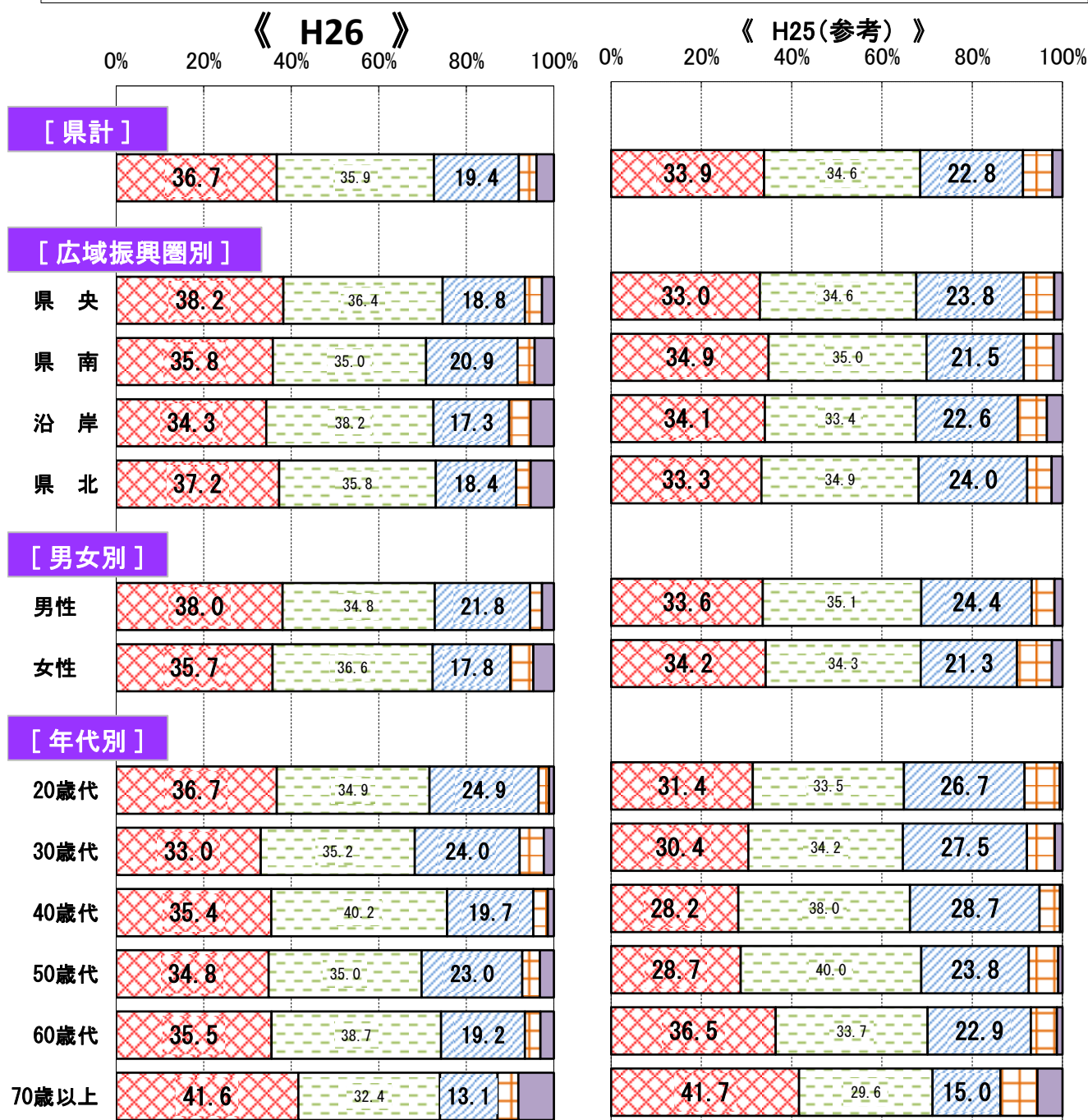
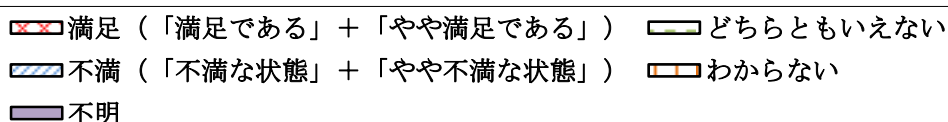
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が88.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.2%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の90.2%、最も低いのが県北の84.2%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が36.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合19.4%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(38.2%)、男女別では男性(38.0%)、年代別では70歳以上(41.6%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

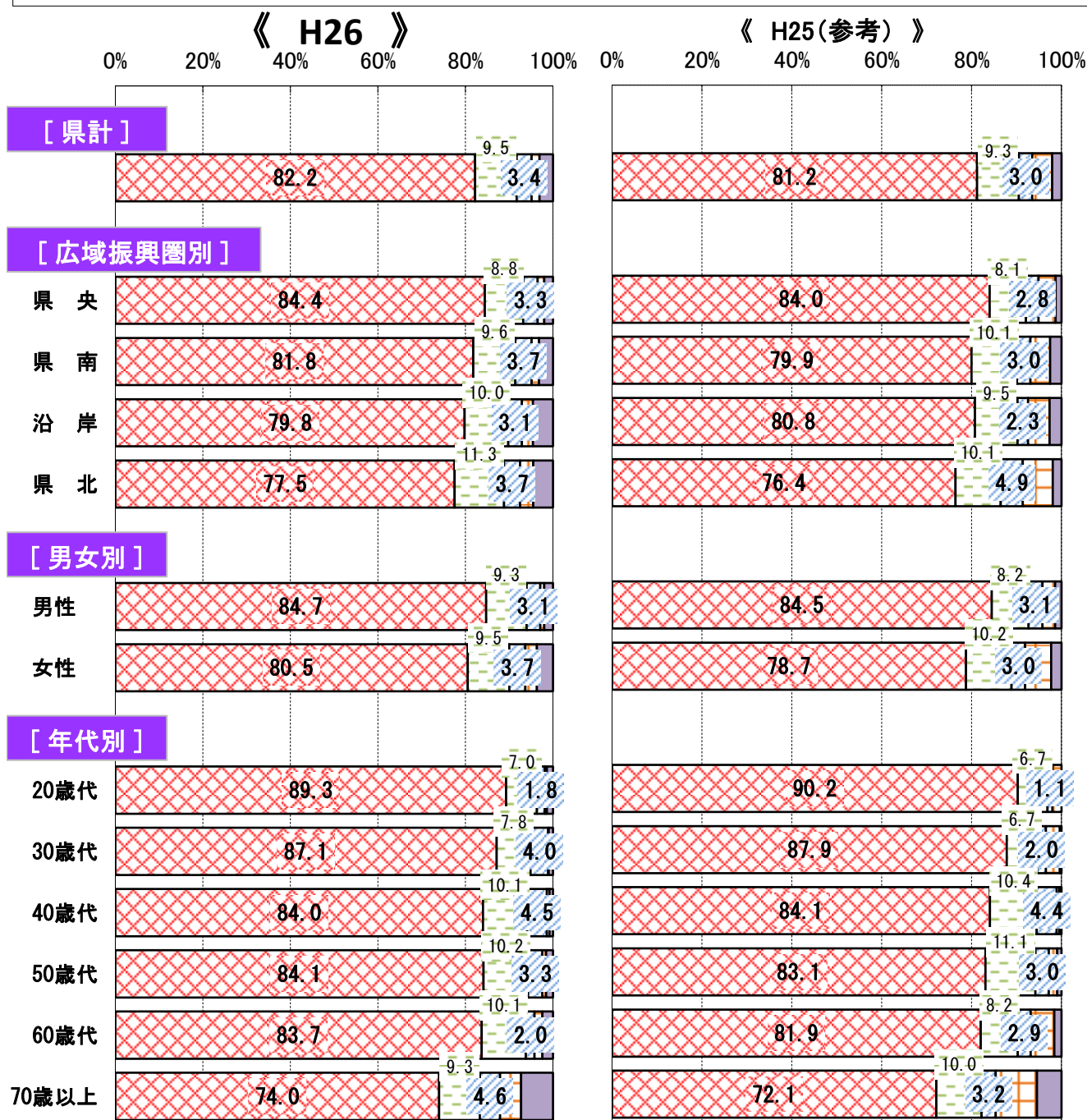
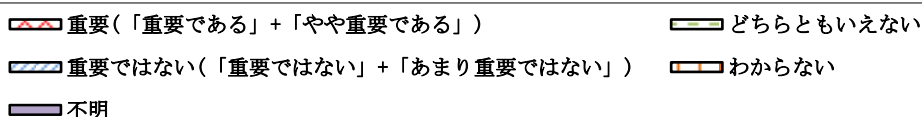


問2-41 高速道路をはじめ、インターチェンジや新幹線駅、港湾、空港などの交通や物流の拠点に通じる道路が整備されていること。

(1) 重要度について

重要が8割強(82.2%)

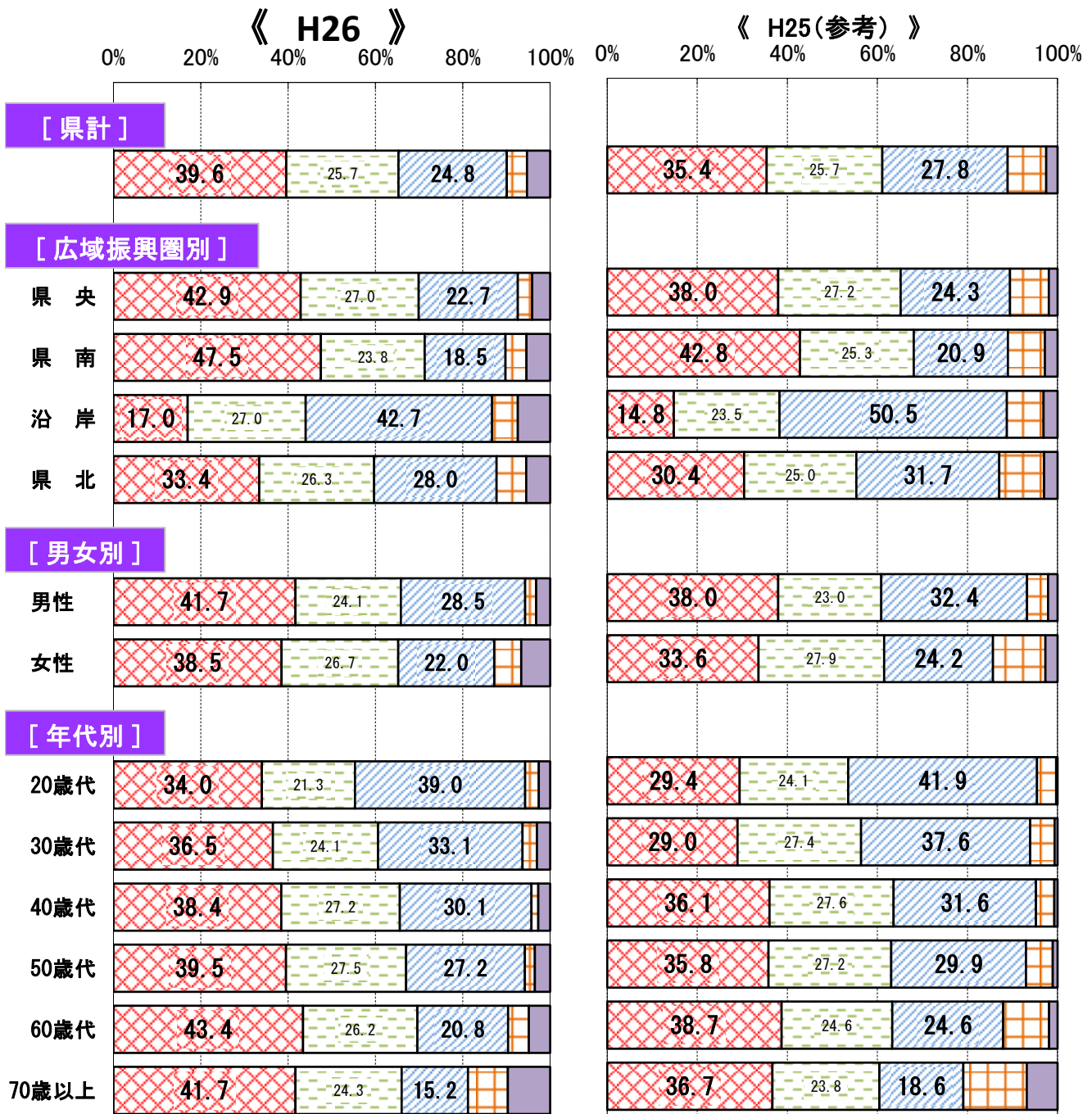
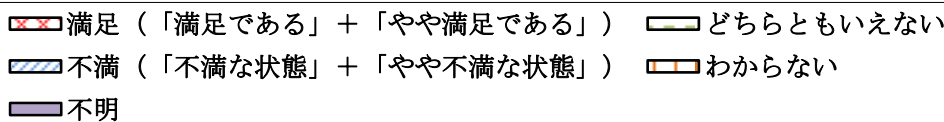
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が82.2%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.4%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の84.4%、最も低いのが県北の77.5%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が39.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合24.8%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(47.5%)、男女別では男性(41.7%)、年代別では60歳代(43.4%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

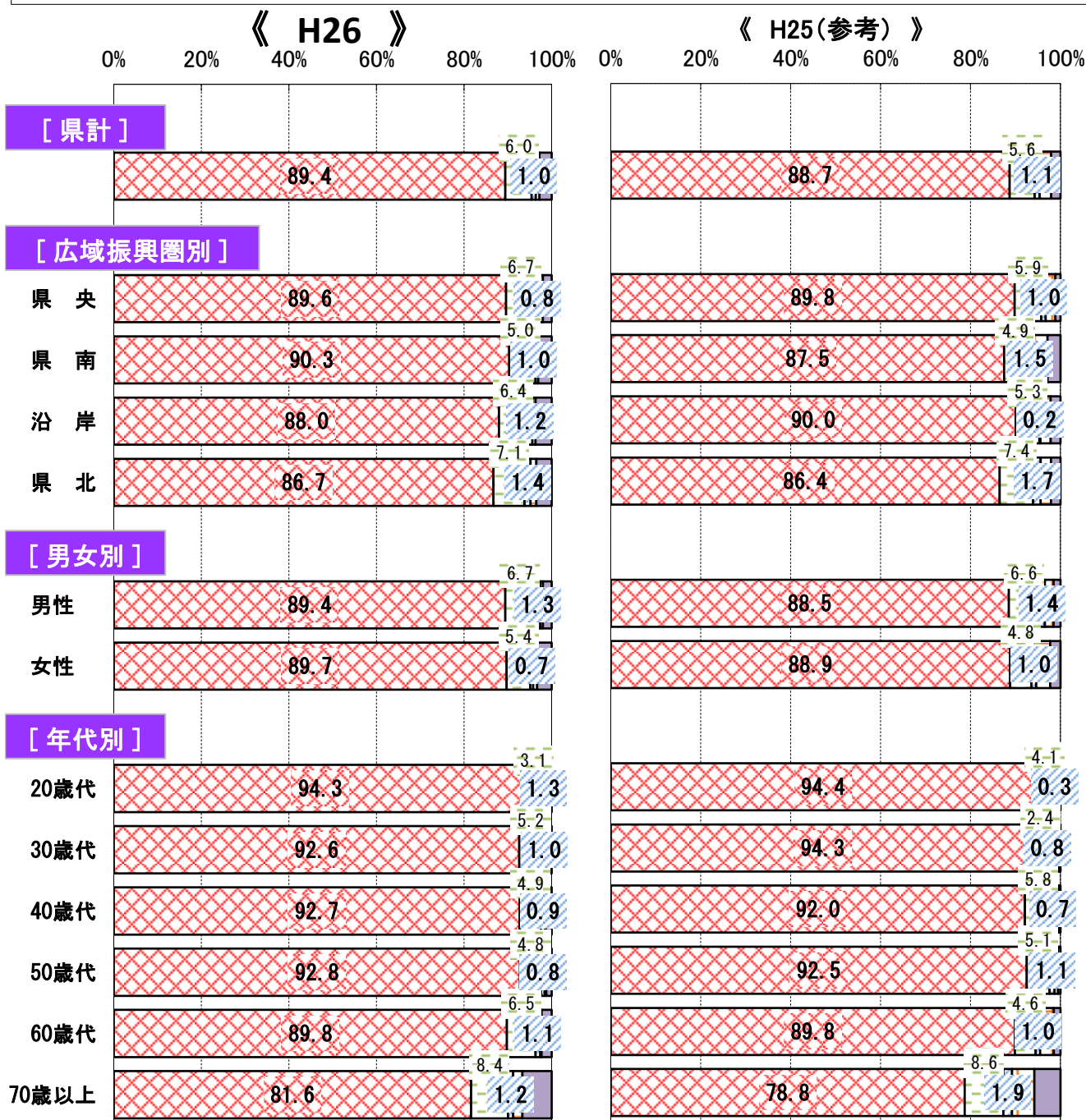
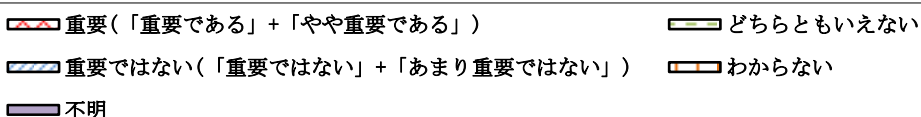


問2-42 防災施設の整備等が進み、地震や津波、洪水、土砂災害による被害を受けにくい、安心して暮らせる県土であること。

(1) 重要度について

重要が9割弱(89.4%)

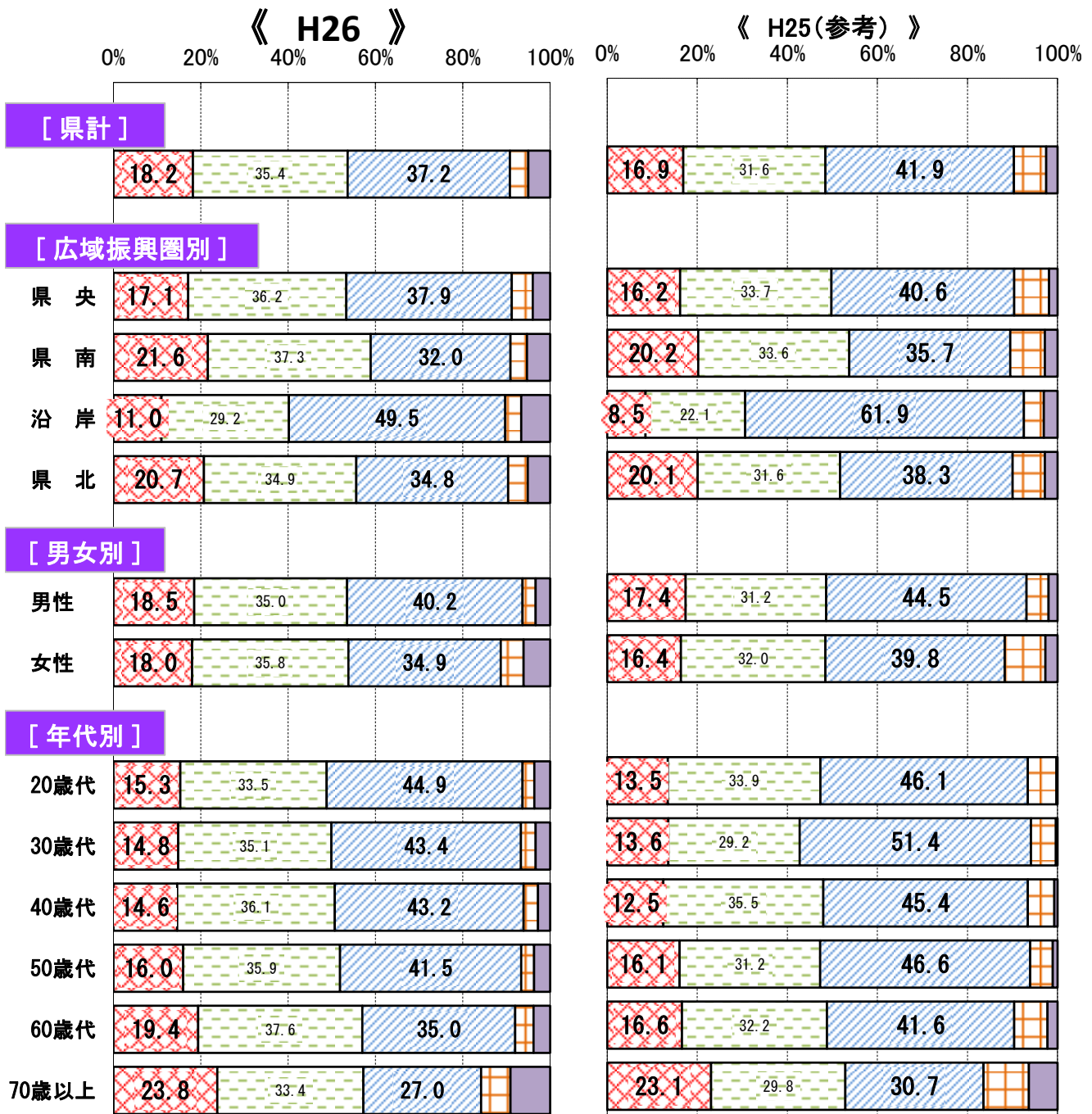
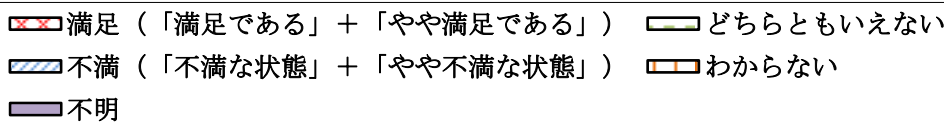
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が89.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.0%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県南の90.3%、最も低いのが県北の86.7%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が18.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合37.2%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(21.6%)、男女別では男性(18.5%)、年代別では70歳以上(23.8%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

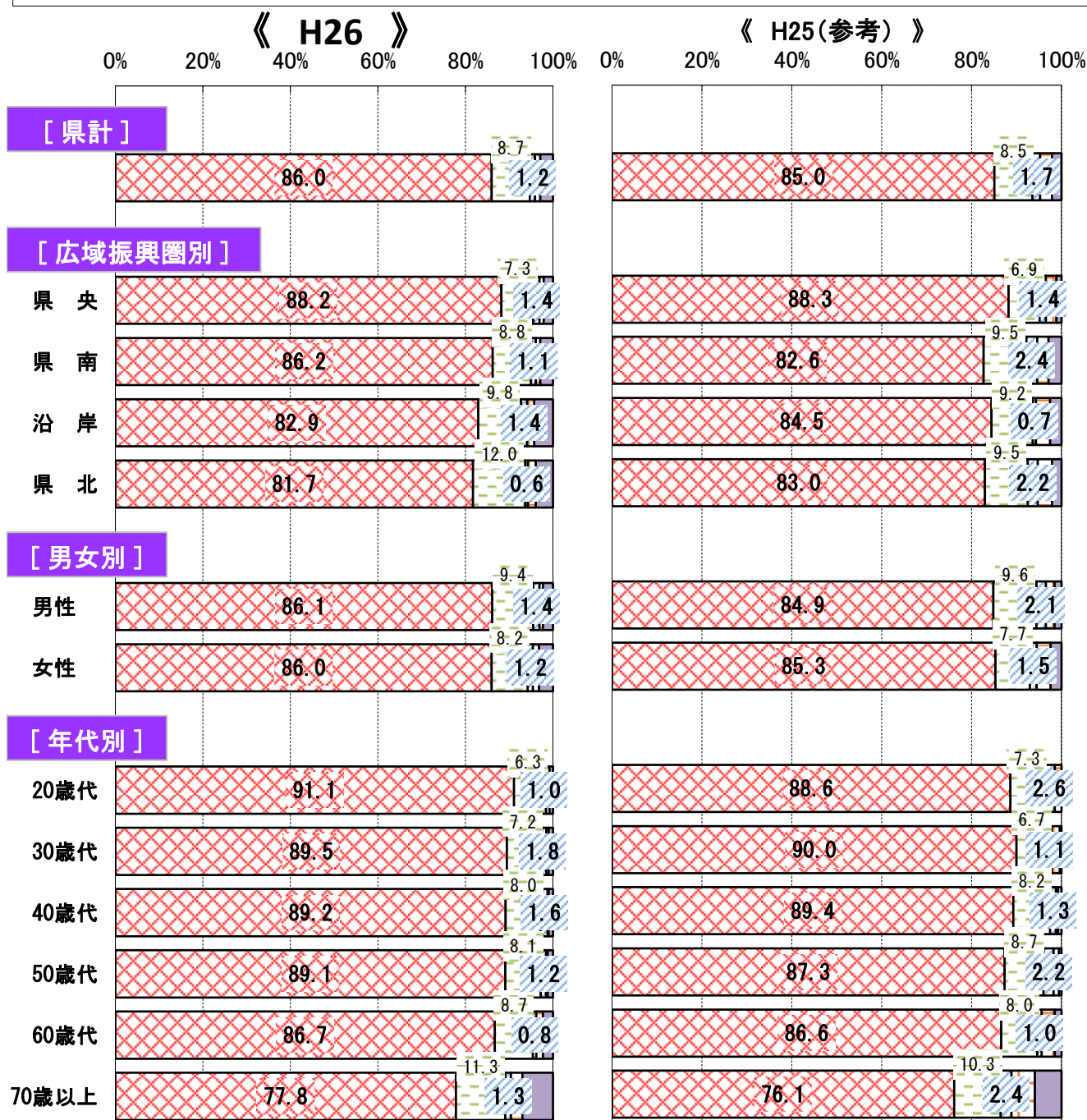
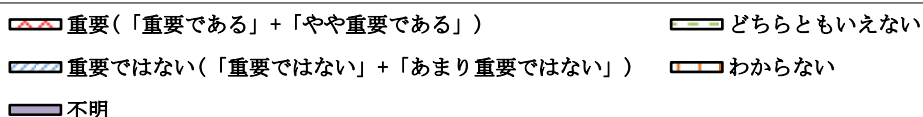


問2-43 道路や下水道などの生活基盤の整備や歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化などが進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。

(1) 重要度について

重要が約85%(86.0%)

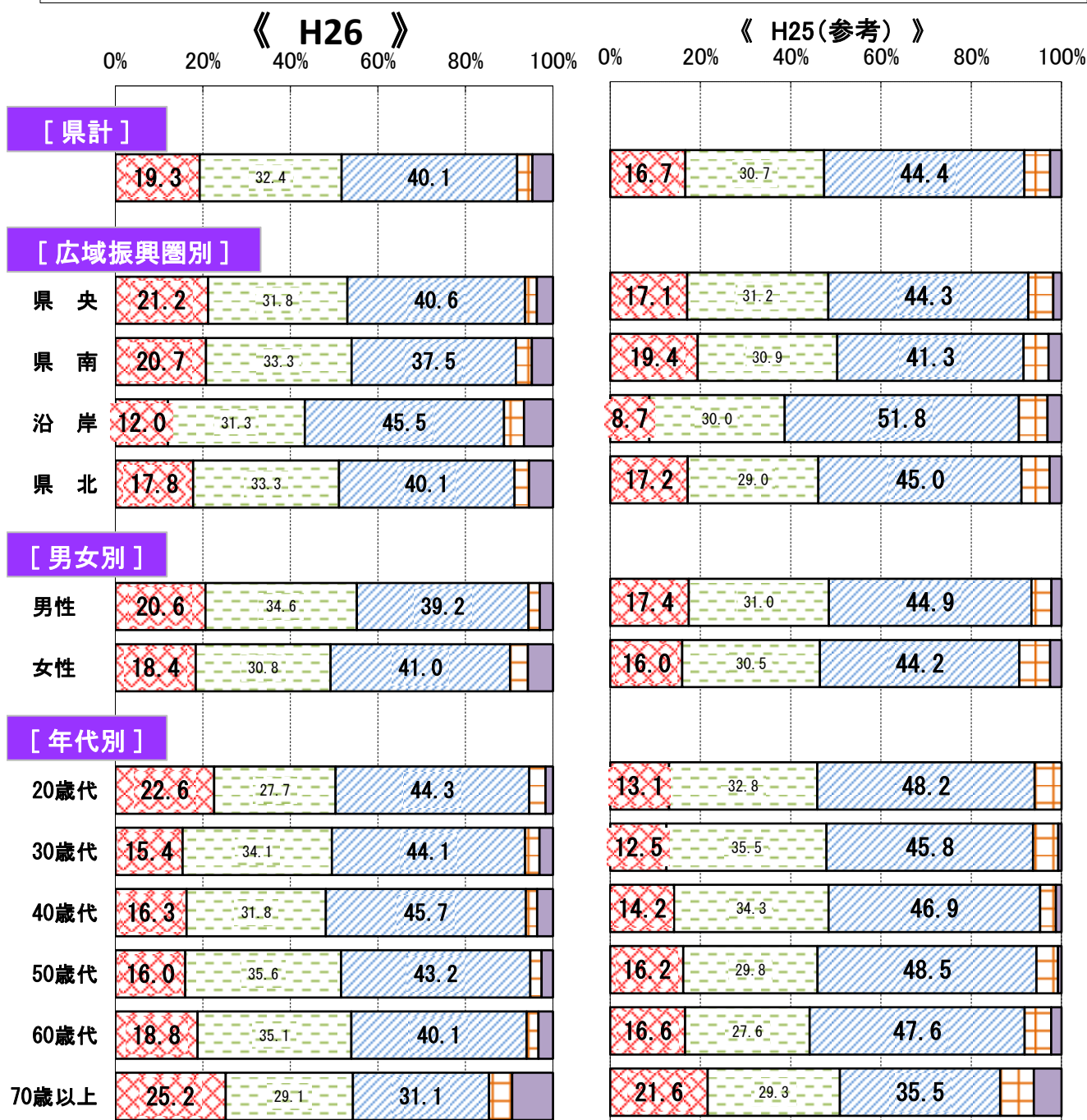
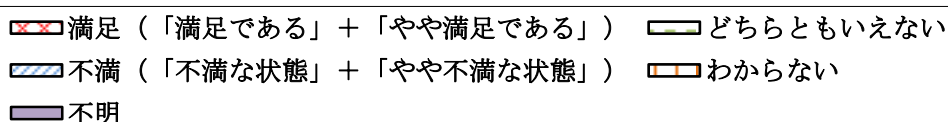
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が86.0%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.2%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の88.2%、最も低いのが県北の81.7%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が19.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合40.1%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(21.2%)、男女別では男性(20.6%)、年代別では70歳以上(25.2%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

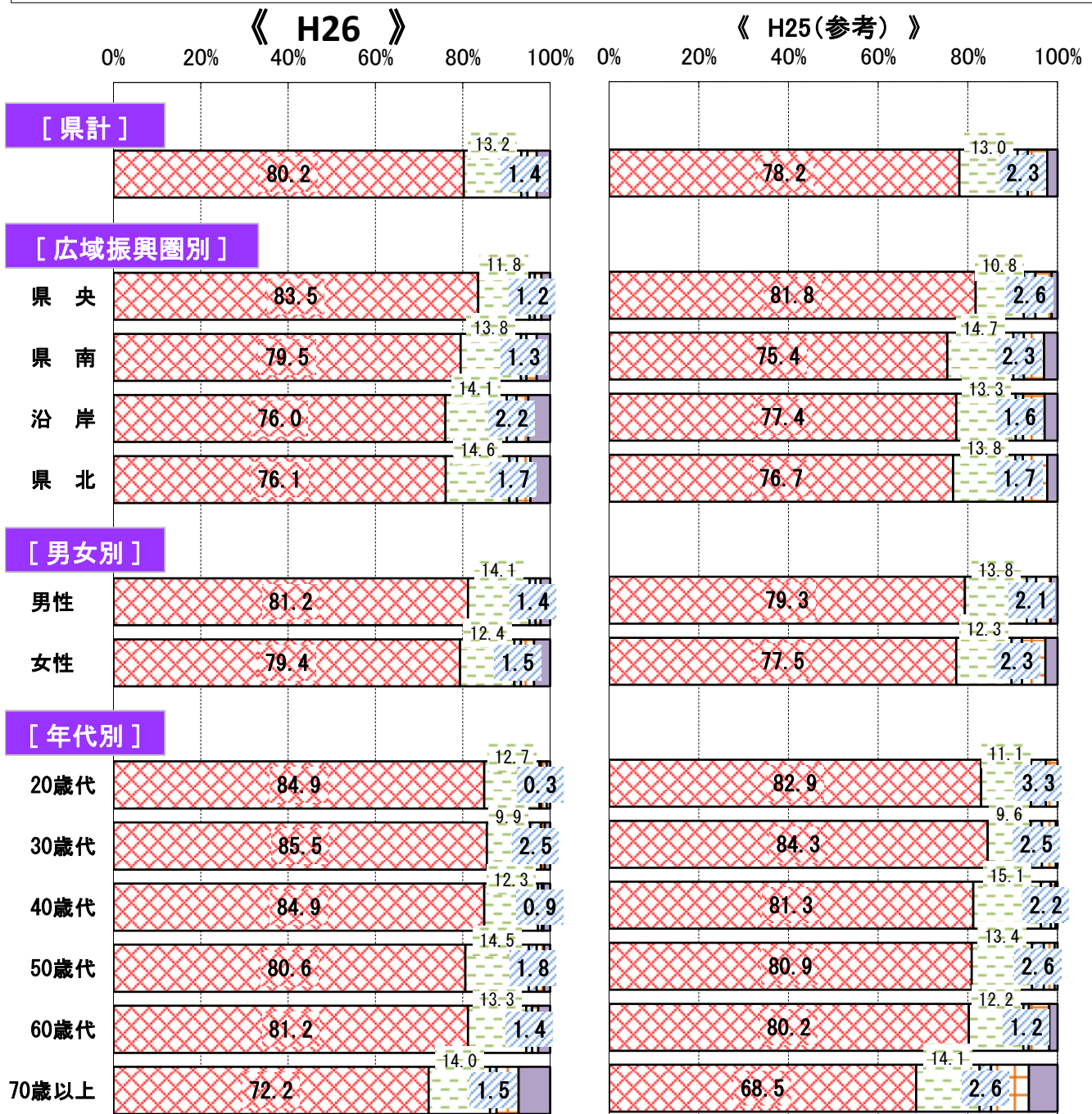
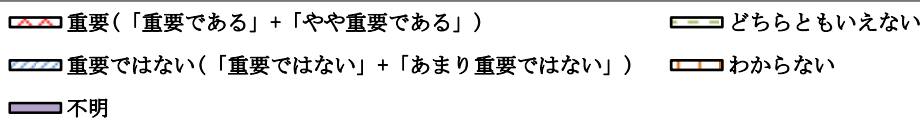


問2-44 道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。

(1) 重要度について

重要が約8割(80.2%)

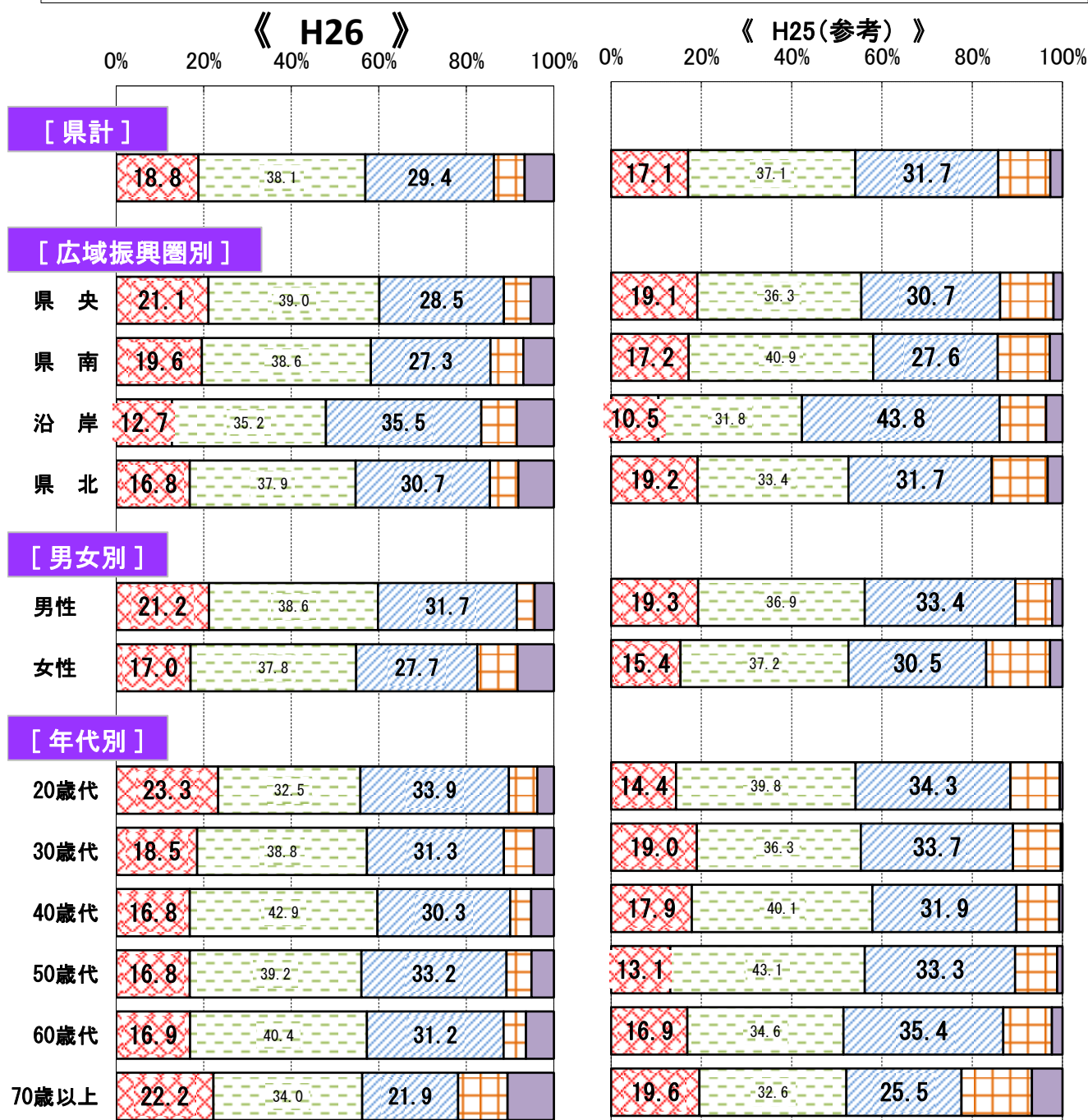
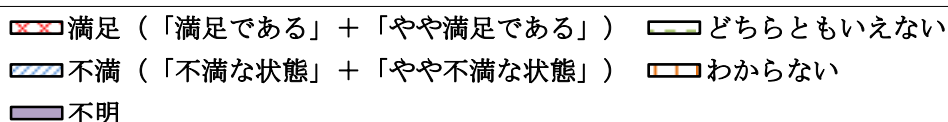
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が80.2%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.4%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の83.5%、最も低いのが沿岸の76.0%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が18.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合29.4%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(21.1%)、男女別では男性(21.2%)、年代別では20歳代(23.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

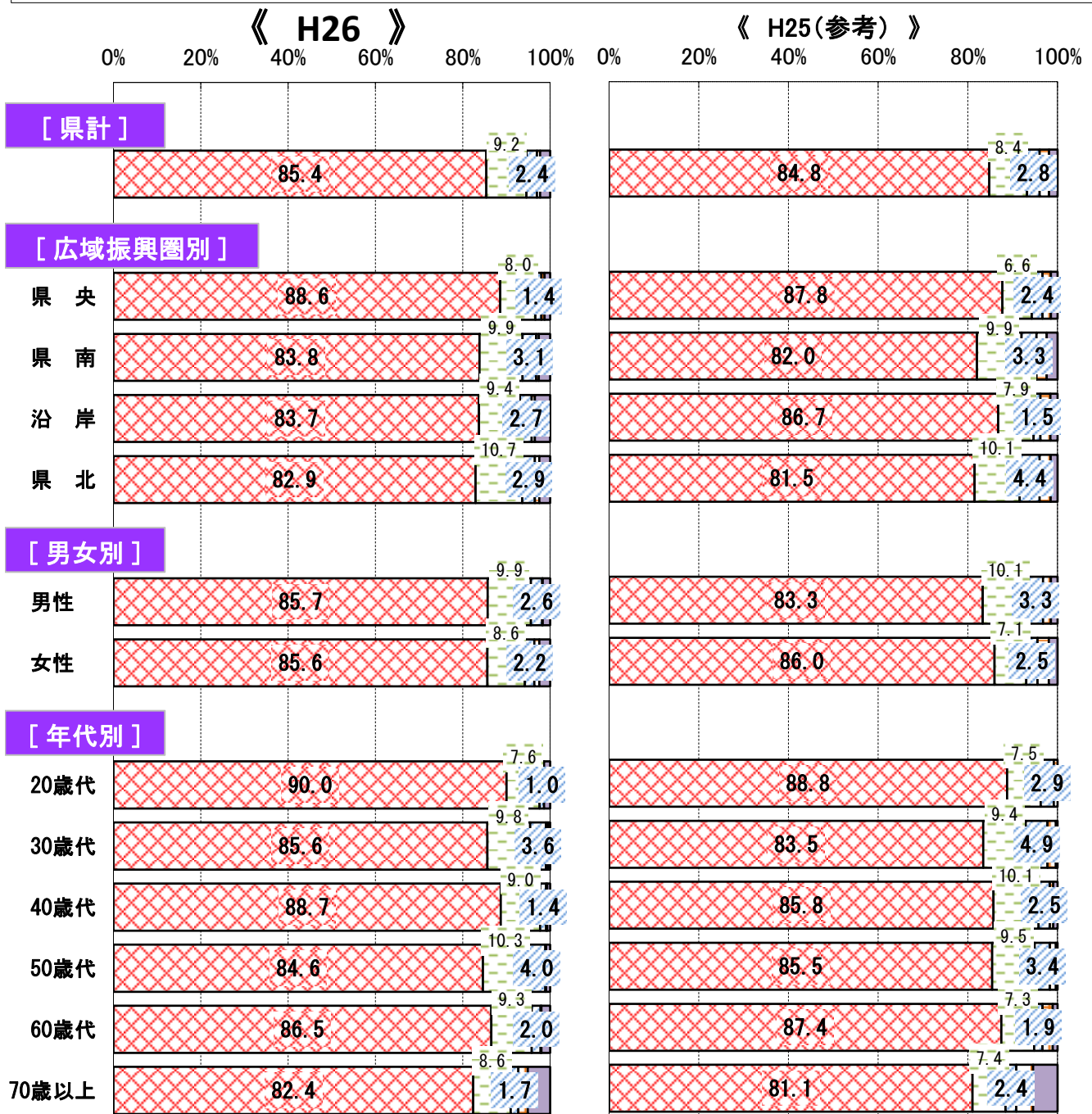
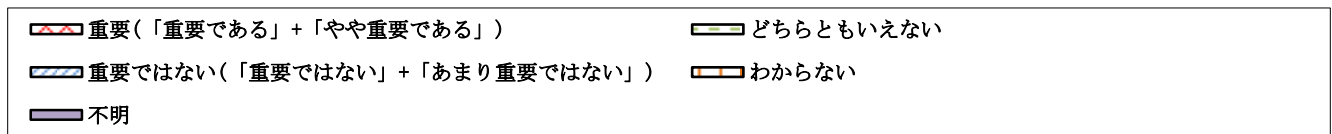


問2-45 鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。

(1) 重要度について

重要が約85% (85.4%)

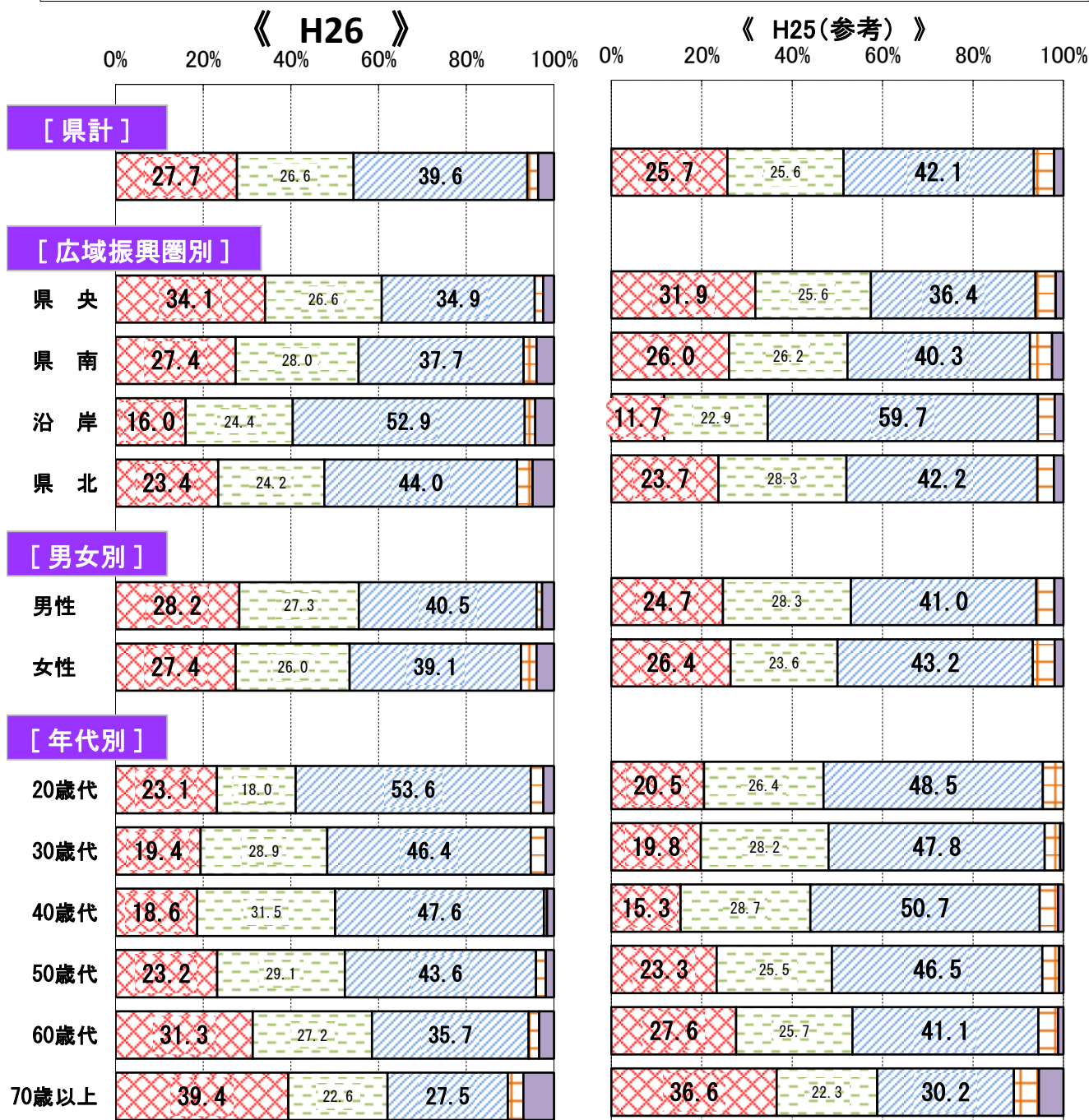
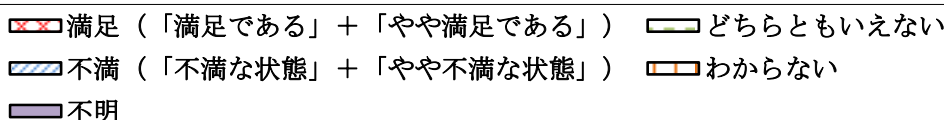
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が85.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.4%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の88.6%、最も低いのが県北の82.9%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が27.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合39.6%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(34.1%)、男女別では男性(28.2%)、年代別では70歳以上(39.4%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

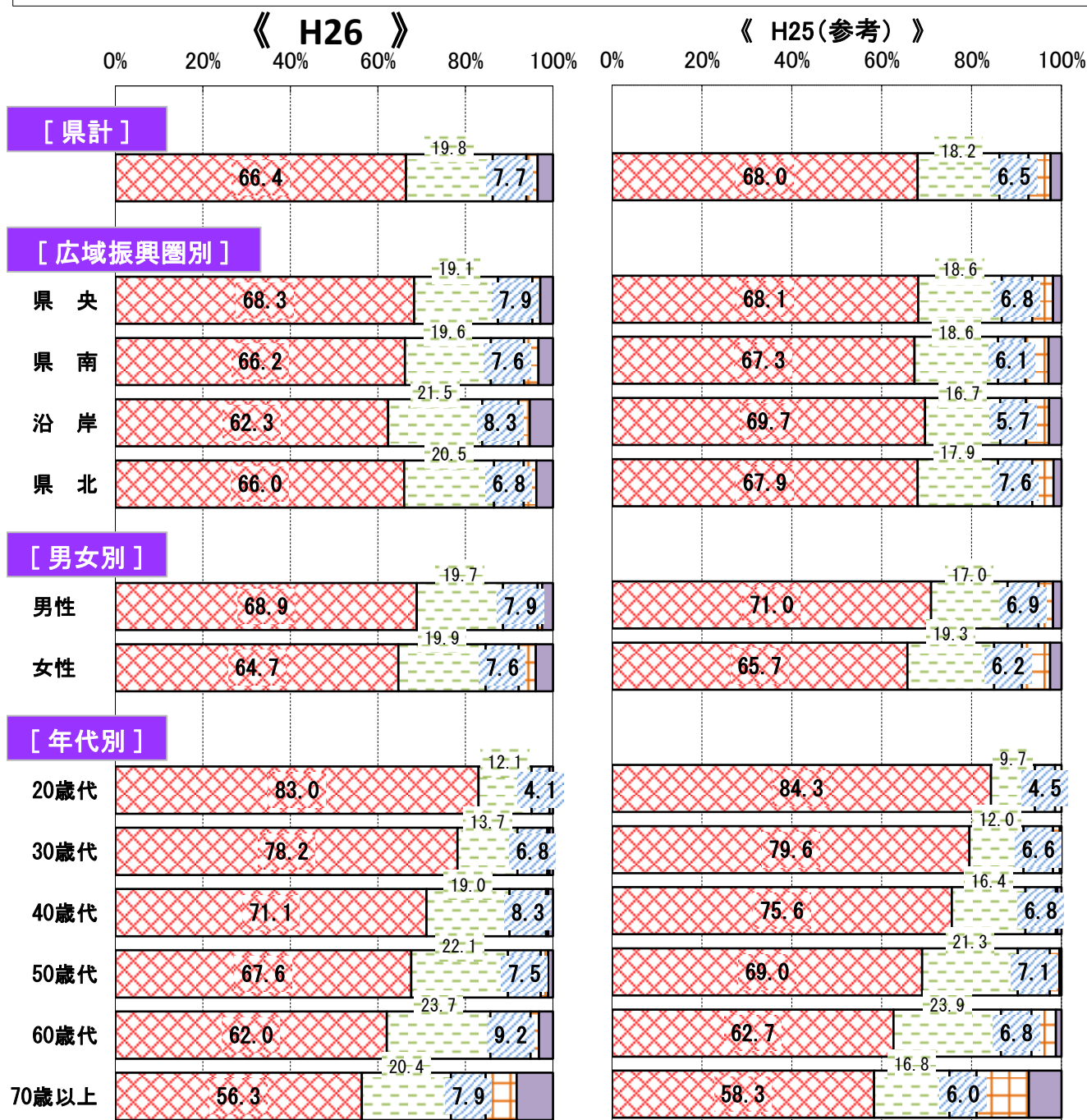
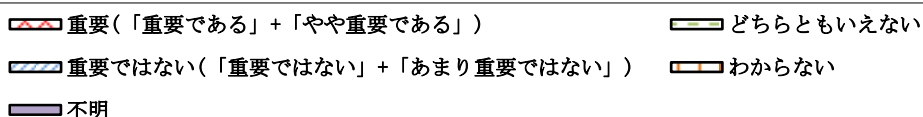


問2-46 携帯電話やインターネットなどの情報通信ネットワークが暮らしや仕事に活かされていること。

(1) 重要度について

重要が7割弱(66.4%)

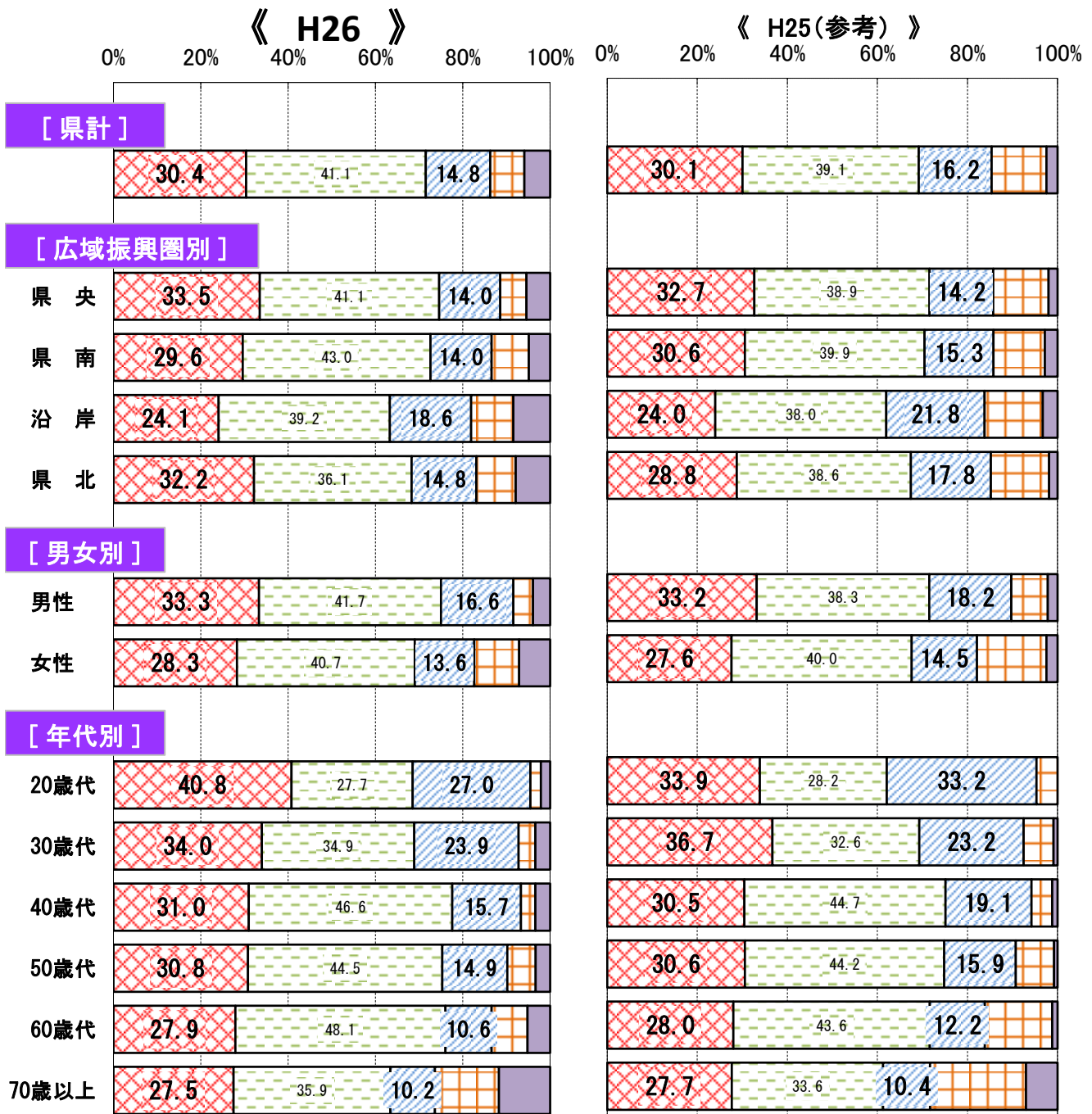
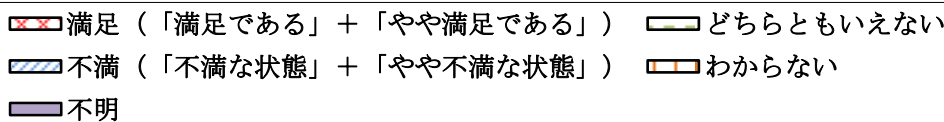
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が66.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が7.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の68.3%、最も低いのが沿岸の62.3%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が30.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合14.8%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(33.5%)、男女別では男性(33.3%)、年代別では20歳代(40.8%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。



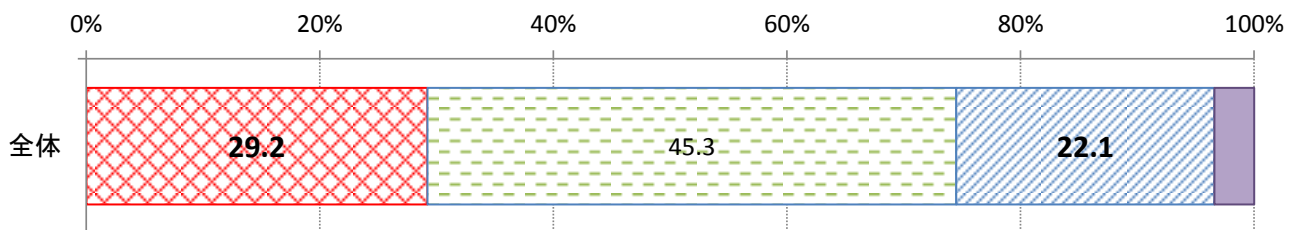
問3 県では、“私たちが実現していきたい岩手の未来”を創っていくため、「いわて県民計画」(計画期間:H21~H30年)に掲げる「希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。

ここでは、いわて県民計画を進めるための基礎資料として活用するため、概ね5年後の岩手県について皆さんがどのように考えているかお伺いします。

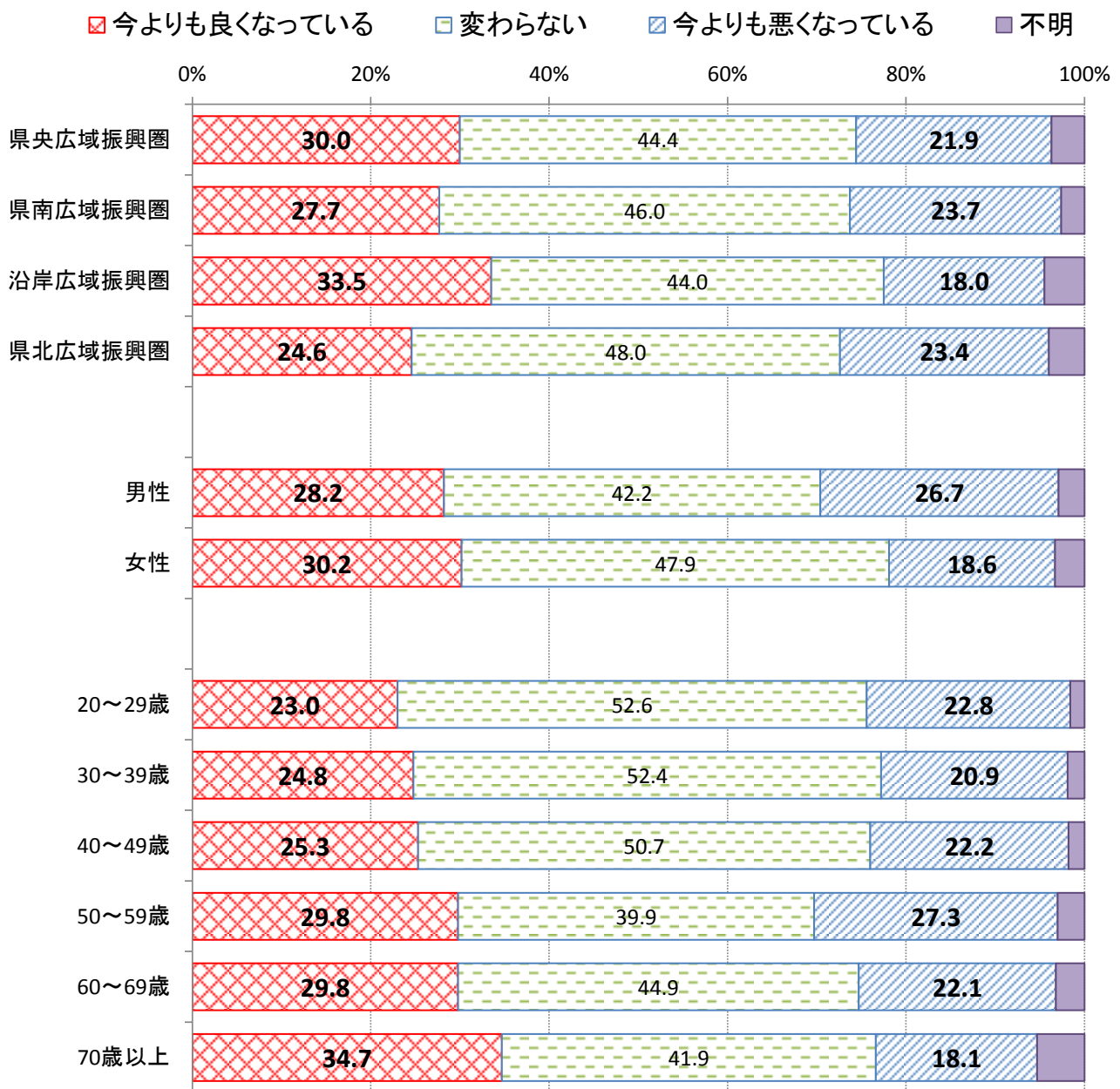
問3-1(1) あなたは概ね5年後の岩手県がどのようになっていると考えますか。

- 概ね5年後の岩手県が今よりも良くなっていると考える人は29.2%となっており、今よりも悪くなっていると考える人の22.1%を7.1ポイント上回っている。
- また、広域振興圏別にみると、今よりも良くなっていると考える人の割合は、沿岸広域振興圏で最も高く、県北広域振興圏で最も低くなっている。
- 男女別にみると、今よりも良くなっていると考える人の割合は女性に多く、今よりも悪くなっていると考える人の割合は男性が多くなっている。
- 年代別にみると、年代が上がるにつれ、今よりも良くなっていると考える人の割合が上昇している。

今よりも良くなっている
 変わらない
 今よりも悪くなっている
 不明



(参考) 広域振興圏別・男女別・年代別集計

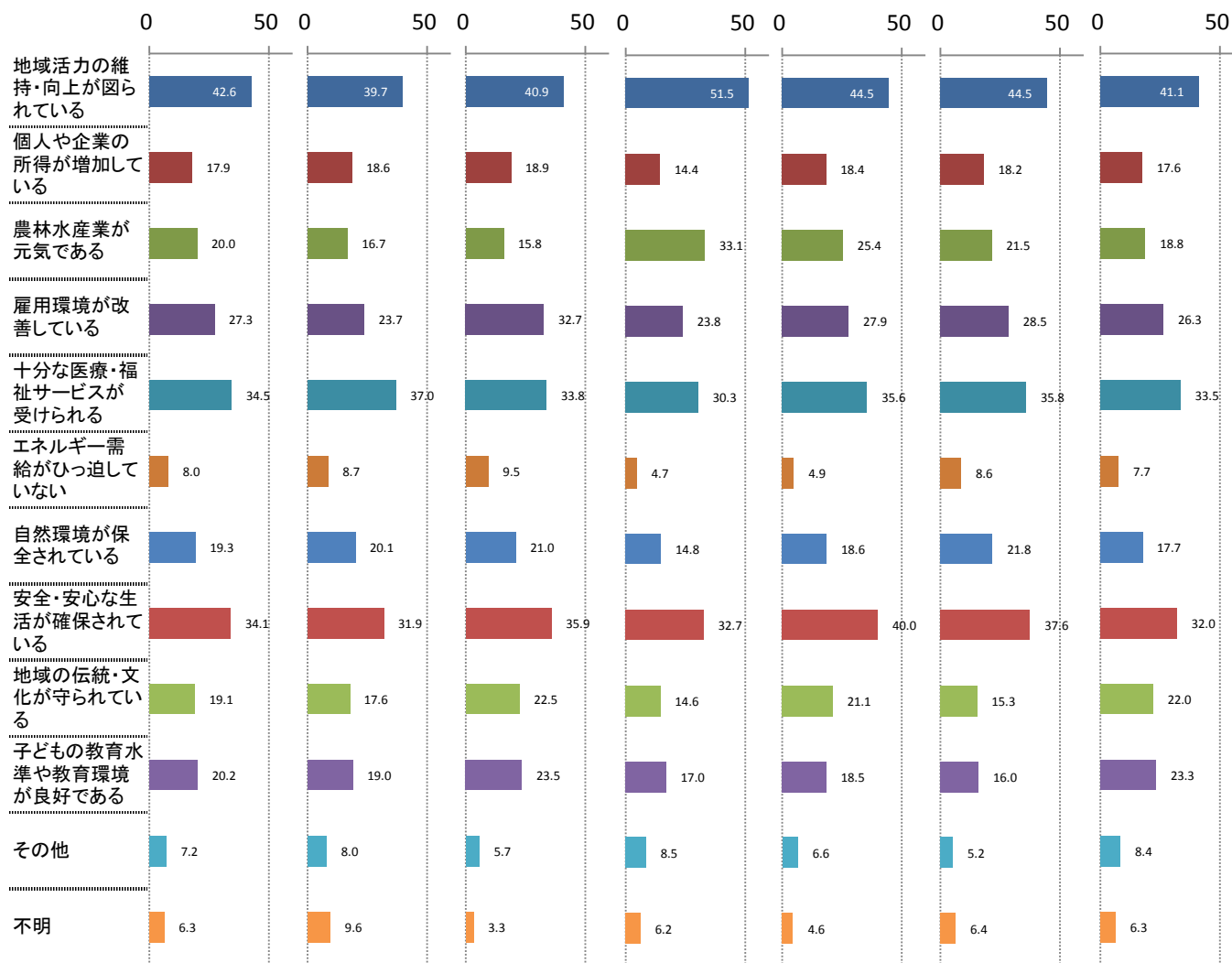


問3-1(2) (概ね5年後の岩手県が「今よりも良くなっている」と考えた人のみ回答)
その理由について、あなたのお考えに近いものをはどれですか。(3つまで)

「地域活力の維持・向上が図られている」の割合が最も高い

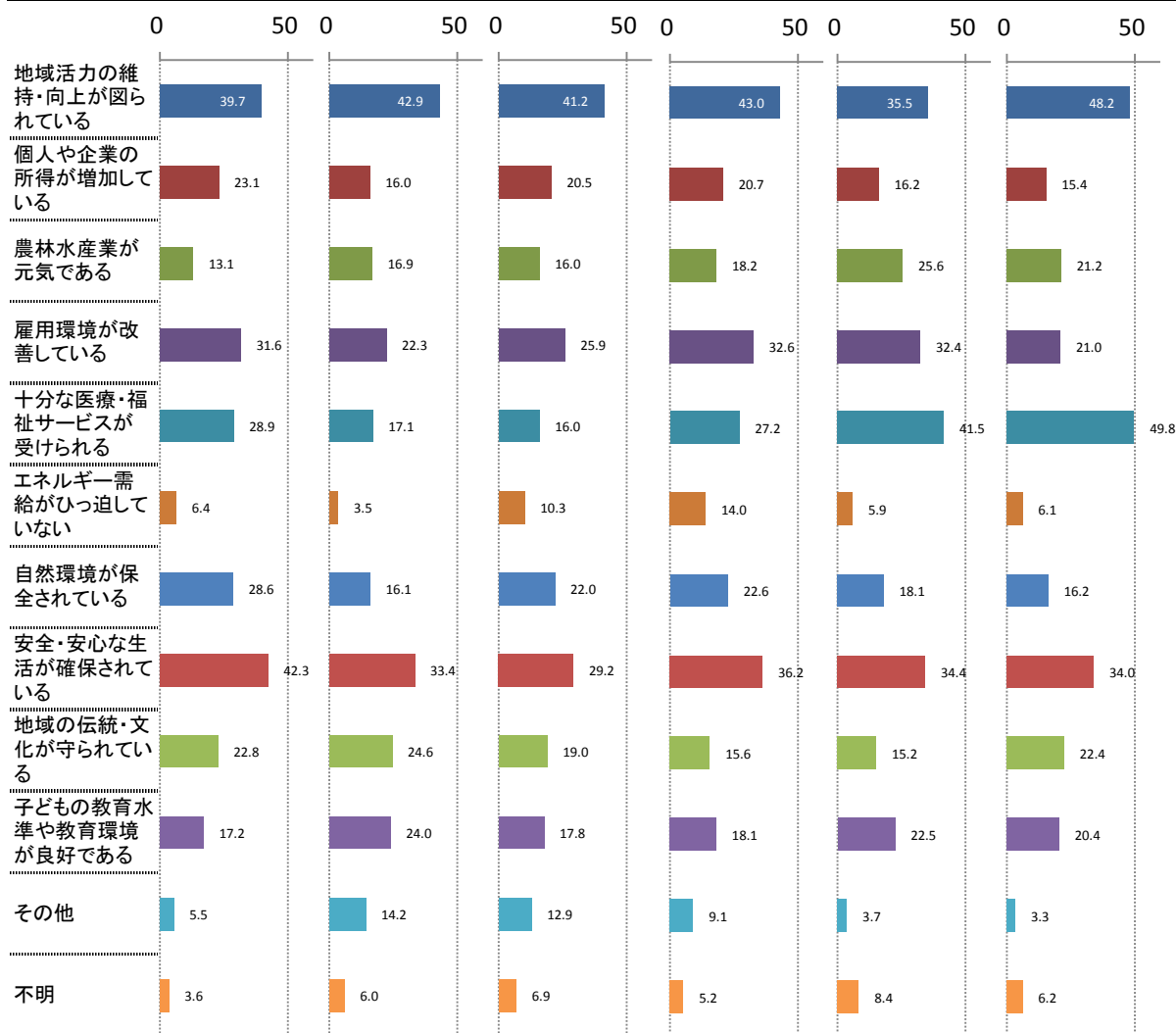
- 県計では「地域活力の維持・向上が図られている」の割合が最も高く、42.6%となっている。
- 次いで、「十分な医療・福祉サービスが受けられる」、「安全・安心な生活が確保されている」と回答した人の割合が上位となっている。

上位3項目	県計	県央広域振興圏	県南広域振興圏	沿岸広域振興圏	県北広域振興圏	男性	女性
1	地域活力の維持・向上が図られている	地域活力の維持・向上が図られている	地域活力の維持・向上が図られている	地域活力の維持・向上が図られている	地域活力の維持・向上が図られている	地域活力の維持・向上が図られている	地域活力の維持・向上が図られている
2	十分な医療・福祉サービスが受けられる	十分な医療・福祉サービスが受けられる	安全・安心な生活が確保されている	農林水産業が元気である	安全・安心な生活が確保されている	安全・安心な生活が確保されている	十分な医療・福祉サービスが受けられる
3	安全・安心な生活が確保されている	安全・安心な生活が確保されている	十分な医療・福祉サービスが受けられる	安全・安心な生活が確保されている	十分な医療・福祉サービスが受けられる	十分な医療・福祉サービスが受けられる	安全・安心な生活が確保されている



- 広域振興圏別にみると、全ての圏域において「地域活力の維持・向上が図られている」の割合が最も高くなっている。また、広域振興圏別にみても、上位項目は県計と概ね同じだが、沿岸広域振興圏では「農林水産業が元気である」が上位となっている。
- 男女別にみると、男女共に「地域活力の維持・向上が図られている」の割合が最も高くなっているなど、傾向に大きな差は出ていない。
- 年代別にみると、最も割合が高い項目は、20歳代で「安全・安心な生活が確保されている」、30歳代・40歳代・50歳代で「地域活力の維持・向上が図られている」、60歳代及び70歳以上では「十分な医療・福祉サービスが受けられる」となっている。
- また、20歳代・40歳代・50歳代において、「雇用環境が改善している」が上位となっている。

上位3項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	安全・安心な生活が確保されている	地域活力の維持・向上が図られている	地域活力の維持・向上が図られている	地域活力の維持・向上が図られている	十分な医療・福祉サービスが受けられる	十分な医療・福祉サービスが受けられる
2	地域活力の維持・向上が図られている	安全・安心な生活が確保されている	安全・安心な生活が確保されている	安全・安心な生活が確保されている	地域活力の維持・向上が図られている	地域活力の維持・向上が図られている
3	雇用環境が改善している	地域の伝統・文化が守られている	雇用環境が改善している	雇用環境が改善している	安全・安心な生活が確保されている	安全・安心な生活が確保されている

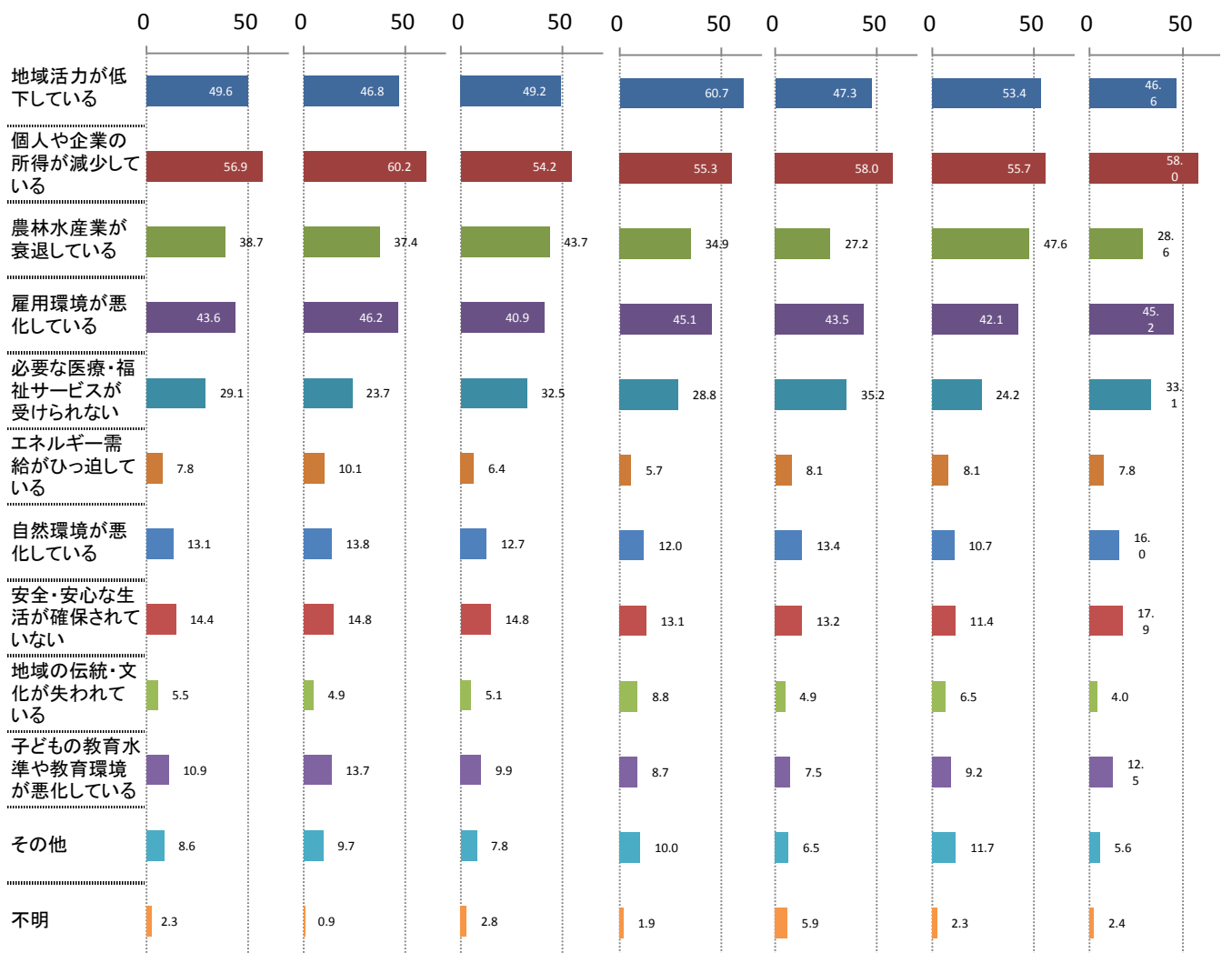


問3-1(3) (概ね5年後の岩手県が「今よりも悪くなっている」と考えた人のみ回答)
その理由について、あなたのお考えに近いものをはどれですか。(3つまで)

「個人や企業の所得が減少している」の割合が最も高い

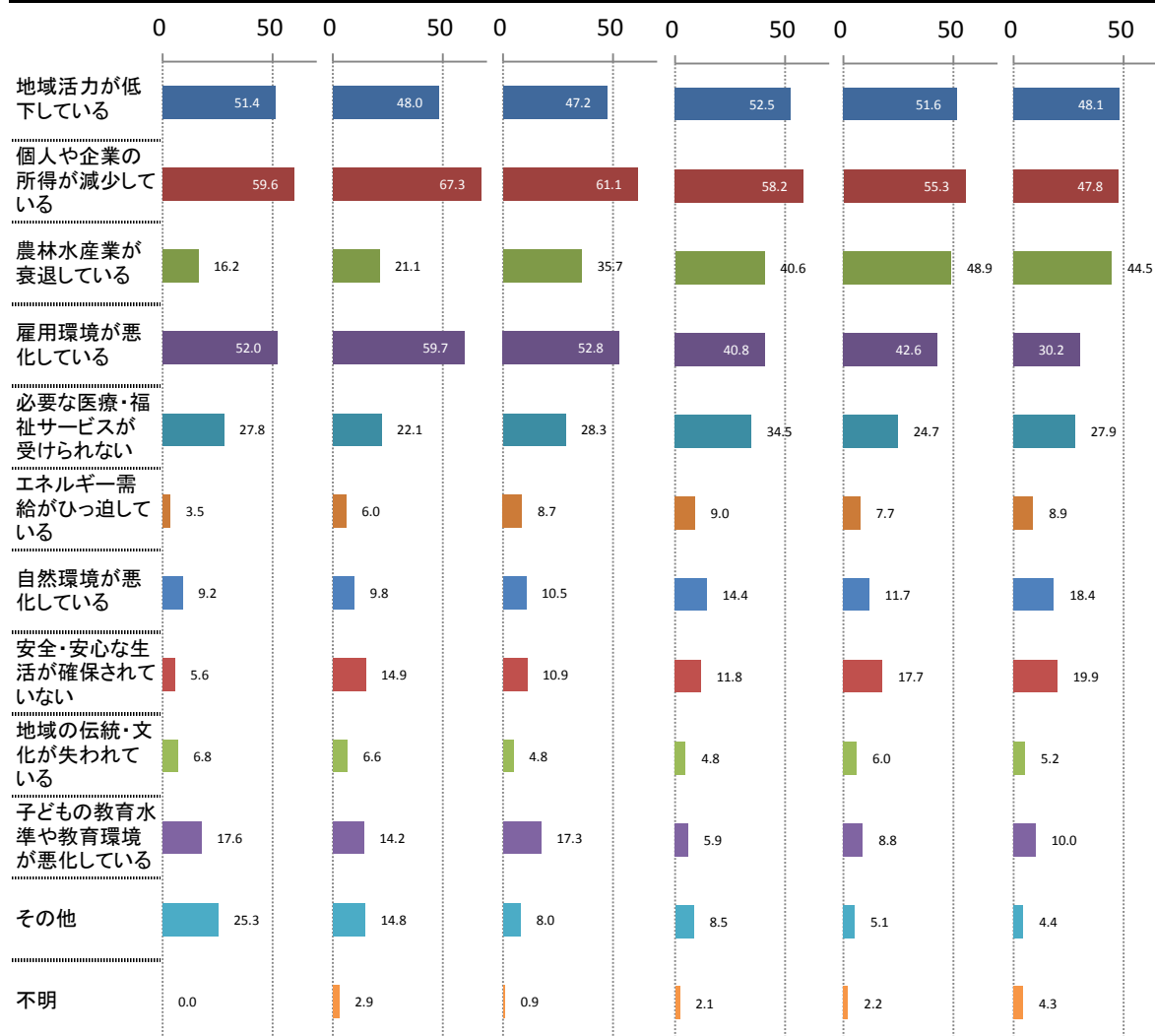
- 県計では「個人や企業の所得が減少している」の割合が最も高く、56.9%となっている。
- 次いで、「地域活力が低下している」、「雇用環境が悪化している」と回答した人の割合が上位となっている。

上位3項目	県計	県央広域振興圏	県南広域振興圏	沿岸広域振興圏	県北広域振興圏	男性	女性
1	個人や企業の所得が減少している	個人や企業の所得が減少している	個人や企業の所得が減少している	地域活力が低下している	個人や企業の所得が減少している	個人や企業の所得が減少している	個人や企業の所得が減少している
2	地域活力が低下している	地域活力が低下している	地域活力が低下している	個人や企業の所得が減少している	地域活力が低下している	地域活力が低下している	地域活力が低下している
3	雇用環境が悪化している	雇用環境が悪化している	農林水産業が衰退している	雇用環境が悪化している	雇用環境が悪化している	農林水産業が衰退している	雇用環境が悪化している



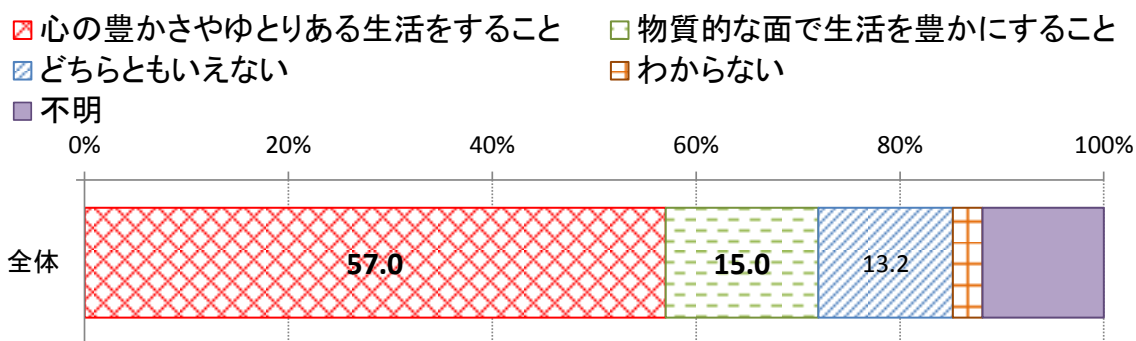
- 広域振興圏別にみると、全ての圏域において「個人や企業の所得が減少している」及び「地域活力が低下している」の割合が上位となっている。また、県南広域振興圏では「農林水産業が衰退している」が上位となっている。
- 男女別にみると、男性は「農林水産業が衰退している」が上位となっている一方、女性は「必要な医療・福祉サービスが受けられない」が男性に比べ高い水準となっている。
- 年代別にみると、最も割合が高い項目は、70歳以上で「地域活力が低下している」、それ以外の年代で「個人や企業の所得が減少している」となっている。
- また、20歳代から50歳代にかけて「雇用環境が悪化している」が上位となっており、また、60歳代及び70歳以上では「農林水産業が衰退している」が上位となっている。

上位3項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	個人や企業の所得が減少している	個人や企業の所得が減少している	個人や企業の所得が減少している	個人や企業の所得が減少している	個人や企業の所得が減少している	地域活力が低下している
2	雇用環境が悪化している	雇用環境が悪化している	雇用環境が悪化している	地域活力が低下している	地域活力が低下している	個人や企業の所得が減少している
3	地域活力が低下している	地域活力が低下している	地域活力が低下している	雇用環境が悪化している	農林水産業が衰退している	農林水産業が衰退している

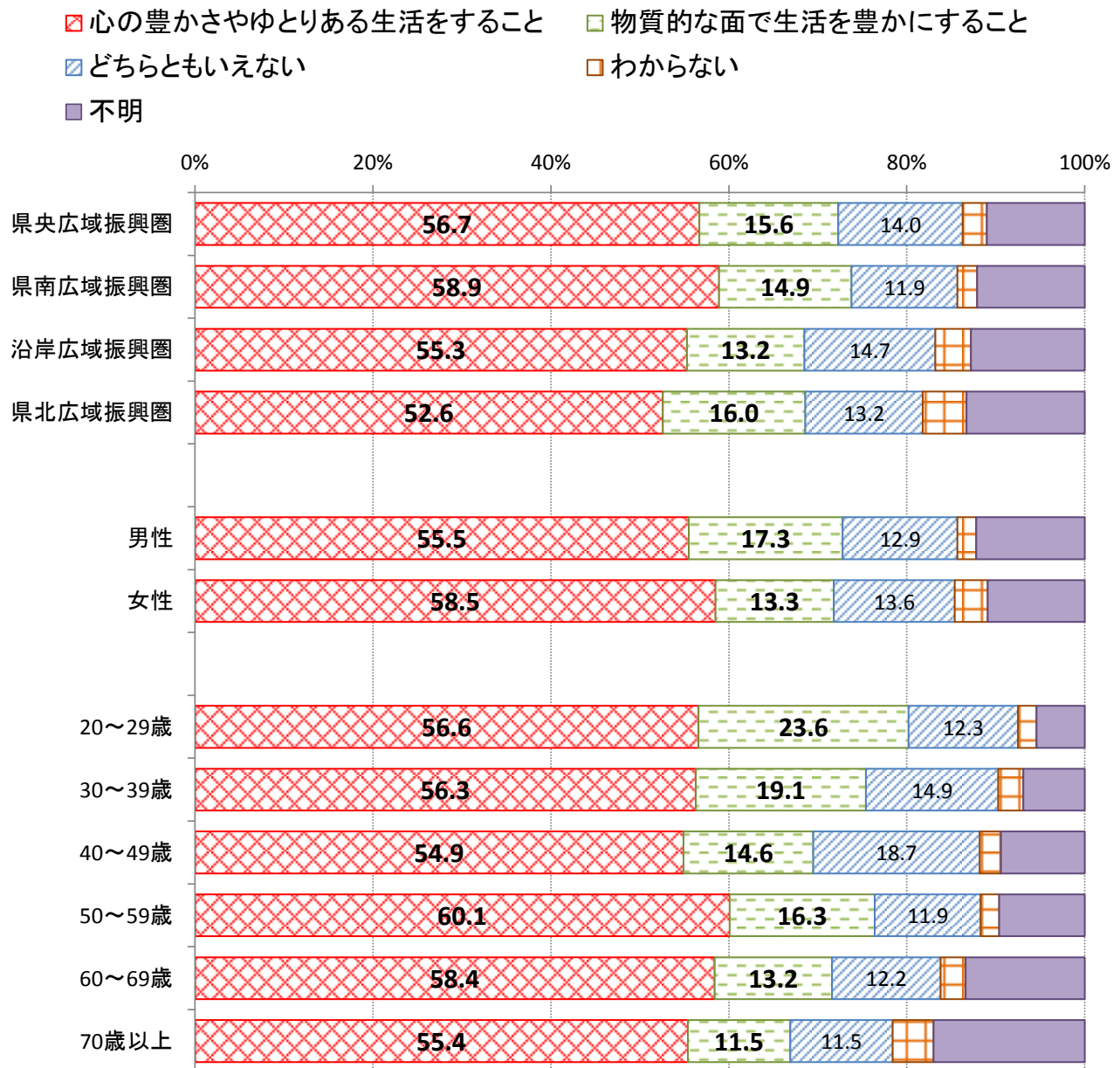


問3-2 あなたは今後の生活において、物の豊かさと心の豊かさに関して、どちらに重きをおきたいですか。

- 今後の生活において、「心の豊かさやゆとりのある生活をする事」に重きをおきたいと考える人は57.0%となっている一方、「物質的な面で生活を豊かにすること」に重きをおきたいと考えている人は15.0%となっている。
- また、広域振興圏別にみると、「心の豊かさやゆとりのある生活をする事」に重きをおきたいと考える人の割合は県南広域振興圏で最も高く、「物質的な面で生活を豊かにすること」に重きをおきたいと考えている人の割合は県北広域振興圏で最も高くなっている。
- 年代別にみると、「心の豊かさやゆとりのある生活をする事」に重きをおきたいと考える人の割合は50歳代で最も高く、「物質的な面で生活を豊かにすること」に重きをおきたいと考えている人の割合は20歳代で最も高くなっている。



(参考) 広域振興圏別・男女別・年代別集計

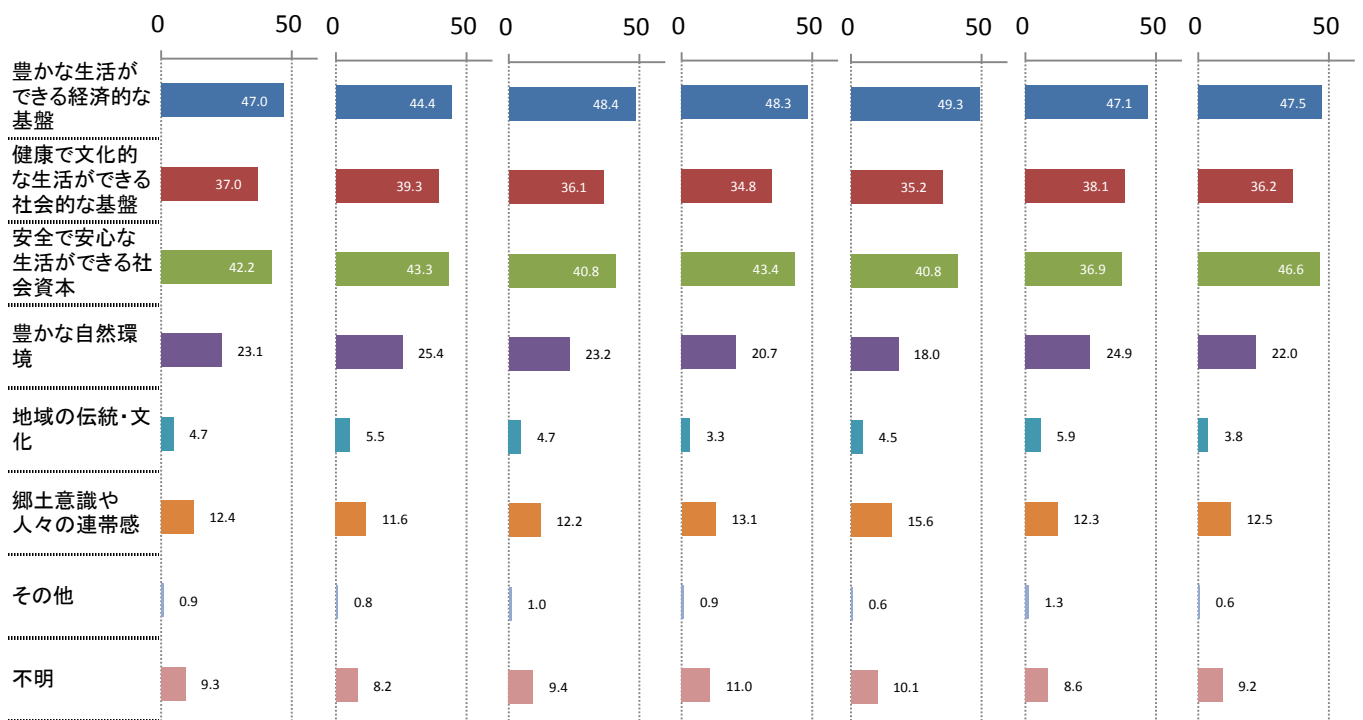


問3-3 あなたは次の世代に何を残したいですか。あなたのお考えに近いものはどれですか。(2つまで)

「豊かな生活ができる経済的な基盤」の割合が最も高い

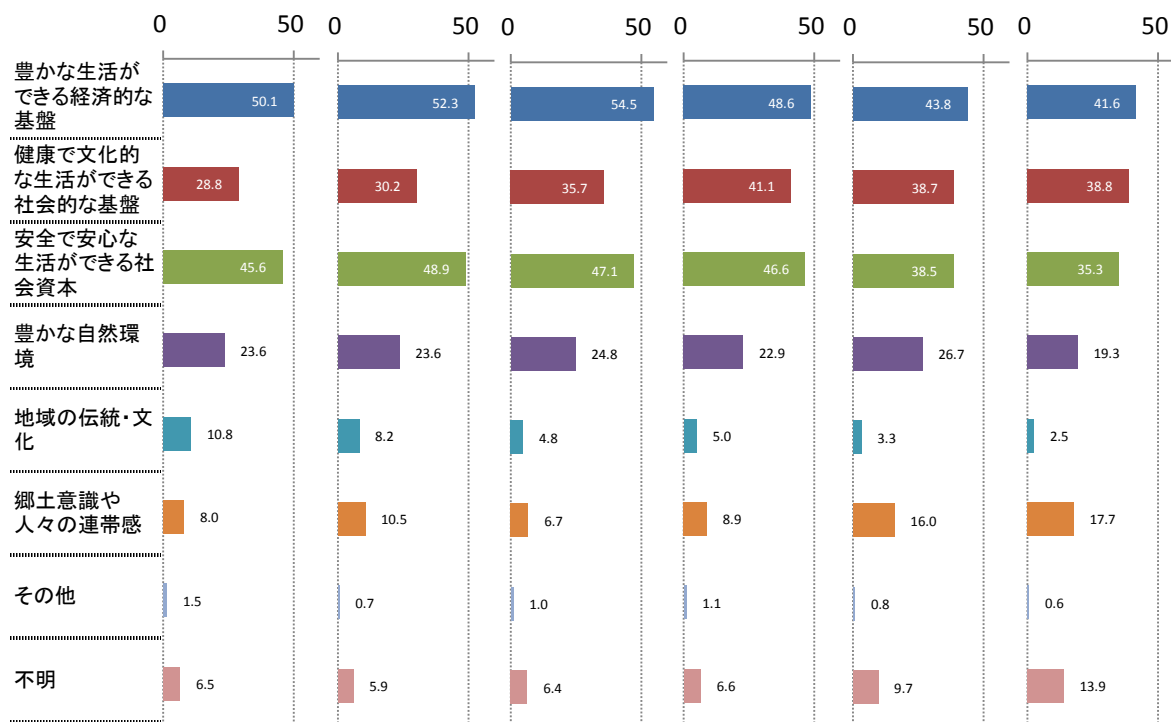
- 県計では「豊かな生活ができる経済的な基盤」の割合が最も高く、47.0%となっている。
- 次いで、「安全で安心な生活ができる社会資本」、「健康で文化的な生活ができる社会的な基盤」と回答した人の割合が上位となっている。

上位3項目	県計	県央広域振興圏	県南広域振興圏	沿岸広域振興圏	県北広域振興圏	男性	女性
1	豊かな生活ができる経済的な基盤	豊かな生活ができる経済的な基盤	豊かな生活ができる経済的な基盤	豊かな生活ができる経済的な基盤	豊かな生活ができる経済的な基盤	豊かな生活ができる経済的な基盤	豊かな生活ができる経済的な基盤
2	安全で安心な生活ができる社会資本	安全で安心な生活ができる社会資本	安全で安心な生活ができる社会資本	安全で安心な生活ができる社会資本	安全で安心な生活ができる社会資本	健康で文化的な生活ができる社会的な基盤	安全で安心な生活ができる社会資本
3	健康で文化的な生活ができる社会的な基盤	健康で文化的な生活ができる社会的な基盤	健康で文化的な生活ができる社会的な基盤	健康で文化的な生活ができる社会的な基盤	健康で文化的な生活ができる社会的な基盤	安全で安心な生活ができる社会資本	健康で文化的な生活ができる社会的な基盤



- 広域振興圏別にみると、全ての圏域において「豊かな生活ができる経済的な基盤」、「安全で安心な生活ができる社会資本」及び「健康で文化的な生活ができる社会的な基盤」の割合が上位となっているなど、圏域毎に大きな傾向の差はでない。
- 男女別にみると、女性は「安全で安心な生活ができる社会資本」が男性に比べ高い水準となっている。
- 年代別にみると、上位は同じ項目となっているものの、「豊かな生活ができる経済的な基盤」は50歳代以降、「安全で安心な生活ができる社会資本」の割合は40歳代以降に低下傾向となっている。

上位3項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	豊かな生活ができる経済的な基盤	豊かな生活ができる経済的な基盤	豊かな生活ができる経済的な基盤	豊かな生活ができる経済的な基盤	豊かな生活ができる経済的な基盤	豊かな生活ができる経済的な基盤
2	安全で安心な生活ができる社会資本	安全で安心な生活ができる社会資本	安全で安心な生活ができる社会資本	安全で安心な生活ができる社会資本	健康で文化的な生活ができる社会的な基盤	健康で文化的な生活ができる社会的な基盤
3	健康で文化的な生活ができる社会的な基盤	健康で文化的な生活ができる社会的な基盤	健康で文化的な生活ができる社会的な基盤	健康で文化的な生活ができる社会的な基盤	安全で安心な生活ができる社会資本	安全で安心な生活ができる社会資本



統計表

※設問項目は実際の設問文を省略して掲載している。

統計表

問1 今の生活全般について、どのように感じていますか。

	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	生活全般平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	3.5	24.5	21.9	26.0	14.5	0.4	9.2	2.7
県央広域振興圏	100.0	3.3	28.1	19.8	24.5	14.2	0.4	9.7	2.80
県南広域振興圏	100.0	3.9	22.5	23.0	27.0	14.3	0.1	9.2	2.72
沿岸広域振興圏	100.0	4.2	22.3	24.0	27.1	14.7	1.0	6.7	2.72
県北広域振興圏	100.0	1.8	22.4	21.8	26.1	16.3	0.8	10.8	2.63
男性	100.0	2.9	23.5	21.4	27.2	14.9	0.3	9.8	2.69
女性	100.0	4.1	25.8	22.0	25.0	14.2	0.5	8.4	2.78
20～29歳	100.0	5.4	26.8	23.9	18.6	14.2	0.0	11.1	2.89
30～39歳	100.0	6.4	23.0	21.1	23.8	15.1	0.6	10.0	2.80
40～49歳	100.0	3.5	19.9	22.3	32.6	14.0	0.0	7.7	2.64
50～59歳	100.0	2.4	22.3	20.6	25.2	20.6	0.8	8.1	2.57
60～69歳	100.0	2.9	26.2	21.9	27.8	12.5	0.5	8.2	2.77
70歳以上	100.0	3.3	28.6	22.1	24.0	11.3	0.3	10.4	2.87
20～39歳	100.0	6.0	24.4	22.2	21.8	14.8	0.4	10.4	2.83
40～59歳	100.0	2.9	21.3	21.3	28.2	17.9	0.5	7.9	2.60
60歳以上	100.0	3.1	27.5	22.0	25.7	11.9	0.4	9.4	2.83

統計表

問2(1)1 新しい工場や事業所ができ、県内経済が活性化していること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	43.1	29.0	14.4	5.0	1.8	3.1	-	3.6
県央広域振興圏	100.0	39.9	32.2	14.1	6.1	2.0	2.6	-	3.1
県南広域振興圏	100.0	45.6	28.3	13.2	4.7	1.7	3.0	-	3.5
沿岸広域振興圏	100.0	44.1	26.2	16.5	3.8	1.8	3.6	-	4.0
県北広域振興圏	100.0	43.2	24.3	16.9	3.8	1.4	4.7	-	5.7
男性	100.0	47.8	28.6	12.3	5.2	1.9	1.9	-	2.3
女性	100.0	39.8	29.7	15.6	4.8	1.8	3.9	-	4.4
20～29歳	100.0	37.6	36.0	13.3	9.2	1.3	0.5	-	2.1
30～39歳	100.0	44.6	27.6	16.8	6.0	2.0	1.4	-	1.6
40～49歳	100.0	45.4	34.8	12.3	4.6	1.1	0.7	-	1.1
50～59歳	100.0	47.8	31.1	11.9	3.6	2.1	1.5	-	2.0
60～69歳	100.0	48.5	26.9	13.1	3.8	1.4	3.6	-	2.7
70歳以上	100.0	34.7	24.7	17.5	5.8	2.4	6.7	-	8.2

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)	
	点数	5	4	3	2	1	0	-			a
全体	100.0	1.4	10.6	33.9	26.6	17.8	4.9	-	4.8	2.5	1.7
県央広域振興圏	100.0	1.6	9.7	37.1	25.8	16.2	5.2	-	4.4	2.5	1.6
県南広域振興圏	100.0	1.3	13.3	33.6	26.4	16.6	4.4	-	4.4	2.5	1.7
沿岸広域振興圏	100.0	1.0	8.5	31.7	28.5	20.1	4.9	-	5.3	2.4	1.8
県北広域振興圏	100.0	1.1	6.5	26.4	27.3	25.4	5.7	-	7.6	2.2	2.0
男性	100.0	1.3	11.0	30.9	30.8	20.1	2.8	-	3.1	2.4	1.8
女性	100.0	1.4	10.6	35.9	23.6	16.1	6.4	-	6.0	2.5	1.6
20～29歳	100.0	1.8	10.5	36.0	29.4	13.5	4.4	-	4.4	2.5	1.5
30～39歳	100.0	1.8	8.6	39.3	27.2	16.5	3.2	-	3.4	2.5	1.6
40～49歳	100.0	1.2	8.6	33.9	29.9	19.8	3.9	-	2.7	2.4	1.8
50～59歳	100.0	0.9	9.6	29.7	29.9	23.2	2.9	-	3.8	2.3	1.9
60～69歳	100.0	1.1	12.3	33.6	26.9	18.1	4.9	-	3.1	2.5	1.8
70歳以上	100.0	1.7	12.6	34.7	20.8	13.6	7.9	-	8.7	2.6	1.4

問2(1)2 次の時代の地域の商業やサービス業、製造業などを担う人材が育っていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	46.9	28.2	13.0	2.7	1.3	3.6	-	4.3
県央広域振興圏	100.0	48.2	29.4	12.2	2.6	1.2	3.1	-	3.3
県南広域振興圏	100.0	45.8	29.6	12.9	2.6	1.5	3.4	-	4.2
沿岸広域振興圏	100.0	47.9	23.8	14.8	2.5	1.1	4.7	-	5.2
県北広域振興圏	100.0	45.7	24.7	13.8	3.2	1.1	4.6	-	6.9
男性	100.0	47.2	30.5	13.2	2.3	1.4	2.6	-	2.8
女性	100.0	47.2	26.3	12.9	2.9	1.2	4.3	-	5.2
20～29歳	100.0	47.9	34.5	9.8	4.1	0.0	1.1	-	2.6
30～39歳	100.0	47.3	28.5	15.1	3.6	1.3	2.0	-	2.2
40～49歳	100.0	51.3	31.3	13.1	1.8	0.7	0.8	-	1.0
50～59歳	100.0	52.5	30.4	9.0	2.2	1.7	1.8	-	2.4
60～69歳	100.0	47.8	26.6	13.5	2.6	0.7	4.7	-	4.1
70歳以上	100.0	39.1	23.6	16.2	2.7	2.1	7.2	-	9.1

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)	
	点数	5	4	3	2	1	0	-			a
全体	100.0	1.1	7.5	36.3	26.1	17.2	6.1	-	5.7	2.4	1.8
県央広域振興圏	100.0	1.4	6.8	38.4	26.8	15.9	5.8	-	4.9	2.5	1.8
県南広域振興圏	100.0	0.7	8.8	36.5	26.2	16.2	6.4	-	5.2	2.5	1.8
沿岸広域振興圏	100.0	1.3	6.8	32.5	25.6	20.6	5.8	-	7.4	2.3	1.9
県北広域振興圏	100.0	0.7	5.8	33.0	24.0	21.0	7.2	-	8.3	2.3	1.9
男性	100.0	1.1	7.5	34.5	28.7	20.0	4.3	-	3.9	2.4	1.9
女性	100.0	1.0	7.6	37.7	24.1	15.1	7.5	-	7.0	2.5	1.8
20～29歳	100.0	0.7	10.6	41.0	24.0	16.0	4.5	-	3.2	2.5	1.8
30～39歳	100.0	1.0	6.3	41.2	27.0	14.5	6.0	-	4.0	2.5	1.8
40～49歳	100.0	0.8	5.2	43.5	25.7	17.0	4.6	-	3.2	2.4	1.9
50～59歳	100.0	1.1	5.7	33.1	30.4	21.2	4.4	-	4.1	2.3	2.1
60～69歳	100.0	1.0	6.9	35.0	26.8	19.2	6.2	-	4.9	2.4	1.9
70歳以上	100.0	1.4	10.7	32.4	22.4	13.9	8.8	-	10.4	2.5	1.6

問2(1)3 地域の農林水産資源や技術を生かした加工食品や木製品が開発され、販売されていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	39.2	30.3	16.0	5.0	1.7	3.6	-	4.2
県央広域振興圏	100.0	41.0	30.2	15.8	5.4	1.5	2.8	-	3.3
県南広域振興圏	100.0	36.8	31.3	16.8	5.3	1.8	3.7	-	4.3
沿岸広域振興圏	100.0	42.0	27.3	16.1	3.8	1.5	4.7	-	4.6
県北広域振興圏	100.0	37.8	31.1	13.8	4.4	1.9	4.9	-	6.1
男性	100.0	41.0	31.1	16.4	5.1	1.7	2.0	-	2.7
女性	100.0	38.1	29.8	15.7	5.0	1.6	4.8	-	5.0
20～29歳	100.0	36.3	35.0	15.1	9.4	1.4	0.7	-	2.1
30～39歳	100.0	36.8	32.4	20.7	4.7	1.9	2.0	-	1.5
40～49歳	100.0	42.8	31.3	17.5	3.5	1.5	1.9	-	1.5
50～59歳	100.0	40.9	33.4	13.5	5.5	1.7	1.9	-	3.1
60～69歳	100.0	43.2	29.1	15.1	4.4	0.7	4.4	-	3.1
70歳以上	100.0	35.0	25.8	16.2	5.0	2.3	7.0	-	8.7

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)	
	点数	5	4	3	2	1	0	-			a
全体	100.0	1.8	16.4	38.5	20.4	10.8	6.4	-	5.7	2.7	1.3
県央広域振興圏	100.0	2.2	18.6	39.1	21.2	9.6	5.1	-	4.2	2.8	1.3
県南広域振興圏	100.0	1.5	15.2	39.2	19.6	10.5	7.6	-	6.4	2.7	1.3
沿岸広域振興圏	100.0	2.0	13.9	37.7	21.2	12.7	6.5	-	6.0	2.7	1.5
県北広域振興圏	100.0	1.2	16.2	35.4	19.1	14.1	5.8	-	8.2	2.7	1.4
男性	100.0	1.6	14.8	36.8	23.8	14.6	4.5	-	3.9	2.6	1.5
女性	100.0	1.8	17.6	39.9	18.0	8.0	7.8	-	6.9	2.9	1.2
20～29歳	100.0	4.2	26.1	38.3	16.0	7.9	3.6	-	3.9	3.0	1.0
30～39歳	100.0	0.9	18.3	46.5	17.2	8.9	5.4	-	2.8	2.8	1.2
40～49歳	100.0	1.3	16.9	44.0	21.0	8.3	4.9	-	3.6	2.8	1.3
50～59歳	100.0	1.2	12.4	39.2	23.0	13.7	5.8	-	4.7	2.6	1.5
60～69歳	100.0	1.4	14.5	38.6	22.0	12.4	6.1	-	5.0	2.7	1.5
70歳以上	100.0	2.5	17.3	31.1	19.6	10.7	9.1	-	9.7	2.8	1.3

問2(1)4 魅力ある観光地づくりに、地域で取り組まれていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	37.6	31.9	17.6	4.8	1.7	2.8	-	3.6
県央広域振興圏	100.0	39.4	32.0	17.8	3.9	1.7	2.2	-	3.0
県南広域振興圏	100.0	35.3	34.6	17.0	5.3	1.7	2.9	-	3.2
沿岸広域振興圏	100.0	39.4	26.5	18.8	5.1	1.9	3.5	-	4.8
県北広域振興圏	100.0	37.8	29.3	16.8	6.2	1.9	2.8	-	5.2
男性	100.0	36.5	33.2	17.8	5.8	2.2	2.0	-	2.5
女性	100.0	38.6	31.2	17.3	4.2	1.4	3.3	-	4.0
20～29歳	100.0	48.4	31.1	9.7	5.5	3.2	1.1	-	1.0
30～39歳	100.0	42.6	32.8	16.3	4.1	2.5	0.6	-	1.1
40～49歳	100.0	39.4	38.1	15.4	4.2	1.4	0.9	-	0.6
50～59歳	100.0	36.3	32.9	19.0	6.2	1.8	1.3	-	2.5
60～69歳	100.0	40.9	29.3	18.4	4.7	1.0	3.6	-	2.1
70歳以上	100.0	29.7	29.6	20.0	4.6	1.6	5.9	-	8.6

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)	
	点数	5	4	3	2	1	0	-			a
全体	100.0	1.9	16.7	37.6	21.5	12.6	4.9	-	4.8	2.7	1.3
県央広域振興圏	100.0	2.2	18.7	39.0	22.1	10.5	3.8	-	3.7	2.8	1.3
県南広域振興圏	100.0	1.7	16.7	37.6	22.1	11.9	5.4	-	4.6	2.7	1.3
沿岸広域振興圏</											

統計表

問2(1)7 海外における県産品の販路の拡大が図られること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	21.1	27.1	25.4	10.9	3.4	5.6	6.5	3.6
県央広域振興圏	100.0	23.0	28.3	25.3	10.0	3.2	4.0	6.2	3.6
県南広域振興圏	100.0	21.0	26.9	26.8	11.0	3.1	5.9	5.3	3.6
沿岸広域振興圏	100.0	19.8	26.4	22.3	11.5	4.2	6.4	9.4	3.5
県北広域振興圏	100.0	16.1	24.4	25.6	13.2	3.9	9.0	7.8	3.4
男性	100.0	23.4	29.5	23.1	11.1	4.0	3.8	5.1	3.6
女性	100.0	19.3	25.4	27.5	10.9	3.0	6.8	7.1	3.5
20～29歳	100.0	22.7	24.2	29.3	15.7	5.0	1.3	1.8	3.5
30～39歳	100.0	20.2	25.8	30.8	12.2	5.6	2.4	3.0	3.5
40～49歳	100.0	17.6	28.7	30.3	12.8	3.0	3.7	3.9	3.5
50～59歳	100.0	17.4	28.9	26.8	15.2	3.4	3.7	4.6	3.5
60～69歳	100.0	23.4	30.8	24.4	8.2	1.8	5.9	5.5	3.7
70歳以上	100.0	24.2	23.3	18.9	6.9	3.7	10.5	12.5	3.7

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	0.9	5.3	46.1	13.1	7.9	15.9	10.8	2.7	0.9
県央広域振興圏	100.0	0.6	5.5	49.5	14.6	7.2	13.5	9.1	2.7	0.9
県南広域振興圏	100.0	1.1	5.2	45.0	12.9	8.5	17.1	10.2	2.7	0.9
沿岸広域振興圏	100.0	0.8	5.1	43.9	11.5	7.5	17.1	14.1	2.7	0.8
県北広域振興圏	100.0	1.0	5.6	40.9	10.8	8.5	18.2	15.0	2.7	0.7
男性	100.0	0.8	6.0	46.4	16.9	9.7	12.5	7.7	2.6	1.0
女性	100.0	0.7	4.6	46.6	10.4	6.3	18.6	12.8	2.8	0.8
20～29歳	100.0	1.3	7.0	46.0	12.6	5.9	17.6	9.6	2.8	0.7
30～39歳	100.0	0.6	4.7	53.8	10.3	9.4	14.2	7.0	2.7	0.7
40～49歳	100.0	0.3	3.7	54.4	11.8	7.2	13.9	8.7	2.7	0.8
50～59歳	100.0	0.4	3.7	49.9	13.7	8.4	14.2	9.7	2.7	0.8
60～69歳	100.0	0.3	5.1	44.0	15.5	8.2	16.3	10.6	2.6	1.1
70歳以上	100.0	1.7	7.5	37.2	13.2	7.3	18.6	14.5	2.7	1.0

問2(1)8 県内に職を求める人が希望どおりに就職できること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	70.4	16.5	5.9	1.3	0.9	1.4	3.6	4.6
県央広域振興圏	100.0	72.6	15.7	5.3	1.5	1.0	0.9	3.0	4.6
県南広域振興圏	100.0	69.6	17.9	6.1	0.9	0.9	1.4	3.2	4.6
沿岸広域振興圏	100.0	66.8	16.5	6.8	1.6	0.6	1.9	5.8	4.6
県北広域振興圏	100.0	71.9	13.9	5.4	1.8	0.8	2.5	3.7	4.6
男性	100.0	69.9	17.2	6.6	1.7	1.0	0.8	2.8	4.6
女性	100.0	71.1	16.0	5.3	1.0	0.8	2.0	3.8	4.7
20～29歳	100.0	79.3	13.7	4.9	1.0	1.1	0.0	0.0	4.7
30～39歳	100.0	72.1	18.6	4.2	2.1	1.9	0.2	0.9	4.6
40～49歳	100.0	71.7	18.9	5.6	1.1	0.7	0.4	1.6	4.6
50～59歳	100.0	75.8	15.1	4.2	1.4	0.4	0.8	2.3	4.7
60～69歳	100.0	69.5	17.1	7.0	1.3	0.5	1.5	3.1	4.6
70歳以上	100.0	62.9	16.0	7.5	1.0	1.2	3.5	7.9	4.6

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	1.7	5.6	21.4	27.1	34.5	4.3	5.4	2.0	2.6
県央広域振興圏	100.0	1.1	3.7	21.7	30.6	34.6	3.5	4.8	2.0	2.7
県南広域振興圏	100.0	2.0	6.9	21.0	27.7	33.1	4.8	4.5	2.1	2.5
沿岸広域振興圏	100.0	2.1	7.0	23.2	20.2	34.4	4.9	8.2	2.1	2.5
県北広域振興圏	100.0	2.2	5.3	19.0	22.4	40.4	4.3	6.4	1.9	2.7
男性	100.0	1.4	6.0	20.5	29.6	34.9	3.2	4.4	2.0	2.6
女性	100.0	1.8	5.4	22.3	25.3	34.3	5.2	5.7	2.0	2.6
20～29歳	100.0	0.8	6.6	25.0	27.2	39.1	0.8	0.5	2.0	2.7
30～39歳	100.0	1.3	5.2	25.0	26.9	35.3	3.9	2.4	2.0	2.5
40～49歳	100.0	0.0	3.4	22.7	30.5	37.2	2.9	3.3	1.9	2.7
50～59歳	100.0	1.0	2.4	17.7	28.9	43.7	3.4	2.9	1.8	2.9
60～69歳	100.0	1.6	7.1	19.8	26.9	34.7	4.8	5.1	2.0	2.6
70歳以上	100.0	3.5	8.4	23.1	23.8	23.9	6.6	10.7	2.3	2.2

問2(1)9 地域の農林水産物の担手が確保されていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	45.4	25.4	13.8	2.6	1.3	5.3	6.2	4.3
県央広域振興圏	100.0	45.8	26.2	13.4	2.8	1.6	4.8	5.4	4.2
県南広域振興圏	100.0	45.3	25.8	13.6	2.6	0.9	5.8	6.0	4.3
沿岸広域振興圏	100.0	45.9	23.0	14.2	1.9	1.3	5.3	8.4	4.3
県北広域振興圏	100.0	42.8	24.3	15.7	3.2	1.3	5.5	7.2	4.2
男性	100.0	47.1	28.8	14.3	2.1	1.1	2.6	4.0	4.3
女性	100.0	44.1	23.0	13.5	3.0	1.4	7.5	7.5	4.2
20～29歳	100.0	44.4	33.1	10.9	4.2	1.9	1.7	3.8	4.2
30～39歳	100.0	40.1	30.2	16.7	3.3	2.1	4.7	2.9	4.1
40～49歳	100.0	44.3	29.1	18.2	1.5	0.5	3.4	3.0	4.2
50～59歳	100.0	49.6	24.3	13.7	3.0	1.0	3.6	4.8	4.3
60～69歳	100.0	50.1	23.1	12.0	2.3	0.8	5.7	6.0	4.4
70歳以上	100.0	41.1	22.0	12.6	2.4	1.9	9.0	11.0	4.2

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	0.8	4.2	30.9	21.8	22.4	10.9	9.0	2.2	2.0
県央広域振興圏	100.0	0.4	3.3	32.7	23.6	22.0	10.3	7.7	2.2	2.0
県南広域振興圏	100.0	0.6	4.5	29.7	21.2	23.2	11.7	9.1	2.2	2.1
沿岸広域振興圏	100.0	2.0	5.8	30.4	19.3	22.0	10.0	10.5	2.3	2.0
県北広域振興圏	100.0	1.2	3.9	28.4	21.5	21.8	12.2	11.0	2.2	2.0
男性	100.0	0.9	4.5	28.8	24.8	28.3	6.6	6.1	2.1	2.1
女性	100.0	0.6	4.0	32.6	19.7	18.1	14.2	10.8	2.3	1.9
20～29歳	100.0	0.2	3.5	39.7	22.5	17.6	9.5	7.0	2.4	1.9
30～39歳	100.0	0.4	3.4	37.5	19.0	19.0	15.1	5.6	2.3	1.8
40～49歳	100.0	0.1	1.2	37.1	24.1	19.3	11.6	6.6	2.3	2.0
50～59歳	100.0	0.3	3.6	24.6	23.0	29.3	9.5	9.7	2.0	2.3
60～69歳	100.0	0.4	4.0	28.2	23.8	25.2	10.3	8.1	2.1	2.2
70歳以上	100.0	1.9	7.4	29.2	19.3	19.8	10.6	11.8	2.4	1.8

問2(1)10 消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	34.5	32.0	17.4	2.5	0.8	5.6	7.2	4.1
県央広域振興圏	100.0	35.8	35.1	15.8	2.7	0.4	3.9	6.3	4.2
県南広域振興圏	100.0	33.4	31.6	18.6	2.1	0.9	6.4	7.0	4.1
沿岸広域振興圏	100.0	35.3	27.0	17.3	3.0	1.5	6.9	9.0	4.1
県北広域振興圏	100.0	31.5	30.2	19.0	2.5	1.1	7.1	8.6	4.0
男性	100.0	35.4	34.0	18.4	3.2	0.7	3.4	4.9	4.1
女性	100.0	33.6	30.9	16.6	2.0	1.0	7.3	8.6	4.1
20～29歳	100.0	26.2	40.8	21.0	3.0	2.0	3.8	3.2	3.9
30～39歳	100.0	33.0	33.3	20.6	3.5	1.3	4.3	4.0	4.0
40～49歳	100.0	30.7	37.6	22.1	2.1	1.1	2.8	3.6	4.0
50～59歳	100.0	37.6	34.4	14.2	3.7	0.5	3.9	5.7	4.2
60～69歳	100.0	40.0	30.6	15.2	1.6	0.1	6.0	6.5	4.2
70歳以上	100.0	32.3	25.4	16.6	1.9	1.0	9.7	13.1	4.1

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	0.8	8.3	40.1	18.8	10.6	11.4	10.0	2.6	1.5
県央広域振興圏	100.0	0.8	8.0	44.0	19.1	10.0	8.8	9.3	2.6	1.5
県南広域振興圏	100.0	0.7	9.7	37.2	20.2	10.0	12.8	9.4	2.6	1.5
沿岸広域振興圏	100.0	1.1	6.8	39.5	16.4	12.0	12.6	11.6	2.6	1.5
県北広域振興圏	100									

統計表

問2(1)13 地球温暖化防止や生態系の維持など環境に配慮した農林水産業が営まれていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	48.3	24.0	13.9	2.1	1.3	4.2	6.2	4.3
県央広域振興圏	100.0	49.4	25.2	13.6	1.9	1.4	3.1	5.4	4.3
県南広域振興圏	100.0	48.8	23.5	13.9	2.2	0.8	4.6	6.2	4.3
沿岸広域振興圏	100.0	47.3	22.9	12.8	2.1	2.0	5.2	7.7	4.3
県北広域振興圏	100.0	43.7	23.3	16.9	2.6	1.3	5.7	6.5	4.2
男性	100.0	45.8	26.0	16.2	3.1	1.8	2.5	4.6	4.2
女性	100.0	50.3	22.7	12.2	1.4	0.9	5.6	6.9	4.4
20～29歳	100.0	50.9	27.9	14.2	2.2	3.0	0.0	1.8	4.2
30～39歳	100.0	51.7	22.4	17.3	2.3	2.2	2.5	1.6	4.2
40～49歳	100.0	47.8	29.9	12.9	2.5	0.8	1.9	4.2	4.3
50～59歳	100.0	49.6	27.4	11.0	2.4	1.7	2.7	5.2	4.3
60～69歳	100.0	52.9	20.4	14.2	1.5	0.4	4.7	5.9	4.4
70歳以上	100.0	41.2	20.7	15.4	2.0	1.1	8.6	11.0	4.2

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	1.3	7.7	39.4	18.2	12.0	11.8	9.6	2.6	1.7
県央広域振興圏	100.0	1.0	7.5	42.0	17.7	11.9	11.1	8.8	2.6	1.7
県南広域振興圏	100.0	1.4	8.2	38.3	19.8	10.9	12.2	9.2	2.6	1.7
沿岸広域振興圏	100.0	1.7	6.6	38.3	16.7	14.1	11.4	11.2	2.5	1.7
県北広域振興圏	100.0	1.6	7.9	35.4	16.1	13.5	14.0	11.5	2.6	1.6
男性	100.0	1.3	9.4	39.8	19.8	13.2	9.0	7.5	2.6	1.6
女性	100.0	1.2	6.3	39.5	16.9	11.1	14.1	10.9	2.6	1.8
20～29歳	100.0	2.6	12.7	43.0	15.1	7.5	12.5	6.6	2.8	1.4
30～39歳	100.0	1.4	5.9	47.5	17.3	11.2	11.9	4.8	2.6	1.6
40～49歳	100.0	0.6	5.9	45.8	17.8	11.0	10.4	8.5	2.6	1.7
50～59歳	100.0	0.8	6.3	36.1	21.1	15.5	10.6	9.6	2.4	1.9
60～69歳	100.0	0.9	7.6	37.8	19.7	14.2	11.0	8.8	2.5	1.9
70歳以上	100.0	1.8	9.2	35.7	15.8	9.7	14.4	13.4	2.7	1.5

問2(1)14 必要な医療を適切に受けられること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	84.5	10.4	2.9	0.3	0.2	0.2	1.5	4.8
県央広域振興圏	100.0	86.1	9.4	2.6	0.4	0.3	0.2	1.0	4.8
県南広域振興圏	100.0	83.9	11.4	2.9	0.3	0.1	0.1	1.3	4.8
沿岸広域振興圏	100.0	83.9	9.5	3.2	0.3	0.1	0.3	2.7	4.8
県北広域振興圏	100.0	81.9	11.2	3.1	0.2	0.3	0.7	2.6	4.8
男性	100.0	82.1	12.6	3.4	0.1	0.3	0.2	1.3	4.8
女性	100.0	86.5	8.8	2.3	0.5	0.1	0.2	1.6	4.8
20～29歳	100.0	92.3	6.1	1.1	0.0	0.5	0.0	0.0	4.9
30～39歳	100.0	90.5	6.4	1.7	0.3	0.5	0.1	0.5	4.9
40～49歳	100.0	86.3	10.1	2.8	0.2	0.0	0.0	0.6	4.8
50～59歳	100.0	85.8	10.5	2.1	0.3	0.2	0.3	0.8	4.8
60～69歳	100.0	83.8	11.0	4.2	0.2	0.1	0.0	0.7	4.8
70歳以上	100.0	78.0	13.3	3.5	0.5	0.2	0.6	3.9	4.8

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	6.7	33.2	20.3	21.2	15.5	0.7	2.4	2.9	1.9
県央広域振興圏	100.0	7.5	39.4	21.8	18.3	10.4	0.6	2.0	3.2	1.7
県南広域振興圏	100.0	6.7	32.0	19.5	23.4	15.3	0.6	2.5	2.9	1.9
沿岸広域振興圏	100.0	5.0	24.4	18.5	22.9	25.9	0.6	2.7	2.6	2.2
県北広域振興圏	100.0	6.2	27.8	20.6	21.1	19.5	1.6	3.2	2.8	2.0
男性	100.0	6.1	32.9	21.9	21.3	15.3	0.5	2.0	2.9	1.9
女性	100.0	7.1	33.7	18.7	21.1	15.9	0.8	2.7	2.9	1.9
20～29歳	100.0	7.7	33.7	27.2	19.4	11.5	0.0	0.5	3.1	1.8
30～39歳	100.0	4.8	27.6	24.2	23.6	17.0	0.5	2.3	2.8	2.1
40～49歳	100.0	4.1	28.6	20.9	23.7	20.8	0.3	1.6	2.7	2.1
50～59歳	100.0	4.6	27.4	17.6	25.5	22.4	0.9	1.6	2.7	2.2
60～69歳	100.0	4.9	37.1	20.8	21.3	13.2	1.0	1.7	3.0	1.8
70歳以上	100.0	12.1	40.7	17.7	14.9	9.2	0.8	4.6	3.3	1.4

問2(1)15 病気の予防や健康づくりを行うために、相談、指導を受けられること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	56.7	30.7	8.1	1.8	0.5	0.5	1.7	4.4
県央広域振興圏	100.0	56.0	30.7	9.2	1.9	0.6	0.4	1.2	4.4
県南広域振興圏	100.0	57.4	32.2	6.9	1.5	0.3	0.5	1.2	4.5
沿岸広域振興圏	100.0	57.8	27.9	8.3	2.0	0.6	0.4	3.0	4.5
県北広域振興圏	100.0	55.9	29.2	7.7	2.4	0.6	0.9	3.3	4.4
男性	100.0	50.5	35.2	9.8	2.0	0.5	0.4	1.6	4.4
女性	100.0	61.7	27.5	6.6	1.7	0.4	0.5	1.6	4.5
20～29歳	100.0	57.7	31.4	6.5	1.8	1.3	0.5	0.8	4.4
30～39歳	100.0	58.4	28.1	8.2	2.8	1.0	0.7	0.8	4.4
40～49歳	100.0	55.9	30.0	9.6	3.1	0.6	0.0	0.8	4.4
50～59歳	100.0	53.4	33.4	9.6	1.9	0.5	0.3	0.9	4.4
60～69歳	100.0	57.0	32.8	7.6	1.6	0.1	0.1	0.8	4.5
70歳以上	100.0	58.4	28.6	6.9	0.7	0.3	1.1	4.0	4.5

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	5.3	30.1	37.7	14.8	7.0	2.2	2.9	3.1	1.3
県央広域振興圏	100.0	5.2	29.3	40.8	13.9	6.3	2.0	2.5	3.1	1.3
県南広域振興圏	100.0	5.6	32.6	35.7	14.7	6.8	2.1	2.5	3.2	1.3
沿岸広域振興圏	100.0	4.0	26.4	36.8	16.5	9.5	2.9	3.9	3.0	1.5
県北広域振興圏	100.0	6.8	28.9	35.1	16.2	5.8	2.5	4.7	3.2	1.3
男性	100.0	4.8	27.8	39.0	16.8	6.7	2.0	2.9	3.1	1.3
女性	100.0	5.8	32.1	36.5	13.5	6.9	2.4	2.8	3.2	1.3
20～29歳	100.0	4.3	23.6	43.8	14.5	9.1	3.9	0.8	3.0	1.4
30～39歳	100.0	3.6	23.5	41.0	17.1	8.1	3.9	2.8	3.0	1.5
40～49歳	100.0	4.5	24.0	44.4	14.8	8.6	1.9	1.8	3.0	1.4
50～59歳	100.0	3.5	25.1	43.4	15.5	7.7	2.6	2.2	3.0	1.4
60～69歳	100.0	4.3	34.5	35.9	17.3	5.6	0.8	1.6	3.2	1.3
70歳以上	100.0	9.4	39.7	26.8	11.6	5.0	2.1	5.4	3.4	1.1

問2(1)16 安心して子どもを生育せられ、子育てがしやすい環境であること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	73.6	13.9	6.7	0.7	1.0	1.8	2.3	4.7
県央広域振興圏	100.0	75.3	13.9	6.0	0.7	0.9	1.5	1.7	4.7
県南広域振興圏	100.0	73.4	14.7	6.7	0.7	1.2	1.5	1.8	4.6
沿岸広域振興圏	100.0	72.4	12.3	7.8	0.6	0.5	2.2	4.2	4.7
県北広域振興圏	100.0	70.8	13.1	7.3	1.1	1.1	2.9	3.7	4.6
男性	100.0	68.9	17.1	8.0	0.9	0.9	1.9	2.3	4.6
女性	100.0	77.5	11.5	5.7	0.5	1.0	1.7	2.1	4.7
20～29歳	100.0	78.4	12.4	4.4	0.5	1.9	1.0	1.4	4.7
30～39歳	100.0	85.9	7.9	3.4	0.0	1.1	0.9	0.8	4.8
40～49歳	100.0	76.2	13.5	6.2	1.0	1.0	0.9	1.2	4.7
50～59歳	100.0	75.7	14.1	6.2	0.8	1.5	1.2	0.5	4.6
60～69歳	100.0	74.7	15.8	6.6	1.0	0.2	1.1	0.6	4.7
70歳以上	100.0	62.6	15.8	9.8	0.6	0.9	4.0	6.3	4.5

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	3.3	17.4	31.8	21.3	15.8	5.2	5.2	2.7	2.0
県央広域振興圏	100.0	3.4	18.2	33.7	21.5	14.5	4.5	4.2	2.7	2.0
県南広域振興圏	100.0	3.2	17.9	30.8	21.0	15.9	5.6	5.6	2.7	2.0
沿岸広域振興圏	100.0	3.0	13.0	31.6	22.0	19.0	5.8	5.6	2.5	2.1
県北広域振興圏	100.0	4.2	19.6	28.3						

統計表

問2(1)19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	74.0	17.2	5.6	0.6	0.2	0.8	1.6	4.7
県央広域振興圏	100.0	77.1	16.8	4.3	0.3	0.1	0.6	0.8	4.7
県南広域振興圏	100.0	72.2	18.4	6.2	0.7	0.4	0.6	1.5	4.6
沿岸広域振興圏	100.0	72.6	16.1	6.9	0.8	0.1	0.9	2.6	4.7
県北広域振興圏	100.0	71.7	16.1	5.5	1.1	0.3	1.7	3.6	4.7
男性	100.0	70.7	20.3	6.7	0.5	0.2	0.3	1.3	4.6
女性	100.0	76.7	14.9	4.6	0.8	0.3	1.1	1.6	4.7
20～29歳	100.0	78.4	16.8	4.2	0.6	0.0	0.0	0.0	4.7
30～39歳	100.0	80.0	13.8	4.5	0.6	0.5	0.1	0.5	4.7
40～49歳	100.0	77.7	16.9	3.9	0.5	0.2	0.1	0.7	4.7
50～59歳	100.0	74.8	16.5	6.1	0.9	0.4	0.5	0.8	4.7
60～69歳	100.0	74.4	17.9	5.9	0.3	0.1	0.5	0.9	4.7
70歳以上	100.0	67.0	19.6	6.8	0.8	0.2	2.0	3.6	4.6

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	6.3	33.9	35.7	12.9	4.7	2.8	3.7	3.3	1.4
県央広域振興圏	100.0	5.9	34.5	35.2	15.7	3.8	2.5	2.4	3.2	1.5
県南広域振興圏	100.0	5.6	33.2	37.6	11.9	5.4	2.6	3.7	3.2	1.4
沿岸広域振興圏	100.0	7.8	32.7	34.9	10.5	4.8	3.3	6.0	3.3	1.4
県北広域振興圏	100.0	8.3	36.4	31.2	9.8	4.9	4.3	5.1	3.4	1.3
男性	100.0	6.5	35.7	34.6	13.2	5.8	1.7	2.5	3.2	1.4
女性	100.0	6.3	32.7	36.6	12.8	3.7	3.7	4.2	3.3	1.4
20～29歳	100.0	9.5	30.9	30.5	21.5	5.5	0.5	1.6	3.2	1.6
30～39歳	100.0	6.1	30.1	38.9	13.1	7.2	2.7	1.9	3.2	1.6
40～49歳	100.0	6.1	32.9	38.8	14.9	3.4	1.8	2.1	3.2	1.5
50～59歳	100.0	4.8	34.3	37.3	12.3	5.3	3.2	2.8	3.2	1.4
60～69歳	100.0	6.4	37.3	35.5	10.5	4.7	2.3	3.3	3.3	1.4
70歳以上	100.0	6.9	34.2	33.2	11.9	3.3	4.3	6.2	3.3	1.3

問2(1)20 交通事故が少ない社会であること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	74.2	17.0	5.2	0.6	0.1	0.5	2.4	4.7
県央広域振興圏	100.0	75.8	16.3	5.1	1.0	0.0	0.3	1.5	4.7
県南広域振興圏	100.0	73.0	18.6	4.9	0.4	0.2	0.4	2.5	4.7
沿岸広域振興圏	100.0	73.0	16.1	5.8	0.2	0.1	0.9	3.9	4.7
県北広域振興圏	100.0	74.0	14.5	6.4	0.2	0.3	1.0	3.6	4.7
男性	100.0	69.6	20.7	6.3	0.7	0.2	0.1	2.4	4.6
女性	100.0	77.8	14.2	4.4	0.4	0.1	0.8	2.3	4.7
20～29歳	100.0	79.6	15.5	3.9	0.0	0.0	0.0	1.0	4.8
30～39歳	100.0	77.1	14.6	5.2	1.6	0.5	0.1	0.9	4.7
40～49歳	100.0	77.6	16.5	4.6	0.5	0.2	0.1	0.5	4.7
50～59歳	100.0	74.6	17.0	5.8	1.0	0.1	0.4	1.1	4.7
60～69歳	100.0	72.0	19.7	5.5	0.2	0.1	0.2	2.3	4.7
70歳以上	100.0	70.8	16.8	5.4	0.2	0.0	1.3	5.5	4.7

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	5.0	28.3	37.4	15.5	7.2	2.0	4.6	3.1	1.6
県央広域振興圏	100.0	4.2	26.9	41.3	15.7	6.8	1.8	3.3	3.1	1.6
県南広域振興圏	100.0	4.7	27.9	36.1	16.9	8.1	1.6	4.7	3.0	1.6
沿岸広域振興圏	100.0	6.0	30.1	35.2	12.8	6.9	2.7	6.3	3.2	1.5
県北広域振興圏	100.0	7.6	32.0	31.6	13.4	5.8	3.1	6.5	3.2	1.4
男性	100.0	4.6	30.5	35.6	16.4	7.6	1.2	4.1	3.1	1.5
女性	100.0	5.1	26.8	39.1	14.8	6.9	2.6	4.7	3.1	1.7
20～29歳	100.0	8.4	20.9	34.0	18.2	12.7	1.8	4.0	2.9	1.8
30～39歳	100.0	4.8	24.5	37.8	17.8	11.3	0.8	3.0	2.9	1.7
40～49歳	100.0	3.3	23.2	42.7	20.3	7.1	1.2	2.2	3.0	1.8
50～59歳	100.0	3.6	28.6	40.4	15.3	8.1	2.1	1.9	3.0	1.6
60～69歳	100.0	4.7	32.7	37.4	13.6	5.9	1.6	4.1	3.2	1.5
70歳以上	100.0	6.2	31.7	33.3	12.3	4.2	3.3	9.0	3.3	1.4

問2(1)21 悪質商法、架空請求、多重債務などの消費者トラブルについて、適切な相談や支援を受けられる社会であること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	59.1	27.2	8.3	2.0	0.3	1.3	1.8	4.5
県央広域振興圏	100.0	58.9	28.1	8.6	1.9	0.3	1.2	1.0	4.5
県南広域振興圏	100.0	58.5	28.4	7.7	2.3	0.3	1.4	1.4	4.5
沿岸広域振興圏	100.0	60.9	22.9	9.6	1.3	0.5	1.0	3.8	4.5
県北広域振興圏	100.0	58.8	26.5	7.3	1.9	0.3	1.8	3.4	4.5
男性	100.0	52.8	31.3	10.6	2.7	0.5	0.8	1.3	4.4
女性	100.0	64.1	24.2	6.4	1.5	0.2	1.7	1.9	4.6
20～29歳	100.0	63.0	25.4	9.4	1.2	0.3	0.5	0.2	4.5
30～39歳	100.0	62.2	25.0	6.5	3.0	1.3	1.1	0.9	4.5
40～49歳	100.0	63.9	26.3	7.3	0.9	0.5	0.4	0.7	4.5
50～59歳	100.0	55.9	31.2	8.1	3.3	0.1	0.8	0.6	4.4
60～69歳	100.0	56.6	28.2	10.5	2.0	0.2	1.0	1.5	4.4
70歳以上	100.0	58.5	25.6	7.7	1.2	0.1	2.9	4.0	4.5

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	2.9	18.8	45.1	14.0	7.3	7.1	4.8	3.0	1.5
県央広域振興圏	100.0	2.5	21.1	45.1	13.3	7.0	6.9	4.1	3.0	1.5
県南広域振興圏	100.0	2.5	17.1	45.7	16.0	7.1	7.0	4.6	2.9	1.6
沿岸広域振興圏	100.0	3.6	17.3	45.3	11.8	8.3	7.4	6.3	3.0	1.5
県北広域振興圏	100.0	4.8	19.6	41.9	12.4	7.9	7.3	6.1	3.0	1.5
男性	100.0	2.7	18.3	47.1	15.1	8.3	5.4	3.1	2.9	1.4
女性	100.0	3.0	19.2	44.2	12.9	6.5	8.4	5.8	3.0	1.6
20～29歳	100.0	1.0	12.6	45.7	19.8	5.9	10.0	5.0	2.8	1.7
30～39歳	100.0	3.1	17.0	43.2	13.1	10.5	8.5	4.6	2.9	1.6
40～49歳	100.0	2.1	16.4	47.9	15.2	8.4	5.8	4.2	2.9	1.7
50～59歳	100.0	3.0	17.4	47.0	14.6	7.9	6.5	3.6	2.9	1.5
60～69歳	100.0	2.2	20.9	48.2	12.6	6.2	6.5	3.4	3.0	1.4
70歳以上	100.0	4.4	22.3	41.2	12.4	5.8	7.3	6.6	3.1	1.4

問2(1)22 購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない社会であること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	69.7	20.4	6.3	0.8	0.3	0.9	1.6	4.6
県央広域振興圏	100.0	71.7	19.6	6.3	1.0	0.1	0.6	0.7	4.6
県南広域振興圏	100.0	68.6	22.4	5.8	0.7	0.3	0.8	1.4	4.6
沿岸広域振興圏	100.0	70.1	17.8	6.3	0.8	0.4	1.2	3.4	4.6
県北広域振興圏	100.0	66.3	19.4	7.9	0.8	0.8	1.4	3.4	4.6
男性	100.0	64.4	24.8	7.5	1.2	0.5	0.3	1.3	4.5
女性	100.0	74.2	17.0	5.2	0.5	0.1	1.3	1.7	4.7
20～29歳	100.0	74.1	17.4	6.6	1.3	0.0	0.0	0.6	4.7
30～39歳	100.0	76.8	16.2	4.2	1.0	1.1	0.1	0.6	4.7
40～49歳	100.0	72.9	19.8	6.2	0.0	0.4	0.0	0.7	4.7
50～59歳	100.0	70.2	21.2	5.9	0.9	0.2	1.0	0.6	4.6
60～69歳	100.0	69.5	20.7	7.6	1.0	0.1	0.4	0.7	4.6
70歳以上	100.0	63.2	23.0	6.3	0.9	0.1	2.3	4.2	4.6

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	4.6	27.1	36.4	17.5	8.2	2.9	3.3	3.0	1.6
県央広域振興圏	100.0	4.4	29.5	35.3	17.2	9.0	2.0	2.6	3.0	1.6
県南広域振興圏	100.0	4.4	25.1	38.5	18.1	8.1	2.9	2.9	3.0	1.6
沿岸広域振興圏	100.0	5.0	25.6	35.0	18.6	6.7	4.2	4.9	3.0	1.6
県北広域振興圏	100.0	5.8	27.8	36.0	13.9	7.6	3.8	5.1	3.1	1.5

統計表

問2(1)25 地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	43.0	33.7	14.9	2.2	0.5	2.3	3.4	4.2
県央広域振興圏	100.0	43.8	33.9	15.4	2.2	0.2	2.1	2.4	4.2
県南広域振興圏	100.0	41.7	35.6	13.9	2.3	0.6	2.2	3.7	4.2
沿岸広域振興圏	100.0	43.8	30.5	15.3	2.0	0.7	2.7	5.0	4.2
県北広域振興圏	100.0	43.5	30.9	16.2	2.5	1.1	2.2	3.6	4.2
男性	100.0	38.7	37.5	16.7	2.6	0.6	1.3	2.6	4.2
女性	100.0	46.2	31.1	13.4	2.0	0.5	3.1	3.7	4.3
20～29歳	100.0	42.6	34.9	15.4	3.5	0.5	0.8	2.3	4.2
30～39歳	100.0	41.4	34.6	16.8	4.5	1.4	0.1	1.2	4.1
40～49歳	100.0	40.6	35.3	17.1	3.2	0.5	1.9	1.4	4.2
50～59歳	100.0	40.4	37.0	16.1	2.4	0.3	1.3	2.5	4.2
60～69歳	100.0	42.5	34.6	14.5	1.8	0.4	2.6	3.6	4.2
70歳以上	100.0	47.3	29.1	12.0	0.6	0.5	4.5	6.0	4.4

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	2.2	18.2	48.3	11.8	4.3	8.4	6.8	3.0	1.2
県央広域振興圏	100.0	1.5	19.3	48.7	12.0	5.3	7.8	5.4	3.0	1.2
県南広域振興圏	100.0	2.3	17.9	48.5	12.5	3.4	8.1	7.3	3.0	1.2
沿岸広域振興圏	100.0	2.9	15.4	48.1	10.0	4.6	10.5	8.5	3.0	1.2
県北広域振興圏	100.0	3.7	19.9	45.4	10.7	3.8	8.8	7.7	3.1	1.1
男性	100.0	1.9	18.3	49.9	13.8	4.7	6.0	5.4	3.0	1.2
女性	100.0	2.3	18.2	47.1	10.2	4.0	10.5	7.7	3.1	1.2
20～29歳	100.0	1.5	15.9	46.9	12.3	8.7	7.6	7.1	2.9	1.3
30～39歳	100.0	2.2	14.1	51.2	14.1	6.9	7.0	4.5	2.9	1.2
40～49歳	100.0	1.3	16.5	52.7	13.2	3.5	8.3	4.5	3.0	1.2
50～59歳	100.0	1.4	13.7	54.1	12.7	4.1	7.4	6.6	2.9	1.2
60～69歳	100.0	1.8	19.6	47.8	11.7	3.0	9.6	6.5	3.1	1.2
70歳以上	100.0	3.6	24.7	40.2	8.8	3.7	9.7	9.3	3.2	1.2

問2(1)26 女性も男性も社会のあらゆる分野に等しく参画し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	42.1	29.3	18.3	3.4	1.1	2.2	3.6	4.1
県央広域振興圏	100.0	43.9	29.4	17.5	4.0	0.8	1.7	2.7	4.2
県南広域振興圏	100.0	41.6	28.9	18.9	3.4	1.3	2.2	3.7	4.1
沿岸広域振興圏	100.0	40.7	28.6	18.2	2.8	1.4	3.0	5.3	4.1
県北広域振興圏	100.0	40.0	31.1	19.2	2.1	1.1	2.6	3.9	4.1
男性	100.0	38.7	32.4	19.1	4.4	1.6	1.1	2.7	4.1
女性	100.0	45.0	26.8	17.9	2.6	0.8	3.0	3.9	4.2
20～29歳	100.0	47.9	31.2	10.9	5.0	2.9	0.5	1.6	4.2
30～39歳	100.0	48.1	28.0	15.4	4.3	2.5	0.5	1.2	4.2
40～49歳	100.0	42.8	27.1	20.5	5.6	1.5	1.5	1.0	4.1
50～59歳	100.0	40.8	31.1	20.1	3.4	0.6	1.6	2.4	4.1
60～69歳	100.0	37.7	32.2	21.4	2.3	0.8	2.1	3.5	4.1
70歳以上	100.0	42.1	26.3	17.1	2.2	0.5	4.5	7.3	4.2

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	2.1	11.7	48.7	16.1	7.3	7.3	6.8	2.8	1.3
県央広域振興圏	100.0	1.7	12.7	49.5	16.8	7.5	6.6	5.2	2.8	1.3
県南広域振興圏	100.0	2.3	11.3	48.2	17.1	7.1	6.6	7.4	2.8	1.3
沿岸広域振興圏	100.0	2.2	10.9	47.6	12.9	7.9	9.9	8.6	2.8	1.3
県北広域振興圏	100.0	3.4	11.4	48.0	14.3	6.5	8.6	7.8	2.9	1.3
男性	100.0	2.4	13.4	49.3	17.9	6.3	5.5	5.2	2.9	1.2
女性	100.0	1.8	10.4	48.1	14.9	8.2	8.8	7.8	2.8	1.4
20～29歳	100.0	3.4	18.7	37.8	19.3	11.8	4.3	4.7	2.8	1.4
30～39歳	100.0	2.2	9.3	47.2	21.0	12.5	4.3	3.5	2.6	1.5
40～49歳	100.0	1.9	8.4	51.1	21.3	8.0	4.7	4.6	2.7	1.3
50～59歳	100.0	0.9	8.8	53.5	15.2	7.4	8.1	6.1	2.8	1.4
60～69歳	100.0	1.1	11.7	51.9	14.5	6.0	7.6	7.2	2.9	1.2
70歳以上	100.0	3.6	15.3	44.2	12.1	4.4	10.4	10.0	3.0	1.2

問2(1)27 学校が、学力や体力の向上などの目標に向かって、家庭や地域と一緒に取り組んでいること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	54.2	25.3	11.3	1.6	0.9	2.8	3.9	4.4
県央広域振興圏	100.0	55.1	26.9	10.5	1.7	0.5	2.3	3.0	4.4
県南広域振興圏	100.0	54.0	25.8	11.4	1.4	1.2	2.7	3.5	4.4
沿岸広域振興圏	100.0	52.5	21.8	13.4	2.0	0.9	3.7	5.7	4.4
県北広域振興圏	100.0	54.1	23.2	10.6	1.8	0.8	3.8	5.7	4.4
男性	100.0	47.9	29.7	14.1	2.1	1.0	1.9	3.3	4.3
女性	100.0	58.9	22.2	9.2	1.4	0.8	3.5	4.0	4.5
20～29歳	100.0	53.6	28.6	10.6	2.3	1.0	2.1	1.8	4.4
30～39歳	100.0	56.3	25.4	12.4	1.8	1.9	1.5	0.7	4.4
40～49歳	100.0	57.6	24.9	11.6	2.1	1.2	1.0	1.6	4.4
50～59歳	100.0	51.0	28.4	12.7	1.9	1.2	1.4	3.4	4.3
60～69歳	100.0	54.3	27.4	10.9	1.6	0.2	2.7	2.9	4.4
70歳以上	100.0	53.5	20.9	10.1	1.0	0.5	6.1	7.9	4.5

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	3.5	21.0	40.2	12.3	5.1	10.4	7.5	3.1	1.3
県央広域振興圏	100.0	2.4	19.9	42.0	13.3	5.4	10.3	6.7	3.0	1.4
県南広域振興圏	100.0	4.1	21.6	40.3	12.2	4.9	10.1	6.8	3.1	1.3
沿岸広域振興圏	100.0	4.0	21.7	37.2	10.7	5.0	11.7	9.7	3.1	1.2
県北広域振興圏	100.0	4.7	21.9	36.8	11.1	4.8	10.3	10.4	3.1	1.3
男性	100.0	2.7	21.8	42.8	13.2	5.5	7.8	6.2	3.0	1.2
女性	100.0	4.0	20.5	38.3	11.7	4.7	12.6	8.2	3.1	1.4
20～29歳	100.0	3.4	19.5	39.5	14.0	7.6	9.6	6.4	3.0	1.4
30～39歳	100.0	3.9	21.8	39.7	12.9	6.4	10.8	4.5	3.0	1.3
40～49歳	100.0	3.2	21.0	39.7	15.5	8.6	7.9	4.1	2.9	1.5
50～59歳	100.0	1.9	17.1	44.4	13.8	6.6	8.7	7.5	2.9	1.4
60～69歳	100.0	2.5	21.1	42.9	13.5	2.6	10.3	7.1	3.1	1.3
70歳以上	100.0	5.5	24.6	35.2	7.3	2.4	14.0	11.0	3.3	1.2

問2(1)28 子どもたちの学力が向上する教育がされていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	54.2	25.1	10.8	1.7	0.7	3.2	4.3	4.4
県央広域振興圏	100.0	55.9	25.6	10.3	1.8	0.6	2.5	3.3	4.4
県南広域振興圏	100.0	53.2	25.3	11.5	1.9	0.8	2.9	4.4	4.4
沿岸広域振興圏	100.0	51.9	24.1	11.2	1.5	0.6	4.6	6.1	4.4
県北広域振興圏	100.0	55.2	24.3	9.2	1.1	0.5	4.3	5.4	4.5
男性	100.0	48.5	29.5	12.6	2.4	0.9	2.2	3.9	4.3
女性	100.0	58.7	21.9	9.3	1.3	0.5	3.9	4.4	4.5
20～29歳	100.0	51.0	31.0	12.4	1.7	0.8	1.0	2.1	4.3
30～39歳	100.0	59.6	24.9	7.8	2.6	1.6	2.0	1.5	4.4
40～49歳	100.0	61.1	21.3	11.1	2.2	0.6	2.0	1.7	4.5
50～59歳	100.0	52.6	26.8	11.9	2.1	1.3	1.9	3.4	4.3
60～69歳	100.0	52.8	27.3	10.7	1.4	0.2	3.7	3.9	4.4
70歳以上	100.0	51.0	22.8	10.7	1.2	0.2	5.7	8.4	4.4

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	3.1	20.5	37.3	16.3	6.5	8.9	7.4	3.0	1.4
県央広域振興圏	100.0	2.7	16.6	39.5	16.5	6.8	10.8	7.1	2.9	1.5
県南広域振興圏	100.0	3.4	19.6	39.7	13.2	5.6	10.7	7.8	3.0	1.4
沿岸広域振興圏	100.0	3.9	17.4	37.0	12.0	5.0	13.6	11.1	3.0	1.4

統計表

問2(1)31 学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数								
全体	100.0	58.4	22.0	11.1	1.1	0.7	2.5	4.2	4.5
県央広域振興圏	100.0	60.1	22.0	10.7	1.5	0.6	1.9	3.2	4.5
県南広域振興圏	100.0	57.9	22.9	11.1	0.4	0.9	2.5	4.3	4.5
沿岸広域振興圏	100.0	58.1	19.3	12.1	1.3	0.4	3.2	5.6	4.5
県北広域振興圏	100.0	54.2	22.6	11.1	1.7	0.7	4.2	5.5	4.4
男性	100.0	53.0	26.0	13.4	1.6	1.1	1.6	3.3	4.3
女性	100.0	62.8	19.0	9.3	0.7	0.4	3.2	4.6	4.6
20～29歳	100.0	59.0	23.6	9.8	1.4	1.8	1.5	2.9	4.4
30～39歳	100.0	65.0	20.1	8.3	2.0	2.2	1.3	1.1	4.5
40～49歳	100.0	63.4	21.0	11.3	0.3	1.1	0.8	2.1	4.5
50～59歳	100.0	59.3	22.9	11.6	1.5	0.3	1.4	3.0	4.5
60～69歳	100.0	56.8	24.4	11.5	1.0	0.2	2.8	3.3	4.5
70歳以上	100.0	52.8	20.4	12.1	0.7	0.3	5.4	8.3	4.4

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数									
全体	100.0	3.6	15.7	41.2	12.4	6.5	11.8	8.8	3.0	1.5
県央広域振興圏	100.0	2.5	14.6	43.2	13.5	6.6	12.4	7.2	2.9	1.6
県南広域振興圏	100.0	4.3	17.5	40.5	12.3	6.2	10.2	9.0	3.0	1.4
沿岸広域振興圏	100.0	3.6	13.4	40.0	11.4	6.8	13.5	11.3	2.9	1.5
県北広域振興圏	100.0	4.8	16.7	38.6	9.7	6.1	13.7	10.4	3.1	1.4
男性	100.0	3.0	15.7	42.5	14.1	7.9	9.4	7.4	2.9	1.4
女性	100.0	3.8	15.8	40.2	11.2	5.4	13.8	9.8	3.0	1.5
20～29歳	100.0	4.3	11.5	41.0	12.3	6.3	14.5	10.1	2.9	1.5
30～39歳	100.0	4.6	15.6	39.7	13.5	7.9	12.5	6.2	2.9	1.5
40～49歳	100.0	3.2	13.7	43.6	12.7	8.6	11.2	7.0	2.9	1.6
50～59歳	100.0	2.1	12.9	45.0	15.0	7.8	9.0	8.2	2.8	1.6
60～69歳	100.0	2.5	14.9	43.9	13.7	5.8	11.7	7.5	2.9	1.5
70歳以上	100.0	4.9	21.4	35.2	8.6	4.0	14.0	11.9	3.2	1.2

問2(1)32 学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境にあること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数								
全体	100.0	44.7	31.0	14.8	3.0	0.8	2.4	3.3	4.2
県央広域振興圏	100.0	46.5	32.0	13.4	3.3	0.7	1.8	2.3	4.3
県南広域振興圏	100.0	43.0	31.7	16.1	3.0	0.9	2.3	3.0	4.2
沿岸広域振興圏	100.0	44.9	28.2	14.3	2.8	0.8	3.3	5.7	4.2
県北広域振興圏	100.0	42.7	29.3	15.4	2.4	1.3	3.9	5.0	4.2
男性	100.0	38.7	36.0	16.1	4.0	0.9	1.8	2.5	4.1
女性	100.0	49.2	27.4	13.8	2.4	0.8	2.8	3.6	4.3
20～29歳	100.0	59.1	29.7	6.9	3.1	0.7	0.0	0.5	4.4
30～39歳	100.0	55.5	26.7	11.3	4.5	1.2	0.5	0.3	4.3
40～49歳	100.0	50.6	31.9	13.6	1.8	0.8	0.1	1.2	4.3
50～59歳	100.0	44.5	33.4	15.1	3.1	1.1	1.2	1.6	4.2
60～69歳	100.0	37.4	35.6	16.4	4.4	0.8	2.5	2.9	4.1
70歳以上	100.0	37.5	27.5	18.2	1.9	0.7	6.3	7.9	4.2

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数									
全体	100.0	2.5	17.1	42.7	15.2	6.7	8.9	6.9	2.9	1.3
県央広域振興圏	100.0	2.6	19.4	42.6	15.9	5.8	8.2	5.5	3.0	1.3
県南広域振興圏	100.0	2.8	17.1	44.4	14.3	6.5	8.7	6.2	2.9	1.2
沿岸広域振興圏	100.0	2.0	12.2	40.3	15.4	9.7	10.4	10.0	2.8	1.5
県北広域振興圏	100.0	2.3	16.2	38.6	16.0	6.2	10.2	10.5	2.9	1.3
男性	100.0	3.2	18.0	45.0	15.0	5.8	7.9	5.1	3.0	1.2
女性	100.0	2.0	16.5	40.9	15.6	7.3	9.7	8.0	2.9	1.4
20～29歳	100.0	5.1	18.6	35.1	24.9	7.7	5.1	3.5	2.9	1.6
30～39歳	100.0	2.4	19.5	36.3	21.6	9.3	6.3	4.6	2.8	1.5
40～49歳	100.0	2.0	14.1	48.3	18.2	8.4	5.7	3.3	2.8	1.5
50～59歳	100.0	2.0	18.6	43.5	16.1	7.6	7.3	4.9	2.9	1.3
60～69歳	100.0	1.7	15.7	45.9	13.7	5.4	10.9	6.7	2.9	1.2
70歳以上	100.0	3.3	17.3	41.2	8.6	4.3	13.0	12.3	3.1	1.1

問2(1)33 県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数								
全体	100.0	41.5	30.0	16.2	2.7	0.9	4.2	4.5	4.2
県央広域振興圏	100.0	44.8	32.2	13.3	2.1	0.5	3.3	3.8	4.3
県南広域振興圏	100.0	39.2	30.9	17.5	3.1	1.3	4.3	3.7	4.1
沿岸広域振興圏	100.0	41.0	24.5	18.0	3.4	1.0	5.6	6.5	4.2
県北広域振興圏	100.0	38.4	26.6	19.8	1.8	1.0	5.0	7.4	4.1
男性	100.0	38.2	32.6	18.7	2.8	0.9	3.3	3.5	4.1
女性	100.0	44.1	28.1	14.4	2.6	1.0	4.9	4.9	4.2
20～29歳	100.0	46.4	31.8	14.0	3.7	1.3	2.1	0.7	4.2
30～39歳	100.0	40.7	29.8	19.5	4.2	2.2	1.9	1.7	4.1
40～49歳	100.0	42.9	32.8	18.4	2.4	0.7	1.0	1.8	4.2
50～59歳	100.0	40.0	34.3	16.6	2.8	0.7	2.9	2.7	4.2
60～69歳	100.0	41.1	31.2	15.1	3.1	0.6	4.8	4.1	4.2
70歳以上	100.0	41.0	23.6	15.0	1.6	0.8	8.4	9.6	4.3

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数									
全体	100.0	1.6	14.6	45.0	11.4	3.7	14.6	9.1	3.0	1.2
県央広域振興圏	100.0	2.2	17.1	46.2	13.2	2.8	12.6	5.9	3.0	1.2
県南広域振興圏	100.0	1.1	13.7	44.8	11.2	3.9	15.5	9.8	3.0	1.2
沿岸広域振興圏	100.0	1.6	12.4	42.9	9.2	5.2	16.2	12.5	2.9	1.2
県北広域振興圏	100.0	1.9	12.2	44.0	8.3	3.9	16.6	13.1	3.0	1.1
男性	100.0	1.3	16.4	48.8	12.0	3.9	10.9	6.7	3.0	1.1
女性	100.0	1.8	13.2	42.2	11.1	3.6	17.5	10.6	3.0	1.3
20～29歳	100.0	3.0	18.4	41.0	13.9	5.0	12.7	6.0	3.0	1.2
30～39歳	100.0	2.6	10.6	48.5	10.5	5.2	15.1	7.5	2.9	1.1
40～49歳	100.0	1.2	13.6	50.4	13.5	5.1	9.4	6.8	2.9	1.3
50～59歳	100.0	0.8	13.5	48.8	13.8	3.9	13.0	6.2	2.9	1.2
60～69歳	100.0	1.0	13.9	46.9	11.4	2.1	15.6	9.1	3.0	1.2
70歳以上	100.0	2.2	17.3	36.5	8.3	3.0	18.9	13.8	3.1	1.1

問2(1)34 郷土の歴史遺産や伝統文化に、誇りや愛着を有するような取り組みがされていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数								
全体	100.0	33.5	32.7	21.2	3.8	1.3	3.2	4.3	4.0
県央広域振興圏	100.0	34.2	33.9	21.1	3.4	1.0	2.6	3.8	4.0
県南広域振興圏	100.0	33.0	33.9	20.4	4.4	1.4	3.3	3.6	4.0
沿岸広域振興圏	100.0	34.0	28.1	22.8	3.8	1.7	3.5	6.1	4.0
県北広域振興圏	100.0	30.8	31.3	22.3	3.2	1.7	4.5	6.2	4.0
男性	100.0	30.5	35.2	23.3	3.7	1.6	2.4	3.3	3.9
女性	100.0	35.7	31.0	19.5	4.0	1.2	3.8	4.8	4.1
20～29歳	100.0	35.6	35.4	20.3	3.9	1.6	1.9	1.3	4.0
30～39歳	100.0	37.3	32.6	21.0	4.8	2.2	1.5	0.6	4.0
40～49歳	100.0	33.3	35.5	20.5	5.9	1.8	0.9	2.1	4.0
50～59歳	100.0	31.0	33.4	25.2	3.8	1.9	2.3	2.4	3.9
60～69歳	100.0	31.2	35.0	21.7	3.5	0.6	3.9	4.1	4.0
70歳以上	100.0	34.7	28.5	18.2	2.5	0.8	5.9	9.4	4.1

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数									
全体	100.0	3.2	19.2	44.2	10.4	3.1	11.0	8.9	3.1	0.9
県央広域振興圏	100.0	2.8	20.5	46.2	11.3	2.2	10.1	6.9	3.1	0.9
県南広域振興圏										

統計表

問2(1)37 スポーツの国際大会や国内外の各種大会において本県選手が活躍していること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	35.8	31.4	19.4	5.3	2.2	2.4	3.5	4.0
県央広域振興圏	100.0	35.5	33.5	18.3	6.1	2.3	1.3	3.0	4.0
県南広域振興圏	100.0	35.8	31.4	19.4	5.6	2.1	2.8	2.9	4.0
沿岸広域振興圏	100.0	36.9	28.1	21.9	2.8	2.3	2.8	5.2	4.0
県北広域振興圏	100.0	35.3	28.7	19.1	5.6	1.8	4.1	5.4	4.0
男性	100.0	32.2	33.4	21.4	6.2	2.7	1.5	2.6	3.9
女性	100.0	38.6	30.0	17.8	4.8	1.9	3.0	3.9	4.1
20～29歳	100.0	36.3	31.1	15.6	10.9	3.7	1.3	1.1	3.9
30～39歳	100.0	34.1	32.6	21.2	6.3	5.0	0.8	0.0	3.9
40～49歳	100.0	32.8	34.1	22.0	5.3	3.3	1.1	1.4	3.9
50～59歳	100.0	32.3	32.6	22.7	6.1	1.9	2.0	2.4	3.9
60～69歳	100.0	36.5	33.5	21.3	4.3	1.1	1.1	2.2	4.0
70歳以上	100.0	40.6	27.0	13.7	3.6	1.1	5.5	8.5	4.2

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	6.6	25.3	39.7	9.4	3.3	8.6	7.1	3.3	0.7
県央広域振興圏	100.0	5.2	27.4	39.8	10.6	3.7	7.7	5.6	3.2	0.7
県南広域振興圏	100.0	8.1	24.8	40.1	9.2	3.0	8.2	6.6	3.3	0.7
沿岸広域振興圏	100.0	6.1	22.9	37.7	9.2	3.7	10.2	10.2	3.2	0.8
県北広域振興圏	100.0	6.2	23.4	40.7	6.6	2.6	10.7	9.8	3.3	0.7
男性	100.0	5.3	26.0	41.9	12.0	4.1	5.9	4.8	3.2	0.7
女性	100.0	7.5	25.1	38.2	7.6	2.7	10.5	8.4	3.3	0.7
20～29歳	100.0	10.1	27.1	36.1	8.8	6.2	7.3	4.4	3.3	0.6
30～39歳	100.0	6.0	23.7	42.1	9.0	4.6	10.6	4.0	3.2	0.6
40～49歳	100.0	5.1	20.4	48.3	10.8	3.6	7.0	4.8	3.1	0.8
50～59歳	100.0	4.4	24.8	43.1	11.4	2.8	7.3	6.2	3.2	0.7
60～69歳	100.0	5.7	26.7	42.9	8.5	3.2	7.0	6.0	3.3	0.8
70歳以上	100.0	9.3	28.3	29.0	8.4	2.3	11.2	11.5	3.4	0.8

問2(1)38 地球温暖化防止のため、環境にやさしい再生可能エネルギーの利用や省エネルギーなど二酸化炭素等の排出量削減の取り組みが各地域で活発に行われていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	59.6	21.5	11.2	1.4	0.8	2.4	3.1	4.5
県央広域振興圏	100.0	60.9	22.1	10.8	1.8	1.1	1.5	1.8	4.4
県南広域振興圏	100.0	59.4	22.0	11.1	0.9	0.7	2.6	3.3	4.5
沿岸広域振興圏	100.0	59.4	18.5	12.8	1.2	0.7	2.5	4.9	4.5
県北広域振興圏	100.0	55.0	22.0	10.7	2.2	0.8	4.7	4.6	4.4
男性	100.0	55.4	24.4	13.1	1.8	1.6	1.7	2.0	4.4
女性	100.0	62.9	19.2	9.8	1.2	0.3	2.9	3.7	4.5
20～29歳	100.0	49.5	27.5	12.8	5.1	3.5	1.1	0.5	4.2
30～39歳	100.0	55.3	25.9	14.5	1.2	2.5	0.2	0.4	4.3
40～49歳	100.0	58.7	24.4	12.5	1.8	0.6	0.7	1.3	4.4
50～59歳	100.0	62.6	21.9	10.2	1.7	0.6	1.4	1.6	4.5
60～69歳	100.0	64.7	19.9	9.0	0.7	0.2	2.3	3.2	4.6
70歳以上	100.0	58.2	16.8	11.4	0.7	0.2	5.6	7.1	4.5

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	2.2	16.3	40.5	17.2	8.7	8.6	6.5	2.8	1.6
県央広域振興圏	100.0	1.4	17.2	41.4	19.2	8.2	7.5	5.1	2.8	1.6
県南広域振興圏	100.0	2.8	16.9	38.6	16.7	9.1	8.9	7.0	2.9	1.6
沿岸広域振興圏	100.0	2.6	12.8	42.5	15.6	9.2	9.8	7.5	2.8	1.7
県北広域振興圏	100.0	2.2	15.8	41.5	14.5	7.9	9.6	8.5	2.9	1.5
男性	100.0	1.8	16.6	41.5	19.1	10.4	6.2	4.4	2.8	1.6
女性	100.0	2.5	15.9	39.8	16.1	7.2	10.6	7.9	2.9	1.7
20～29歳	100.0	1.6	16.4	41.6	20.3	7.2	7.2	5.7	2.8	1.3
30～39歳	100.0	2.0	11.5	43.1	15.8	13.3	10.0	4.3	2.7	1.6
40～49歳	100.0	1.3	12.8	48.4	18.2	7.0	7.9	4.4	2.8	1.6
50～59歳	100.0	1.2	14.9	42.4	20.3	9.4	7.4	4.4	2.8	1.7
60～69歳	100.0	1.4	18.5	37.8	19.2	9.0	8.2	5.9	2.8	1.8
70歳以上	100.0	4.4	19.4	35.3	12.8	6.8	10.4	10.9	3.0	1.5

問2(1)39 ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル(資源ごみの分別など)が定着していること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	60.2	27.9	7.9	1.0	0.6	0.7	1.7	4.5
県央広域振興圏	100.0	59.8	28.6	8.4	1.5	0.5	0.6	0.6	4.5
県南広域振興圏	100.0	61.5	27.2	7.4	0.7	0.7	0.6	1.9	4.5
沿岸広域振興圏	100.0	59.1	28.8	7.3	0.6	0.9	0.7	2.6	4.5
県北広域振興圏	100.0	58.9	26.5	9.0	1.1	0.5	1.0	3.0	4.5
男性	100.0	55.0	30.6	10.2	1.5	1.0	0.5	1.2	4.4
女性	100.0	64.0	25.9	6.3	0.7	0.3	0.9	1.9	4.6
20～29歳	100.0	52.2	31.7	10.1	3.4	2.6	0.0	0.0	4.3
30～39歳	100.0	56.6	30.4	9.0	1.9	1.7	0.1	0.3	4.4
40～49歳	100.0	58.0	27.7	12.2	0.9	0.4	0.6	0.2	4.4
50～59歳	100.0	58.9	30.6	8.3	0.7	0.6	0.4	0.5	4.5
60～69歳	100.0	63.9	29.9	4.3	0.7	0.0	0.1	1.1	4.6
70歳以上	100.0	62.8	22.0	7.3	0.7	0.3	1.9	5.0	4.6

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	11.0	41.7	24.9	12.3	5.1	2.0	3.0	3.4	1.1
県央広域振興圏	100.0	9.5	39.6	28.0	14.1	5.4	1.8	1.6	3.3	1.1
県南広域振興圏	100.0	12.7	44.6	21.0	11.1	5.2	2.0	3.4	3.5	1.0
沿岸広域振興圏	100.0	11.2	40.9	26.9	10.4	4.1	2.2	4.3	3.5	1.0
県北広域振興圏	100.0	9.2	40.1	25.7	13.7	4.9	2.1	4.3	3.4	1.1
男性	100.0	9.5	40.9	26.8	13.2	5.7	1.6	2.3	3.4	1.0
女性	100.0	12.1	42.5	23.6	11.8	4.6	2.2	3.2	3.5	1.1
20～29歳	100.0	8.3	37.0	24.1	18.0	9.0	1.7	1.9	3.2	1.1
30～39歳	100.0	7.9	31.8	30.0	14.6	10.4	3.5	1.8	3.1	1.3
40～49歳	100.0	10.4	37.0	32.8	13.8	3.2	1.8	1.0	3.4	1.0
50～59歳	100.0	7.3	41.8	28.0	14.8	5.4	1.1	1.6	3.3	1.2
60～69歳	100.0	10.1	47.9	23.0	11.7	3.9	1.1	2.3	3.5	1.1
70歳以上	100.0	17.4	44.8	17.5	7.6	3.5	2.9	6.3	3.7	0.9

問2(1)40 大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動植物を大切にしながら生活していること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	65.7	22.4	7.7	0.8	0.4	1.0	2.0	4.6
県央広域振興圏	100.0	67.4	22.8	6.4	0.8	0.5	1.0	1.1	4.6
県南広域振興圏	100.0	65.8	22.2	7.9	0.7	0.3	1.0	2.1	4.6
沿岸広域振興圏	100.0	65.1	20.2	9.0	0.6	0.7	1.3	3.1	4.6
県北広域振興圏	100.0	59.0	25.2	10.3	0.8	0.3	1.0	3.4	4.5
男性	100.0	62.6	25.0	8.9	0.8	0.6	0.8	1.3	4.5
女性	100.0	68.1	20.6	6.7	0.7	0.3	1.3	2.3	4.6
20～29歳	100.0	67.3	26.2	4.9	1.1	0.5	0.0	0.0	4.6
30～39歳	100.0	71.6	19.0	7.4	0.8	1.0	0.1	0.1	4.6
40～49歳	100.0	68.0	22.1	8.8	0.0	0.4	0.5	0.2	4.6
50～59歳	100.0	67.6	22.7	6.9	1.1	0.5	0.5	0.7	4.6
60～69歳	100.0	65.2	23.9	7.5	0.6	0.2	1.0	1.6	4.6
70歳以上	100.0	59.6	21.9	9.0	0.7	0.3	2.7	5.8	4.5

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	6.4	30.3	35.9	12.9	6.5	4.0	4.0	3.2	1.4
県央広域振興圏	100.0	5.5	32.7	36.4	13.5	5.3	3.9	2.7	3.2	1.4
県南広域振興圏	100.0	6.7	29.1	35.0	13.4	7.5	3.9	4.4	3.2	1.4
沿岸広域振興圏	100.0	6.8	27.5	38.2	10.9	6.4	4.9	5.3	3.2	1.4
県北広域振興圏	100.0	7.3	29.9	35.8	11.4	7.				

統計表

問2(1)43 道路や下水道などの生活基盤の整備や歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化などが進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均	満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-			点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	58.8	27.2	8.7	0.8	0.4	1.2	2.9	4.5	全体	100.0	2.4	16.9	32.4	23.4	16.7	3.5	4.7	2.6	1.9
県央広域振興圏	100.0	61.8	26.4	7.3	0.9	0.5	1.0	2.1	4.5	県央広域振興圏	100.0	2.1	19.1	31.8	25.1	15.5	2.7	3.7	2.7	1.9
県南広域振興圏	100.0	56.4	29.8	8.8	0.8	0.3	1.0	2.9	4.5	県南広域振興圏	100.0	2.6	18.1	33.3	23.2	14.3	3.7	4.8	2.7	1.8
沿岸広域振興圏	100.0	60.3	22.6	9.8	1.0	0.4	1.6	4.3	4.5	沿岸広域振興圏	100.0	2.2	9.8	31.3	19.2	26.3	4.6	6.6	2.4	2.1
県北広域振興圏	100.0	54.5	27.2	12.0	0.3	0.3	1.8	3.9	4.4	県北広域振興圏	100.0	2.3	15.5	33.3	25.1	15.0	3.3	5.5	2.6	1.8
男性	100.0	55.8	30.3	9.4	0.8	0.6	0.8	2.3	4.4	男性	100.0	2.1	18.5	34.6	24.4	14.8	2.6	3.0	2.7	1.8
女性	100.0	61.4	24.6	8.2	0.9	0.3	1.4	3.2	4.5	女性	100.0	2.6	15.8	30.8	22.7	18.3	4.1	5.7	2.6	2.0
20～29歳	100.0	70.1	21.0	6.3	0.5	0.5	0.8	0.8	4.6	20～29歳	100.0	2.3	20.3	27.7	27.6	16.7	3.7	1.7	2.6	2.0
30～39歳	100.0	62.8	26.7	7.2	1.1	0.7	0.5	1.0	4.5	30～39歳	100.0	2.4	13.0	34.1	27.1	17.0	3.3	3.1	2.5	2.0
40～49歳	100.0	59.1	30.1	8.0	1.3	0.3	0.2	1.0	4.5	40～49歳	100.0	1.2	15.1	31.8	29.4	16.3	2.6	3.6	2.5	2.0
50～59歳	100.0	59.8	29.3	8.1	0.5	0.7	0.4	1.2	4.5	50～59歳	100.0	1.4	14.6	35.6	22.5	20.7	2.6	2.6	2.5	2.0
60～69歳	100.0	57.7	29.0	8.7	0.6	0.2	1.5	2.3	4.5	60～69歳	100.0	1.7	17.1	35.1	24.0	16.1	2.7	3.3	2.6	1.9
70歳以上	100.0	54.0	23.8	11.3	1.0	0.3	2.6	7.0	4.4	70歳以上	100.0	4.4	20.8	29.1	17.0	14.1	5.3	9.3	2.8	1.6

問2(1)44 道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均	満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-			点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	50.1	30.1	13.2	1.1	0.3	2.1	3.1	4.4	全体	100.0	2.5	16.3	38.1	18.4	11.0	7.0	6.7	2.8	1.6
県央広域振興圏	100.0	52.5	31.0	11.8	0.9	0.3	1.5	2.0	4.4	県央広域振興圏	100.0	2.8	18.3	39.0	19.6	8.9	6.1	5.3	2.8	1.5
県南広域振興圏	100.0	47.7	31.8	13.8	1.1	0.2	2.3	3.1	4.3	県南広域振興圏	100.0	2.5	17.1	38.6	17.4	9.9	7.5	7.0	2.8	1.5
沿岸広域振興圏	100.0	49.9	26.1	14.1	1.6	0.6	2.7	5.0	4.3	沿岸広域振興圏	100.0	1.5	11.2	35.2	17.2	18.3	8.1	8.5	2.5	1.8
県北広域振興圏	100.0	49.3	26.8	14.6	1.2	0.5	3.1	4.5	4.3	県北広域振興圏	100.0	2.7	14.1	37.9	19.4	11.3	6.5	8.1	2.7	1.6
男性	100.0	48.5	32.7	14.1	1.1	0.3	1.1	2.2	4.3	男性	100.0	2.3	18.9	38.6	20.1	11.6	4.1	4.4	2.8	1.5
女性	100.0	51.1	28.3	12.4	1.2	0.3	3.0	3.7	4.4	女性	100.0	2.7	14.3	37.8	17.1	10.6	9.2	8.3	2.8	1.6
20～29歳	100.0	53.1	31.8	12.7	0.3	0.0	1.3	0.8	4.4	20～29歳	100.0	3.7	19.6	32.5	22.3	11.6	6.5	3.8	2.8	1.6
30～39歳	100.0	53.5	32.0	9.9	2.0	0.5	0.9	1.2	4.4	30～39歳	100.0	3.0	15.5	38.8	19.0	12.3	6.8	4.6	2.8	1.6
40～49歳	100.0	50.0	34.9	12.3	0.8	0.1	0.4	1.5	4.4	40～49歳	100.0	2.4	14.4	42.9	19.9	10.4	4.8	5.2	2.8	1.6
50～59歳	100.0	50.6	30.0	14.5	1.5	0.3	1.7	1.4	4.3	50～59歳	100.0	1.2	15.6	39.2	20.4	12.8	5.7	5.1	2.7	1.6
60～69歳	100.0	48.9	32.3	13.3	1.2	0.2	1.4	2.7	4.3	60～69歳	100.0	1.4	15.5	40.4	19.5	11.7	5.1	6.4	2.7	1.6
70歳以上	100.0	47.8	24.4	14.0	0.9	0.6	5.1	7.2	4.3	70歳以上	100.0	4.1	18.1	34.0	13.4	8.5	11.3	10.6	2.9	1.4

問2(1)45 鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均	満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-			点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	58.2	27.2	9.2	2.0	0.4	0.7	2.3	4.5	全体	100.0	4.6	23.1	26.6	22.1	17.5	2.5	3.6	2.7	1.7
県央広域振興圏	100.0	63.4	25.2	8.0	1.0	0.4	0.7	1.3	4.5	県央広域振興圏	100.0	5.2	28.9	26.6	23.0	11.9	1.9	2.5	2.9	1.6
県南広域振興圏	100.0	53.5	30.3	9.9	2.7	0.4	0.6	2.6	4.4	県南広域振興圏	100.0	4.9	22.5	28.0	20.2	17.5	2.9	4.0	2.8	1.6
沿岸広域振興圏	100.0	60.9	22.8	9.4	2.1	0.6	0.7	3.5	4.5	沿岸広域振興圏	100.0	2.6	13.4	24.4	23.1	29.8	2.4	4.3	2.3	2.2
県北広域振興圏	100.0	53.3	29.6	10.7	2.6	0.3	1.0	2.5	4.4	県北広域振興圏	100.0	4.3	19.1	24.2	24.9	19.1	3.5	4.9	2.6	1.8
男性	100.0	55.8	29.9	9.9	2.2	0.4	0.1	1.7	4.4	男性	100.0	4.7	23.5	27.3	22.8	17.7	1.3	2.7	2.7	1.7
女性	100.0	60.5	25.1	8.6	1.8	0.4	1.1	2.5	4.5	女性	100.0	4.6	22.8	26.0	21.5	17.6	3.5	4.0	2.7	1.8
20～29歳	100.0	64.3	25.7	7.6	1.0	0.0	0.0	1.4	4.6	20～29歳	100.0	3.5	19.6	18.0	25.3	28.3	2.9	2.4	2.4	2.1
30～39歳	100.0	58.5	27.1	9.8	3.0	0.6	0.5	0.5	4.4	30～39歳	100.0	2.4	17.0	28.9	24.3	22.1	3.4	1.9	2.5	1.9
40～49歳	100.0	58.7	30.0	9.0	1.1	0.3	0.2	0.7	4.5	40～49歳	100.0	3.6	15.0	31.5	27.7	19.9	0.7	1.6	2.5	1.9
50～59歳	100.0	55.4	29.2	10.3	2.9	1.1	0.2	0.9	4.4	50～59歳	100.0	2.3	20.9	29.1	24.8	18.8	2.2	1.9	2.6	1.7
60～69歳	100.0	58.3	28.2	9.3	1.8	0.2	0.2	2.0	4.5	60～69歳	100.0	5.3	26.0	27.2	21.4	14.3	2.4	3.4	2.9	1.6
70歳以上	100.0	59.1	23.3	8.6	1.6	0.1	2.2	5.1	4.5	70歳以上	100.0	8.1	31.3	22.6	14.7	12.8	3.5	7.0	3.1	1.4

問2(1)46 携帯電話やインターネットなどの情報通信ネットワークが暮らしや仕事に生かされていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均	満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-			点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	34.6	31.8	19.8	5.6	2.1	2.6	3.5	4.0	全体	100.0	6.2	24.2	41.1	9.3	5.5	7.8	5.9	3.2	0.8
県央広域振興圏	100.0	34.8	33.5	19.1	5.7	2.2	1.8	2.9	4.0	県央広域振興圏	100.0	6.7	26.8	41.1	8.8	5.2	6.0	5.4	3.2	0.7
県南広域振興圏	100.0	34.5	31.7	19.6	5.6	2.0	3.3	3.3	4.0	県南広域振興圏	100.0	6.3	23.3	43.0	9.6	4.4	8.5	4.9	3.2	0.8
沿岸広域振興圏	100.0	33.8	28.5	21.5	5.8	2.5	2.6	5.3	3.9	沿岸広域振興圏	100.0	4.6	19.5	39.2	9.2	9.4	9.7	8.4	3.0	0.9
県北広域振興圏	100.0	34.4	31.6	20.5	5.1	1.7	2.9	3.8	4.0	県北広域振興圏	100.0	6.6	25.6	36.1	9.6	5.2	9.0	7.9	3.2	0.8
男性	100.0	33.9	35.0	19.7	5.3	2.6	1.0	2.5	4.0	男性	100.0	6.5	26.8	41.7	10.9	5.7	4.5	3.9	3.2	0.8
女性	100.0	35.4	29.3	19.9	5.9	1.7	3.9	3.9	4.0	女性	100.0	6.0	22.3	40.7	8.1	5.5	10.3	7.1	3.2	0.8
20～29歳	100.0	57.7	25.3	12.1	3.3	0.8	0.0	0.8	4.4	20～29歳	100.0	10.3	30.5	27.7	17.0	10.0	2.4	2.1	3.1	1.2
30～39歳	100.0	48.5	29.7	13.7	4.1	2.7	0.5	0.8	4.2	30～39歳	100.0	7.6	26.4	34.9	13.9	10.0	3.8	3.4	3.1	1.1
40～49歳	100.0	35.1	36.0	19.0	5.5	2.8	0.5	1.1	4.0	40～49歳	100.0	5.8	25.2	46.6	10.1	5.6	3.3	3.4	3.2	0.8
50～59歳	100.0	32.5	35.1	22.1	6.0	1.5	1.7	1.1	3.9	50～59歳	100.0	4.7	26.1	44.5	8.2	6.7	6.5	3.3	3.2	0.8
60～69歳	100.0	29.4	32.6	23.7																

統計表

問3-1(1) あなたは概ね5年後の岩手県がどのようになっていると考えますか。

	合計	今よりも良くなっている	今よりも悪くなっている	変わらない	不明
全体	100.0	29.2	22.1	45.3	3.4
県央広域振興圏	100.0	30.0	21.9	44.4	3.7
県南広域振興圏	100.0	27.7	23.7	46.0	2.6
沿岸広域振興圏	100.0	33.5	18.0	44.0	4.5
県北広域振興圏	100.0	24.6	23.4	48.0	4.0
男性	100.0	28.2	26.7	42.2	2.9
女性	100.0	30.2	18.6	47.9	3.3
20～29歳	100.0	23.0	22.8	52.6	1.6
30～39歳	100.0	24.8	20.9	52.4	1.9
40～49歳	100.0	25.3	22.2	50.7	1.8
50～59歳	100.0	29.8	27.3	39.9	3.0
60～69歳	100.0	29.8	22.1	44.9	3.2
70歳以上	100.0	34.7	18.1	41.9	5.3

問3-1(2) 「今よりも良くなっている」と考えた理由に近いものはどれですか。

	合計	地域活力の維持・向上が図られている	個人や企業の所得が増加している	農林水産省が元気である	雇用環境が改善している	十分な医療・福祉サービスが受けられる	エネルギー需給がひっ迫していない	自然環境が保全されている	安全・安心な生活が確保されている	地域の伝統・文化が守られている	子どもの教育水準や教育環境が良好である	その他	不明
全体		42.6	17.9	20.0	27.3	34.5	8.0	19.3	34.1	19.1	20.2	7.2	6.3
県央広域振興圏		39.7	18.6	16.7	23.7	37.0	8.7	20.1	31.9	17.6	19.0	8.0	9.6
県南広域振興圏		40.9	18.9	15.8	32.7	33.8	9.5	21.0	35.9	22.5	23.5	5.7	3.3
沿岸広域振興圏		51.5	14.4	33.1	23.8	30.3	4.7	14.8	32.7	14.6	17.0	8.5	6.2
県北広域振興圏		44.5	18.4	25.4	27.9	35.6	4.9	18.6	40.0	21.1	18.5	6.6	4.6
男性		44.5	18.2	21.5	28.5	35.8	8.6	21.8	37.6	15.3	16.0	5.2	6.4
女性		41.1	17.6	18.8	26.3	33.5	7.7	17.7	32.0	22.0	23.3	8.4	6.3
20～29歳		39.7	23.1	13.1	31.6	28.9	6.4	28.6	42.3	22.8	17.2	5.5	3.6
30～39歳		42.9	16.0	16.9	22.3	17.1	3.5	16.1	33.4	24.6	24.0	14.2	6.0
40～49歳		41.2	20.5	16.0	25.9	16.0	10.3	22.0	29.2	19.0	17.8	12.9	6.9
50～59歳		43.0	20.7	18.2	32.6	27.2	14.0	22.6	36.2	15.6	18.1	9.1	5.2
60～69歳		35.5	16.2	25.6	32.4	41.5	5.9	18.1	34.4	15.2	22.5	3.7	8.4
70歳以上		48.2	15.4	21.2	21.0	49.8	6.1	16.2	34.0	22.4	20.4	3.3	6.2

問3-1(3) 「今よりも悪くなっている」と考えた理由に近いものはどれですか。

	合計	地域活力が低下している	個人や企業の所得が減少している	農林水産省が衰退している	雇用環境が悪化している	必要な医療・福祉サービスが受けられない	エネルギー需給がひっ迫している	自然環境が悪化している	安全・安心な生活が確保されていない	地域の伝統・文化が失われている	子どもの教育水準や教育環境が悪化している	その他	不明
全体		49.6	56.9	38.7	43.6	29.1	7.8	13.1	14.4	5.5	10.9	8.6	2.3
県央広域振興圏		46.8	60.2	37.4	46.2	23.7	10.1	13.8	14.8	4.9	13.7	9.7	0.9
県南広域振興圏		49.2	54.2	43.7	40.9	32.5	6.4	12.7	14.8	5.1	9.9	7.8	2.8
沿岸広域振興圏		60.7	55.3	34.9	45.1	28.8	5.7	12.0	13.1	8.8	8.7	10.0	1.9
県北広域振興圏		47.3	58.0	27.2	43.5	35.2	8.1	13.4	13.2	4.9	7.5	6.5	5.9
男性		53.4	55.7	47.6	42.1	24.2	8.1	10.7	11.4	6.5	9.2	11.7	2.3
女性		46.6	58.0	28.6	45.2	33.1	7.8	16.0	17.9	4.0	12.5	5.6	2.4
20～29歳		51.4	59.6	16.2	52.0	27.8	3.5	9.2	5.6	6.8	17.6	25.3	0.0
30～39歳		48.0	67.3	21.1	59.7	22.1	6.0	9.8	14.9	6.6	14.2	14.8	2.9
40～49歳		47.2	61.1	35.7	52.8	28.3	8.7	10.5	10.9	4.8	17.3	8.0	0.9
50～59歳		52.5	58.2	40.6	40.8	34.5	9.0	14.4	11.8	4.8	5.9	8.5	2.1
60～69歳		51.6	55.3	48.9	42.6	24.7	7.7	11.7	17.7	6.0	8.8	5.1	2.2
70歳以上		48.1	47.8	44.5	30.2	27.9	8.9	18.4	19.9	5.2	10.0	4.4	4.3

問3-2 今後の生活において、物の豊かさや心の豊かさに関して、あなたのお考えに近いものはどれですか。

	合計	心の豊かさやゆとりのある生活	物質的な面で生活を豊かにすること	どちらともいえない	わからない	不明
全体	100.0	57.0	15.0	13.2	2.9	11.9
県央広域振興圏	100.0	56.7	15.6	14.0	2.7	11.0
県南広域振興圏	100.0	58.9	14.9	11.9	2.2	12.1
沿岸広域振興圏	100.0	55.3	13.2	14.7	4.0	12.8
県北広域振興圏	100.0	52.6	16.0	13.2	4.9	13.3
男性	100.0	55.5	17.3	12.9	2.1	12.2
女性	100.0	58.5	13.3	13.6	3.7	10.9
20～29歳	100.0	56.6	23.6	12.3	2.1	5.4
30～39歳	100.0	56.3	19.1	14.9	2.8	6.9
40～49歳	100.0	54.9	14.6	18.7	2.4	9.4
50～59歳	100.0	60.1	16.3	11.9	2.1	9.6
60～69歳	100.0	58.4	13.2	12.2	2.8	13.4
70歳以上	100.0	55.4	11.5	11.5	4.6	17.0

問3-3 あなたは次の世代に何を残したいですか。

	合計	豊かな生活ができる経済的な基盤	健康で文化的な生活ができる社会的な基盤	安全で安心な生活ができる社会資本	豊かな自然環境	地域の伝統・文化	郷土意識や人々の連帯感	その他	不明
全体		47.0	37.0	42.2	23.1	4.7	12.4	0.9	9.3
県央広域振興圏		44.4	39.3	43.3	25.4	5.5	11.6	0.8	8.2
県南広域振興圏		48.4	36.1	40.8	23.2	4.7	12.2	1.0	9.4
沿岸広域振興圏		48.3	34.8	43.4	20.7	3.3	13.1	0.9	11.0
県北広域振興圏		49.3	35.2	40.8	18.0	4.5	15.6	0.6	10.1
男性		47.1	38.1	36.9	24.9	5.9	12.3	1.3	8.6
女性		47.5	36.2	46.6	22.0	3.8	12.5	0.6	9.2
20～29歳		50.1	28.8	45.6	23.6	10.8	8.0	1.5	6.5
30～39歳		52.3	30.2	48.9	23.6	8.2	10.5	0.7	5.9
40～49歳		54.5	35.7	47.1	24.8	4.8	6.7	1.0	6.4
50～59歳		48.6	41.1	46.6	22.9	5.0	8.9	1.1	6.6
60～69歳		43.8	38.7	38.5	26.7	3.3	16.0	0.8	9.7
70歳以上		41.6	38.8	35.3	19.3	2.5	17.7	0.6	13.9

調査票

県の施策に関する県民意識調査

岩手県が実施する「県の施策に関する県民意識調査」は、県民の皆様が、身の回りの暮らしの事柄について、どの程度重要だと感じ、どの程度満足しているかなどについての御意見を伺うものです。

県では、県民の皆様のお意見を取り入れながら、次の施策を展開していきたいと考えておりますので、調査への御協力をお願いいたします。

また、同封の返信用封筒に記載の整理番号は、**回答数が少なく調査の信頼性を確保できない場合に、未回答の方に改めて調査への御協力を願う場合等に使用するもの**で、回答者個人の回答内容を把握する趣旨のものではありません。

なお、この調査の結果につきましては、本年5月頃に公表する予定としており、岩手県調査統計課のホームページで御覧になれます。

「いわての統計情報～イーハトーブ・データ館～」

<http://www3.pref.iwate.jp/webdb/view/outside/s14Tokei/top.html>

お 願 い

- ◆ このアンケート調査には、調査票をお送りした封筒に書かれた**あて名の御本人様**がお答えください（ただし、御本人様が長期不在などでお答えできない御事情がある場合には、御本人様に代わって、御家族の方などが御自身の立場でお答えください）。
 - ◆ この調査は、無記名でお願いします。回答はすべて統計的に処理され、調査票は、集計後、焼却します。**秘密の保護には万全を期していますので、ありのままをお答えください。**
 - ◆ お答えは、できる限り黒または青色の鉛筆・ペン・ボールペンでお願いします。
 - ◆ お答えは、直接この調査票にお書きいただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**2月3日（月）**までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。
- ※ この調査について、御不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

岩手県政策地域部調査統計課 調査分析担当 滝澤

TEL 019-629-5307（直通）

FAX 019-629-5309

E-mail stat@pref.iwate.jp

1 調査の目的

岩手県では、「岩手県東日本大震災津波復興計画（※）」を策定し、東日本大震災津波からの復旧・復興への取組を進めるとともに、これと軌を一にしながら、「私たちが実現していきたい岩手の未来」を描いた「**いわて県民計画**」に掲げる「希望郷いわて」の実現に向けて、計画を推進しています。

この調査は、「**いわて県民計画**」に掲げる「岩手の未来をつくる7つの政策」を推進していくために、**県民の皆様のお意見**をお伺いし、**次の施策に生かしていく**ために行うものです。

「いわて県民計画」 岩手の未来をつくる7つの政策

- (1) 産業・雇用 ～「産業創造いわて」の実現～
- (2) 農林水産業 ～「食と緑の創造いわて」の実現～
- (3) 医療・子育て・福祉 ～「共に生きるいわて」の実現～
- (4) 安全・安心 ～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～
- (5) 教育・文化 ～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～
- (6) 環境 ～「環境王国いわて」の実現～
- (7) 社会資本・公共交通・情報基盤 ～「いわてを支える基盤」の実現～

※ 「岩手県東日本大震災津波復興計画」

東日本大震災津波からの復旧・復興への取組を進めるため、平成23年8月に策定した計画。

沿岸地域をはじめとした岩手県全体が、東日本大震災津波を乗り越えて力強く復興するための地域の未来の設計図として、復興に向けての目指す姿や原則、まちづくりのグランドデザイン、具体的な取組の内容、復興への歩み等を明らかにしたものです。

2 調査結果の活用方法

県では、平成13年度から**政策評価を本格導入**し、県の仕事が目標に向かってうまく機能しているかどうかをチェックし、その結果を次の施策に反映していくことにしています。

今回の**調査結果は、県民の皆様により満足していただけるサービスを提供していくための重要な情報として、政策評価や施策の立案などに活用**することにしています。

3 調査の構成と記入の方法

- (1) 1ページから2ページまでは、調査についての説明です。
3ページから18ページまでが、質問になっています。
- (2) 質問は、問1～問4まであります（問2から問4までは、さらにいくつかの小問に分かれています）。
- (3) 回答は、あらかじめ設けている**選択肢のあとにはまる数字に○**をつけてください（この調査票の所定の欄に直接御記入ください）。
- (4) 回答は、全ての項目についてお願いいたします。

- 1 -

記入例

ここでは、問2（P4～14）の場合を例示しています。

問2 次に、1ページで御説明いたしました「7つの政策」に関連する次の1から46の調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」についてお伺いします。あなたの身のまわりを見回してみて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

「あなたの重要度」では、**あなたの現在の暮らしにとって**、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要であるかをお答えください。

「あなたの満足度」では、**あなたの現在の暮らしから見て**、調査項目の状態にどれくらい満足しているかをお答えください。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない	
19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
20 交通事故が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

※ 「あなたの重要度」の記入例

あなたの現在の暮らしにとって、「19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。」という状態を実現することが、どれくらい重要かをお答えいただくものです。

この例では、「重要ではない」と思う場合を例示していますので、数字の「1」に○をつけます。

※ 「あなたの満足度」の記入例

あなたの現在の暮らしから見て、「19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。」は、どれくらい満足できる状態にあるかをお答えいただくものです。

この例では、「やや不満足な状態にある」と思う場合を例示していますので、数字の「2」に○をつけます。

- 2 -

このページから調査票になります。

問1 まず最初にお伺いします。

あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

あなたの気持ちに近いものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない	わからない
5	4	3	2	1	0

- 3 -

問2 次に、1ページで御説明いたしました「7つの政策」に関連する次の1から46の調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。あなたの身のまわりを見回してみて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

「あなたの重要度」では、あなたの現在の暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要であるかをお答えください。

「あなたの満足度」では、あなたの現在の暮らしから見て、調査項目の状態にどれくらい満足しているかをお答えください。

(1) まず、「産業・雇用」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえ	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない	どちらともいえ	やや不満な状態にある	不満な状態にある
1 新しい工場や事業所ができ、県内経済が活性化していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
2 次の時代の地域の商業やサービス業、製造業などを担う人材が育っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
3 地域の農林水産資源や技術を生かした加工食品や木製品が開発され、販売されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
4 魅力ある観光地づくりに、地域で取り組まれていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
5 身近な商店街が、住民に利用され、にぎわっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえ	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない	どちらともいえ	やや不満な状態にある	不満な状態にある
6 中小企業や、人材や技術力、商品、サービスなどを強化して経営力の向上を図り、更に成長・発展していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
7 海外における県産品の販路の拡大が図られること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
8 県内に職を求める人が希望どおりに就職できること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	

(2) 次に、「農林水産業」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえ	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない	どちらともいえ	やや不満な状態にある	不満な状態にある
9 地域の農林水産業の担い手が確保されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
10 消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
11 本県農林水産物がブランドとして確立され、販路が拡大していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
12 都市との交流などにより活力ある農山漁村が形成されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
13 地球温暖化防止や生態系の維持など環境に配慮した農林水産業が営まれていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	

(3) 次に、「医療・子育て・福祉」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえ	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない	どちらともいえ	やや不満な状態にある	不満な状態にある
14 必要な医療を適切に受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
15 病気の予防や健康づくりを行うために、相談・指導を受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
16 安心して子どもを生育せられ、子育てがしやすい環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
17 高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	

(4) 次に、「安全・安心」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)							
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
18 地域の防災体制が、住民の協力により整っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
20 交通事故が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
21 悪質商法、架空請求、多重債務などの消費者トラブルについて、適切な相談や支援を受けられる社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
22 購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
23 岩手に移り住む人や岩手を訪れる人が増え、地域に活力が生まれていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
24 だれもが市民活動に参加できる社会であること。(市民活動とは、NPO、ボランティア、自治会・町内会(子供会行事への参加、清掃や美化活動等を含む)などの活動をさします。)	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)							
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
25 地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
26 女性も男性も社会のあらゆる分野に等しく参画し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		

(5) 次に、「教育・文化」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)							
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
27 学校が、学力や体力の向上などの目標に向かって、家庭や地域と一緒に取組んでいること。(学力向上とは、小・中学校では、物事をしっかり考える力が身に付き、高等学校では、目指す進路を実現できる学力が身についていること。)	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
28 子どもたちの学力が向上する教育がされていること。(子どもは、小学生から高校生までをお考えください。)	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
29 子どもたちが、自分の良さを知り、人を思いやる心を持つなど、人間性豊かに育っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
30 子どもたちが、スポーツや運動に取り組むことによって、体力の向上や心身の健康の保持が図られること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
31 学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)							
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
32 学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境にあること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
33 県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
34 郷土の歴史遺産や伝統文化に、誇りや愛着を持っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
35 地域や学校などで文化芸術(芸術、祭り、行事など)の鑑賞や活動が活発に行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
36 外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい地域社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
37 スポーツの国際大会や国内外の各種大会において本県選手が活躍していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		

(6) 次に、「環境」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	やや不満足状態にある	不満足状態にある	わからない
38 地球温暖化防止のため、環境にやさしい再生可能エネルギーの利用や省エネルギーなど二酸化炭素等の排出削減の取組が各地域で活発に行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
39 ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル(資源ごみの分別など)が定着していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
40 大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動植物を大切にしながら生活していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(7) 次に、「社会資本・公共交通・情報基盤」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	やや不満足状態にある	不満足状態にある	わからない
41 高速道路をはじめ、インターチェンジや新幹線駅、港湾、空港などの交通や物流の拠点に通じる道路が整備されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
42 防災施設の整備等が進み、地震や津波、洪水、土砂災害による被害を受けにくい、安心して暮らせる県土であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
43 道路や下水道などの生活基盤の整備や歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化が進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
44 道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	やや不満足状態にある	不満足状態にある	わからない
45 鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
46 携帯電話やインターネットなどの情報通信ネットワークが暮らしや仕事に生かされていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

問3 県では、“私たちが実現していきたい岩手の未来”を創っていくため、「いわて県民計画」(計画期間：H21～H30年)に掲げる「希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。

ここでは、いわて県民計画を進めるための基礎資料として活用するため、概ね5年後の岩手県について皆さんがどのように考えているかお伺いします。

問3-1

(1) まず、あなたは、概ね5年後の岩手県がどのようになっていると考えますか。あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけて下さい。

- | | | |
|---------------|-------|--------------|
| 1 今よりも良くなっている | | ※「1」の方は(2)へ |
| 2 今よりも悪くなっている | | ※「2」の方は(3)へ |
| 3 変わらない | | ※「3」の方は問3-2へ |

(2) (1)で「1」を選んだ方にお伺いします。そのように考えた理由について、あなたのお考えに近いものを次の1～11から3つまで選んで番号に○をつけて下さい。

- | |
|------------------------|
| 1 地域活力の維持・向上が図られている |
| 2 個人や企業の所得が増加している |
| 3 農林水産業が元気である |
| 4 雇用環境が改善している |
| 5 十分な医療・福祉サービスが受けられる |
| 6 エネルギー供給がひっ迫していない |
| 7 自然環境が保全されている |
| 8 安全・安心な生活が確保されている |
| 9 地域の伝統・文化が守られている |
| 10 子どもの教育水準や教育環境が良好である |
| 11 その他 () |

(3) (1)で「2」を選んだ方にお伺いします。そのように考えた理由について、あなたのお考えに近いものを次の1～11から3つまで選んで番号に○をつけて下さい。

- 1 地域活力が低下している
- 2 個人や企業の所得が減少している
- 3 農林水産業が衰退している
- 4 雇用環境が悪化している
- 5 必要な医療・福祉サービスが受けられない
- 6 エネルギー供給が逼迫している
- 7 自然環境が悪化している
- 8 安全・安心な生活が確保されていない
- 9 地域の伝統・文化が失われている
- 10 子どもの教育水準や教育環境が悪化している
- 11 その他 ()

問3-2 次に、あなたは今後の生活において、物の豊かさや心の豊かさに関して、次の考えのうち、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけて下さい。

- 1 心の豊かさやゆとりのある生活することに重きをおきたい
- 2 物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい
- 3 どちらともいえない
- 4 わからない

問3-3 あなたは次の世代に何を残したいですか。あなたのお考えに近いものを次の1～7から2つまで選んで番号に○をつけて下さい。

- 1 豊かな生活ができる経済的な基盤
- 2 健康で文化的な生活ができる社会的な基盤
- 3 安全で安心な生活ができる社会資本
- 4 豊かな自然環境
- 5 地域の伝統・文化
- 6 郷土意識や人々の連帯感
- 7 その他 ()

アンケートに回答した方(あなた)について伺います。

問4 最後に、お答えいただいた「あなた」御自身のことについておたずねします。これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、該当する番号に○をつけてください。

(1) 性別 (○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

(2) 年齢 (満年齢) (○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 20～29歳 | 2 30～39歳 | 3 40～49歳 |
| 4 50～59歳 | 5 60～69歳 | 6 70歳以上 |

(3) あなたの主なご職業は何ですか (○は1つ)。

- 1 自営業主
- 2 家族従業者
- 3 会社・団体役員
- 4 常用雇用者 ※期間を定めず又は1年を超える期間を定めて雇われる人
- 5 臨時雇用者 (パート、アルバイトなど) ※日々又は1年以内の期間を定めて雇われる人
- 6 学生
- 7 専業主婦 (主夫)
- 8 無職
- 9 その他 (具体的に:)

※ (3)で1～5に○をつけられた方のみお答えください。

その業種は何ですか (○は1つ)。

- 1 農業、林業
- 2 漁業
- 3 鉱業、採石業、砂利採取業
- 4 建設業
- 5 製造業
- 6 電気・ガス・熱供給・水道業
- 7 情報通信業
- 8 運輸業、郵便業
- 9 卸売・小売業
- 10 金融業、保険業
- 11 不動産業、物品賃貸業
- 12 学術研究、専門・技術サービス業
- 13 宿泊業、飲食サービス業
- 14 その他のサービス業
- 15 公務
- 16 その他 (具体的に:)

(4) あなたの世帯構成はどのようになっていますか (○は1つ)。

- 1 ひとり暮らし
- 2 夫婦のみ
- 3 2世代世帯 (親と夫婦、夫婦と子どもなど)
- 4 3世代世帯 (親と夫婦と子ども、夫婦と子どもと孫、祖父母と親と夫婦など)
- 5 その他

(5) あなたのお子さんは、何人いますか (同居・別居は問いません)。

- | | | |
|------|--------|-----------|
| 1 1人 | 2 2人 | 3 3人 |
| 4 4人 | 5 5人以上 | 6 子どもはいない |

※ (5)で1～5に○をつけられた方のみお答えください。

あなたのお子さんは、次のどこにあてはまりますか (該当する番号すべてに○をつけてください)。

- 1 小学校入学前 (乳幼児を含む。)
- 2 小学生
- 3 中学生
- 4 高校生
- 5 高校を卒業し専門学校、短大、大学、大学院に在学
- 6 学校教育終了で同居
- 7 学校教育終了で別居
- 8 その他 (具体的に:)

(6) あなたは岩手県に住んで何年になりますか (○は1つ)。

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1 1年未満 | 2 1～5年未満 | 3 5～10年未満 |
| 4 10～20年未満 | 5 20年以上 | |

(7) あなたが現在お住まいの市町村はどこですか (○は1つ)。

県央地域	1 盛岡市	2 八幡平市	3 滝沢市	4 零石町	5 葛巻町
	6 岩手町	7 紫波町	8 矢巾町		
県南地域	9 花巻市	10 北上市	11 遠野市	12 一関市	13 奥州市
	14 西和賀町	15 金ケ崎町	16 平泉町		
沿岸地域	17 宮古市	18 大船渡市	19 陸前高田市	20 釜石市	21 住田町
	22 大槌町	23 山田町	24 岩泉町	25 田野畑村	
県北地域	26 久慈市	27 二戸市	28 普代村	29 軽米町	30 野田村
	31 九戸村	32 洋野町	33 一戸町		

御協力ありがとうございました。

お手数でも2月3日(月)までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。